横浜市立小・中学校標準図
校舎９５型１２改

（Ｇ家具）

【令和２年２月】

横浜市建築局

図面記号の構成　G系列分類表

	区分番号	000	100	200	300	400	500	600	700	800	900
		一般事項	ステンレス家具	収納家具 （スチール）	収納家具 （木・パーテーション）	収納家具 （木・その他）	収納家具 （木・その他）	掲示用家具	実習用家具	雑家具	
校舎	00		共通事項	共通事項	共通事項	共通事項		共通事項	共通事項	共通事項	
	10		清掃用流し	整理戸棚	収納戸棚	収納戸棚	ロッカー	黒板・ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	理科教室	雑	
	20		一槽流し		収納棚		掃除用具入	行事用ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	家庭科教室		
	30		給湯付一槽流し	引出付整理戸棚	ショーケース	引出付収納戸棚	靴入	曲面 黒板 ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	調理教室	鏡	
	40			整理棚			吊戸棚	上下 黒板 ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ		運動器具	
	50		二槽流し	書架	書架	収納棚		引分 黒板 ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ			
	60		三槽流し	作業台	作業台			片引ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ			
	70		流し（市販品）	ロッカー		書架		上下曲面ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ			
	80		作業台・コンロ台	掃除用具入		作業台		掲示板（アルミ枠）			
	90		戸棚・棚他	靴入							
プール・部室・ 武道場・ 屋内運動場（改修）			1120（ブ） 1121（武） 1122B（部）	1280（武・部） 1291（武・部・屋改修）		1450（武） 1451（部） 1460（ブ）	1510（武） 1511（ブ） 1512A・B（部） 1520（ブ）　1530（ブ）	1610（部）		1810（武） 1812（武） 1831（武）	
屋内運動場			1122A・B	1280 1290		1462 1463		1680		1830　1843 1840　1844 1841 1842	

※屋内運動場の備品は『横浜市立小・中学校屋内運動場95型18改（大規模校参考図）』に記載しました。

※屋内運動場改修工事の備品は『横浜市立小・中学校屋内運動場95型18改（大規模校参考図）』を使用します。
（ただし、靴入のみG−1291を使用します。）

名称	分類表		
縮尺		記号	G−000
設計年月日			令和2年2月
横浜市建築局			

G−100 ステンレス家具（仕様）

1．適用範囲

1）　本仕様は、横浜市学校建築工事備品のステンレス流し、観察台及び、収納庫等に適用する。

2．材料及び規格

1）　使用するステンレス鋼は、JIS G 4304（熱間圧延ステンレス鋼鈑及び鋼帯）または、JIS G 4305（冷間圧延ステンレス鋼板及びび鋼帯）のSUS 304 及び SUS 430とする。

2）　使用する給水管は、JWWA K116水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管「VA管」とし、ねじ込み式管端防食管継手とする。

3）　使用する給湯管は、JWWA K140水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管「HVA管」とし、継手類は給湯用ねじ込み式管端防食継手とする。

4）　給水管、給湯管とも保温帯を巻くものとする。

3．製　作

1）　溶接は、直流アルゴンアーク溶接とする。但し、骨組部は、交流アーク溶接も可とする。

2）　骨組及び補強材の溶接は、連続溶接とし、その強度は、部材と同等以上とする。

3）　人体の接し易い出隅部分は、10～20ｍｍ程度の丸面をとるものとする。

4）　幕板は、四方を折曲げ、四隅は平滑に仕上げる。長尺の場合は、各流しに図示通りに割付けタップビス止めとし、取外し可能とする。

5）　水栓取付部の穴は、φ26とし、その裏面に補強材をスポット溶接として取付ける。（図示）

6）　給水管及び給湯管取付金物は、竪管は１箇所、横引管は、両端に１箇所ずつ取付ける。但し、最大支持間隔は、1200とする。

7）　給水管、給湯管のネジ接合部にはシール材を使用し、規定の締め付けを行う。

4．仕　上

1）　ステンレス鋼板表面は、＃300以上のバフ研磨仕上とする。

2）　前項の給水管、給湯管は保温厚さ20ｍｍのグラスウール保温筒を使用し、鉄線、原紙、綿布の順に仕上げ、綿布上に塗装（下塗り、中塗り、上塗り）を施したものとする。

3）　シンクの裏面及び給水管は、アクリル樹脂系防露断熱塗装 厚2ｍｍを施すものとする。

5．付属金物

1）　引手及び取手は、ステンレスSUS 304とする。

2）　使用するビスは、ステンレスとする。

3）　排水トラップは、オーバーフロー付の場合は、T14AOC−50VP用、その他の場合は、T14A−50VP用とし、ゴミ収納器付とする。

6．据付け

1）　据付けは、ホールインアンカーにより、床に水平に固定する。

7．検査及び試験

1）　製品は、図面と適合していなければならない。

2）　仕上は、良好で、著しい傷、変形、亀裂及び溶接ずれなどがあってはならない。

3）　ネジ類の締付け、溶接が完全に行われていなければならない。

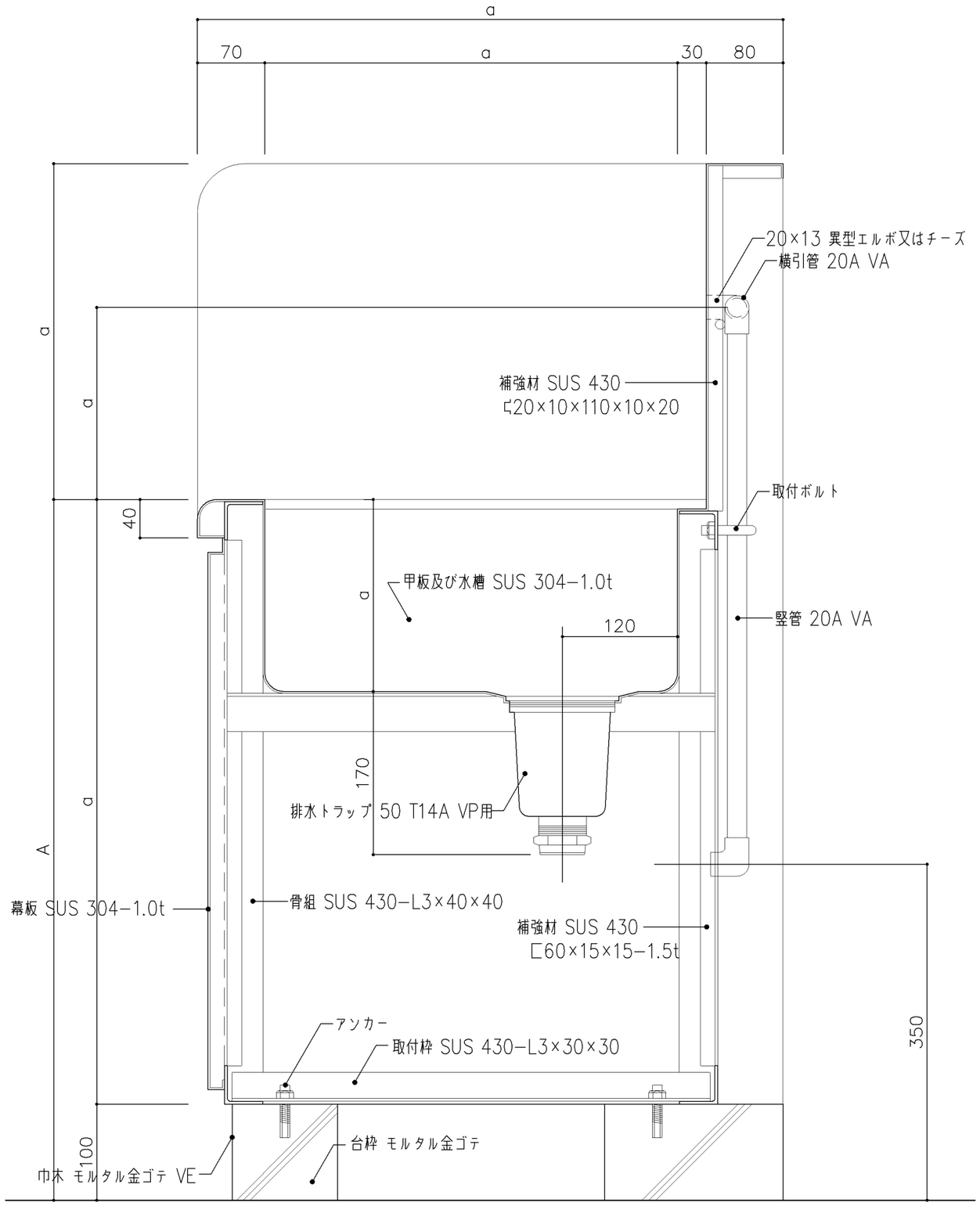
4）　製品の寸法精度は、±2ｍｍ以下とする。

5）　給水管及び給湯管は、10kg／m² による20分間の水圧試験を行う。

6）　シンク及びトラップ取合部は、満水試験（２０分間）により漏水がないものとする。

8．工事区分

名称	仕様		
縮尺		記号	G−100
設計年月日			令和2年2月
横浜市建築局			



断面詳細図

■Ａ（床面からの高さ）寸法

清掃用流し

- 小学校　：　580
- 中学校　：　730
- 管理諸室　：　730

（但し特殊学級は 800とする）

手洗い流し

- 小学校　：　580
- 中学校　：　730
- 管理諸室　：　730

流し

- 小学校　：　670
- 中学校　：　760
- 管理諸室　：　800

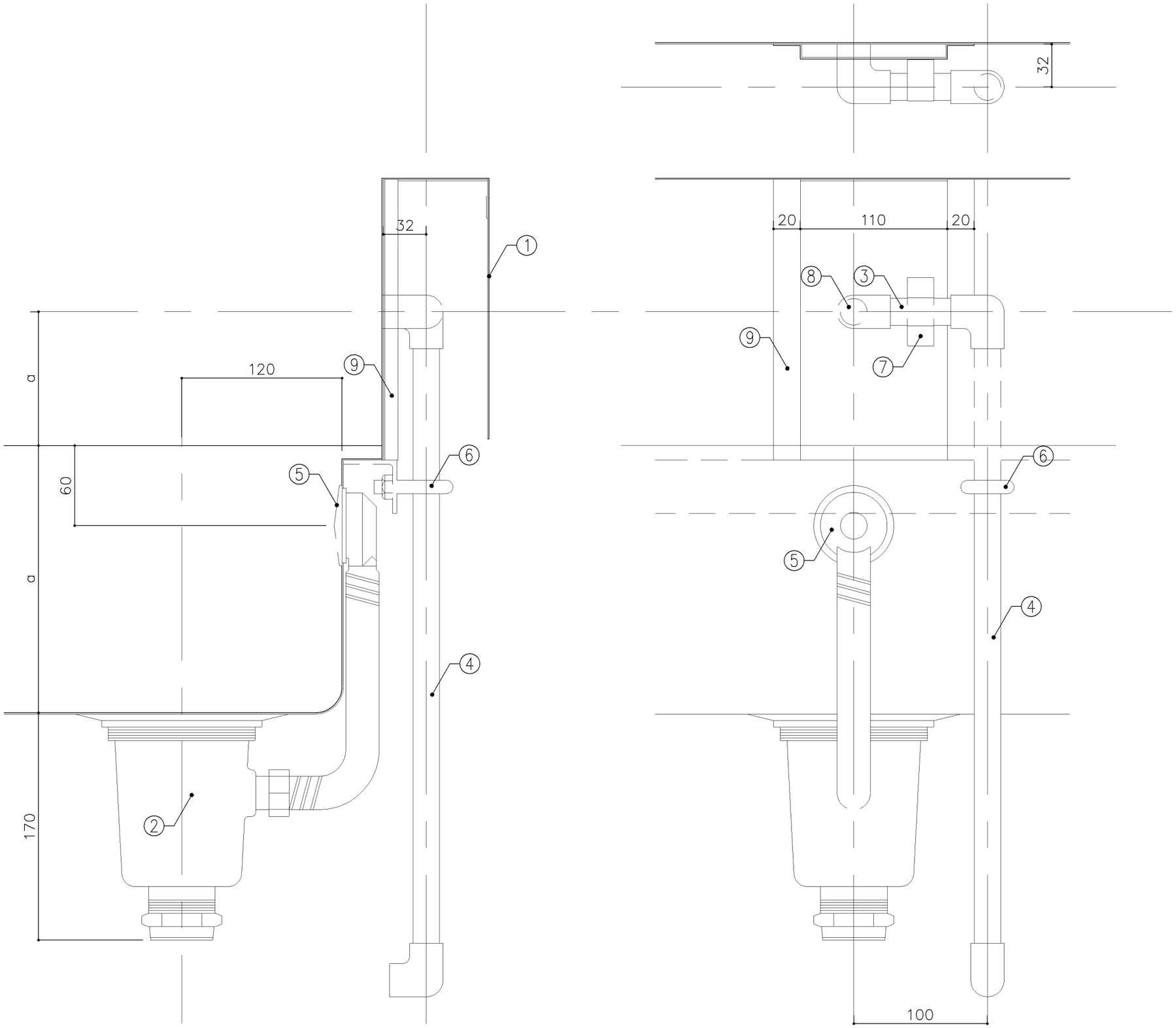
（但し保健室は 750とする）

※流しのＡ寸法は、学校用家具の手引（文部省発行）の実験台、実習台と同じ高さを基本としている。

注）a寸法は、各図面参照

名称	標準断面詳細図		
縮尺	1／5	記号	G−101
設計年月日		令和2年2月	

横浜市建築局



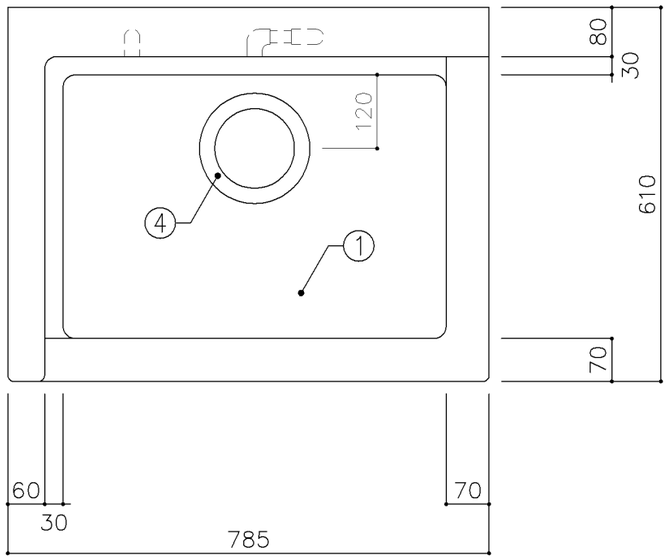
仕　様

番号	名称	材質
①	幕板	SUS 304−1.0t
②	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
③	給水横引管	20A VA
④	給水竪引管	20A VA
⑤	オーバーフロー	25Aストレーナー付
⑥	取付ボルト	
⑦	取付金具	
⑧	取出シ	
⑨	補強材	SUS 430−1.0t

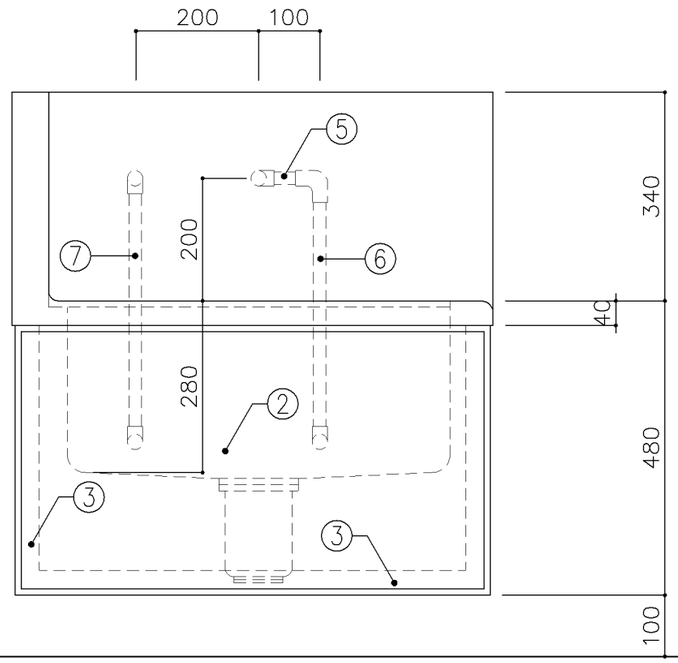
注）a寸法は、各図面参照

名称	標準詳細図		
縮尺	1/3	記号	G−102
設 計 年 月		令和2年2月	

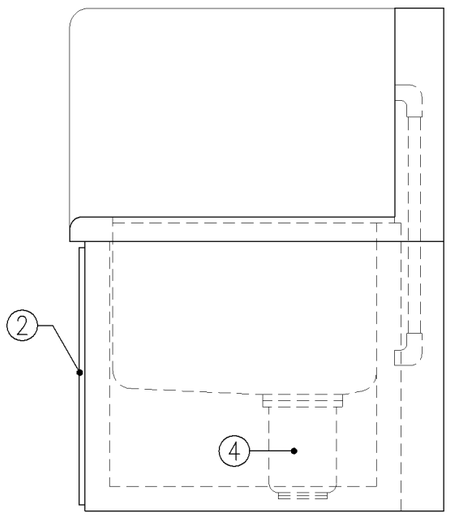
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
W785 × D610 × H480

使用箇所
家庭科教室

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304−1.0t
②	幕板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AVP用　ゴミ収納付
⑤	給水横引管	20A VA
⑥	給水竪引管	20A VA
⑦	給湯竪引管	20A HVA

金　物

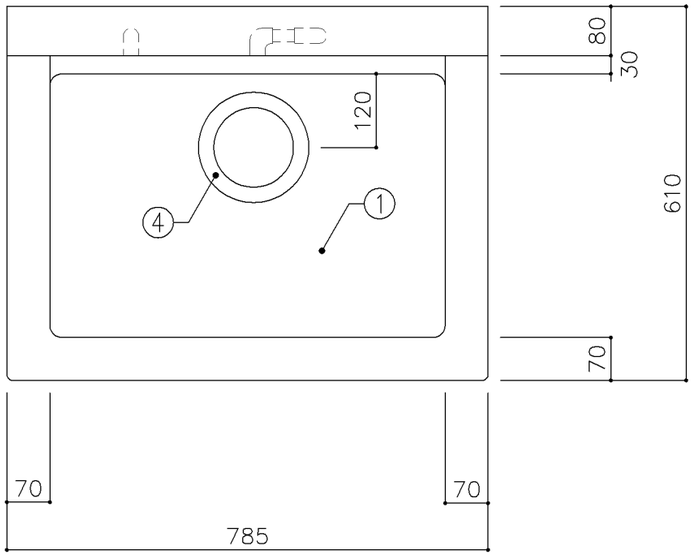
番号	使用箇所	名称

特記事項

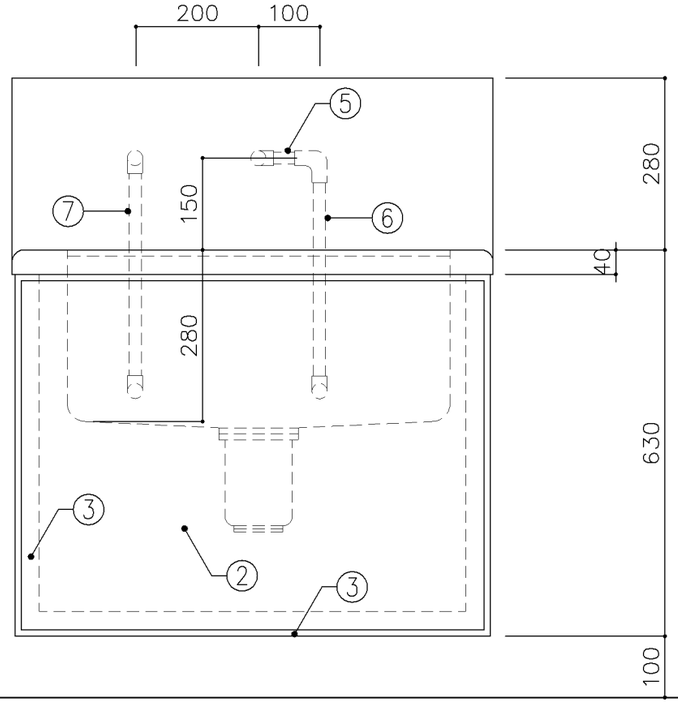
混合×1

名称	清掃用流し（給湯付）		
縮尺	1／10	記号	G−110
設計年月日		令和2年2月	

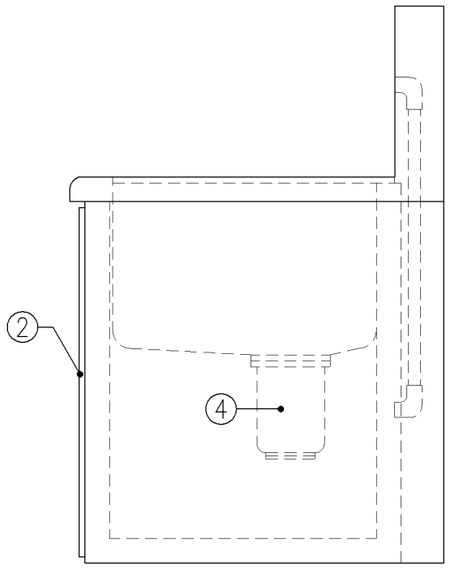
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
W785 × D610 × H630

使用箇所
調理教室

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304−1.0t
②	幕板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AVP用　ゴミ収納付
⑤	給水横引管	20A VA
⑥	給水竪引管	20A VA
⑦	給湯竪引管	20A HVA

金　物

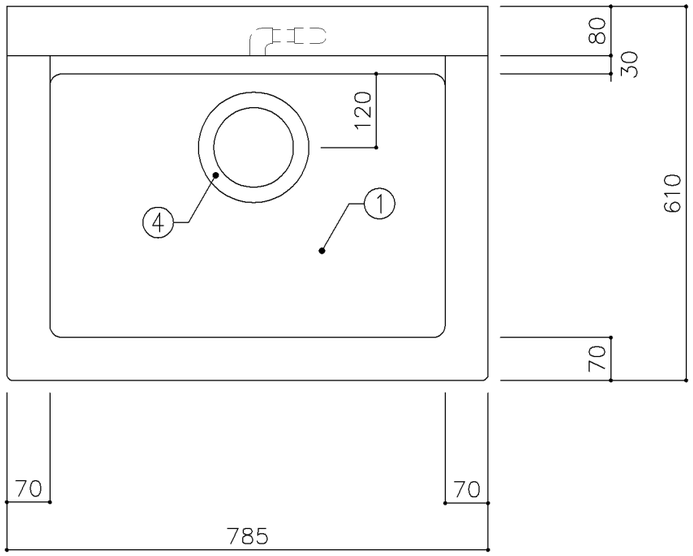
番号	使用箇所	名称

特記事項

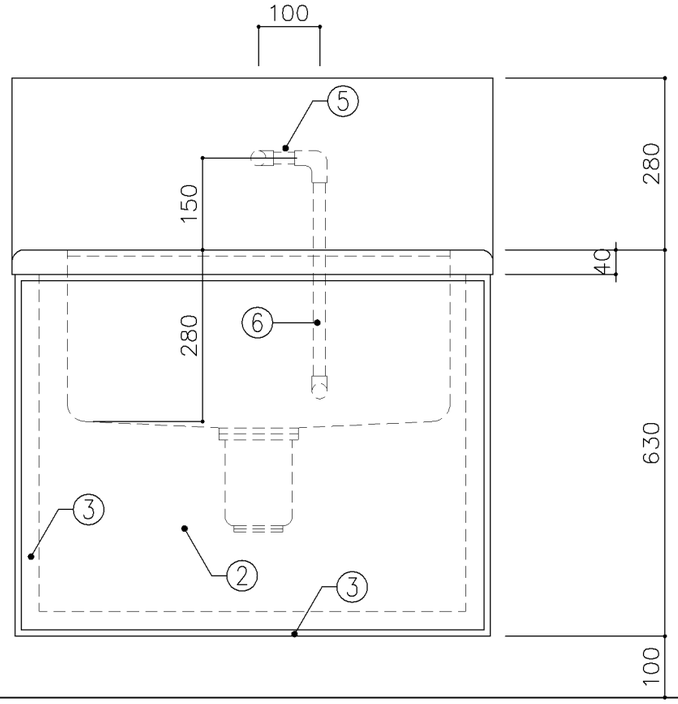
混合×1

名称	清掃用流し（給湯付）		
縮尺	1／10	記号	G−111A
設計年月日		令和2年2月	

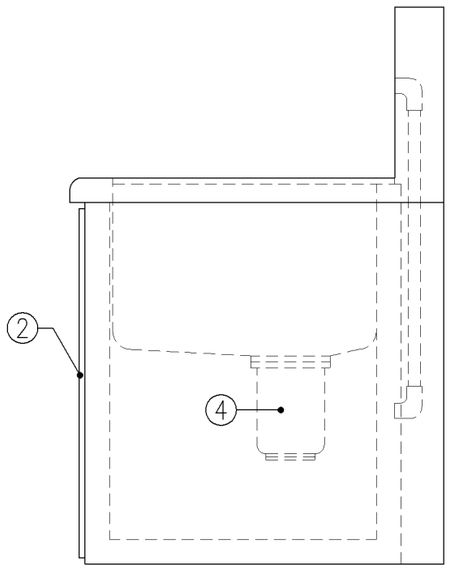
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
W785 × D610 × H630

使用箇所
被服教室（多目的）

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304−1.0t
②	幕板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AVP用　ゴミ収納付
⑤	給水横引管	20A VA
⑥	給水竪引管	20A VA

金　物

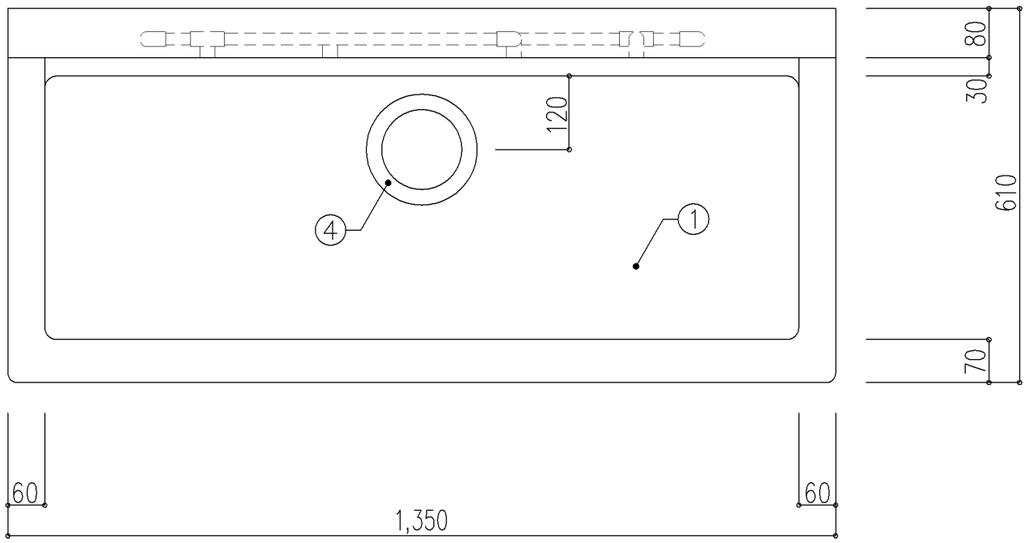
番号	使用箇所	名称

特記事項

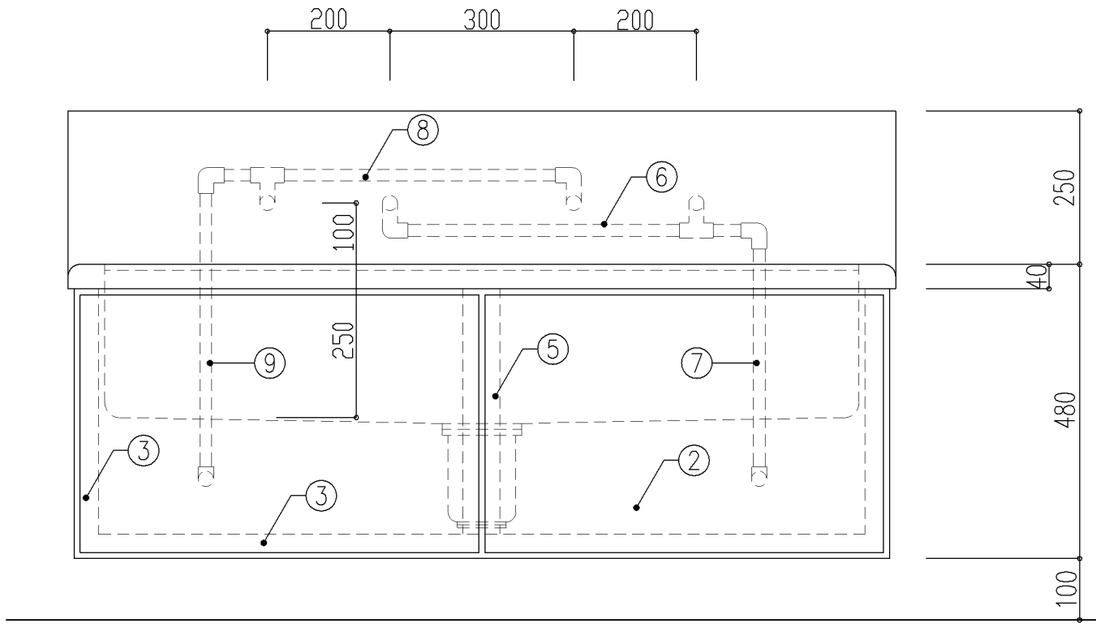
給水×1

名称	清掃用流し		
縮尺	1／10	記号	G−111B
設計年月日		令和2年2月	

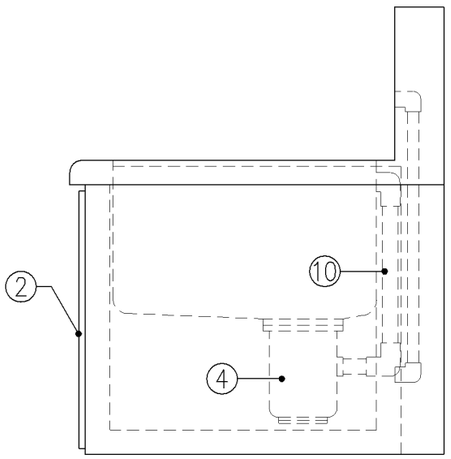
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
W1,350 × D610 × H480

使用箇所
個別支援学級教室（第二学習室）（小学校）

仕　様

番号	名　称	材　質
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t
②	幕板	SUS 304-1.0t
③	骨組	SUS 430-L3x40x40
④	排水トラップ	50T14A0CVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430-1.5tx60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水竪引管	20A VA
⑧	給湯横引管	20A HVA
⑨	給湯竪引管	20A HVA
⑩	オーバーフロー	20Aストレーナー付

金物及びその他

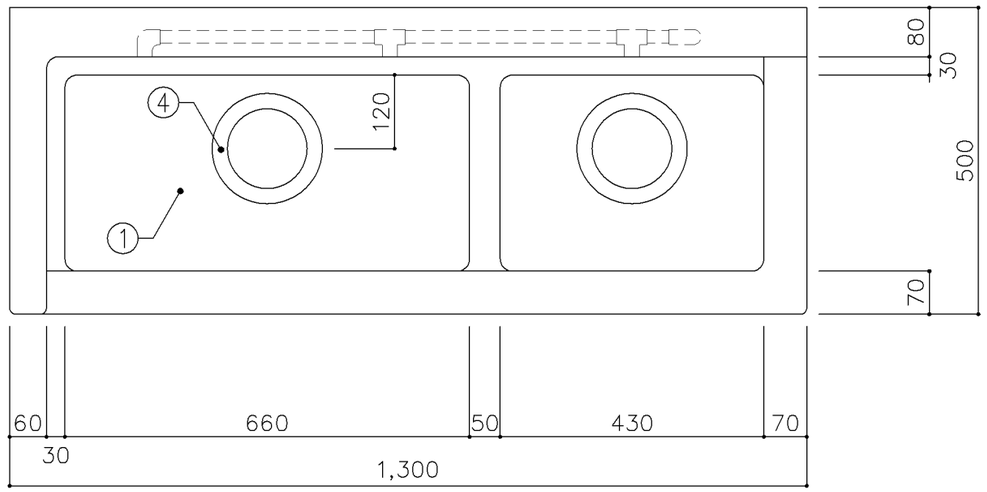
番号	使用箇所	名　称

特記事項

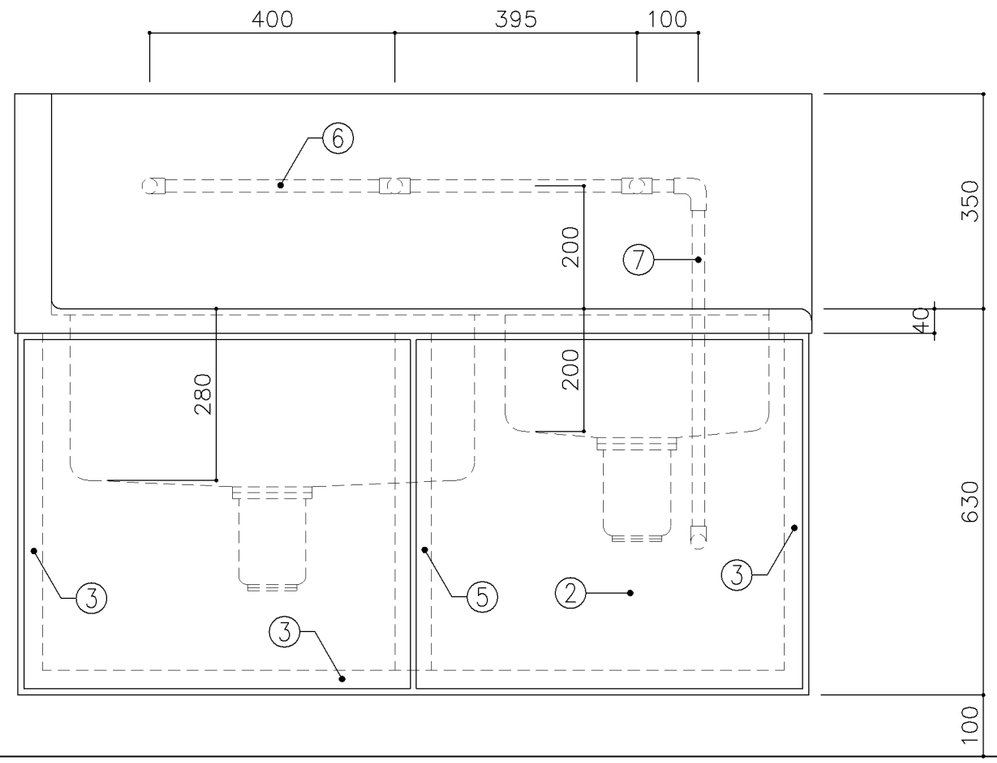
・混合x2

名称	清掃用流し（給湯付）		
縮尺	1/10	記号	G−112
設計年月日			令和2年2月

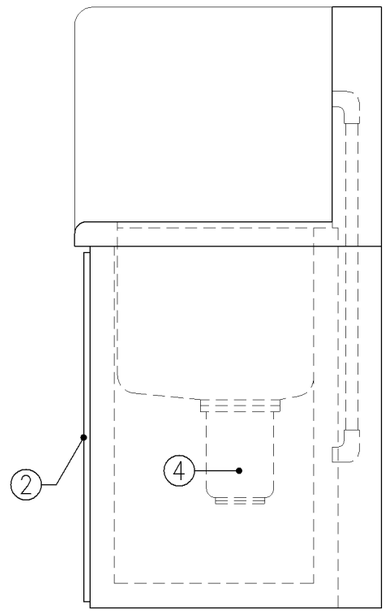
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
W1,300 × D500 × H630

使用箇所
倉庫

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304−1.0t
②	幕板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AVP用　ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430−1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水竪引管	20A VA

金　物

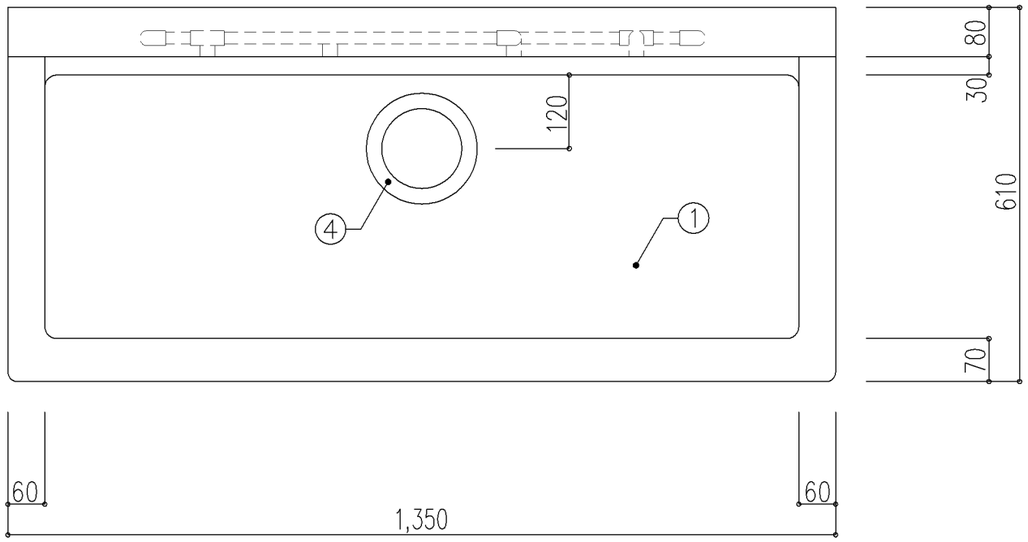
番号	使用箇所	名称

特記事項

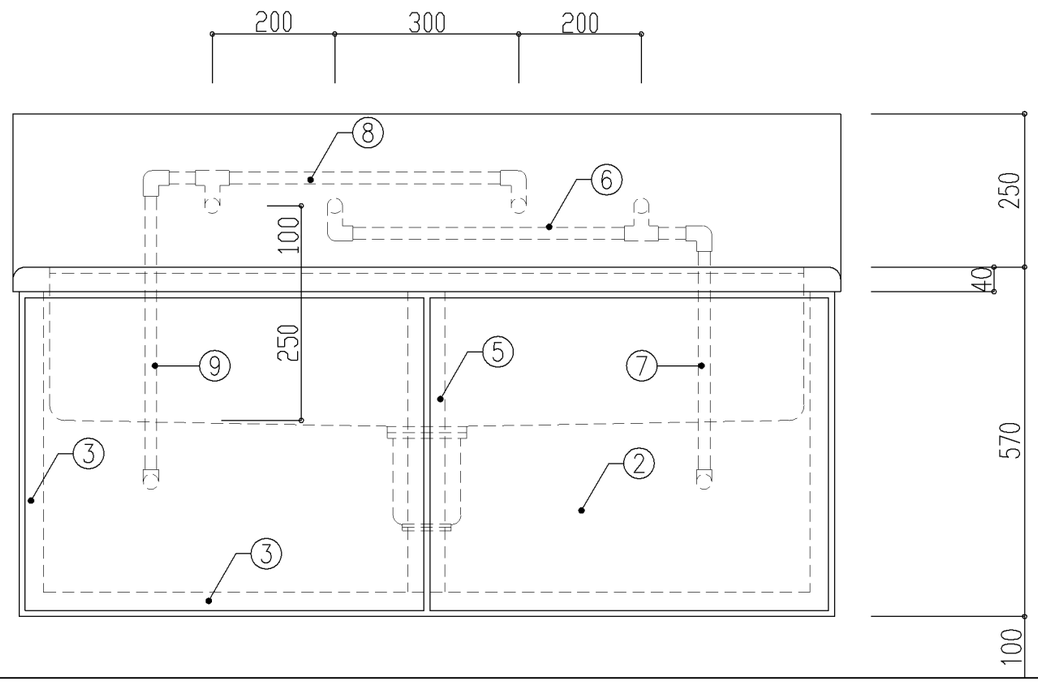
給水×3

名称	清掃用二槽流し		
縮尺	1/10	記号	G−113
設計年月日		令和2年2月	

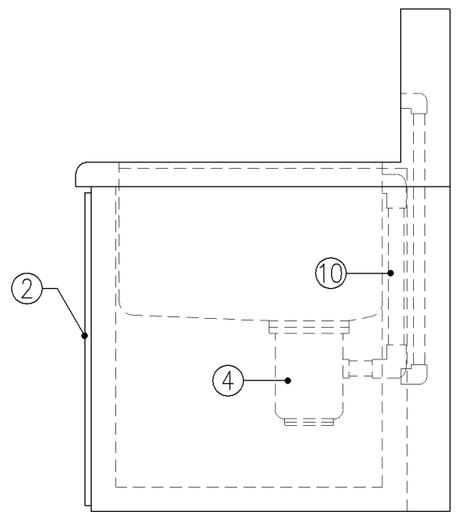
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
W1,350 × D610 × H570

使用箇所
個別支援学級教室（第二学習室）（中学校）

仕　様

番号	名　称	材　質
①	甲板・水槽	SUS 304-1.0t
②	幕板	SUS 304-1.0t
③	骨組	SUS 430-L3x40x40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430-1.5tx60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水竪引管	20A VA
⑧	給湯横引管	20A HVA
⑨	給湯竪引管	20A HVA
⑩	オーバーフロー	20Aストレーナー付

金物及びその他

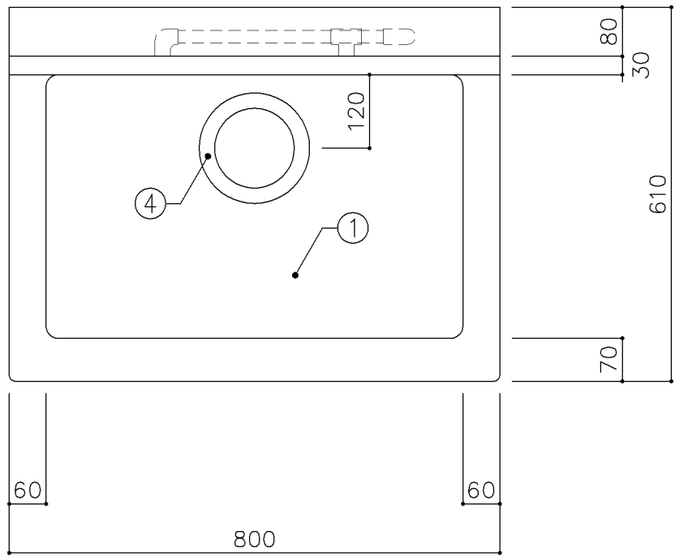
番号	使用箇所	名　称

特記事項

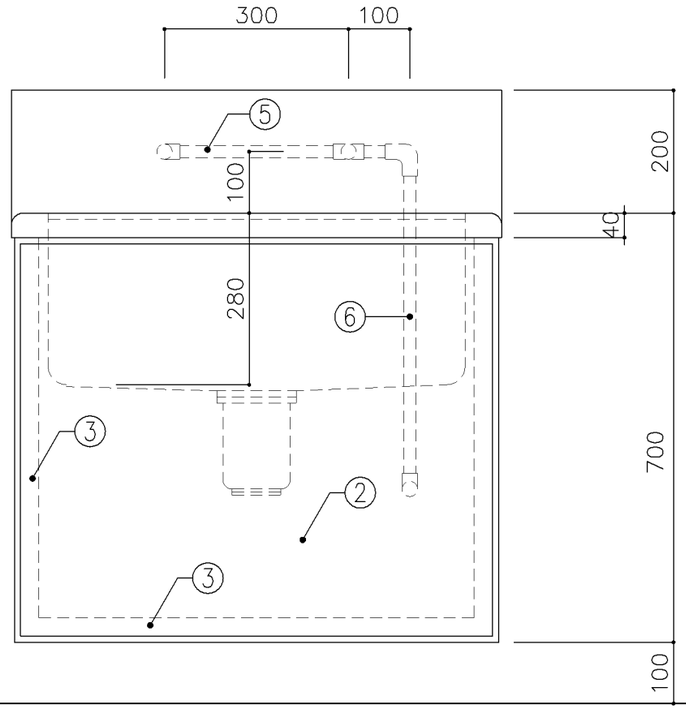
・混合x2

名称	清掃用流し（給湯付）		
縮尺	1/10	記号	G－114
設計年月日			令和2年2月

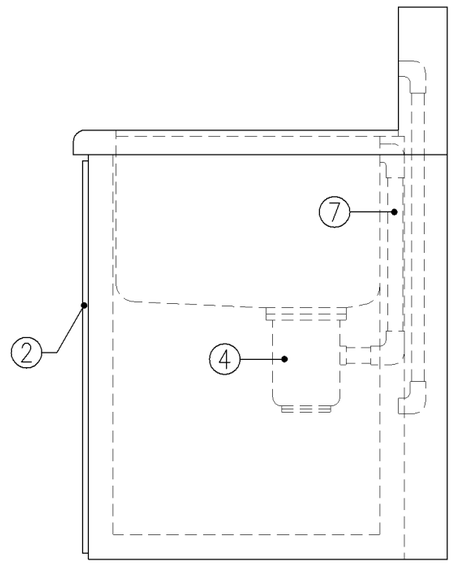
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
W800 × D610 × H700

使用箇所
図画工作準備室

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304−1.0t
②	幕板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	給水横引管	20A VA
⑥	給水竪引管	20A VA
⑦	オーバーフロー	25Aストレーナー付

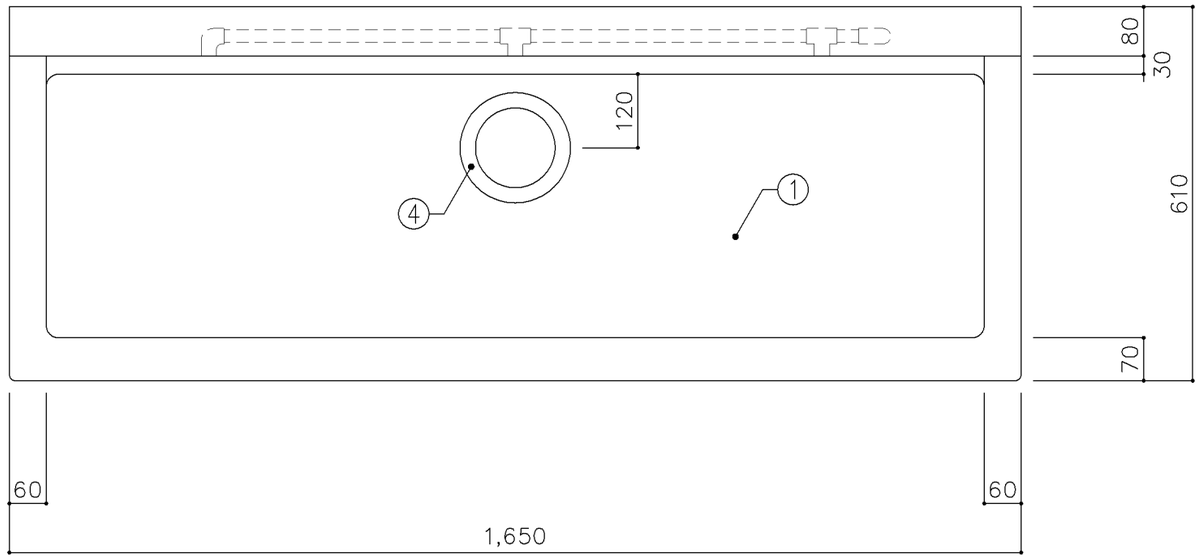
金　物

番号	使用箇所	名称

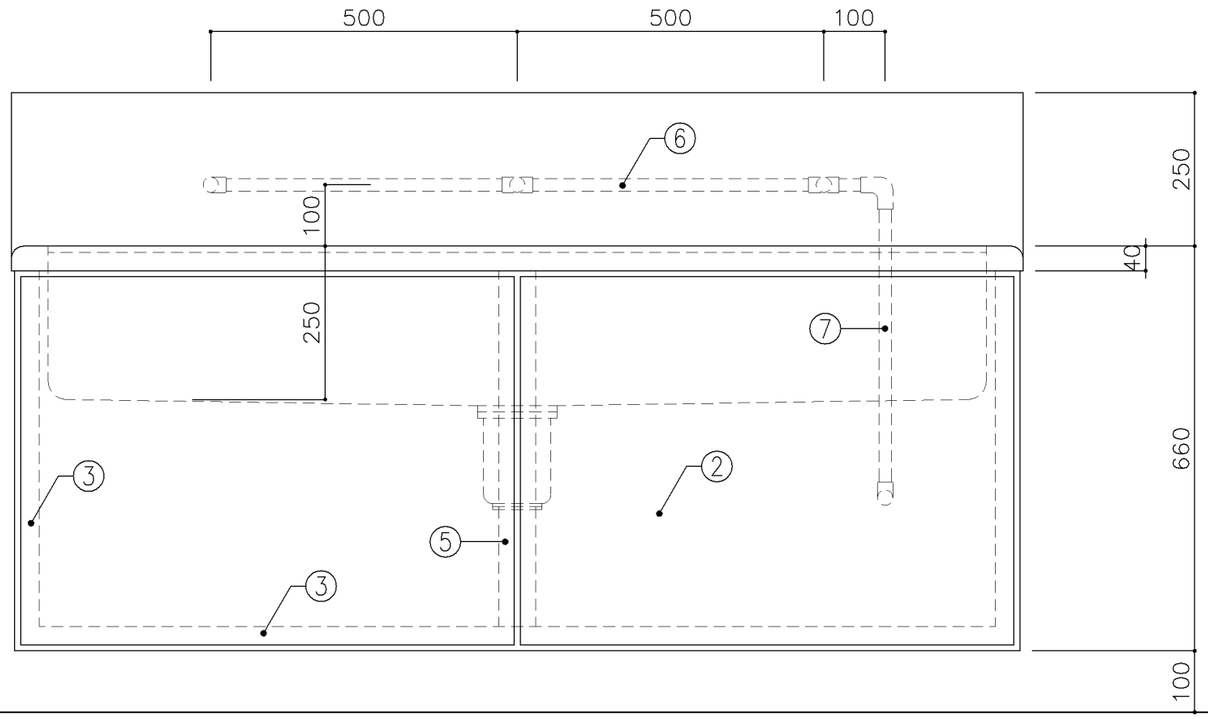
特記事項
給水×2

名称	一槽流し		
縮尺	1／10	記号	G−120
設計年月日		令和2年2月	

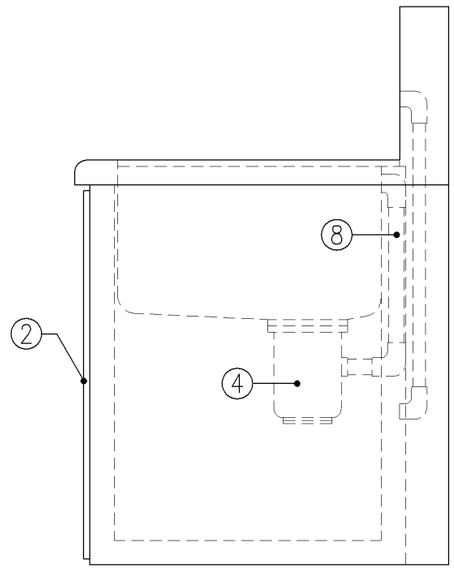
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
W1,650 × D610 × H660

使用箇所
美術教室

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304−1.0t
②	幕板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430−1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水竪引管	20A VA
⑧	オーバーフロー	25Aストレーナー付

金　物

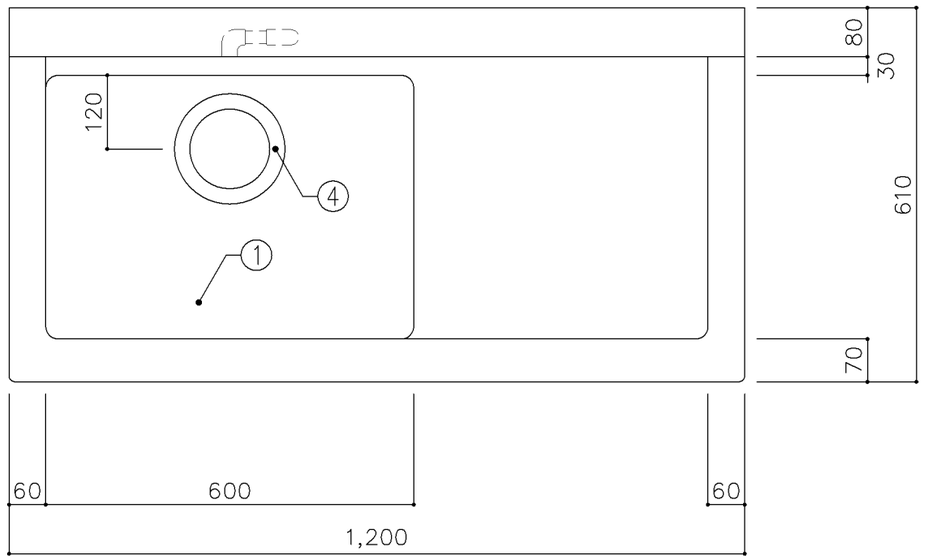
番号	使用箇所	名称

特記事項

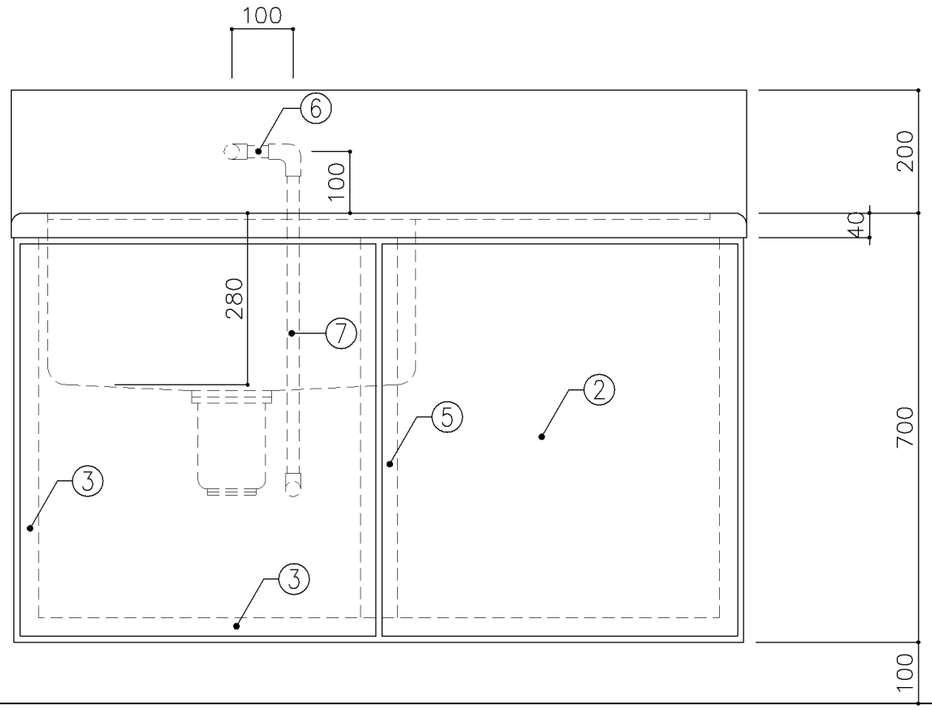
給水×3

名称	一槽流し		
縮尺	1／10	記号	G−121
設計年月日	令和2年2月		

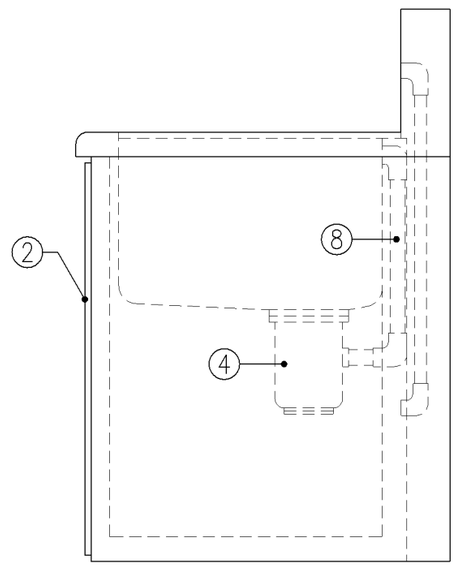
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
W1,200 × D610 × H700

使用箇所
美術準備室

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304−1.0t
②	幕板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430−1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水竪引管	20A VA
⑧	オーバーフロー	25Aストレーナー付

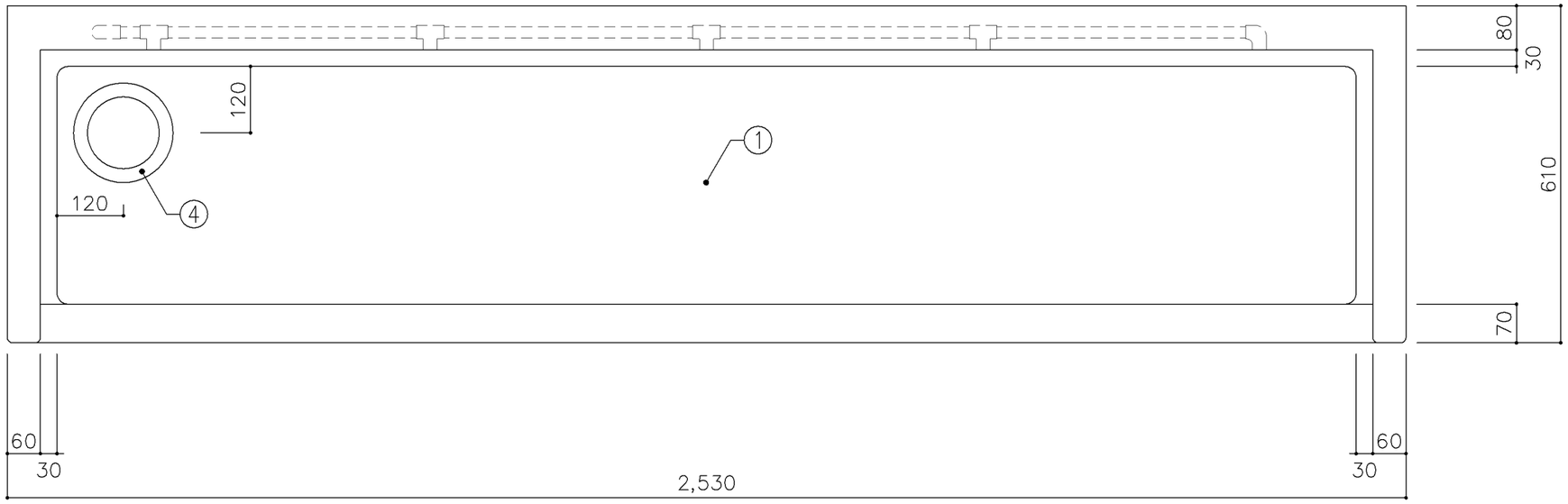
金　物

番号	使用箇所	名称

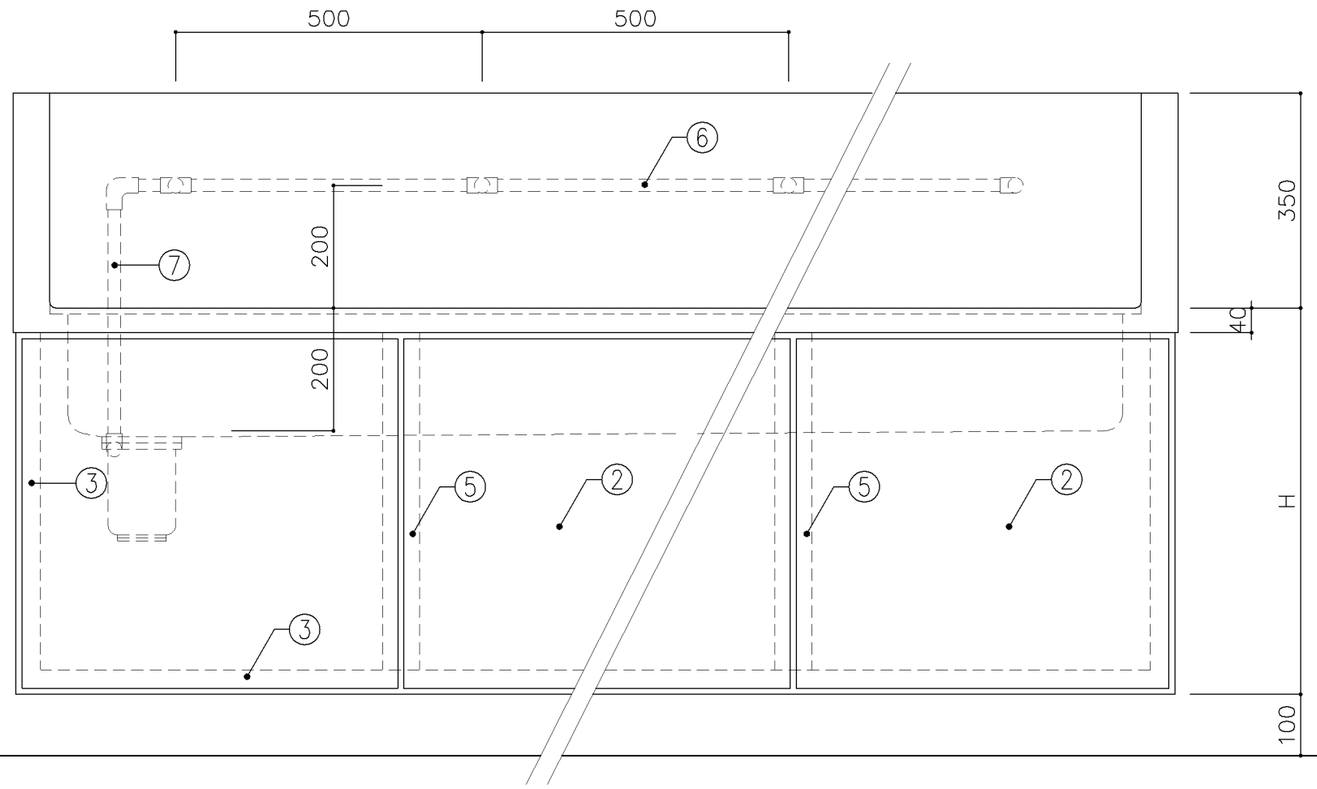
特記事項
給水×1

名称	作業台付一槽流し		
縮尺	1／10	記号	G−122
設計年月日		令和2年2月	

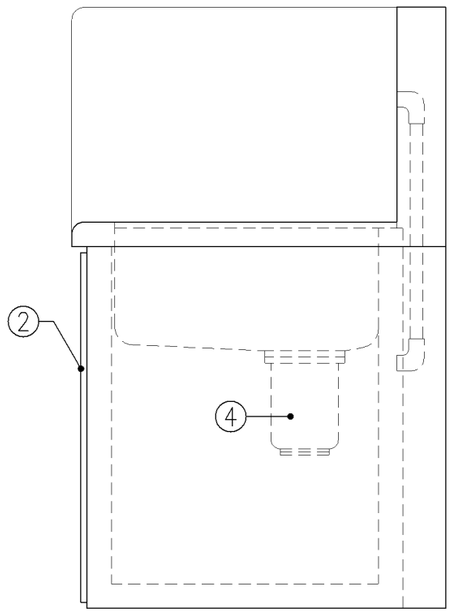
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
A：　W2,530　x　D610　x　H480
B：　W2,530　x　D610　x　H630

使用箇所
A：　階段室前（小学校）
B：　階段室前（中学校）

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304−1.0t
②	幕板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AVP用　ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430−1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水竪引管	20A VA

金　物

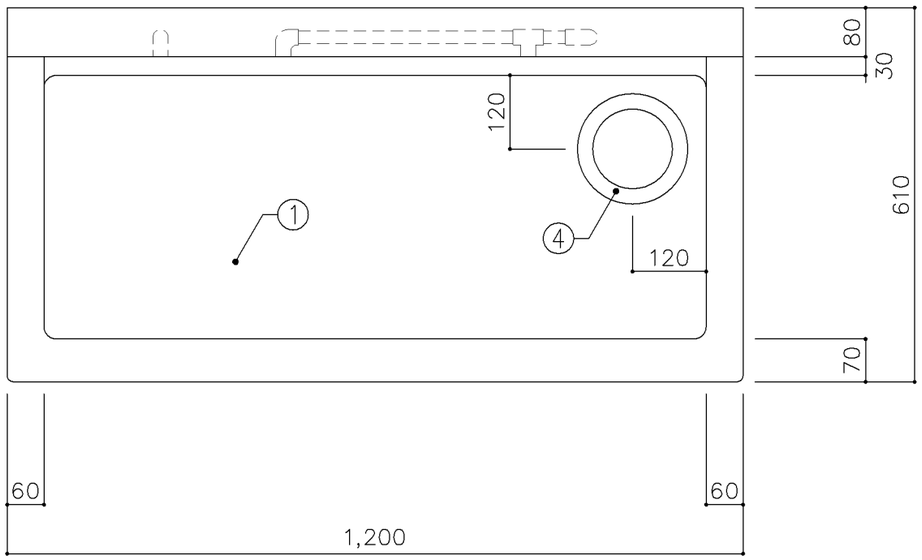
番号	使用箇所	名称

特記事項

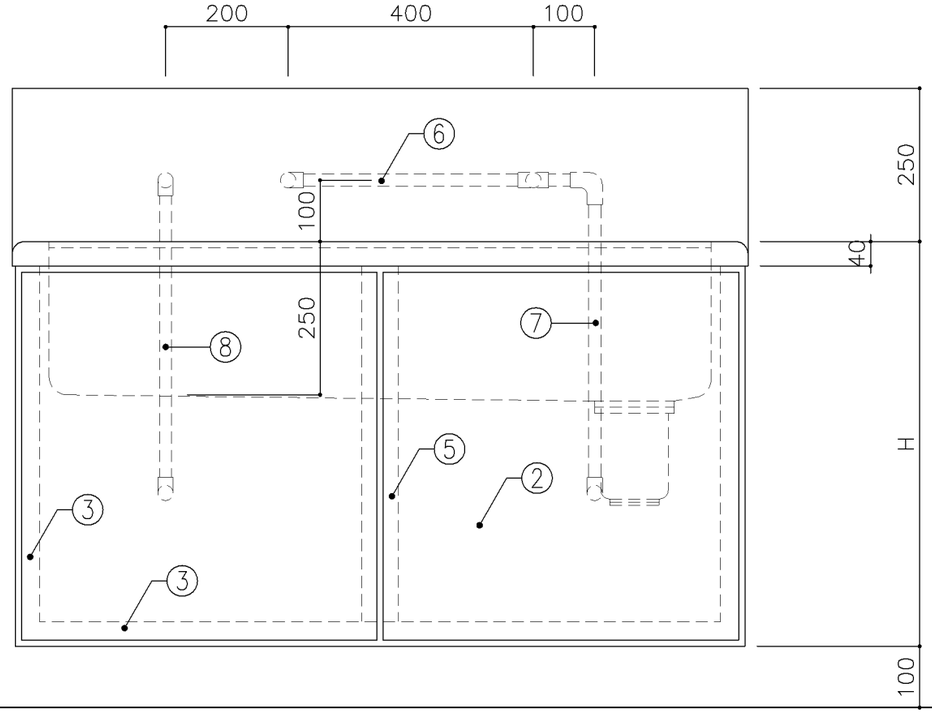
・W寸法は実施設計対応とする。
給水×5

名称	一槽手洗い流し		
縮尺	1／10	記号	G−123
設計年月日		令和2年2月	

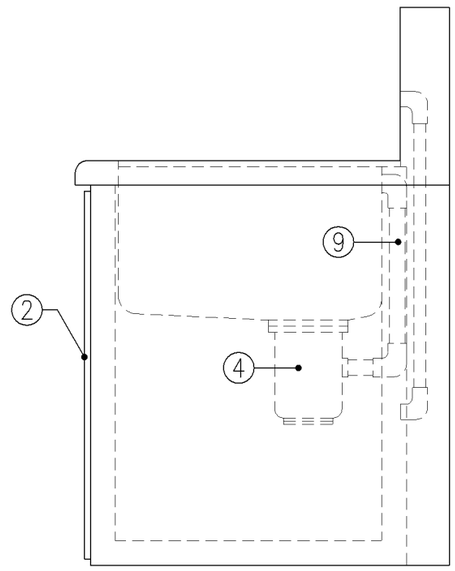
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
A：W1,200 x D610 x H570
B：W1,200 x D610 x H660

使用箇所
A：家庭科教室
B：調理教室

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304−1.0t
②	幕板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430−1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水竪引管	20A VA
⑧	給湯竪引管	20A HVA
⑨	オーバーフロー	25Aストレーナー付

金　物

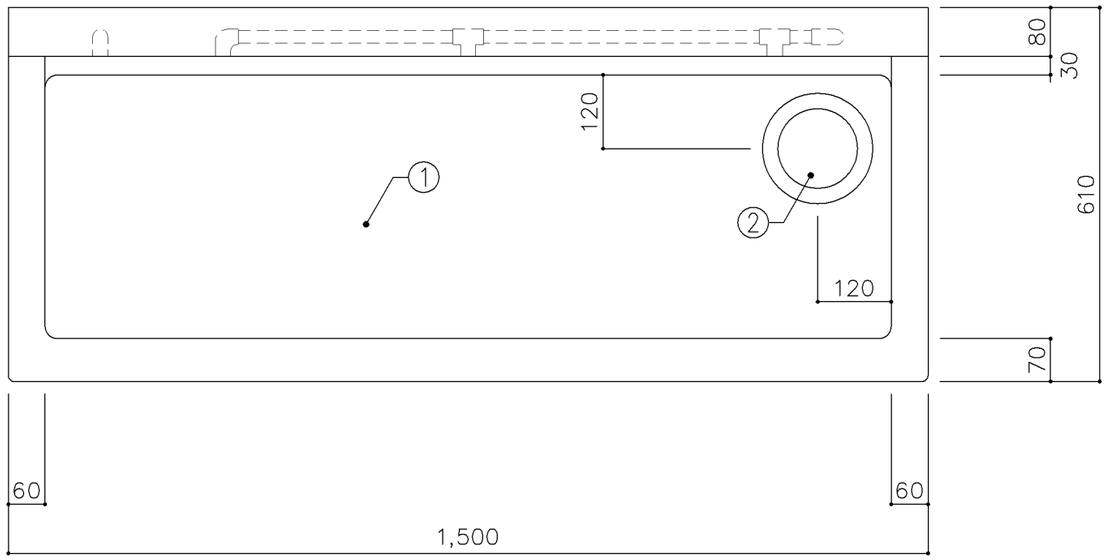
番号	使用箇所	名称

特記事項

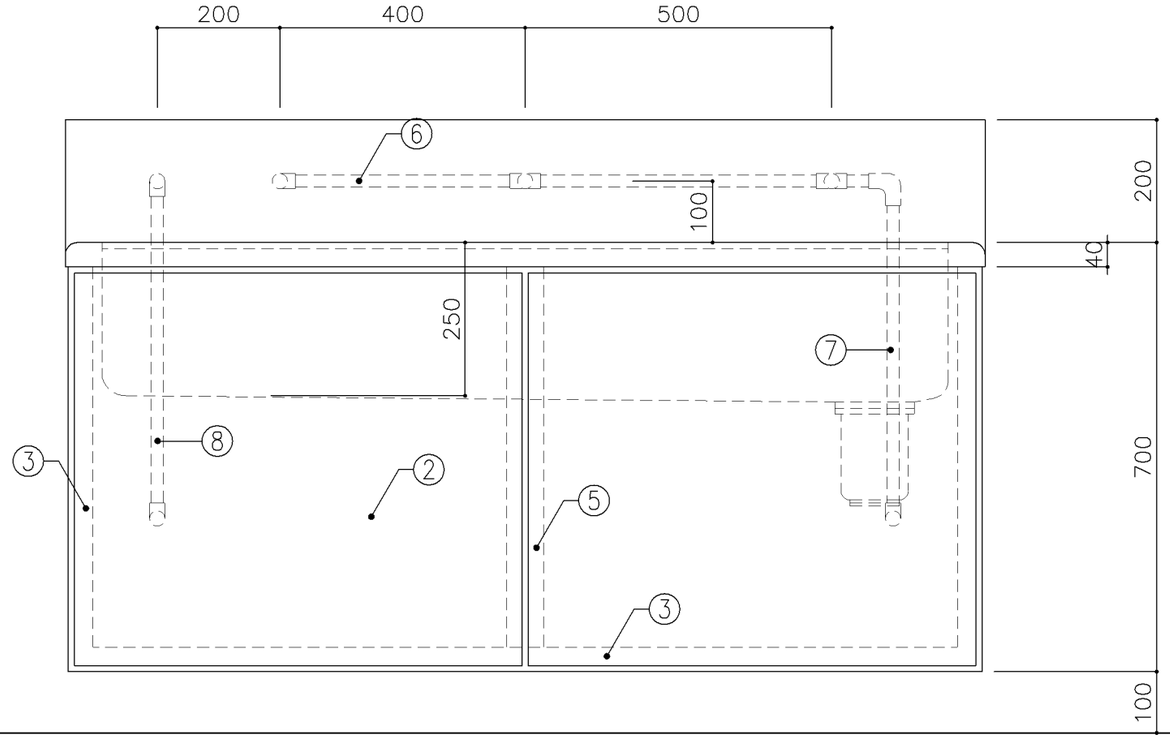
給水×1
混合×1（左）

名称	一槽流し（給湯付）		
縮尺	1／10	記号	G−130
設計年月日		令和2年2月	

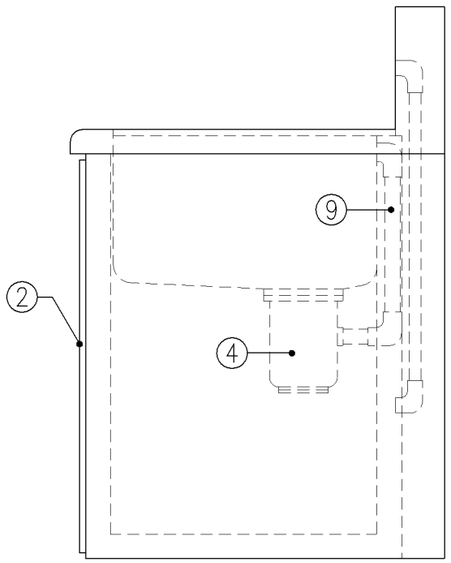
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
W1,500 × D610 × H700

使用箇所
理科準備室

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304−1.0t
②	幕板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430−1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水竪引管	20A VA
⑧	給湯竪引管	20A HVA
⑨	オーバーフロー	25Aストレーナー付

金　物

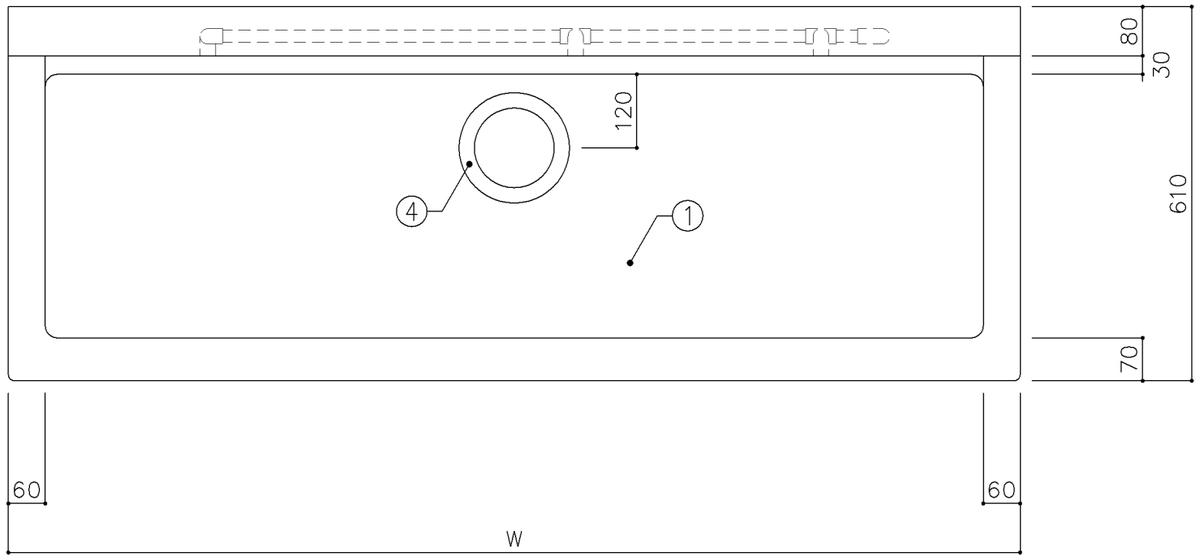
番号	使用箇所	名称

特記事項

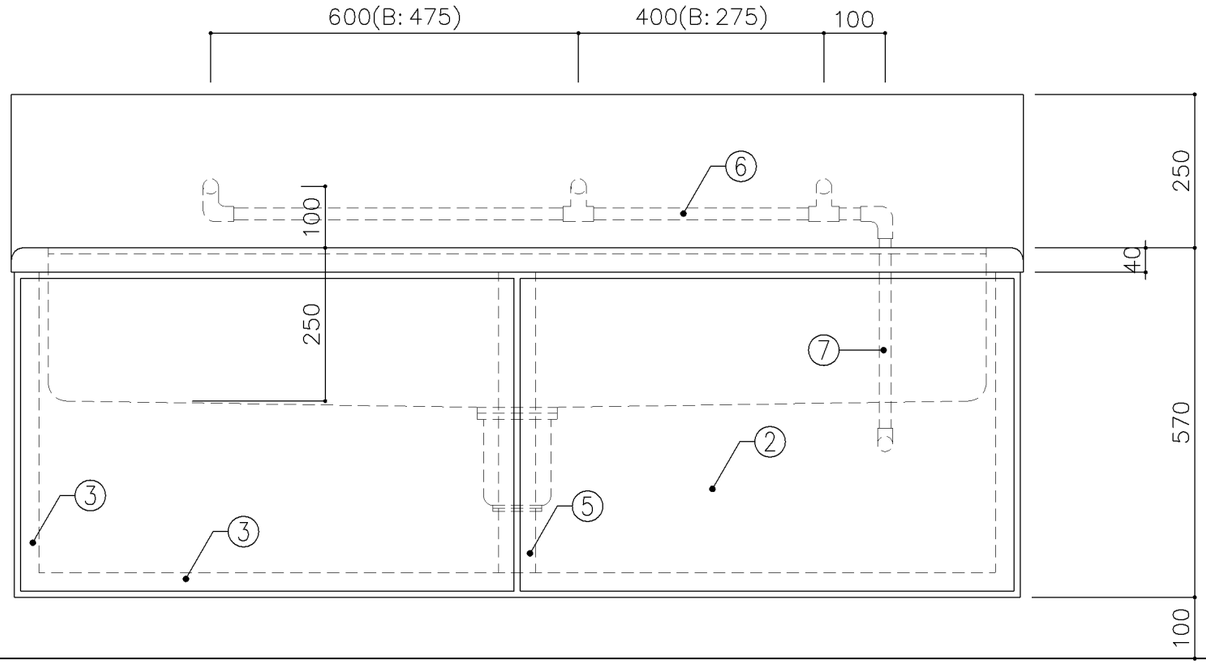
給水×2
混合×1（左）

名称	一槽流し（給湯付）		
縮尺	1／10	記号	G−131
設計年月日		令和2年2月	

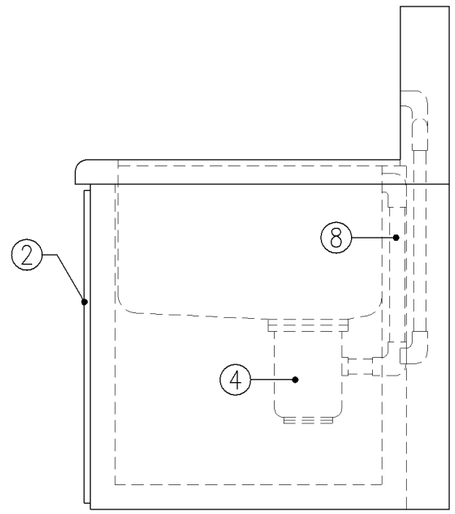
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
A：　W1,650　x　D610　x　H570
B：　W1,400　x　D610　x　H570

使用箇所
A：　図画工作教室
B：　多目的室（水廻り学習等）

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304−1.0t
②	幕板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430−1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水竪引管	20A VA
⑧	オーバーフロー	25Aストレーナー付

金　物

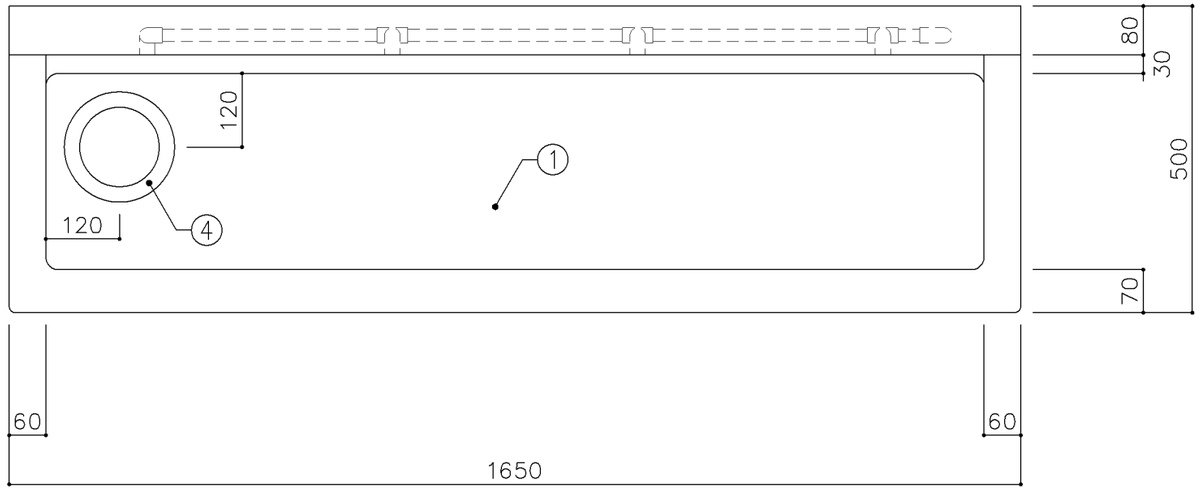
番号	使用箇所	名称

特記事項

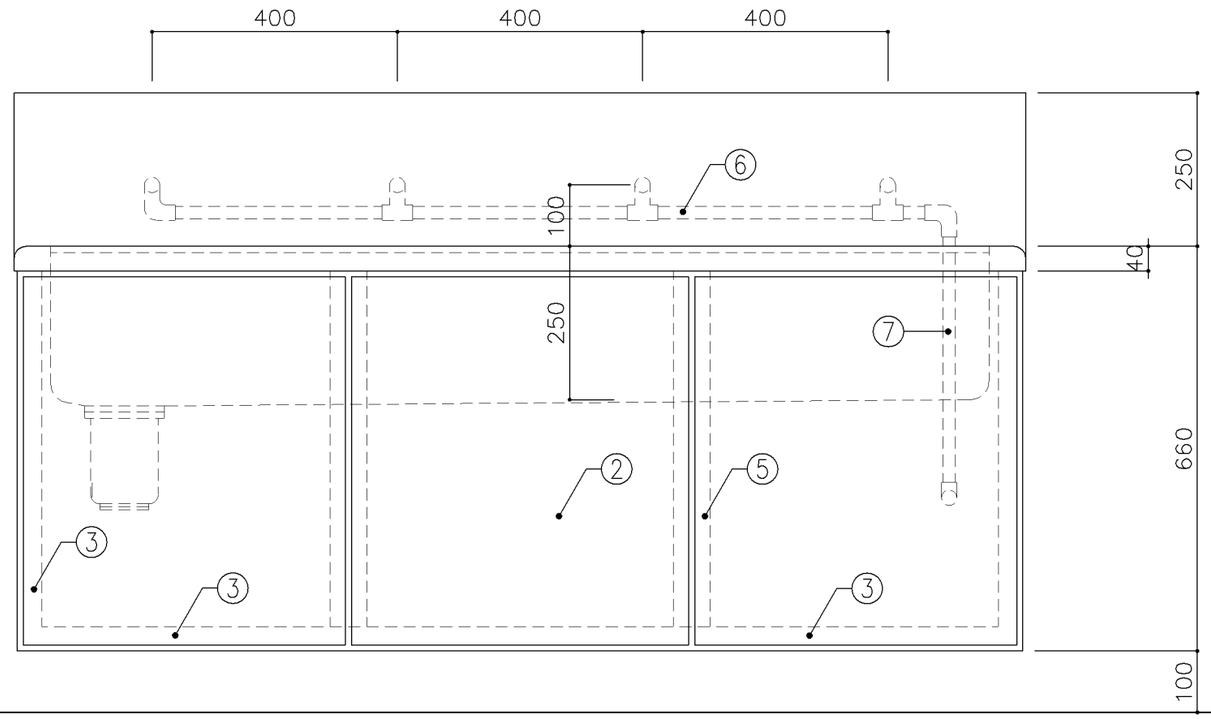
給水×3

名称	一槽流し		
縮尺	1／10	記号	G−132
設計年月日		令和2年2月	

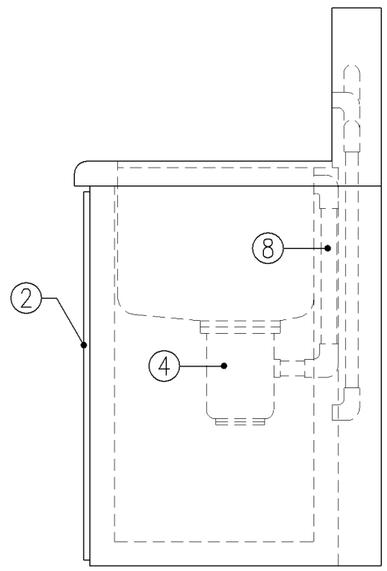
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
W1,650 × D500 × H660

使用箇所
金工・木工教室

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304−1.0t
②	幕板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430−1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水竪引管	20A VA
⑧	オーバーフロー	25Aストレーナー付

金　物

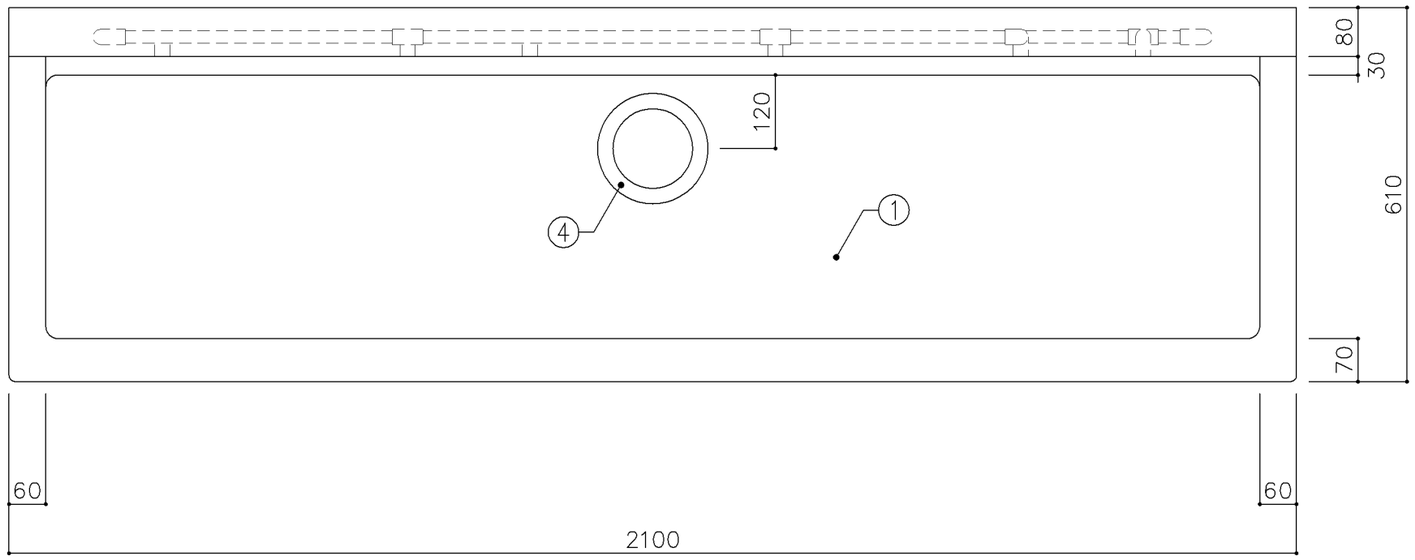
番号	使用箇所	名称

特記事項

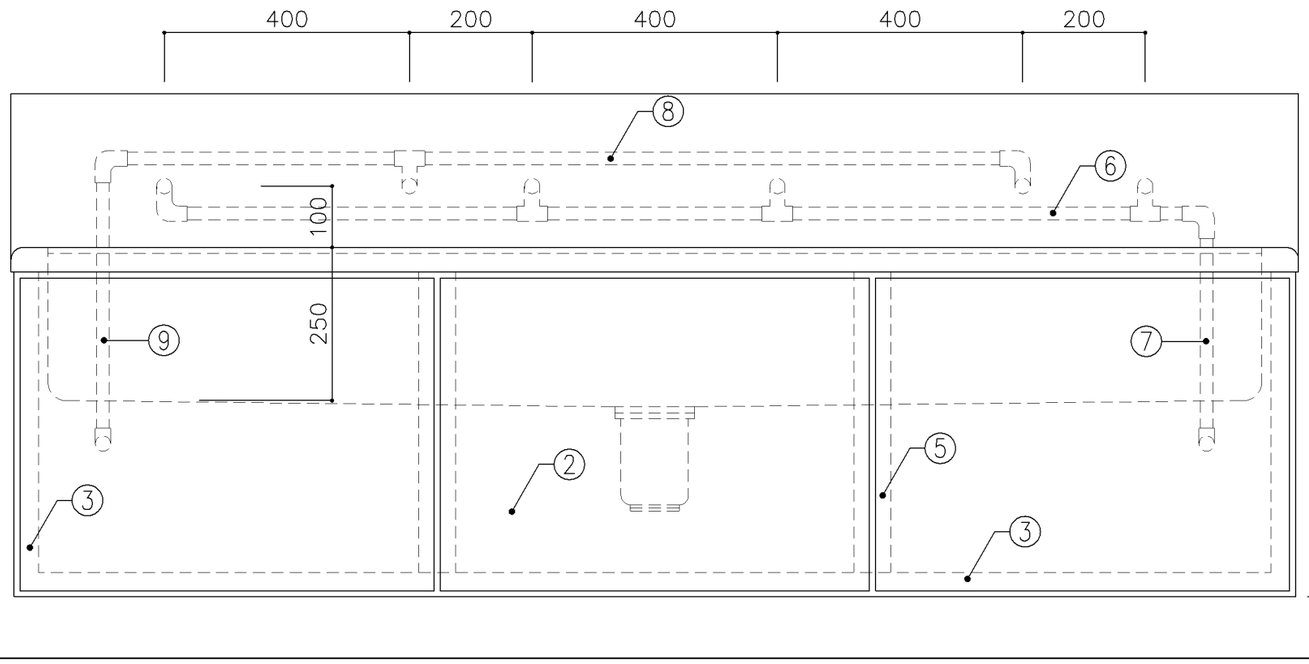
給水×4

名称	一槽流し		
縮尺	1／10	記号	G−133
設計年月日	令和2年2月		

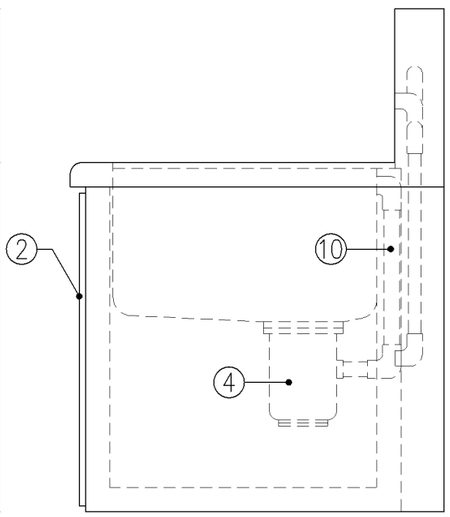
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
A：　W2,100　x　D610　x　H570
B：　W2,100　x　D610　x　H660

使用箇所
A：　家庭科教室
B：　調理教室

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304−1.0t
②	幕板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430−1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水竪引管	20A VA
⑧	給湯横引管	20A HVA
⑨	給湯竪引管	20A HVA
⑩	オーバーフロー	25Aストレーナー付

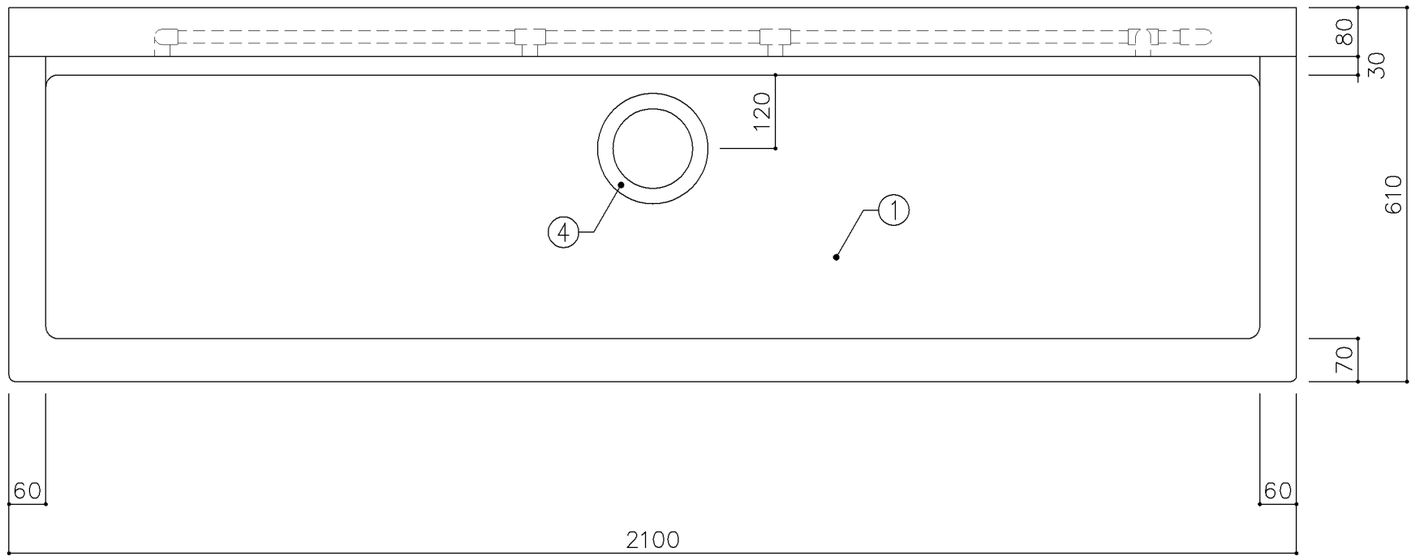
金　物

番号	使用箇所	名称

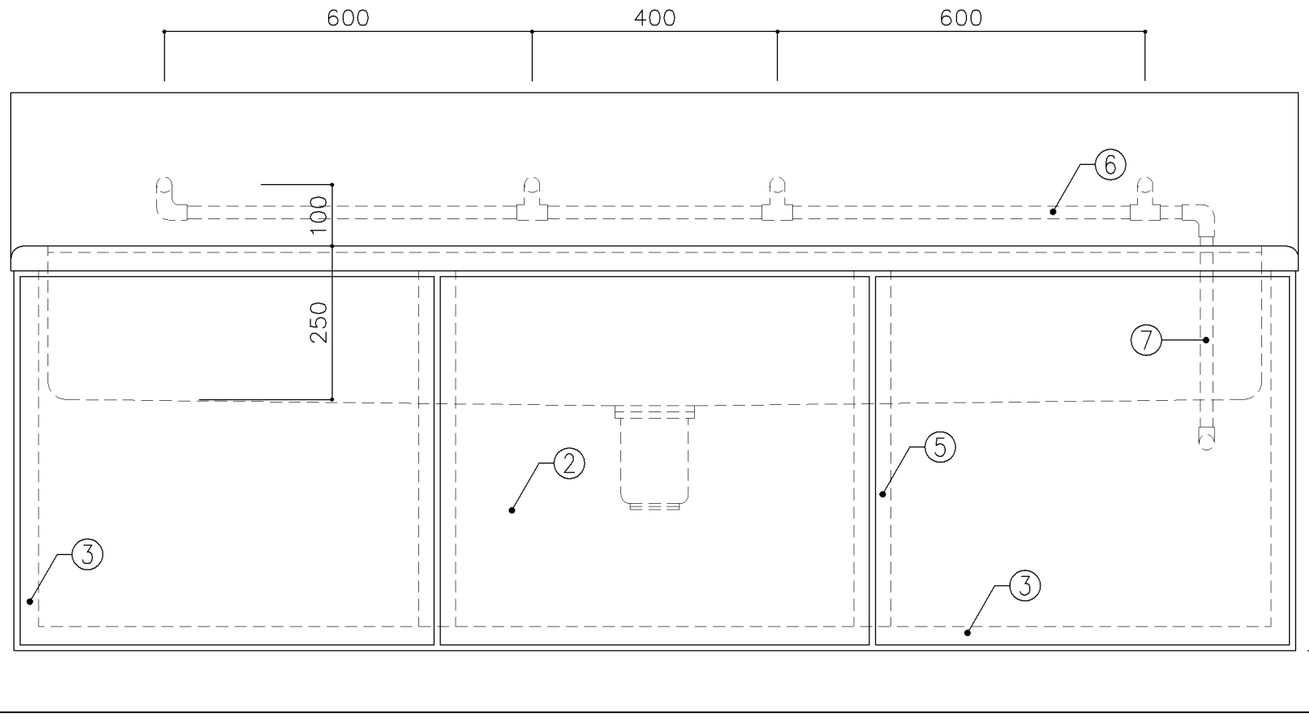
特記事項
給水×2
混合×2（交互）

名称	一槽流し（給湯付）		
縮尺	1／10	記号	G−134A・B
設計年月日		令和2年2月	

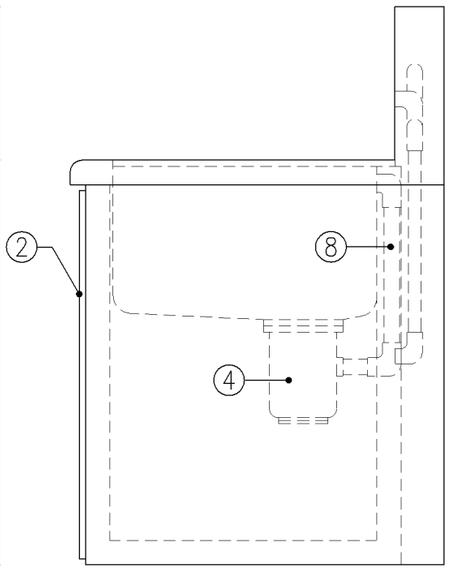
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
W2,100 × D610 × H660

使用箇所
被服教室（多目的）

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304−1.0t
②	幕板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430−1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水竪引管	20A VA
⑧	オーバーフロー	25Aストレーナー付

金　物

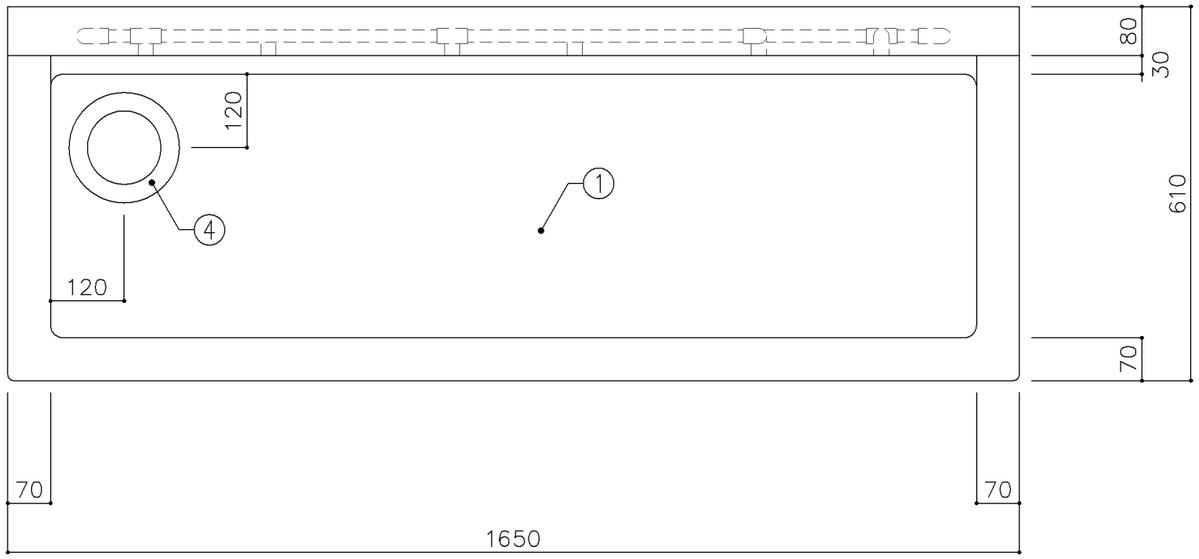
番号	使用箇所	名称

特記事項

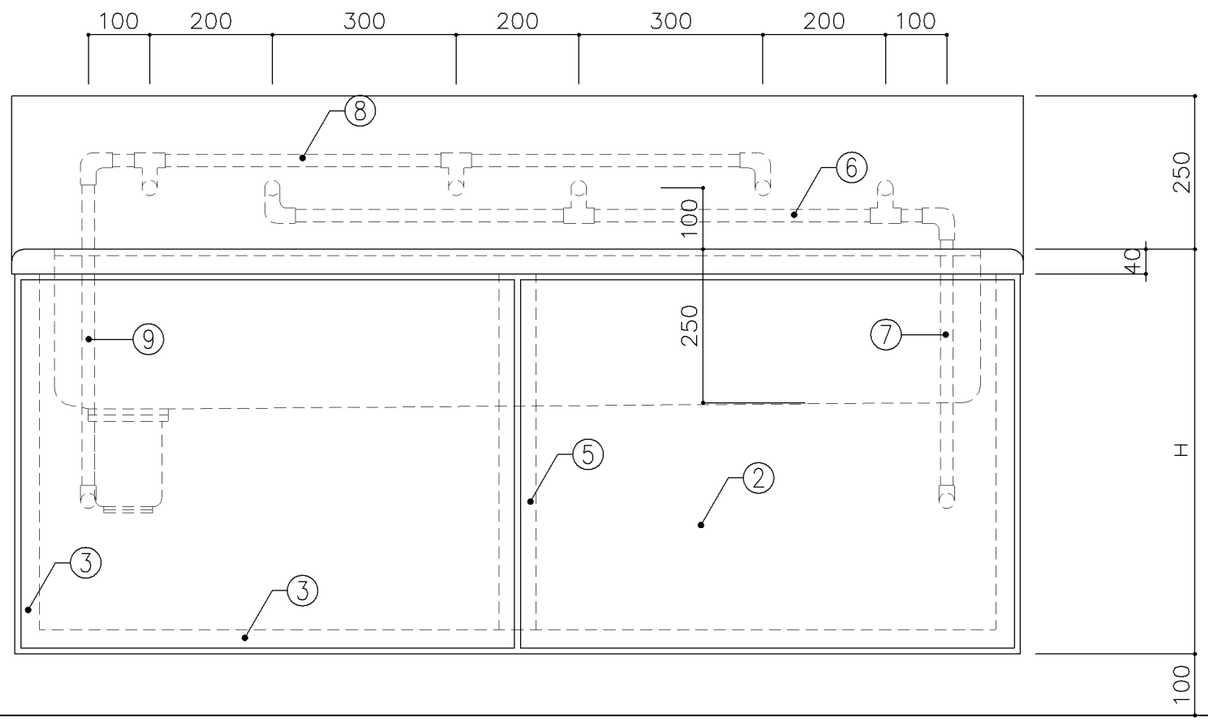
給水×4

名称	一槽流し		
縮尺	1／10	記号	G−134C
設計年月日	令和2年2月		

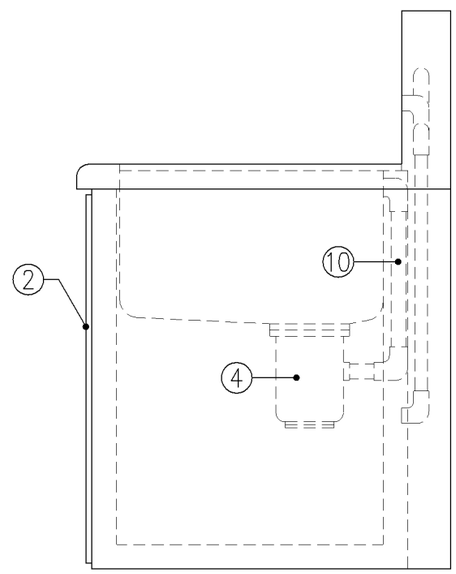
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
A：　W1,650　x　D610　x　H570
B：　W1,650　x　D610　x　H660

使用箇所
A：　理科教室（小学校）
B：　理科教室（中学校）

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304−1.0t
②	幕板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430−1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水竪引管	20A VA
⑧	給湯横引管	20A HVA
⑨	給湯竪引管	20A HVA
⑩	オーバーフロー	25Aストレーナー付

金　物

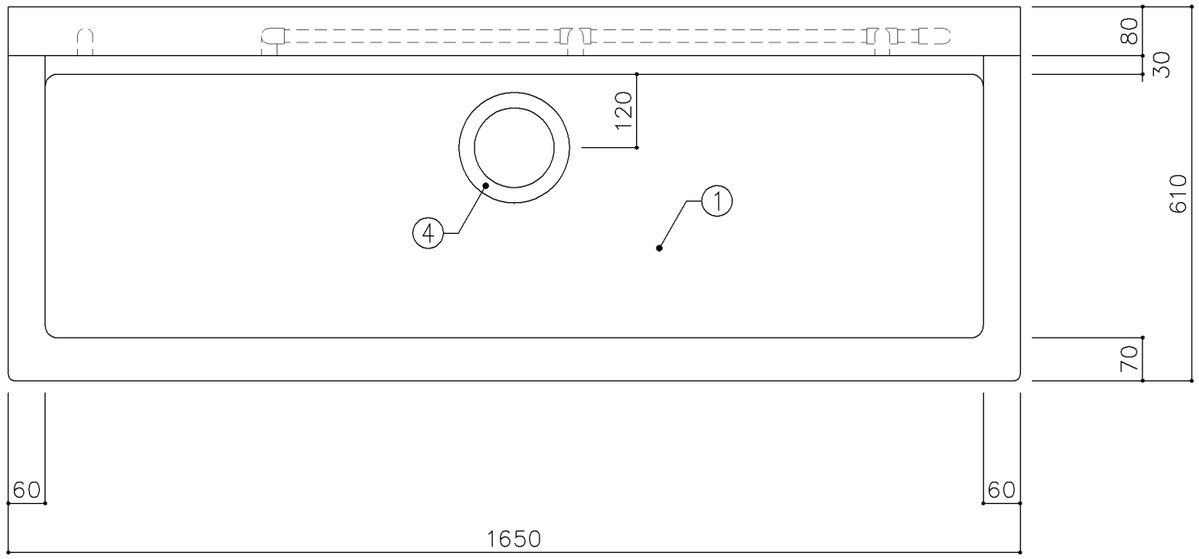
番号	使用箇所	名称

特記事項

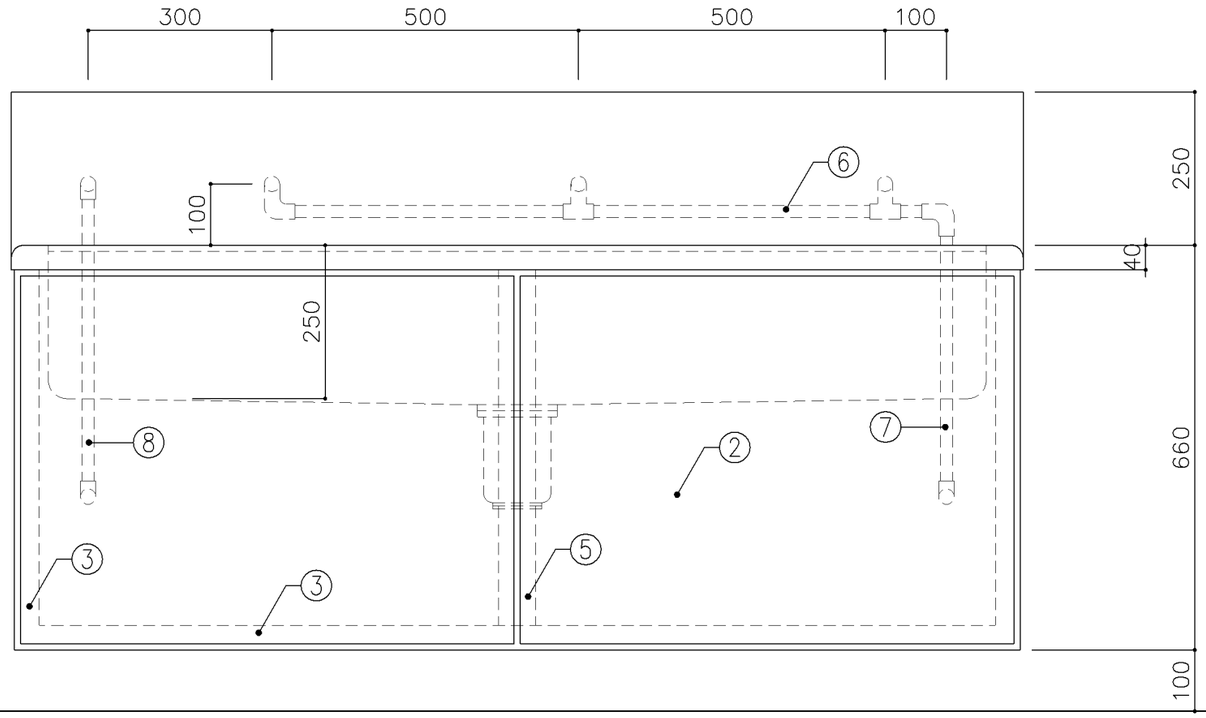
混合×3

名称	一槽流し（給湯付）		
縮尺	1／10	記号	G−135
設計年月日		令和2年2月	

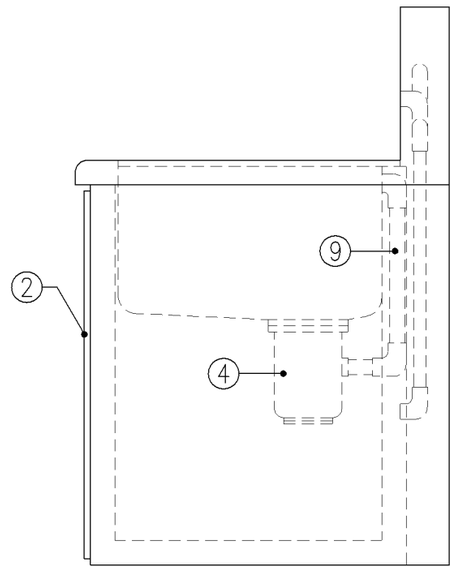
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
W1,650 × D610 × H660

使用箇所
美術教室

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304−1.0t
②	幕板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430−1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水竪引管	20A VA
⑧	給湯竪引管	20A HVA
⑨	オーバーフロー	25Aストレーナー付

金　物

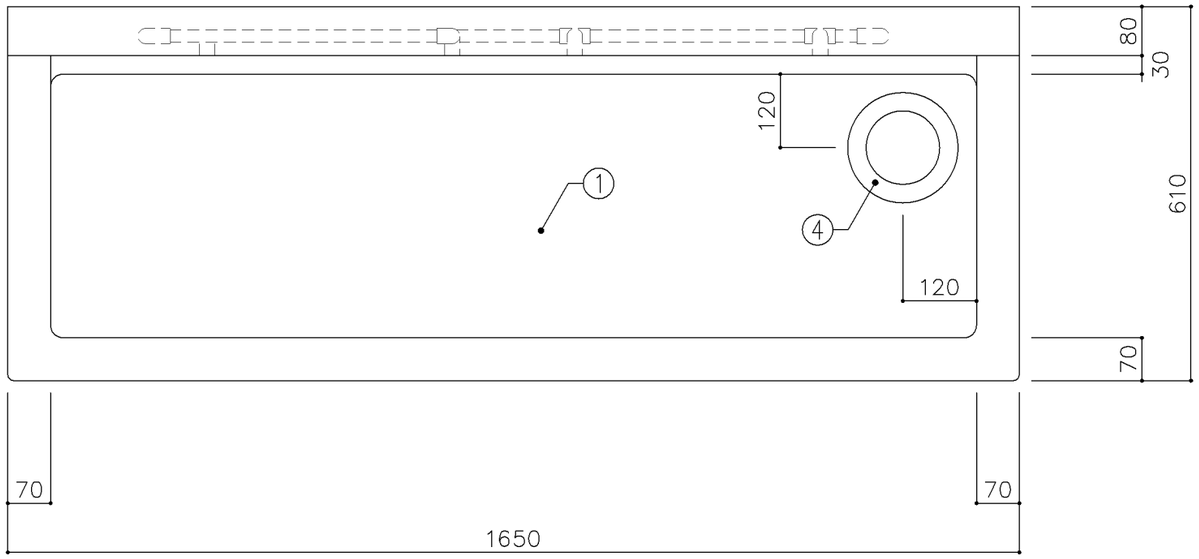
番号	使用箇所	名称

特記事項

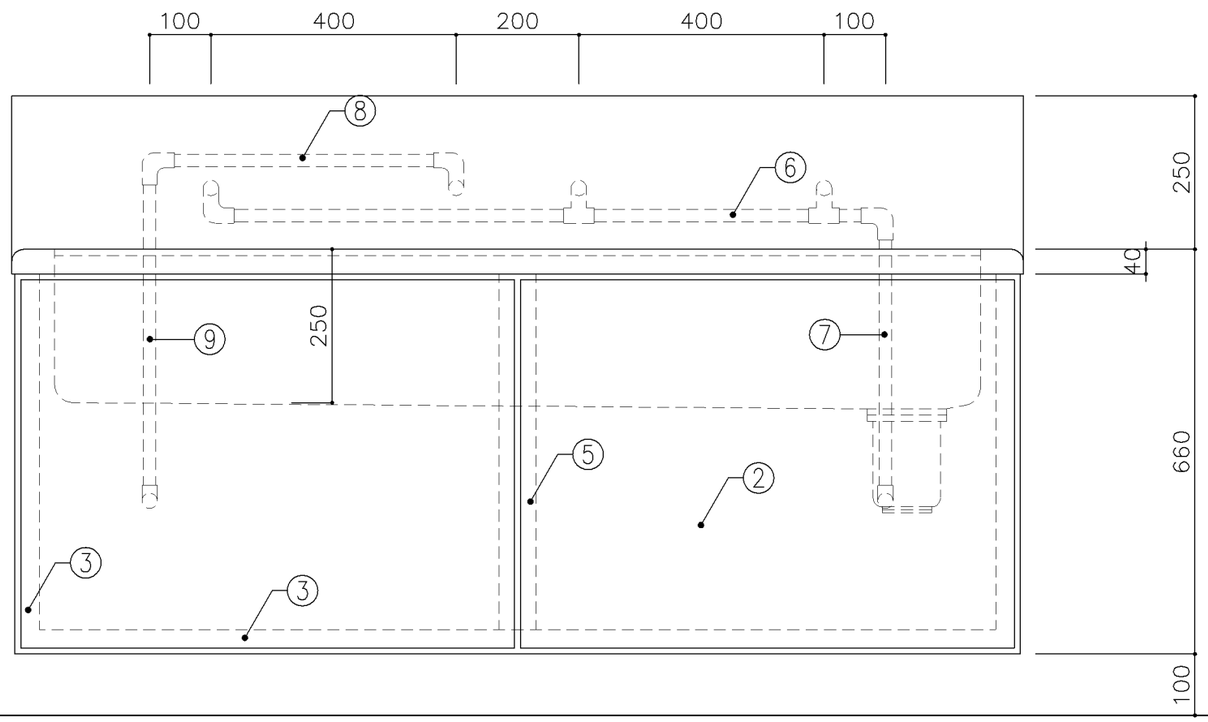
混合×1、給水×2

名称	一槽流し（給湯付）		
縮尺	1／10	記号	G−136
設計年月日		令和2年2月	

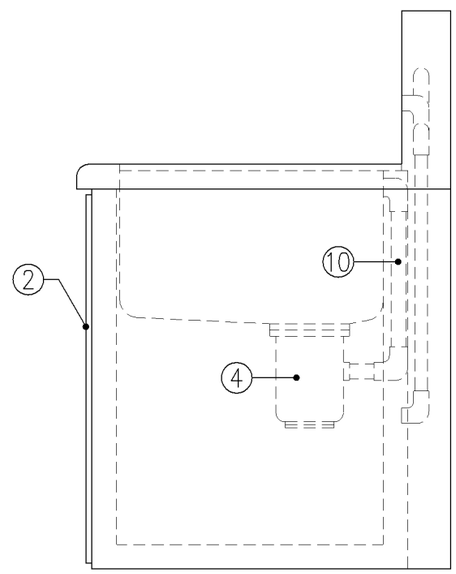
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
W1,650 × D610 × H660

使用箇所
個別支援教室（第二学習室）（中学校）

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304−1.0t
②	幕板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430−1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水竪引管	20A VA
⑧	給湯横引管	20A HVA
⑨	給湯竪引管	20A HVA
⑩	オーバーフロー	25Aストレーナー付

金　物

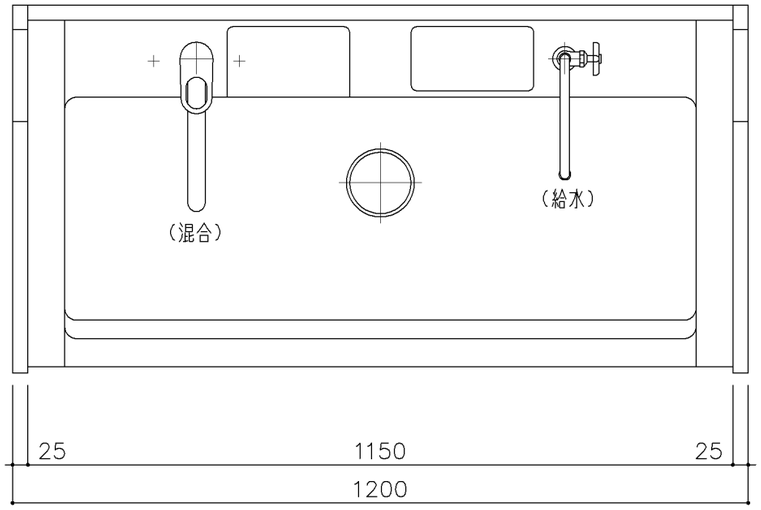
番号	使用箇所	名称

特記事項

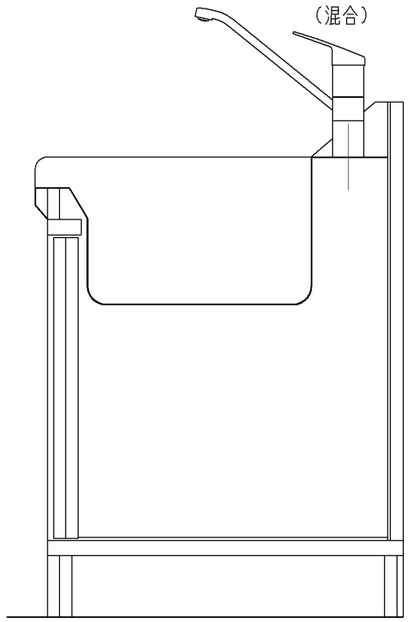
給水×2
混合×1（中央）

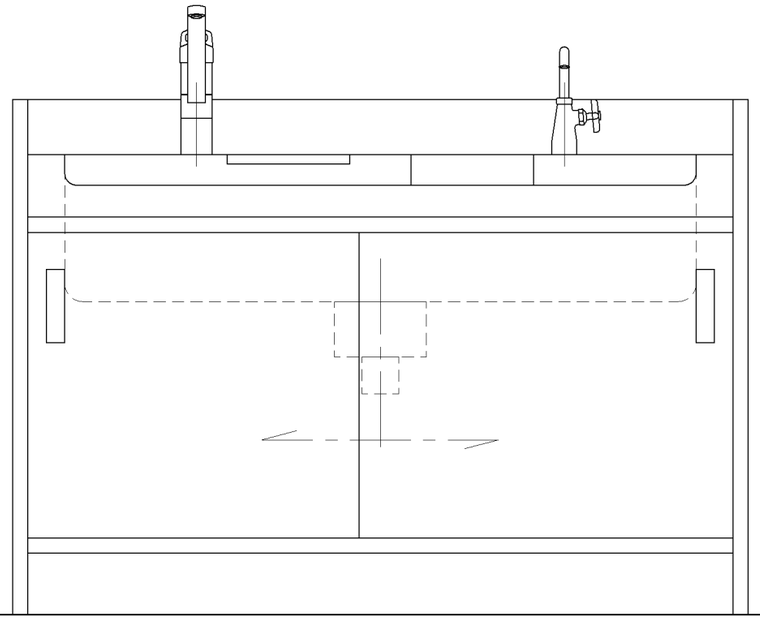
名称	一槽流し（給湯付）		
縮尺	1／10	記号	G−137
設計年月日		令和2年2月	

横浜市建築局

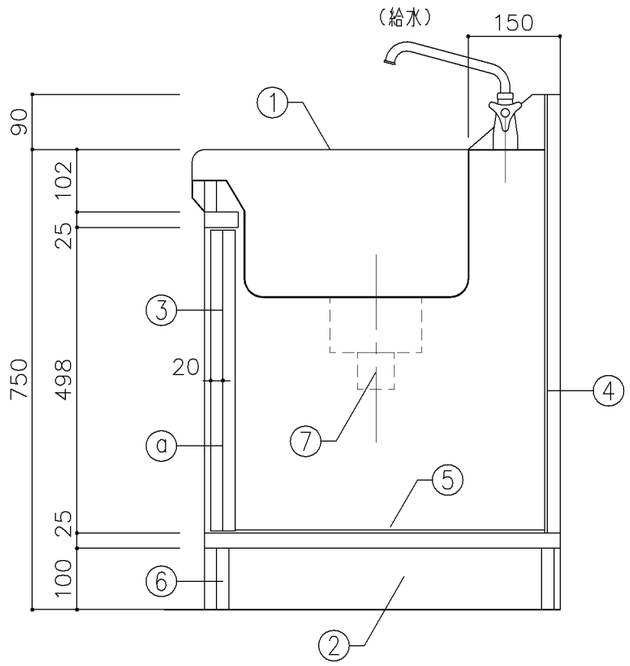


平面図





正面図



側面図

寸　法
W1,200 × D600 × H750

使用箇所
保健室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	シンク		FRP	
②	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	引違戸	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	底板		SUS 304−0.6t	
⑥	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	
⑦	排水トラップ		50T14AVP用　ゴミ収納付	

金　物

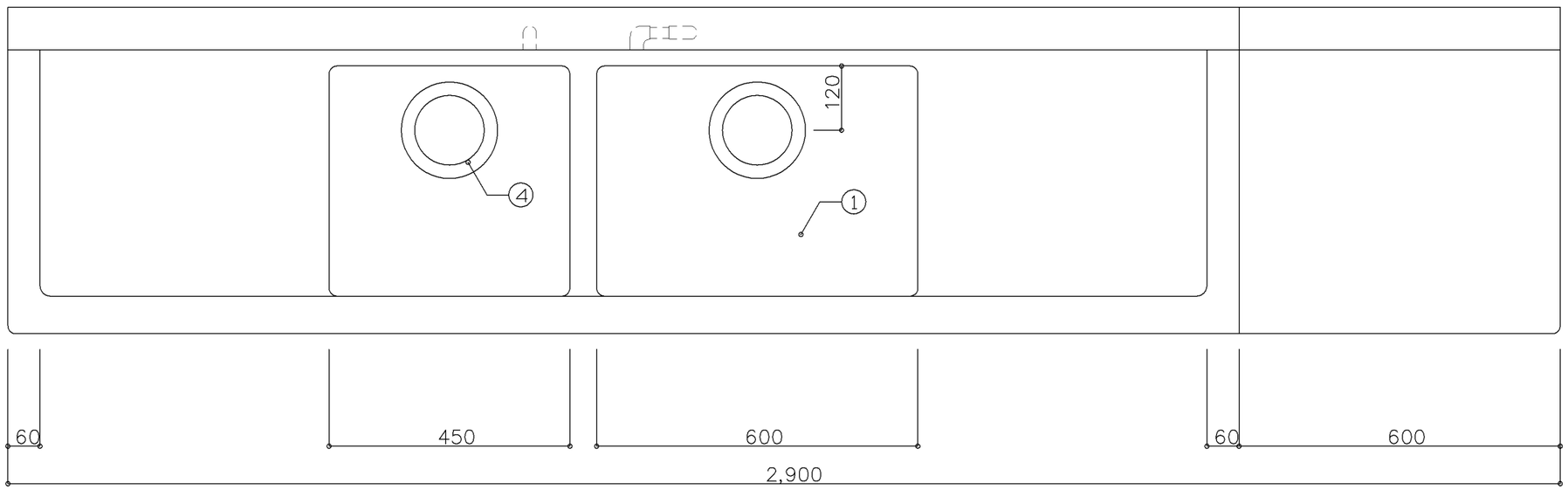
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	引違戸	堀込引手、シリンダー栓錠

特記事項

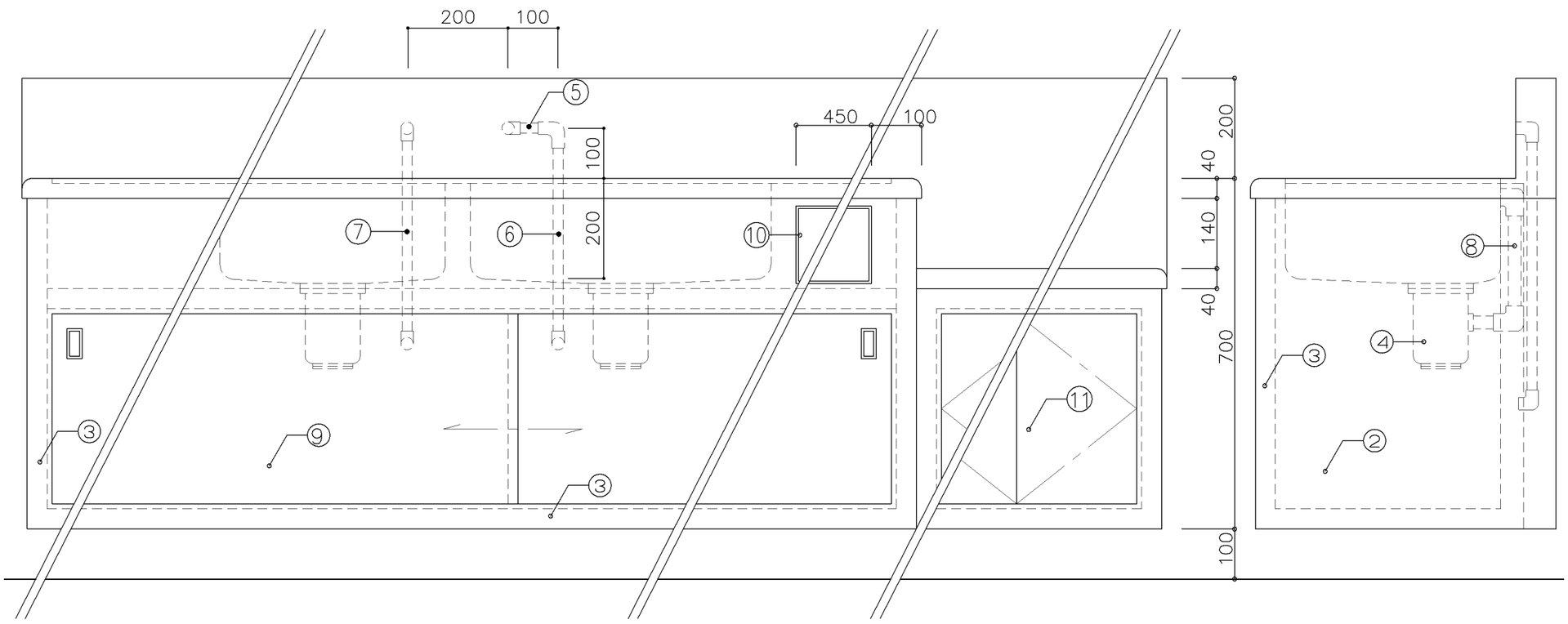
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かりはポリエステル化粧合板とする。
- 引違戸の厚みは、30mmを原則とする。
- 水栓数は設備と協議のこと。
- 給水×1
- 混合×1（左）

名称	一槽流し（給湯付）		
縮尺	1/10	記号	G−138
設 計 年 月			令和2年2月

横浜市建築局



平面図



正面図

側面図

寸法
W2,900 × D610 × H700

使用箇所
湯沸室

仕様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304−1.0t
②	幕板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AOCVP用 ゴミ収納付
⑤	給水横引管	20A VA
⑥	給水竪引管	20A VA
⑦	給湯竪引管	20A HVA
⑧	オーバーフロー	25Aストレーナー付
⑨	スライドドア	SUS 430−1.0t（引手）
⑩	引出	SUS 430−1.0t（引手）
⑪	扉	SUS 430−1.0t（取手）

金物

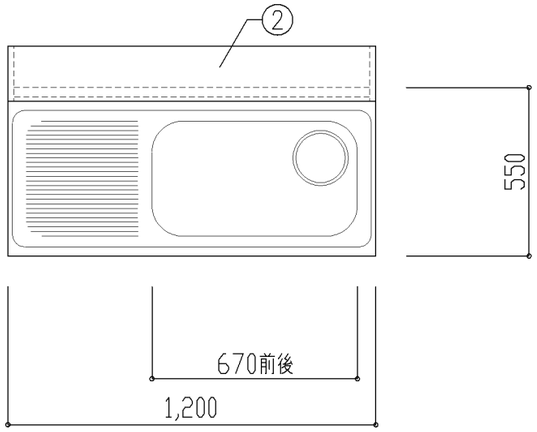
番号	使用箇所	名称

特記事項

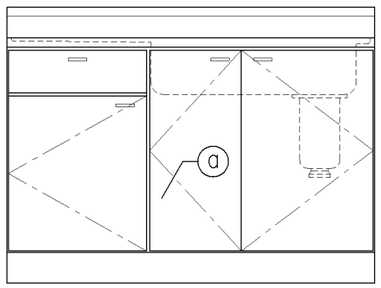
混合×1

名称	コンロ台付二槽流し（給湯付）		
縮尺	1／10	記号	G−150
設計年月日	令和2年2月		

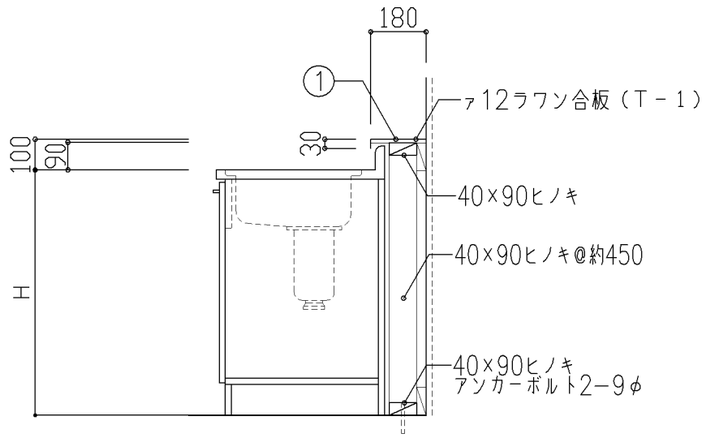
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
A：　W1,200　×　D550　×　H700
B：　W1,200　×　D550　×　H800

使用箇所
A：　個別支援学級教室（第一学習室）（小学校）
B：　個別支援学級教室（第一学習室）（中学校）
職員室（小・中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	水切カバー		SUS 304 0.8t	研磨
②	側板		本体と同材	

・流し台は、各メーカーBL認定品とし
細目仕様は、各メーカー仕様とする。

金　物

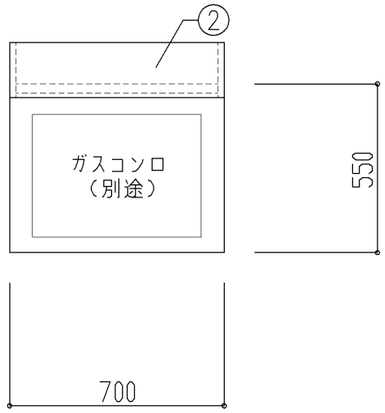
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	スライド丁番、取手、包丁差
		ローラーキャッチャー

特記事項

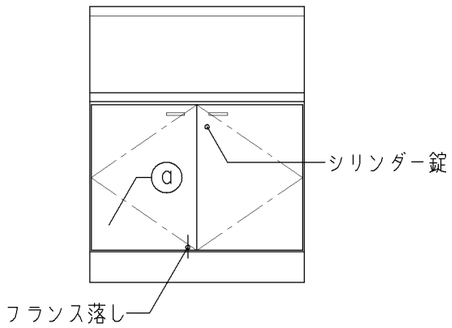
・コンクリートに接する木部は、防腐剤塗とする。
・混合×1

名称	流し台(給湯付)		
縮尺	1/20	記号	G－170
設計年月		令和2年2月	

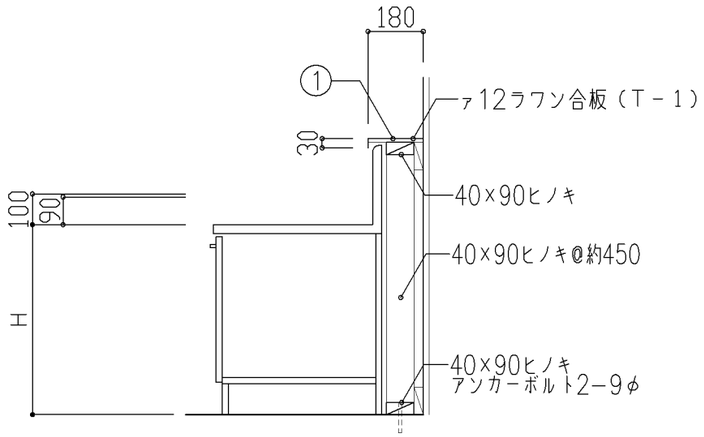
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
A：　W700　×　D550　×　H520
B：　W700　×　D550　×　H620

使用箇所
A：　個別支援学級教室（第一学習室）（小学校）
B：　個別支援学級教室（第一学習室）（中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	水切カバー		SUS　304　0.8t	研磨
②	側板		本体と同材	

・流し台は、各メーカーBL認定品とし
細目仕様は、各メーカー仕様とする。

金　物

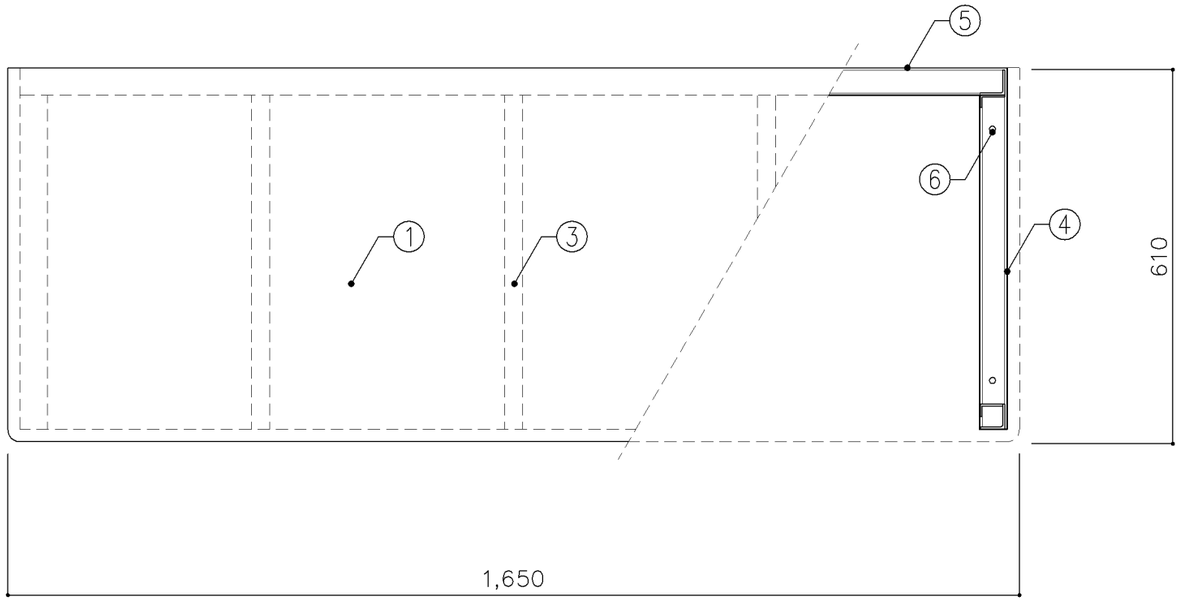
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	スライド丁番、取手、シリンダー錠
		フランス落し

特記事項

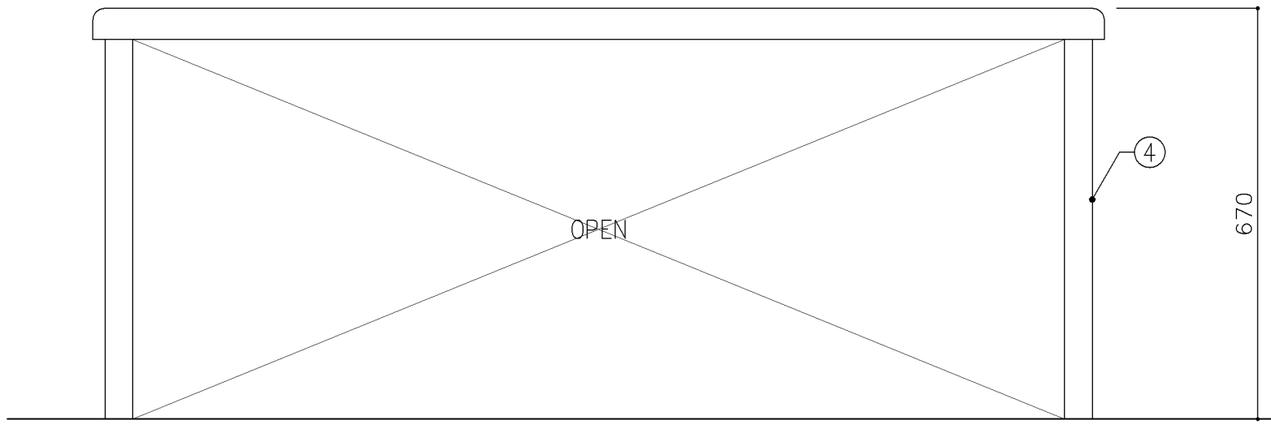
・コンクリートに接する木部は、防腐剤塗とする。

名称	コンロ台（鍵付）		
縮尺	1/20	記号	G－171
設計年月		令和2年2月	

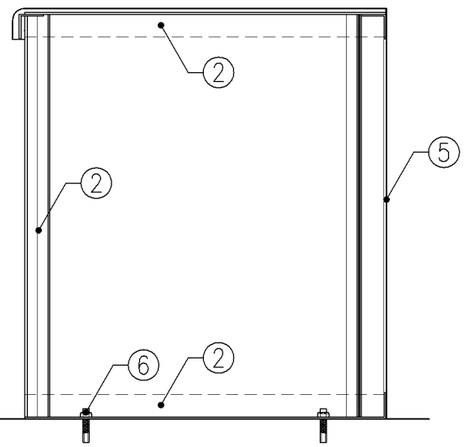
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,650 × D610 × H670

使用箇所
理科教室（小学校）

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板	SUS 304−1.0t
②	骨組	SUS 430−L3×40×40
③	補強材	SUS 430−L3×30×30
④	側　板	SUS 304−1.0t
⑤	裏　板	SUS 304−1.0t
⑥	アンカー	

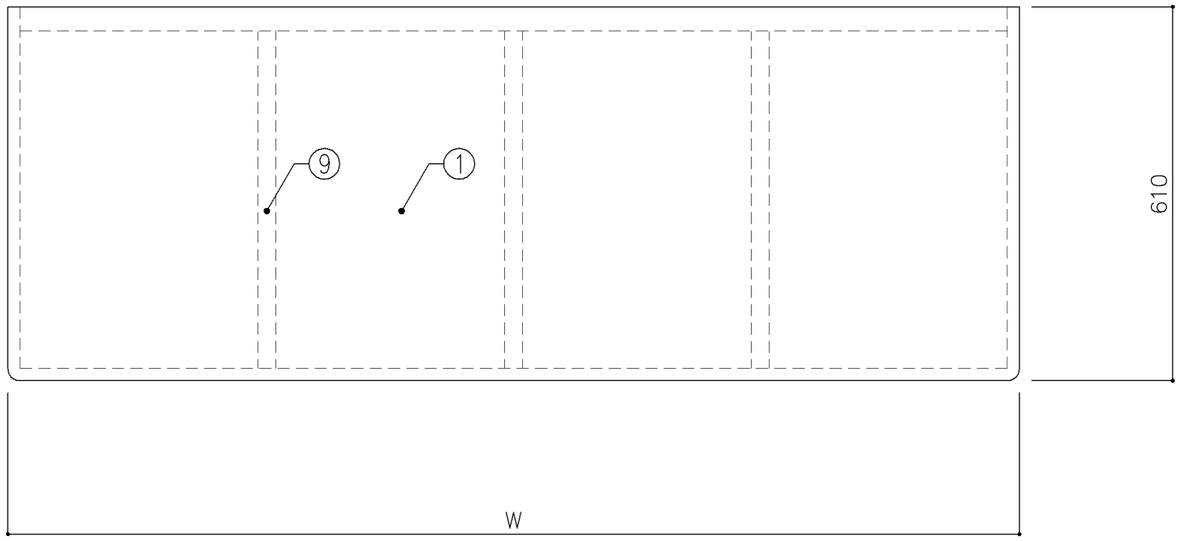
金　物

番号	使用箇所	名称

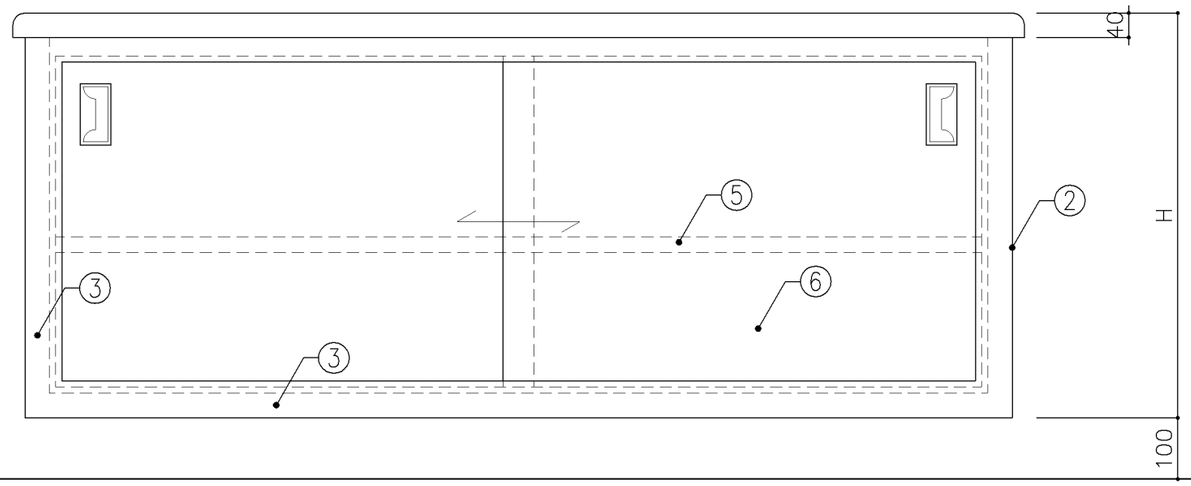
特記事項

名称	観察台		
縮尺	1／10	記号	G−180
設計年月日		令和2年2月	

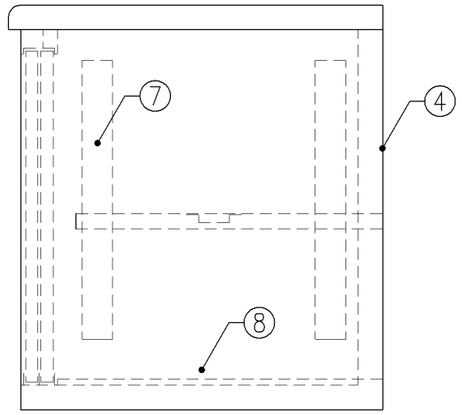
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
A：　W1,650　x　D610　x　H660
B：　W1,800　x　D610　x　H570

使用箇所
A：　理科教室（中学校）
B：　多目的室（水廻り　学習等）

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板	SUS 304−1.0t
②	側板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	裏板	SUS 304−1.0t
⑤	棚板	SUS 304−1.0t
⑥	引違戸	SUS 430−1.0t
⑦	棚受	SUS 430−1.0t
⑧	底板	SUS 304−1.0t
⑨	補強材	SUS 430−L3×30×30

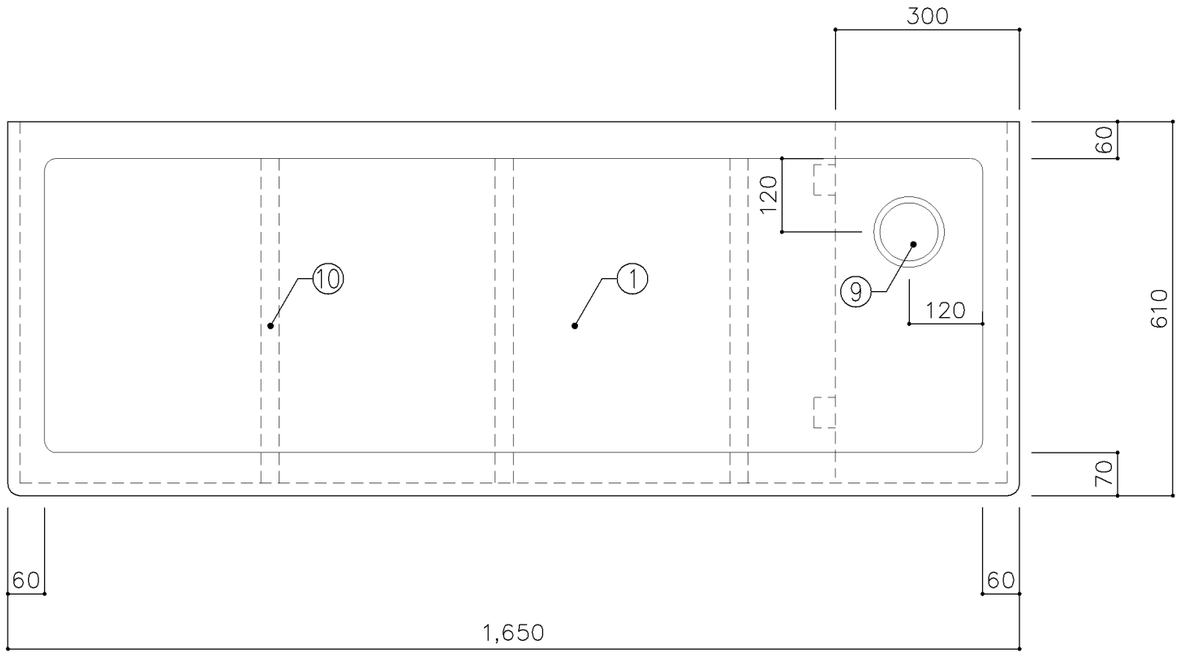
金　物

番号	使用箇所	名称
ⓐ	引違戸	堀込引手

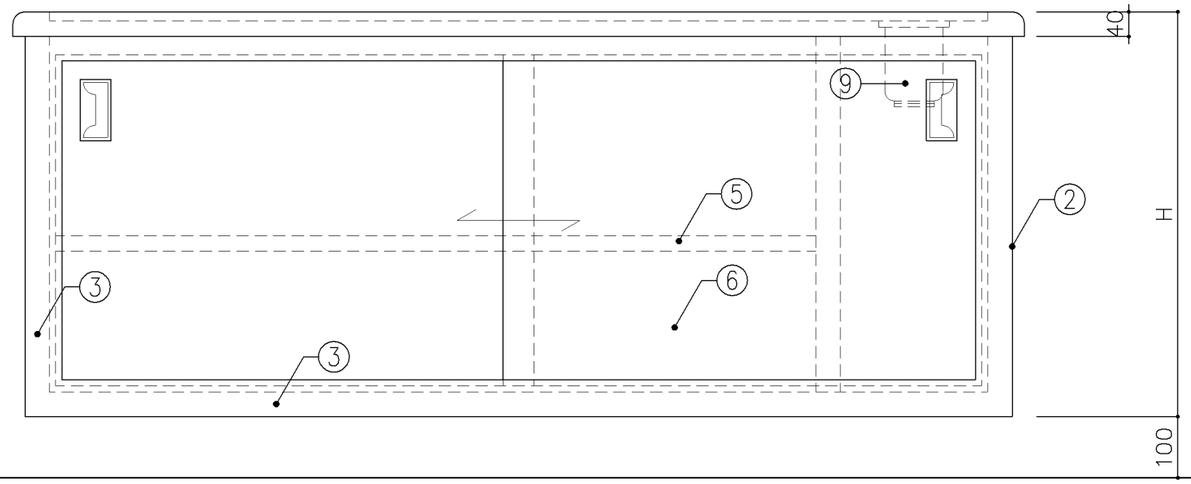
特記事項

名称	観察台		
縮尺	1／10	記号	G−181
設計年月日		令和2年2月	

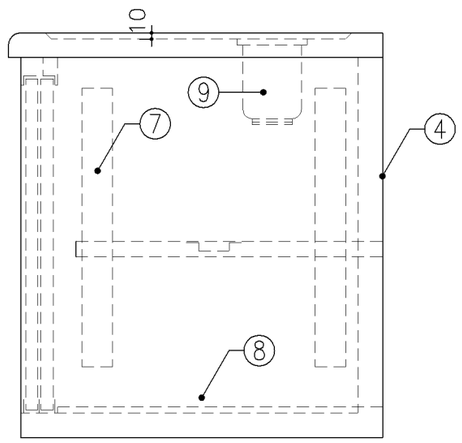
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
A：　W1,650　x　D610　x　H570
B：　W1,650　x　D610　x　H660

使用箇所
A：　理科教室（小学校）
B：　理科教室（中学校）

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板	SUS 304−1.0t
②	側板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	裏板	SUS 304−1.0t
⑤	棚板	SUS 304−1.0t
⑥	引違戸	SUS 430−1.0t
⑦	棚受	SUS 430−1.0t
⑧	底板	SUS 304−1.0t
⑨	排水トラップ	40T14A　VP用
⑩	補強材	SUS 430−L3×30×30

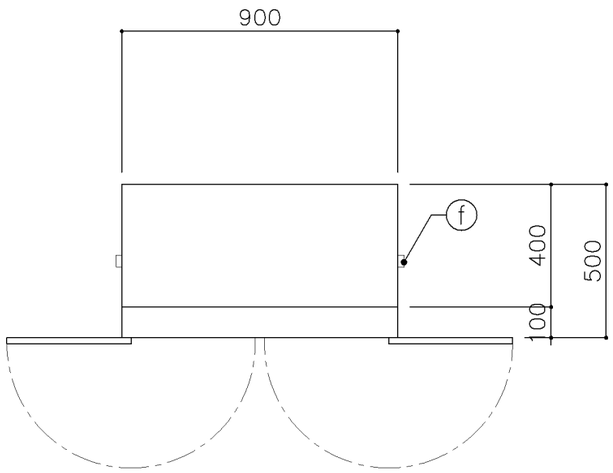
金　物

番号	使用箇所	名称
ⓐ	引違戸	堀込引手

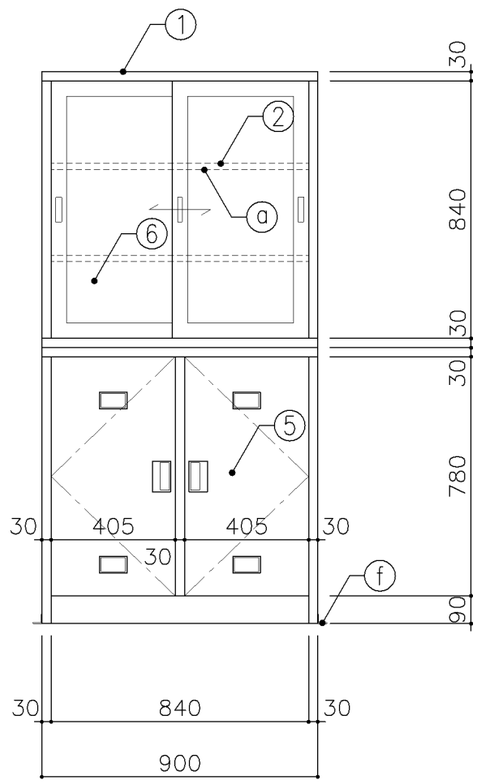
特記事項

名称	水槽台		
縮尺	1／10	記号	G−182
設計年月日			令和2年2月

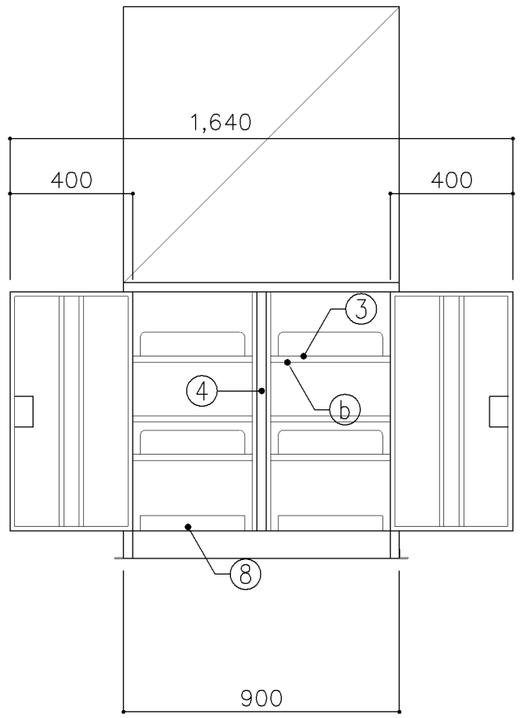
横浜市建築局



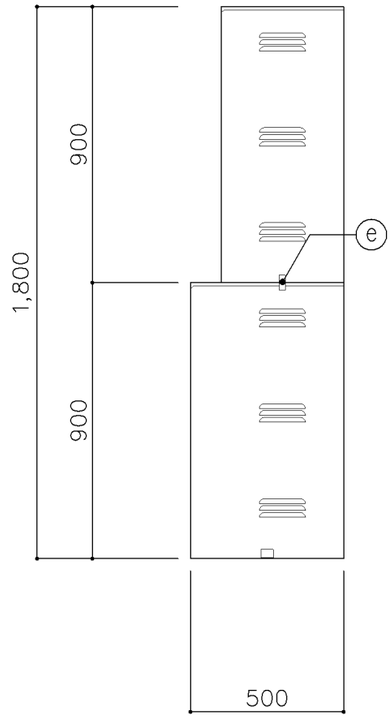
平面図



正面図



正面図



側面図

寸　法
W900 × D400/500 × H1,800

使用箇所
理科準備室

仕　様

番号	名称	材質
①	本体	SUS 304−0.8t
②	可動棚	SUS 304−0.8t
③	可動棚	SUS 304−0.8t
④	中仕切	SUS 304−0.8t
⑤	扉	SUS 304−0.8t
⑥	框戸	ｱ3 ポリカーボネード板
⑦	扉補強	SUS 304−0.8t
⑧	砂皿(焼砂共)	塩化ビニール樹脂製

金　物

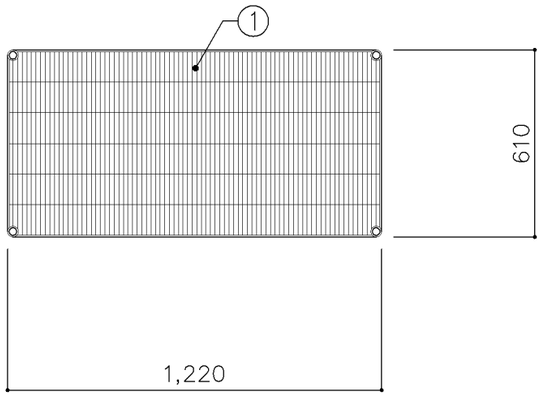
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	棚爪
ⓑ	可動棚	棚爪、耐震ガードプレート
ⓒ	扉	丁番、シリンダー錠、堀込引手、名札入れ
ⓓ	框戸	シリンダー錠、堀込引手、レール
ⓔ		上段、下段取付固定金物
ⓕ		耐震用固定金具

特記事項

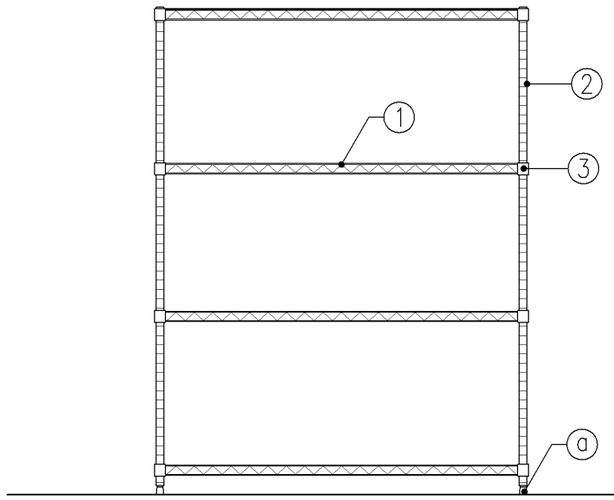
・備品周囲を換気のため50以上あけること
H13年3月　焼砂を工事対応

名称	薬品戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−190
設計年月		令和2年2月	

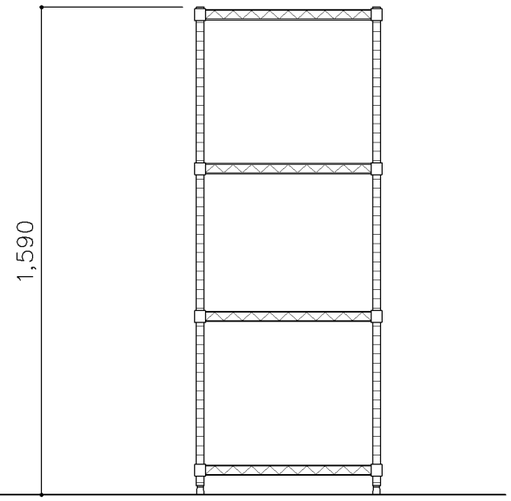
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,220 × D610 × H1,590

使用箇所
美術準備室
図画工作準備室

仕　様

番号	名称	材質
①	棚板	スチールワイヤ 3.75φ 4.8φ
		5φ 6.35φ（クロームメッキ）
②	脚	SUS 430−1.2t 25φ
③	テーパー	ABS樹脂製

金　物

番号	使用箇所	名　称
ⓐ	脚	床固定金物（三角フットプレート）
		~SUS 304 4ヶ所（1ヶ所~3点止）

特記事項

・エレクターシェルフ同等品とする。

名称	作品保管棚		
縮尺	1/20	記号	G−191
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局

G−200 スチール収納家具（仕様）

1．適用範囲

1）　本仕様は、横浜市学校建築工事備品の収納家具に適用する。

2）　本仕様に明記していない事項については、各製作者の社内規格によるものとし、横浜市建築局建築部施設整備課の承認を得る。

2．材料及び規格

1）　収納家具に使用する材料は、下表による。

材料種別	使用区分	材質・規格
鋼　板	天　板	JIS G 3141（冷間圧延鋼板及び鋼帯）
	地　板	同　上
	側　板	同　上
中質繊維板（M.D.F）	化粧天板	JIS A 5906

2）　板厚は、各詳細図の仕様による。

3．仕上及び焼付塗装

1）　鋼材に焼付塗装する時は、原則としてりん酸塩被膜処理を行う。

2）　防せい処理又は表面処理した鋼材の加工又は組付けによって生じたはがれなど、劣化の部分は防せい処理又は表面処理の補修をしなければならない。

3）　焼付塗装には、JIS K 5652（アミノアルキド樹脂エナメル）に規定する焼付樹脂エナメル又は塗膜がこれと同等以上の硬さ及び耐久性のある塗料を使用する。

4）　アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極被膜は、JIS H 8601（アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化被膜）に規定する処理を行う。

4．製　作

1）　構造は十分な強度を保ち、工作は確実でなければならない。

2）　接着や溶接は確実にし、見えがかりの接合面は、滑らかに仕上げなければならない。又、組立は、緩みを生じないように確実に締め付けなければならない。

3）　部材には、適当な面をとり、手ざわりよく仕上げなければならない。

4）　錠、取手、丁番は戸締された状態で、破壊以外の方法による取りはずしができない構造とする。

5）　引違い戸の戸当たり部には、緩衝部を設ける。

5．付属金物

1）　小ネジ・ナット等は、日本工業規格（JIS）に適合したもの、合成樹脂は、その用途に適合したものとする。

6．組立・取付

1）　組立は、工場生産とする。

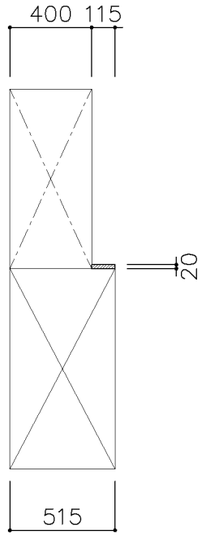
2）　取付は、別添〈G−203〉図、又は各詳細図による。

名称	仕様		
縮尺		記号	G−200
設計年月日			令和2年2月
横浜市建築局			

G−200 スチール収納家具（化粧天板）

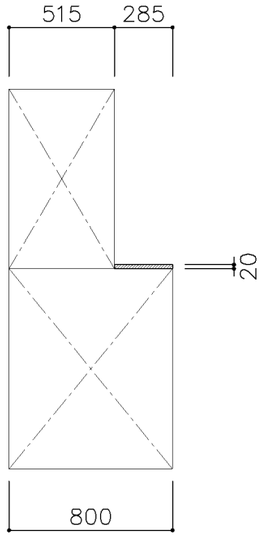
整理戸棚１段の場合及び２段の場合で、Ｄ寸法が異なる場合は、下図の通り化粧天板張りとする。

Ａタイプ
W=1,200



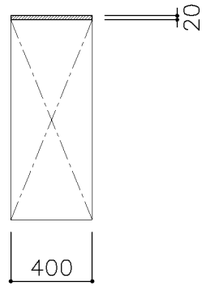
理科教室
金工・木工教室
図書室
上：G−214A
下：G−210B

Ｃタイプ
W=1,200



図画工作準備室
上：G−214B
下：G−232

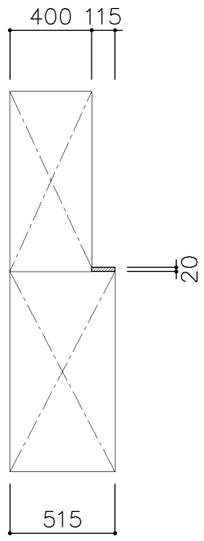
Ｅタイプ
W=1,760



校長室

G−213B

Ｂタイプ
W=1,760



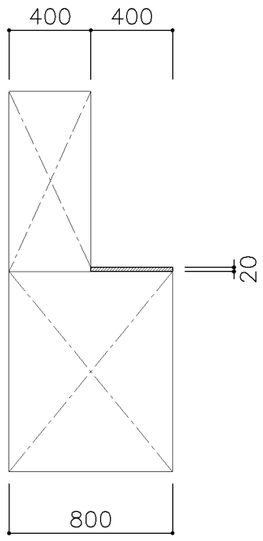
多目的（水廻り学習等）
ＰＴＡ会議室
地域交流室
特別活動室
教科資料室
上：G−215A　W=1,760
下：G−213C

理科準備室
上：G−215A　W=1,760
下：G−211B

被服教室
上：G−215C　W=1,650
下：G−230A

金工・木工教室
上：G−215D　W=1,550
下：G−211D

Ｄタイプ
W=1,200

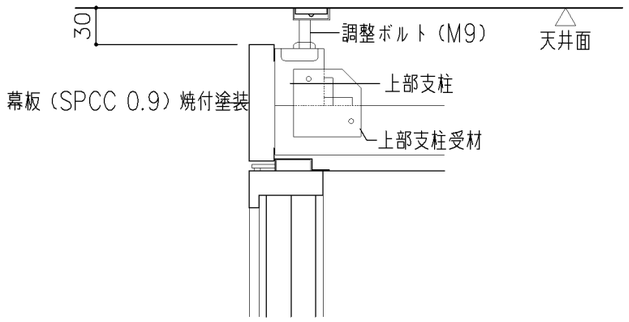


美術準備室
上：G−214A
下：G−232

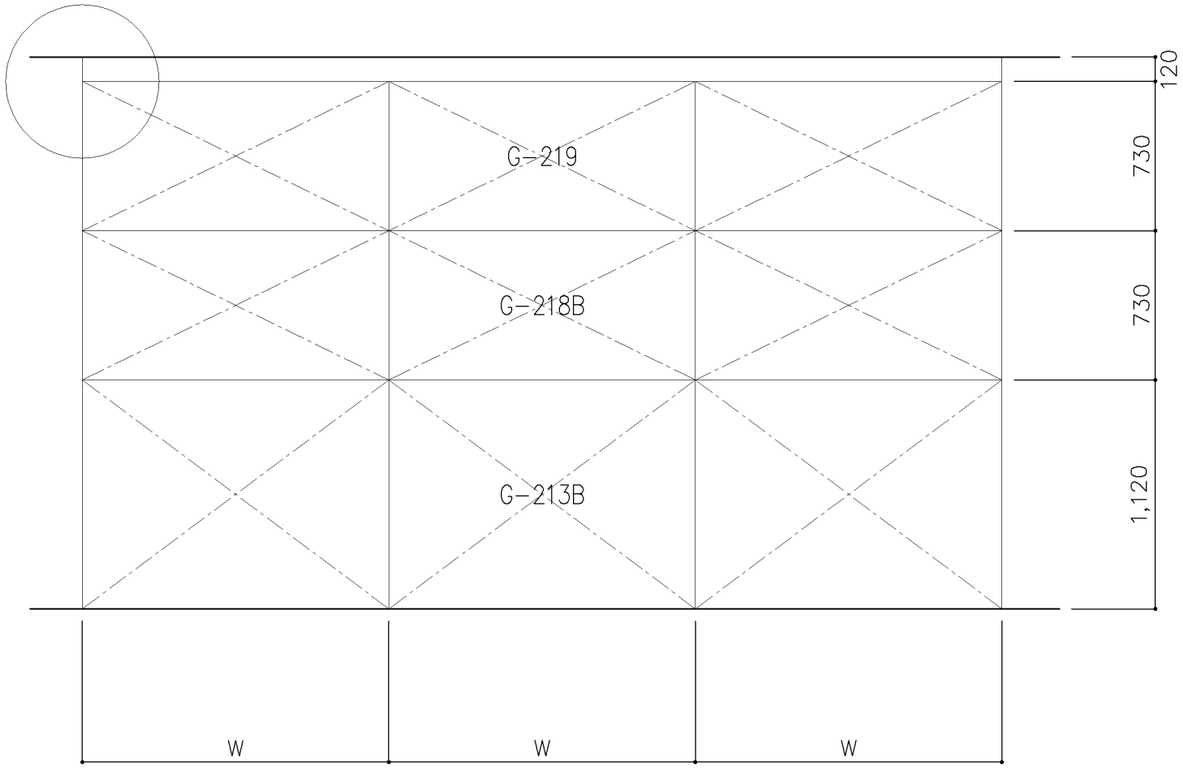
天板仕様
ＭＤＦコア、メラミン化粧シート張りとし前面は、全て丸面仕上とする。

名称	化粧天板		
縮尺		記号	G−201
設計年月日			令和2年2月
横浜市建築局			

G−200 収納家具（スチール）幕板



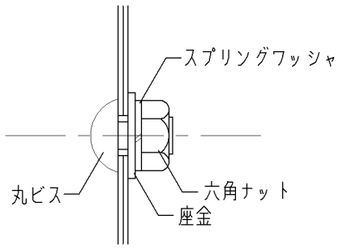
事務室
上：G−219
中：G−218B
下：G−213B

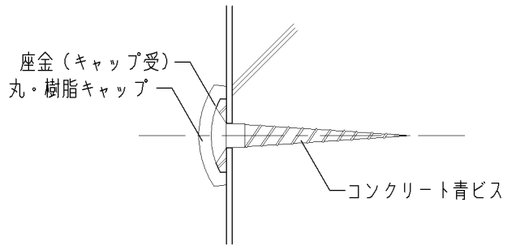


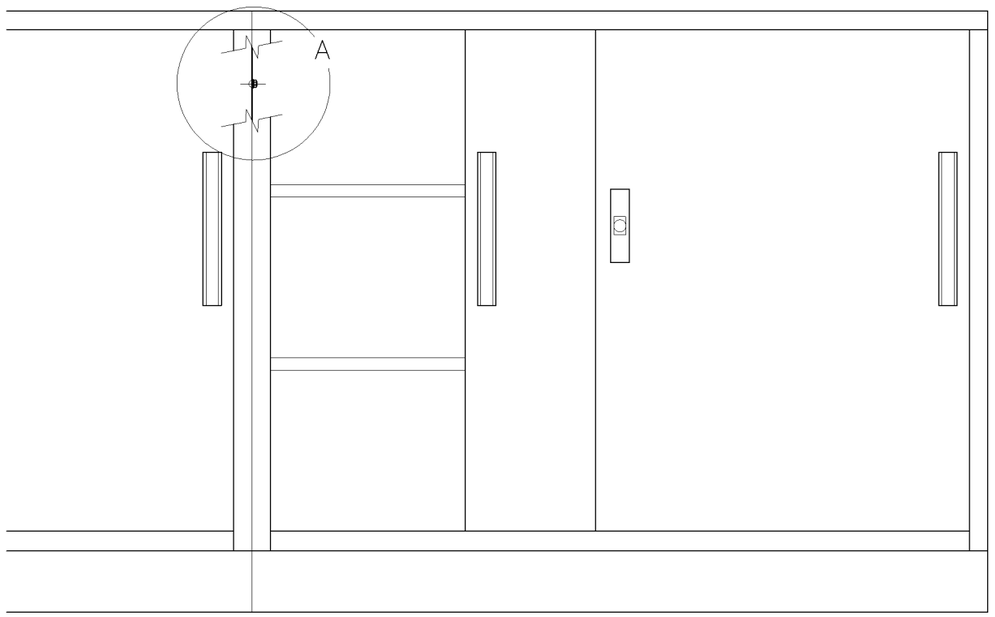
W=1500,1760

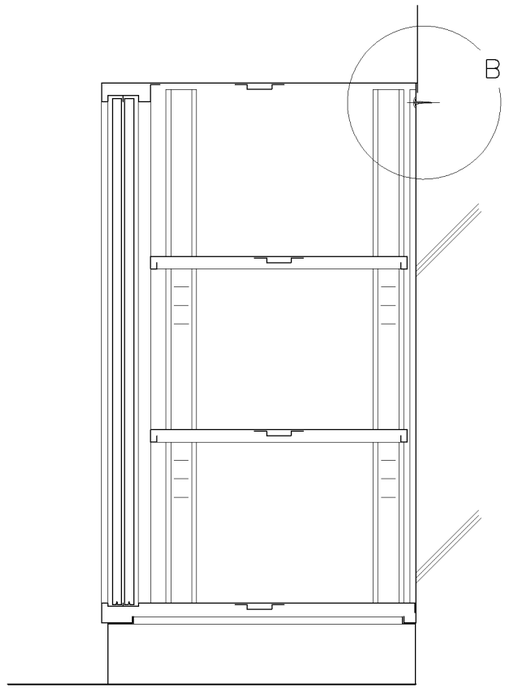
名称	幕　板		
縮尺		記号	G−202
設 計 年 月 日		令和2年2月	
横浜市建築局			

G−200 スチール収納家具（取付仕様）

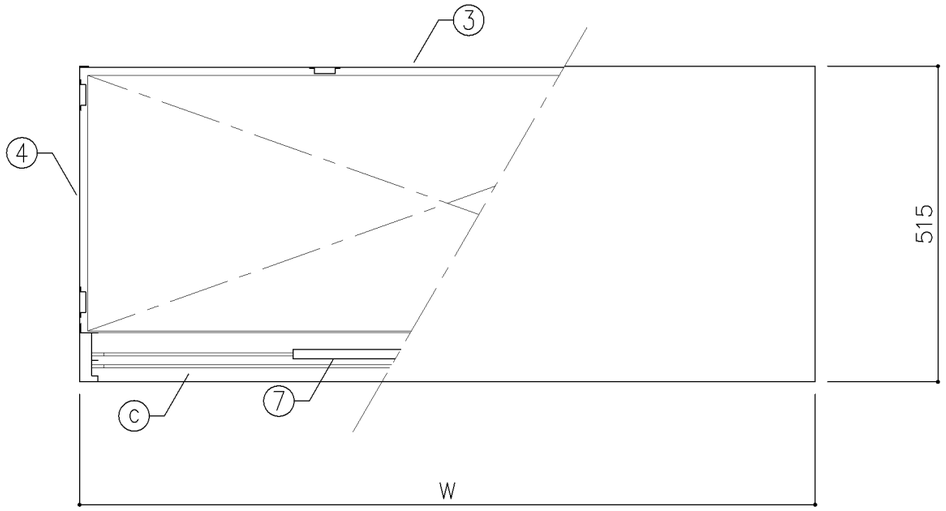




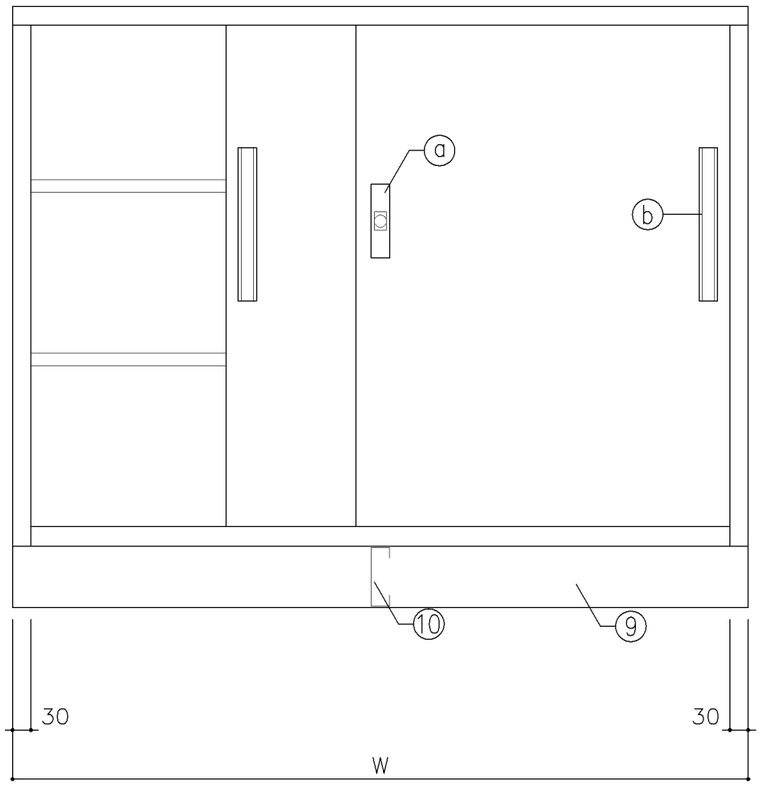




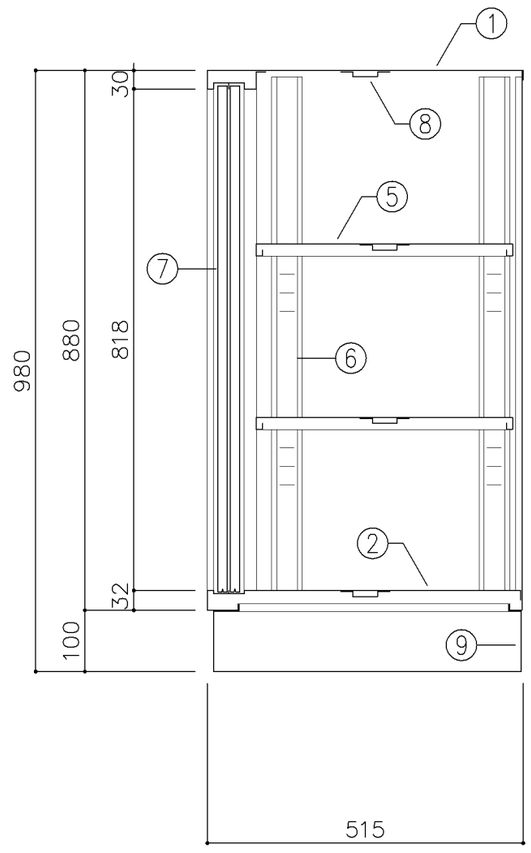
名称	取付詳細図		
縮尺		記号	G−203
設 計 年 月 日			令和2年2月
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸　法
A：W 880 x D 515 x H 980
B：W1,200 x D 515 x H 980

使用箇所
A：理科準備室（中学校）
B：理科準備室（小学校）（2室タイプ）
金工・木工教室、美術準備室

仕　様

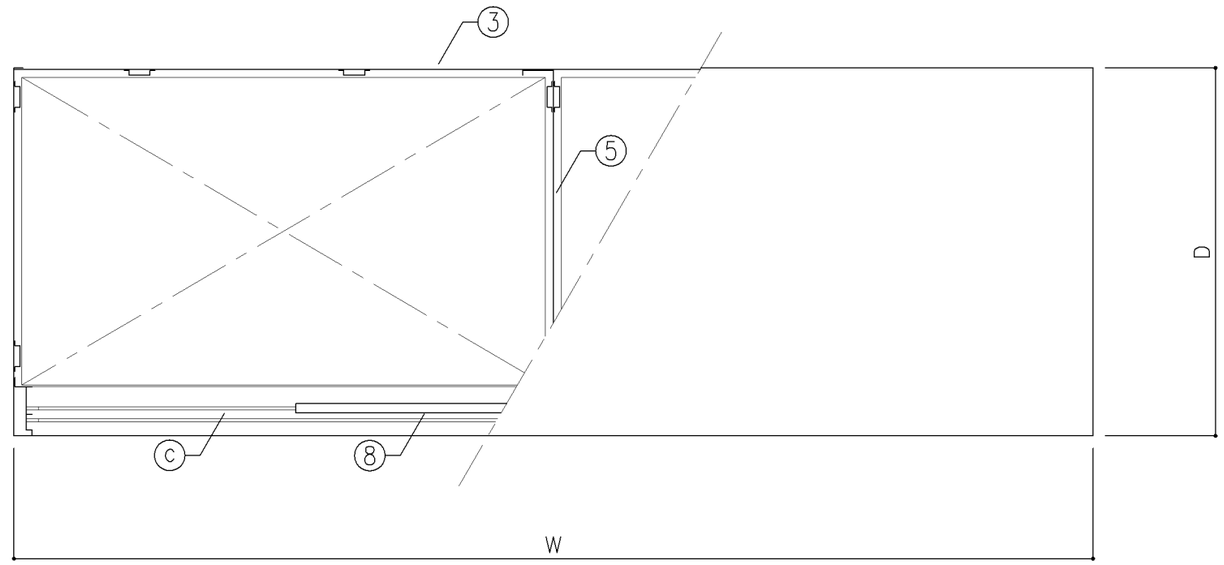
番号	名称	材質	仕上
①	天　板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地　板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏　板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	棚　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	棚　受	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	引違戸	SPCC 0.8	焼付塗装
⑧	補強板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑨	ベース	SPCC 1.0	焼付塗装
⑩	ベース補強	SPCC 1.0	焼付塗装

金物及びその他

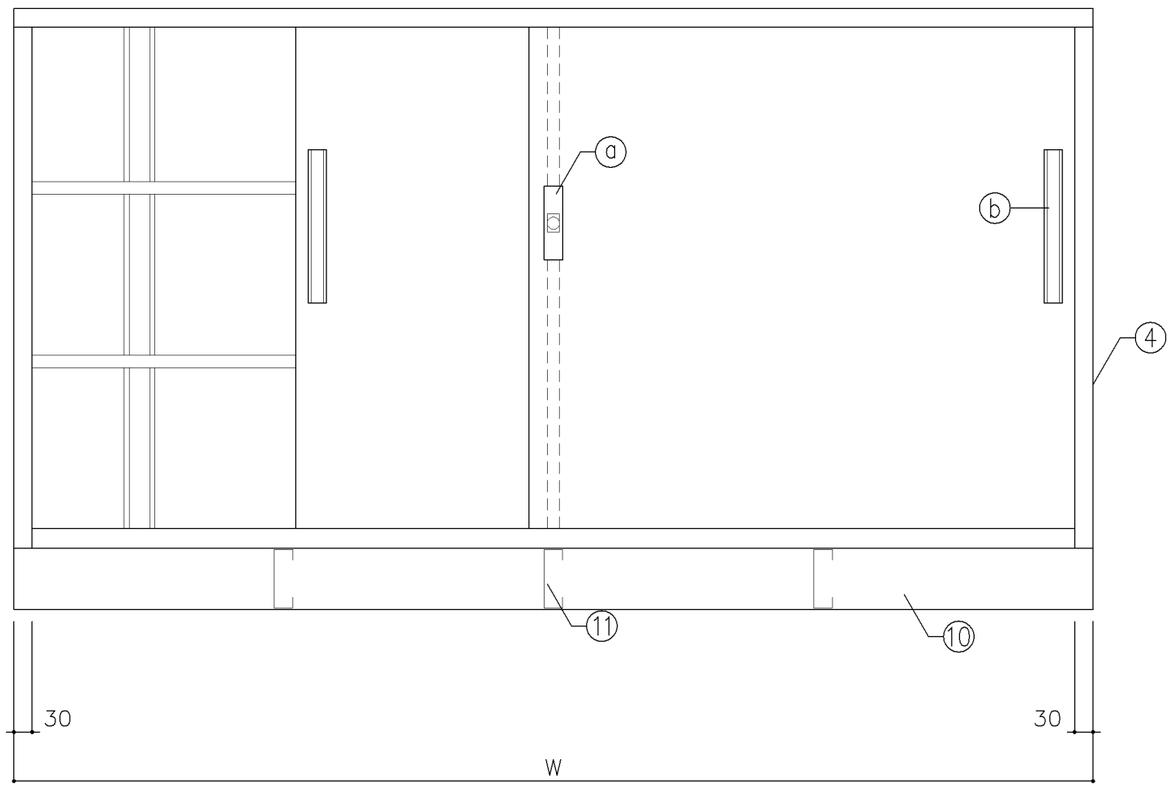
番号	名称	材質	仕上
ⓐ	鍵飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
ⓑ	掘込引手	アルミ	アルマイト
ⓒ	レール	SPCC 0.8	焼付塗装
ⓓ	ｼﾘﾝﾀﾞｰﾌﾟｯｼｭ鍵	亜鉛合金	ﾆｯｹﾙﾒｯｷ
ⓔ	棚　爪	SGC	

特記事項

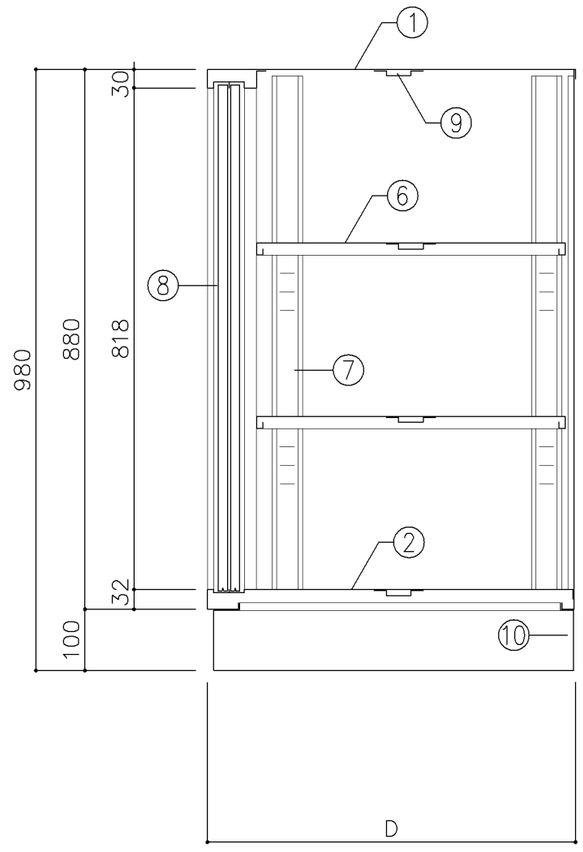
名称	整理戸棚（下段）		
縮尺	1／10	記号	G－210A・B
設計年月日	令和2年2月		
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸　法
A：W1,760 x D 400 x H 980
B：W1,760 x D 515 x H 980
C：W1,500 x D 600 x H 980
D：W1,550 x D 515 x H 980

使用箇所
A：教育相談室、進路指導室
B：理科準備室、美術準備室、図画工作準備室
C：湯沸室
D：金工・木工教室

仕　様

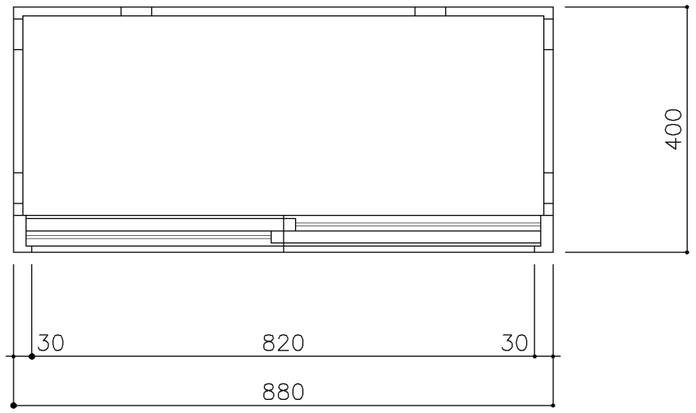
番号	名称	材質	仕上
①	天　板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地　板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏　板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	棚　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	棚　受	SPCC 0.8	焼付塗装
⑧	引 違 戸	SPCC 0.8	焼付塗装
⑨	補 強 板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑩	ベ ー ス	SPCC 1.0	焼付塗装
⑪	ベース補強	SPCC 1.0	焼付塗装

金物及びその他

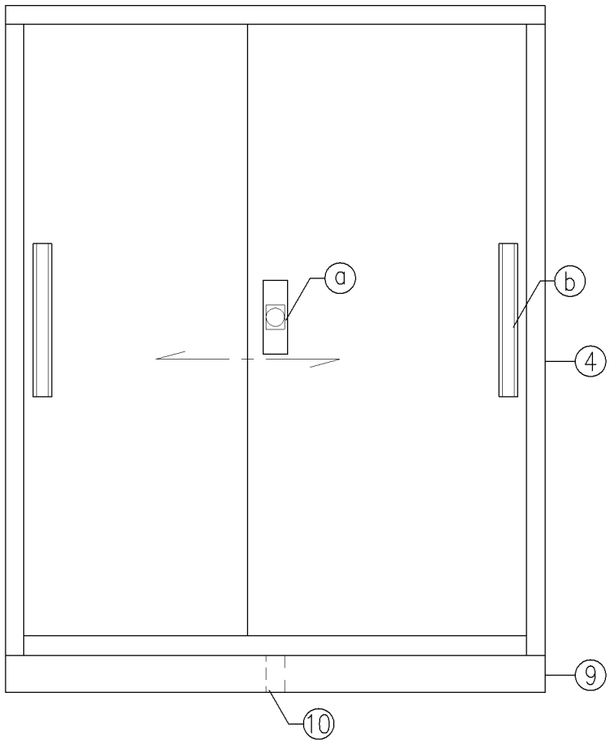
番号	名称	材質	仕上
ⓐ	鍵 飾 板	ダイキャスト	クロムメッキ
ⓑ	掘込引手	アルミ	アルマイト
ⓒ	レ ー ル	SPCC 0.8	焼付塗装
ⓓ	ｼﾘﾝﾀﾞｰﾌﾟｯｼｭ鍵	亜鉛合金	ﾆｯｹﾙﾒｯｷ
ⓔ	棚　爪	SGC	

特記事項

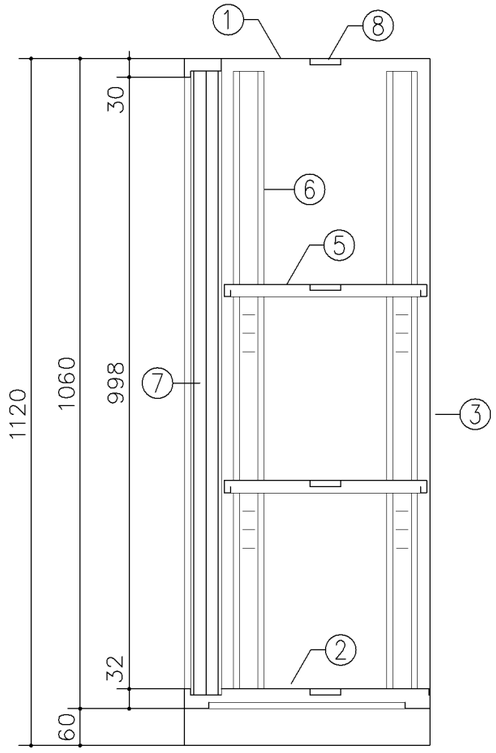
名称	整理戸棚（下段）		
縮尺	1／10	記号	G－211
設 計 年 月 日		令和2年2月	
横浜市建築局			



平面図



立面図



断面図

寸法
W 880 x D 400 x H 1,120

使用箇所
耐火書庫

仕様

番号	名称	材質	仕上
①	天板	SPCC1.0	焼付塗装
②	地板	SPCC0.8	焼付塗装
③	裏板	SPCC0.8	焼付塗装
④	側板	SPCC0.8	焼付塗装
⑤	棚板	SPCC0.8	焼付塗装
⑥	棚受	SPCC0.8	焼付塗装
⑦	引違戸	SPCC0.8	焼付塗装
⑧	補強板	SPCC0.8	焼付塗装
⑨	ベース	SPCC1.0	焼付塗装
⑩	ﾍﾞｰｽ補強	SPCC1.0	焼付塗装

金物及びその他

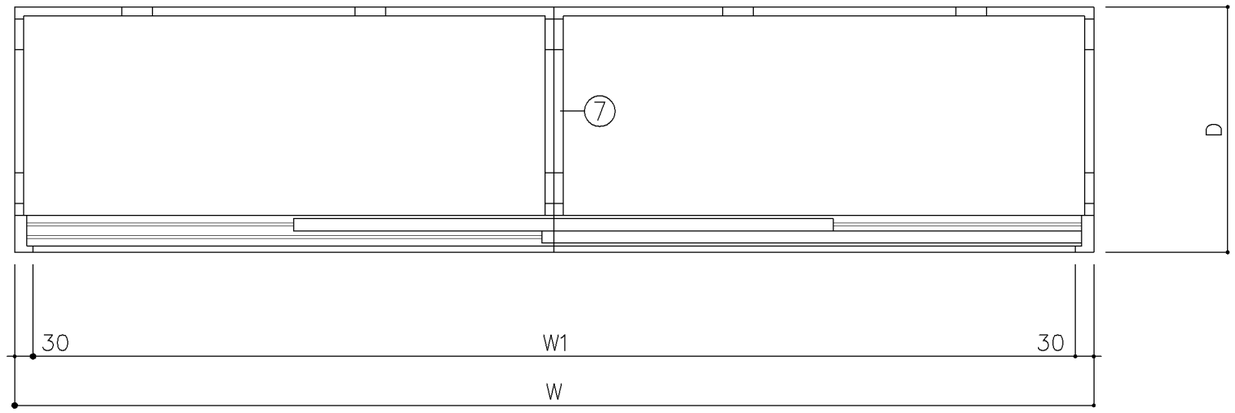
番号	名称	材質	仕上
ⓐ	錠飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
ⓑ	彫込引手	アルミ	アルマイト
ⓒ	レール	SPCC0.8	焼付塗装
ⓓ	ｼﾘﾝﾀﾞｰﾌﾟｯｼｭ錠	亜鉛合金	ﾆｯｹﾙﾒｯｷ
ⓔ	棚爪	SGC	

特記事項

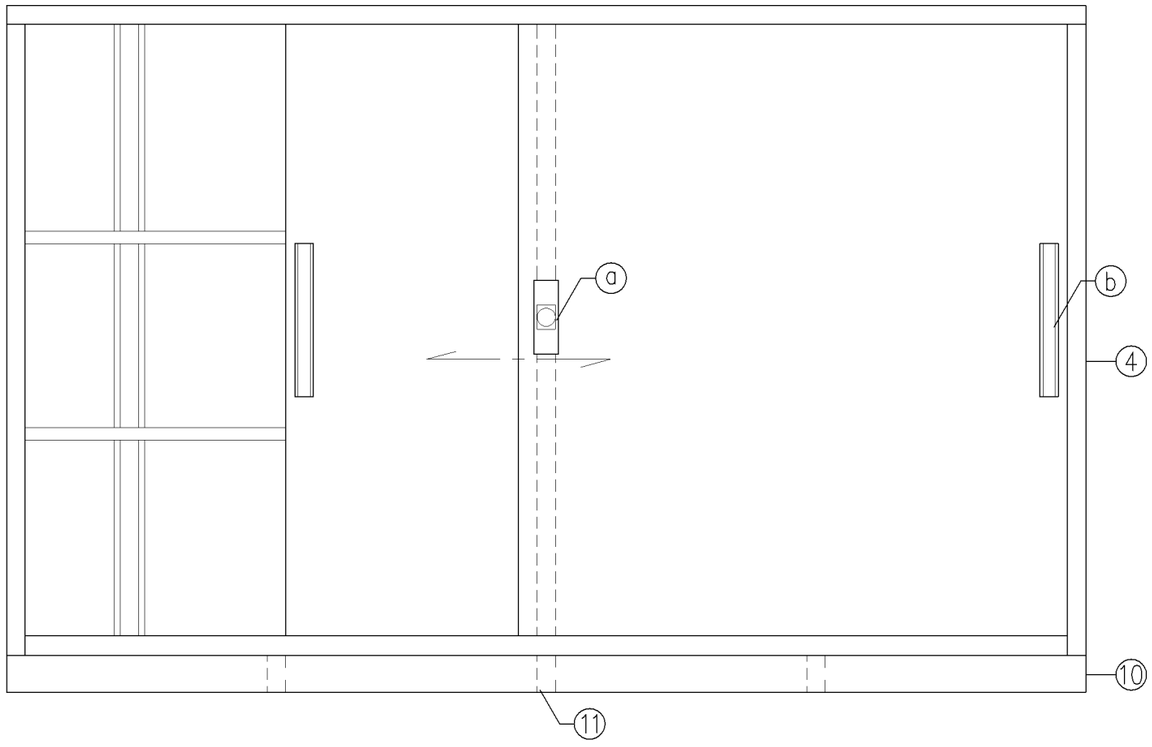
・A4ファイル対応品

名称	整理戸棚（下段）		
縮尺	1／10	記号	G－212
設計年月日	令和2年2月		

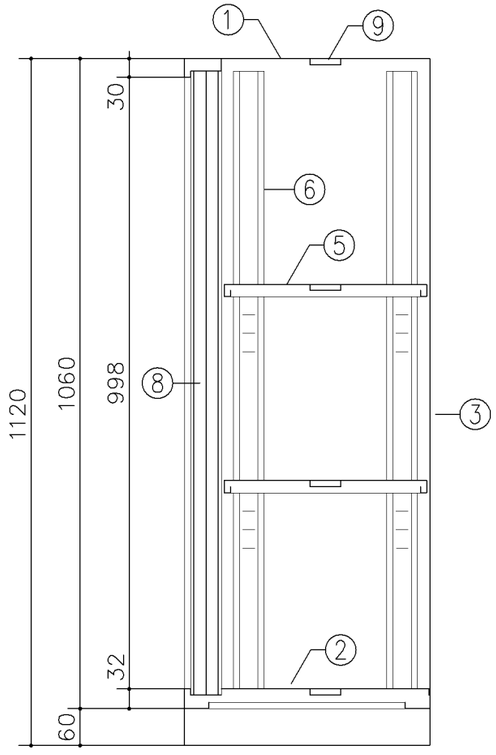
横浜市建築局



平面図



立面図



断面図

寸　法
A：W1,500 x D 400 x H1,120
B：W1,760 x D 400 x H1,120
C：W1,760 x D 515 x H1,120
E：W1,300 x D 400 x H1,120

使用箇所
A：放送ｽﾀｼﾞｵ（小・中学校）、職員室（小・中学校）
B：事務室、資料室、校長室
C：多目的室（水廻り学習等）
PTA会議室、保健相談室、地域交流室
特別活動室、教科資料室
E：コンピュータ教室（中学校）

仕　様

番号	名称	材質	仕上
①	天　板	SPCC1.0	焼付塗装
②	地　板	SPCC0.8	焼付塗装
③	裏　板	SPCC0.8	焼付塗装
④	側　板	SPCC0.8	焼付塗装
⑤	棚　板	SPCC0.8	焼付塗装
⑥	棚　受	SPCC0.8	焼付塗装
⑦	中仕切	SPCC0.8	焼付塗装
⑧	引違戸	SPCC0.8	焼付塗装
⑨	補強板	SPCC0.8	焼付塗装
⑩	ベース	SPCC1.0	焼付塗装
⑪	ﾍﾞｰｽ補強	SPCC1.0	焼付塗装

金物及びその他

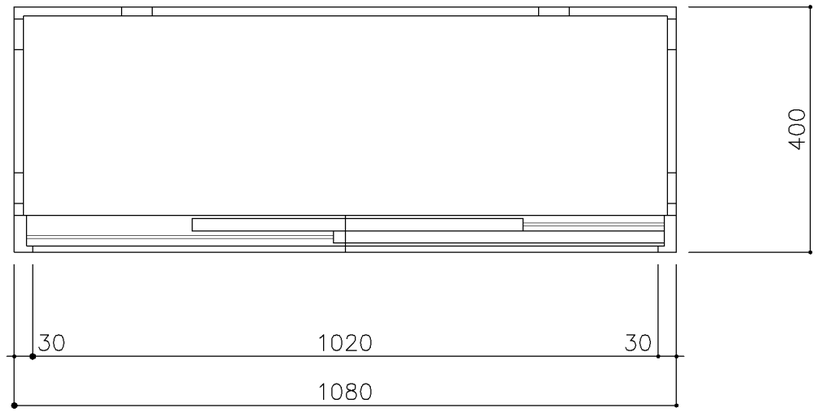
番号	名称	材質	仕上
ⓐ	錠飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
ⓑ	彫込引手	アルミ	アルマイト
ⓒ	レール	SPCC0.8	焼付塗装
ⓓ	ｼﾘﾝﾀﾞｰﾌﾟｯｼｭ錠	亜鉛合金	ﾆｯｹﾙﾒｯｷ
ⓔ	棚　爪	SGC	

特記事項

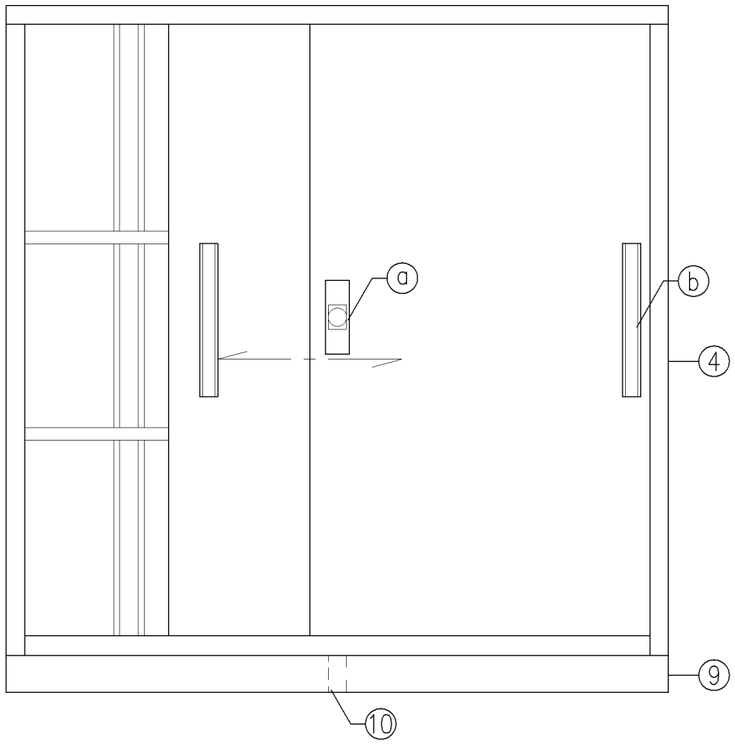
・A4ファイル対応品

名称	整理戸棚（下段）		
縮尺	1／10	記号	G-213A・B・C・E
設計年月日		令和2年2月	

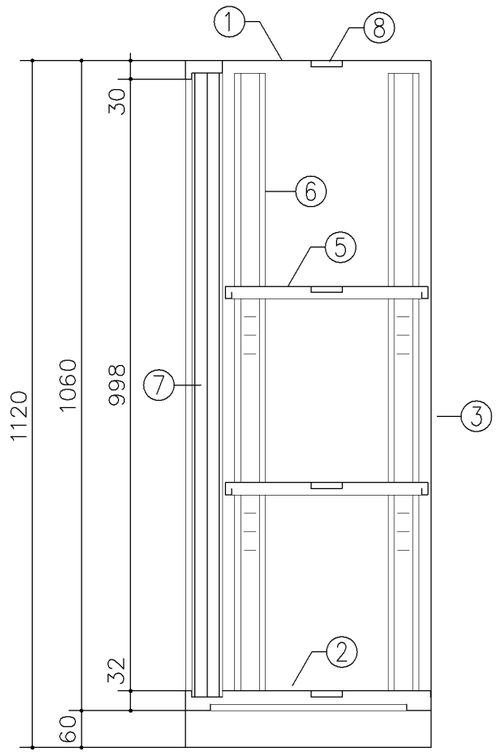
横浜市建築局



平面図



立面図



断面図

寸　法
W1,080 x D 400 x H1,120

使用箇所
耐火書庫

仕　様

番号	名称	材質	仕上
①	天　板	SPCC1.0	焼付塗装
②	地　板	SPCC0.8	焼付塗装
③	裏　板	SPCC0.8	焼付塗装
④	側　板	SPCC0.8	焼付塗装
⑤	棚　板	SPCC0.8	焼付塗装
⑥	棚　受	SPCC0.8	焼付塗装
⑦	引違戸	SPCC0.8	焼付塗装
⑧	補強板	SPCC0.8	焼付塗装
⑨	ベース	SPCC1.0	焼付塗装
⑩	ﾍﾞｰｽ補強	SPCC1.0	焼付塗装

金物及びその他

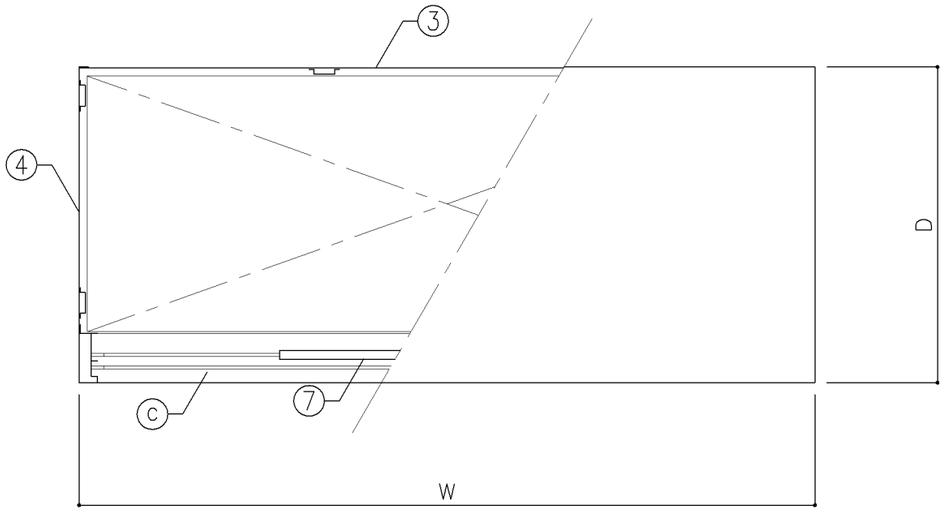
番号	名称	材質	仕上
ⓐ	錠飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
ⓑ	彫込引手	アルミ	アルマイト
ⓒ	レール	SPCC0.8	焼付塗装
ⓓ	ｼﾘﾝﾀﾞｰﾌﾟｯｼｭ錠	亜鉛合金	ﾆｯｹﾙﾒｯｷ
ⓔ	棚　爪	SGC	

特記事項

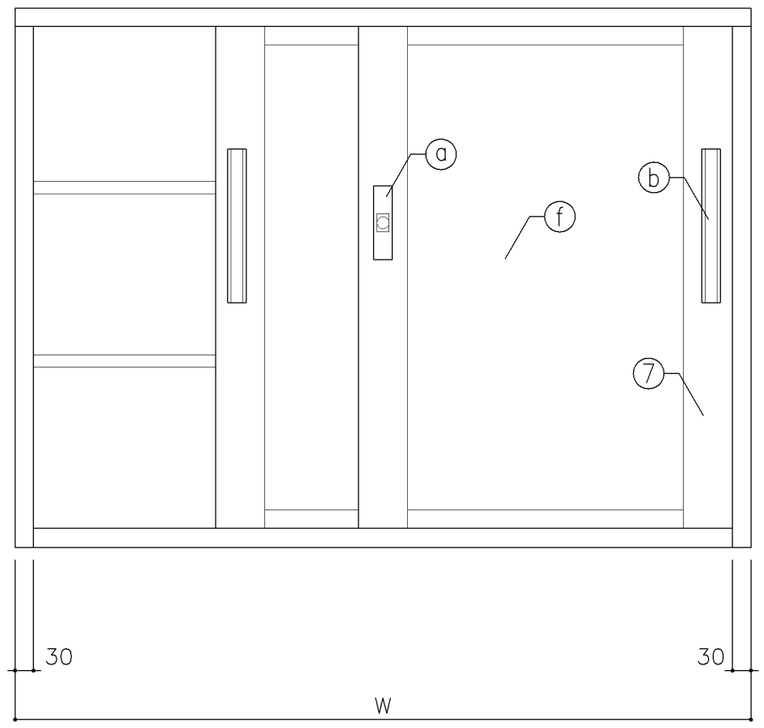
・A4ファイル対応品

名称	整理戸棚（下段）		
縮尺	1／10	記号	G－213D
設計年月日		令和2年2月	

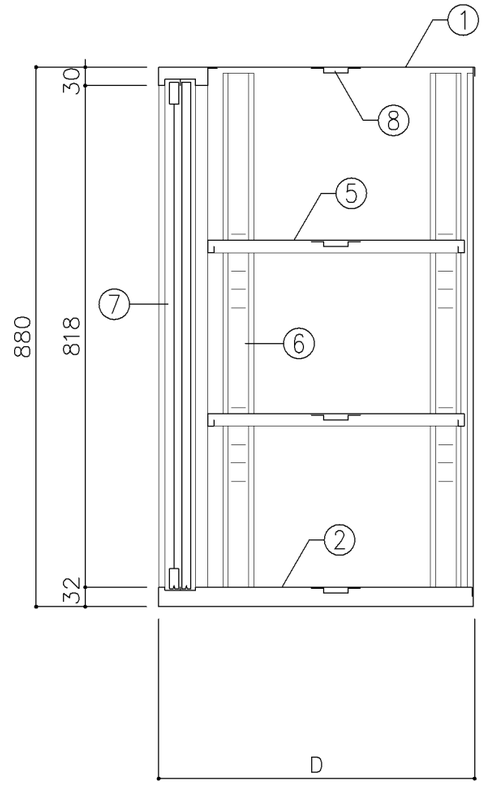
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
A：W1,200 x D 400 x H 880
B：W1,200 x D 515 x H 880
C：W 880 x D 400 x H 880

使用箇所
A：理科準備室（小学校）（2室タイプ）
美術準備室、金工・木工教室
B：図画工作準備室、美術準備室
C：理科準備室（中学校）

仕　様

番号	名称	材質	仕上
①	天　板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地　板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏　板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	棚　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	棚　受	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	框　戸	SPCC 0.8	焼付塗装
⑧	補強板	SPCC 0.8	焼付塗装

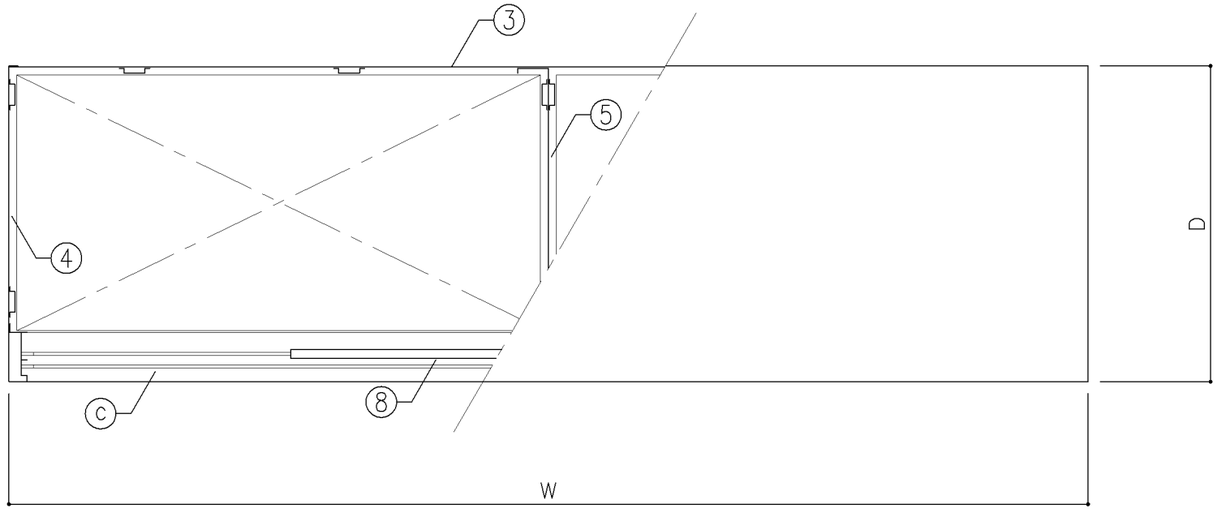
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
ⓐ	鍵飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
ⓑ	掘込引手	アルミ	アルマイト
ⓒ	レール	SPCC 0.8	焼付塗装
ⓓ	ｼﾘﾝﾀﾞｰﾌﾟｯｼｭ鍵	亜鉛合金	ﾆｯｹﾙﾒｯｷ
ⓔ	棚　爪	SGC	
ⓕ	硝　子	ｱ3ポリカーボネード板	

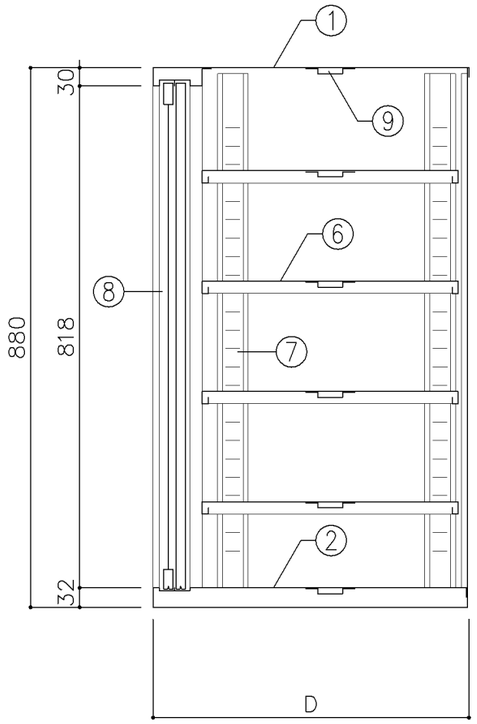
特記事項

名称	整理戸棚（上段）		
縮尺	1／10	記号	G－214
設計年月日	令和2年2月		

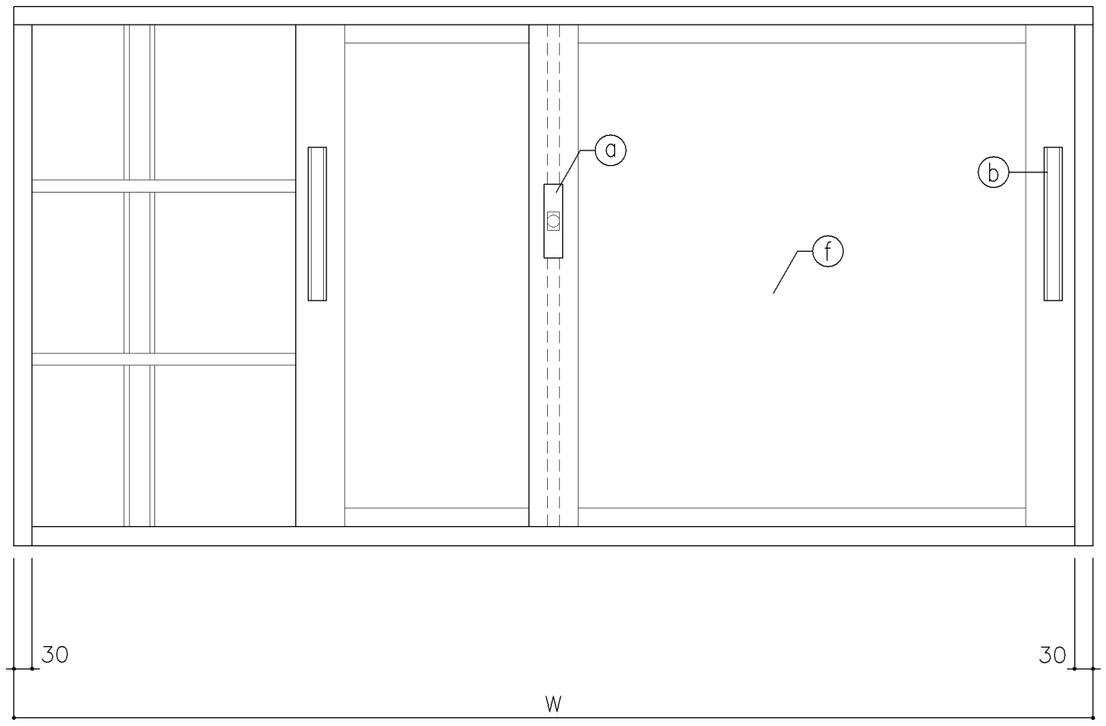
横浜市建築局



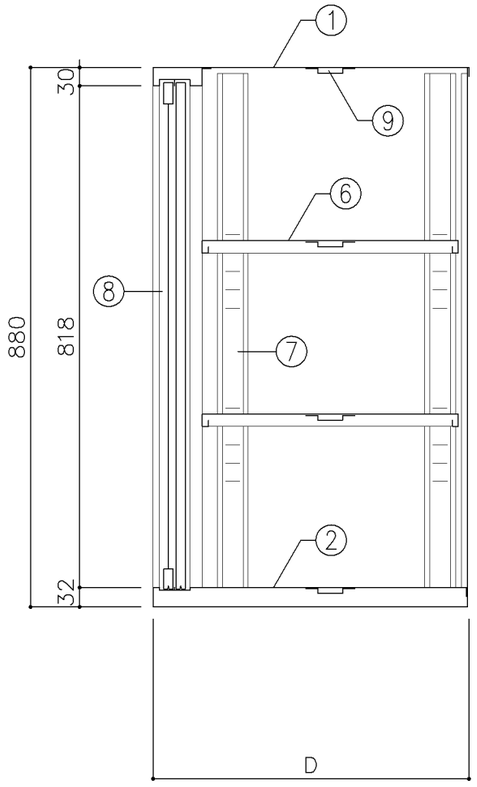
平面図



断面図



正面図



断面図

寸　法
A：W1,760 x D 400 x H 880
B：W1,760 x D 515 x H 880
C：W1,650 x D 400 x H 880
D：W1,550 x D 400 x H 880

使用箇所
A：理科準備室、教育相談室、進路指導室
多目的室（水廻り学習等）、PTA会議室
地域交流室、特別活動室、教科資料室
B：保健相談室、図画工作準備室
美術準備室
C：被服教室（多目的）
D：金工・木工教室

仕　様

番号	名称	材質	仕上
①	天　板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地　板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏　板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	棚　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	棚　受	SPCC 0.8	焼付塗装
⑧	框　戸	SPCC 0.8	焼付塗装
⑨	補強板	SPCC 0.8	焼付塗装

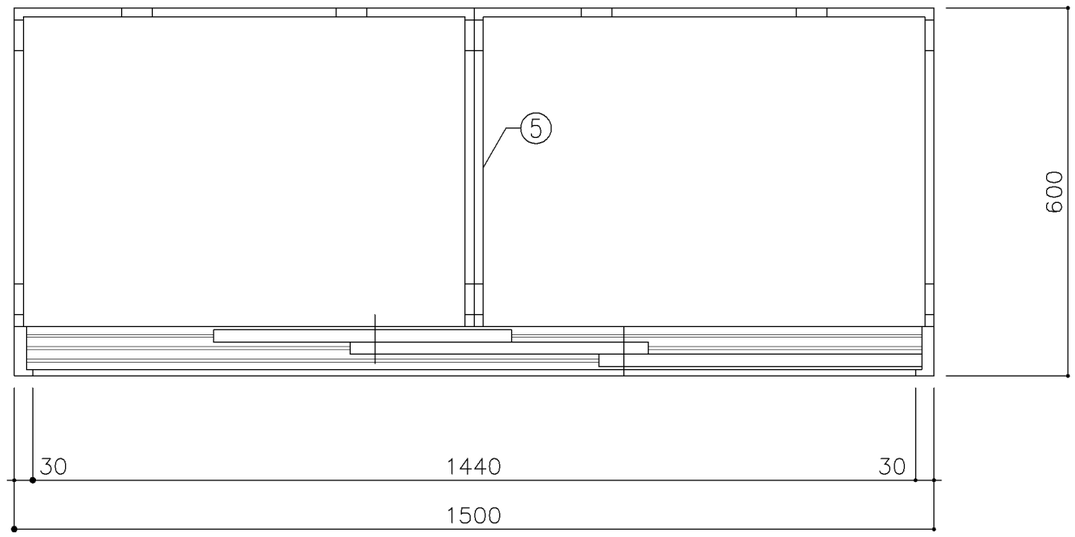
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
ⓐ	鍵飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
ⓑ	掘込引手	アルミ	アルマイト
ⓒ	レール	SPCC 0.8	焼付塗装
ⓓ	ｼﾘﾝﾀﾞｰﾌﾟｯｼｭ鍵	亜鉛合金	ﾆｯｹﾙﾒｯｷ
ⓔ	棚　爪	SGC	
ⓕ	硝　子	ｱ3ポリカーボネード板	

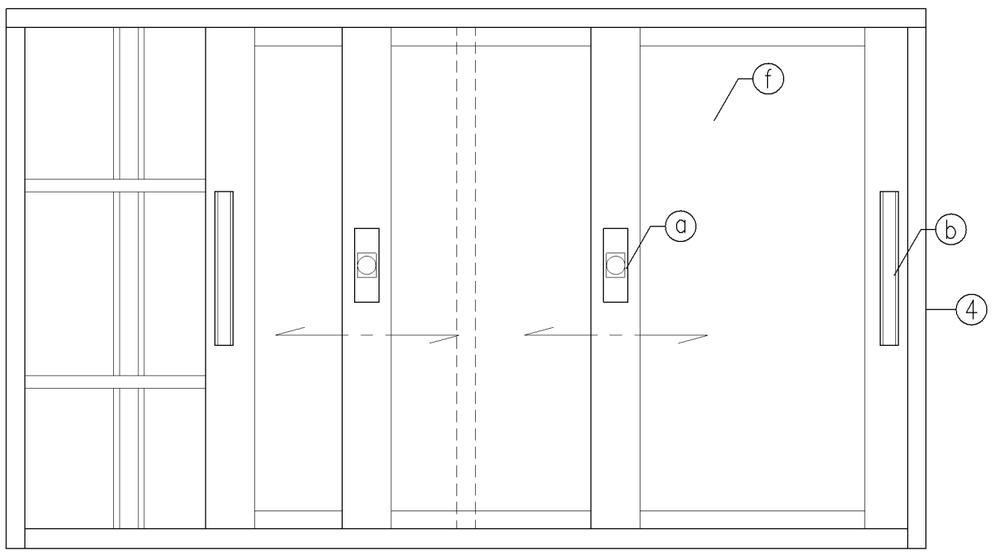
特記事項

名称	整理戸棚（上段）		
縮尺	1／10	記号	G－215
設計年月日	令和2年2月		

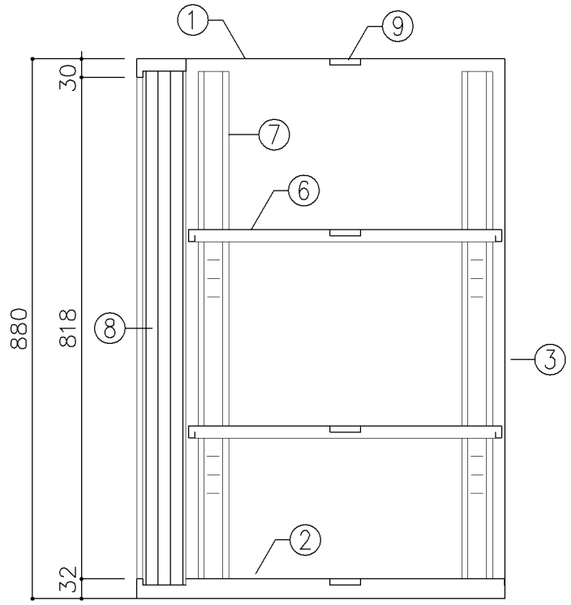
横浜市建築局



平面図



立面図



断面図

寸　法
W1,500 x D 600 x H 880

使用箇所
湯沸室

仕　様

番号	名称	材質	仕上
①	天　板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地　板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏　板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	棚　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	棚　受	SPCC 0.8	焼付塗装
⑧	カマチ戸	SPCC 0.8	焼付塗装
⑨	補 強 板	SPCC 0.8	焼付塗装

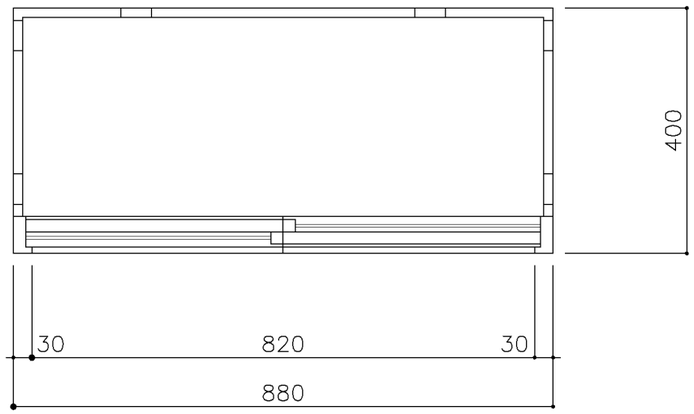
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
ⓐ	鍵 飾 板	ダイキャスト	クロムメッキ
ⓑ	掘込引手	アルミ	アルマイト
ⓒ	レ ー ル	SPCC 0.8	焼付塗装
ⓓ	ｼﾘﾝﾀﾞｰﾌﾟｯｼｭ鍵	亜鉛合金	ﾆｯｹﾙﾒｯｷ
ⓔ	棚　爪	SGC	
ⓕ	硝　子	ｱ3ポリカーボネード板	

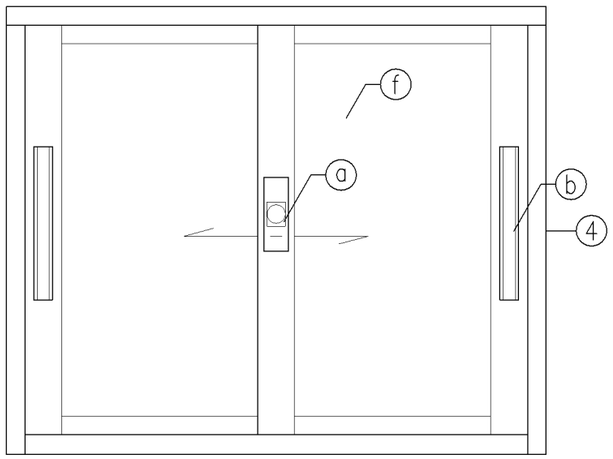
特記事項

名称	整理戸棚（3枚引）		
縮尺	1／10	記号	G－216
設 計 年 月 日		令和2年2月	

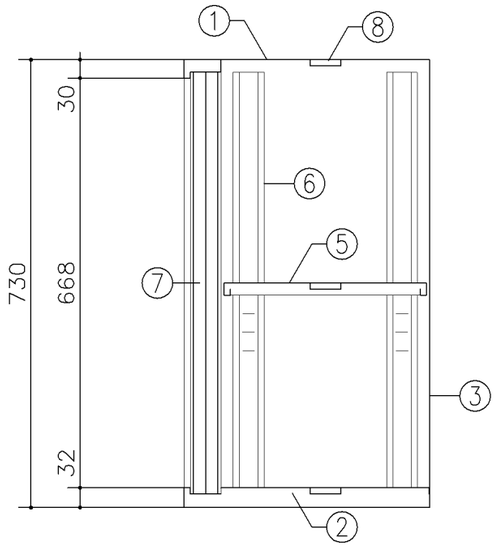
横浜市建築局



平面図



立面図



断面図

寸　法
W 880 x D 400 x H 730

使用箇所
耐火書庫

仕　様

番号	名称	材質	仕上
①	天　板	SPCC1.0	焼付塗装
②	地　板	SPCC0.8	焼付塗装
③	裏　板	SPCC0.8	焼付塗装
④	側　板	SPCC0.8	焼付塗装
⑤	棚　板	SPCC0.8	焼付塗装
⑥	棚　受	SPCC0.8	焼付塗装
⑦	カマチ戸	SPCC0.8	焼付塗装
⑧	補強板	SPCC0.8	焼付塗装

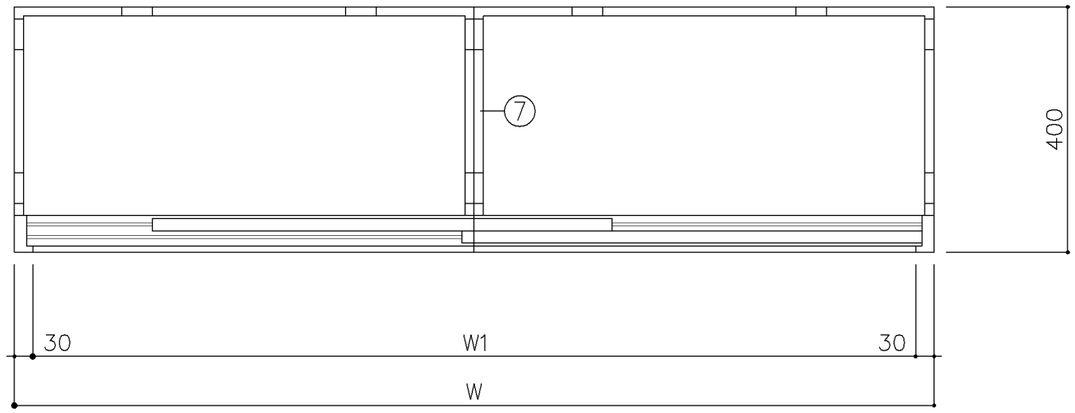
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
ⓐ	錠飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
ⓑ	彫込引手	アルミ	アルマイト
ⓒ	レール	SPCC0.8	焼付塗装
ⓓ	ｼﾘﾝﾀﾞｰﾌﾟｯｼｭ錠	亜鉛合金	ﾆｯｹﾙﾒｯｷ
ⓔ	棚　爪	SGC	
ⓕ	硝　子	ポリカーボネード板ｱ3	

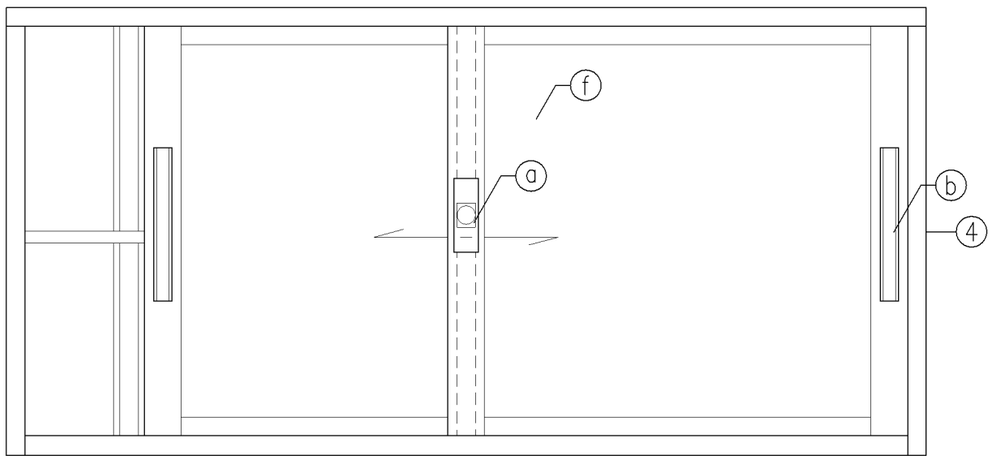
特記事項

名称	整理戸棚（上段）		
縮尺	1／10	記号	G－217
設計年月日	令和2年2月		

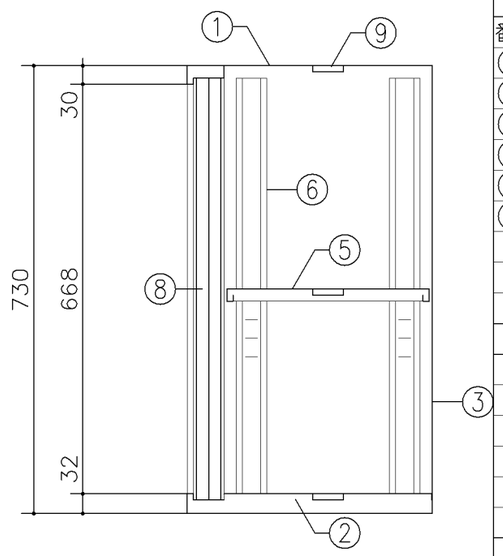
横浜市建築局



平面図



立面図



断面図

寸　法
A：W1,500 x D 400 x H 730
B：W1,760 x D 400 x H 730

使用箇所
A：職員室（小・中学校）
放送スタジオ（小・中学校）
B：事務室、資料室

仕　様

番号	名称	材質	仕上
①	天　板	SPCC1.0	焼付塗装
②	地　板	SPCC0.8	焼付塗装
③	裏　板	SPCC0.8	焼付塗装
④	側　板	SPCC0.8	焼付塗装
⑤	棚　板	SPCC0.8	焼付塗装
⑥	棚　受	SPCC0.8	焼付塗装
⑦	中仕切	SPCC0.8	焼付塗装
⑧	カマチ戸	SPCC0.8	焼付塗装
⑨	補強板	SPCC0.8	焼付塗装

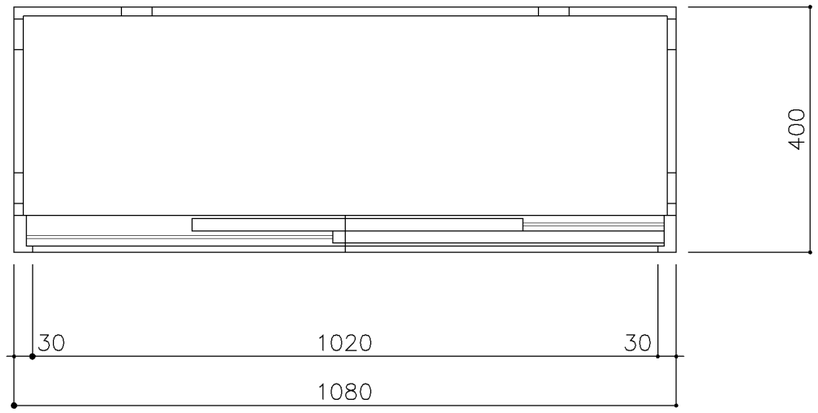
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
ⓐ	錠飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
ⓑ	彫込引手	アルミ	アルマイト
ⓒ	レール	SPCC0.8	焼付塗装
ⓓ	ｼﾘﾝﾀﾞｰﾌﾟｯｼｭ錠	亜鉛合金	ﾆｯｹﾙﾒｯｷ
ⓔ	棚　爪	SGC	
ⓕ	硝　子	ポリカーボネード板ｱ3	

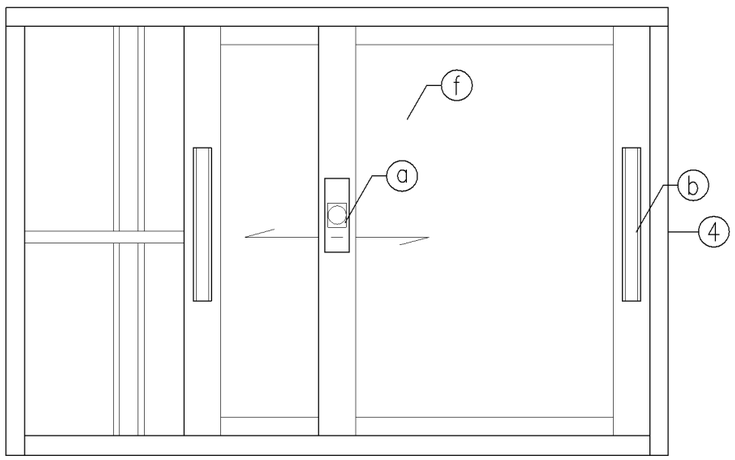
特記事項

名称	整理戸棚（上段）		
縮尺	1／10	記号	G－218A・B
設計年月日		令和2年2月	

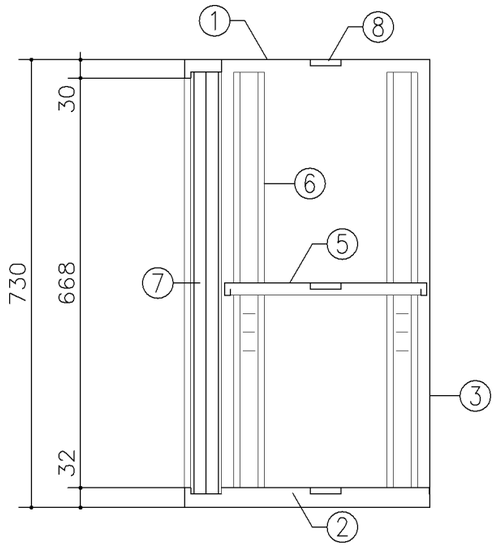
横浜市建築局



平面図



立面図



断面図

寸　法
W1,080 x D 400 x H 730

使用箇所
耐火書庫

仕　様

番号	名称	材質	仕上
①	天　板	SPCC1.0	焼付塗装
②	地　板	SPCC0.8	焼付塗装
③	裏　板	SPCC0.8	焼付塗装
④	側　板	SPCC0.8	焼付塗装
⑤	棚　板	SPCC0.8	焼付塗装
⑥	棚　受	SPCC0.8	焼付塗装
⑦	カマチ戸	SPCC0.8	焼付塗装
⑧	補強板	SPCC0.8	焼付塗装

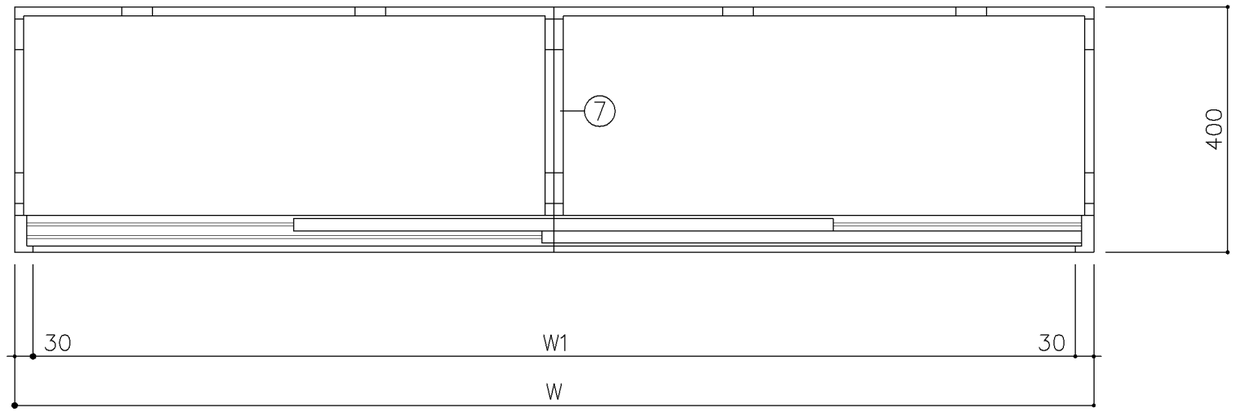
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
ⓐ	錠飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
ⓑ	彫込引手	アルミ	アルマイト
ⓒ	レ　ール	SPCC0.8	焼付塗装
ⓓ	ｼﾘﾝﾀﾞｰﾌﾟｯｼｭ錠	亜鉛合金	ﾆｯｹﾙﾒｯｷ
ⓔ	棚　爪	SGC	
ⓕ	硝　子	ポリカーボネード板ｱ3	

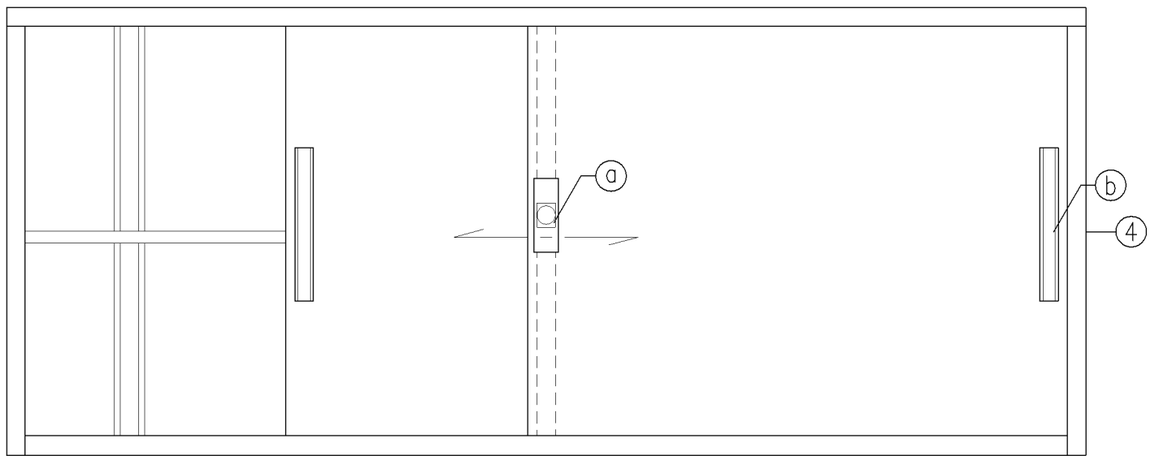
特記事項

名称	整理戸棚（上・中段）		
縮尺	1／10	記号	G－218C
設計年月日		令和2年2月	

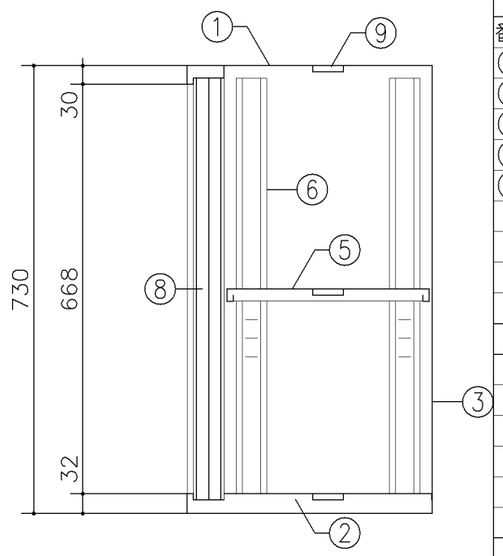
横浜市建築局



平面図



立面図



断面図

寸　法						
A：W1,300	x	D	400	x	H	730
B：W1,760	x	D	400	x	H	730

使用箇所
A：コンピュータ教室（中学校）
B：事務室

仕　様

番号	名称	材質	仕上
①	天　板	SPCC1.0	焼付塗装
②	地　板	SPCC0.8	焼付塗装
③	裏　板	SPCC0.8	焼付塗装
④	側　板	SPCC0.8	焼付塗装
⑤	棚　板	SPCC0.8	焼付塗装
⑥	棚　受	SPCC0.8	焼付塗装
⑦	中仕切	SPCC0.8	焼付塗装
⑧	引違戸	SPCC0.8	焼付塗装
⑨	補強板	SPCC0.8	焼付塗装

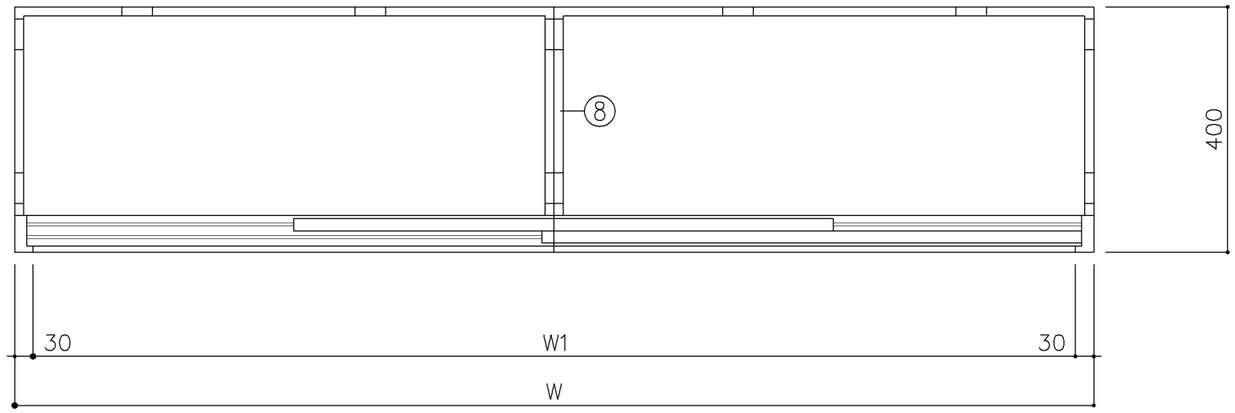
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
ⓐ	錠飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
ⓑ	彫込引手	アルミ	アルマイト
ⓒ	レール	SPCC0.8	焼付塗装
ⓓ	ｼﾘﾝﾀﾞｰﾌﾟｯｼｭ錠	亜鉛合金	ﾆｯｹﾙﾒｯｷ
ⓔ	棚　爪	SGC	

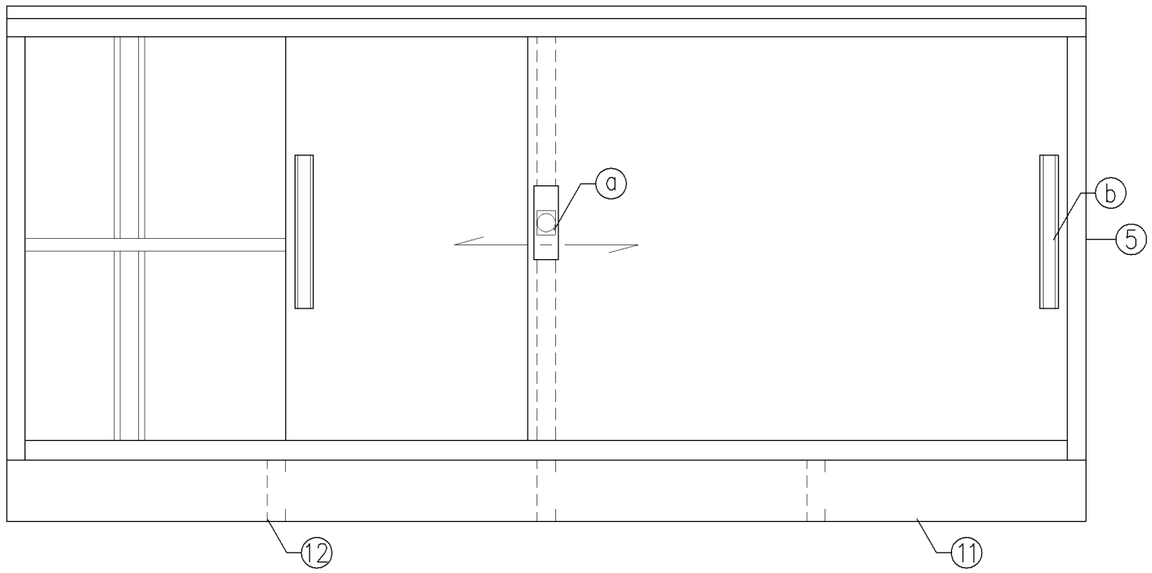
特記事項

名称	整理戸棚（上段）		
縮尺	1／10	記号	G－219A・B
設計年月日		令和2年2月	

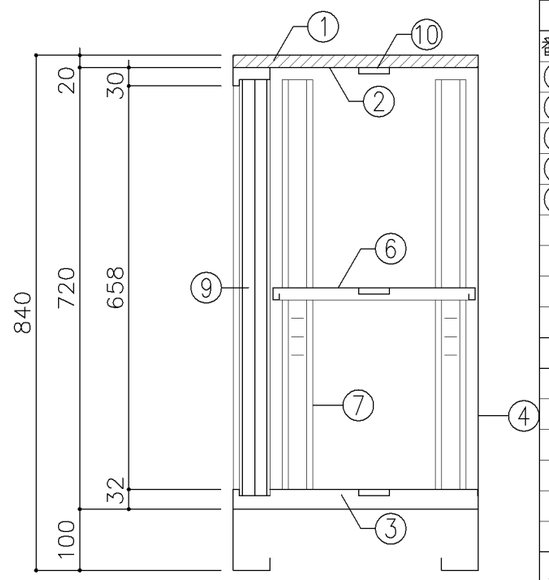
横浜市建築局



平面図



立面図



断面図

寸　法						
A：W1,500	x	D	400	x	H	840
B：W1,760	x	D	400	x	H	840

使用箇所
A：職員室（小・中学校）
B：職員室（小・中学校）

仕　様

番号	名称	材質	仕上
①	化粧天板	MDF	ﾒﾗﾐﾝ樹脂板
②	天　板	SPCC1.0	焼付塗装
③	地　板	SPCC0.8	焼付塗装
④	裏　板	SPCC0.8	焼付塗装
⑤	側　板	SPCC0.8	焼付塗装
⑥	棚　板	SPCC0.8	焼付塗装
⑦	棚　受	SPCC0.8	焼付塗装
⑧	中仕切	SPCC0.8	焼付塗装
⑨	カマチ戸	SPCC0.8	焼付塗装
⑩	補強板	SPCC0.8	焼付塗装
⑪	ベース	SPCC1.0	焼付塗装
⑫	ﾍﾞｰｽ補強	SPCC1.0	焼付塗装

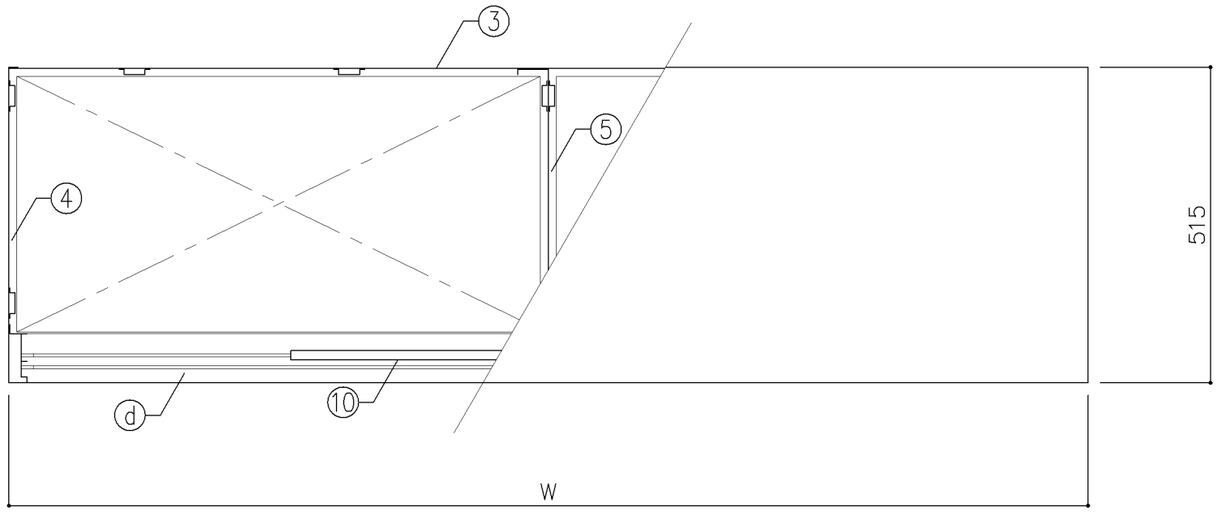
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
ⓐ	錠飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
ⓑ	彫込引手	アルミ	アルマイト
ⓒ	レール	SPCC0.8	焼付塗装
ⓓ	ｼﾘﾝﾀﾞｰﾌﾟｯｼｭ錠	亜鉛合金	ﾆｯｹﾙﾒｯｷ
ⓔ	棚　爪	SGC	

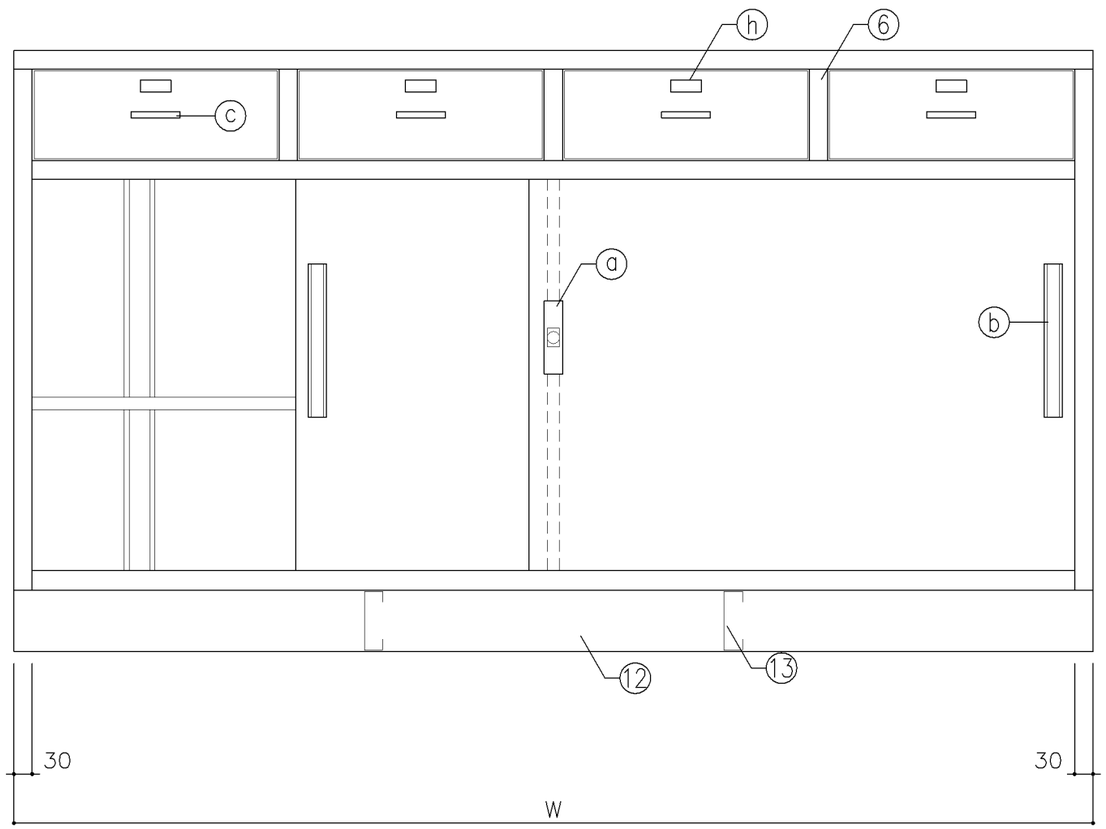
特記事項

名称	台下戸棚		
縮尺	1／10	記号	G－220
設計年月日	令和2年2月		

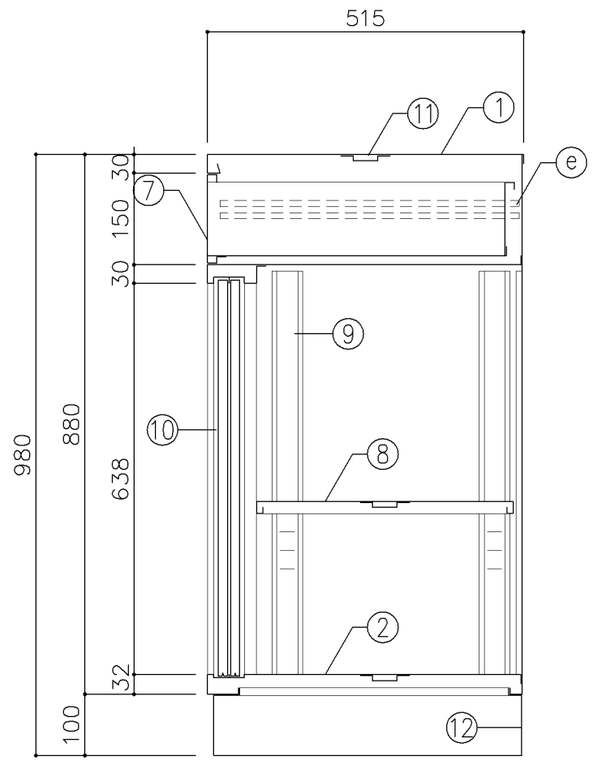
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
A：W1,650 x D 515 x H 980
B：W1,760 x D 515 x H 980

使用箇所
A：被服教室（多目的）
B：図画工作準備室

仕　様

番号	名称	材質	仕上
①	天　板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地　板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏　板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	引　出	SPCC 0.8	焼付塗装
⑧	棚　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑨	棚　受	SPCC 0.8	焼付塗装
⑩	引違戸	SPCC 0.8	焼付塗装
⑪	補強板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑫	ベース	SPCC 1.0	焼付塗装
⑬	ベース補強	SPCC 1.0	焼付塗装

金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
ⓐ	鍵飾板	ダイキャスト	クロムメッキ
ⓑ	掘込引手	アルミ	アルマイト
ⓒ	掘込引手	アルミ	アルマイト
ⓓ	レール	SPCC 0.8	焼付塗装
ⓔ	レール	SPCC 1.6	焼付塗装
ⓕ	ｼﾘﾝﾀﾞｰﾌﾟｯｼｭ鍵	亜鉛合金	ﾆｯｹﾙﾒｯｷ
ⓖ	棚　爪	SGC	
ⓗ	名札入		

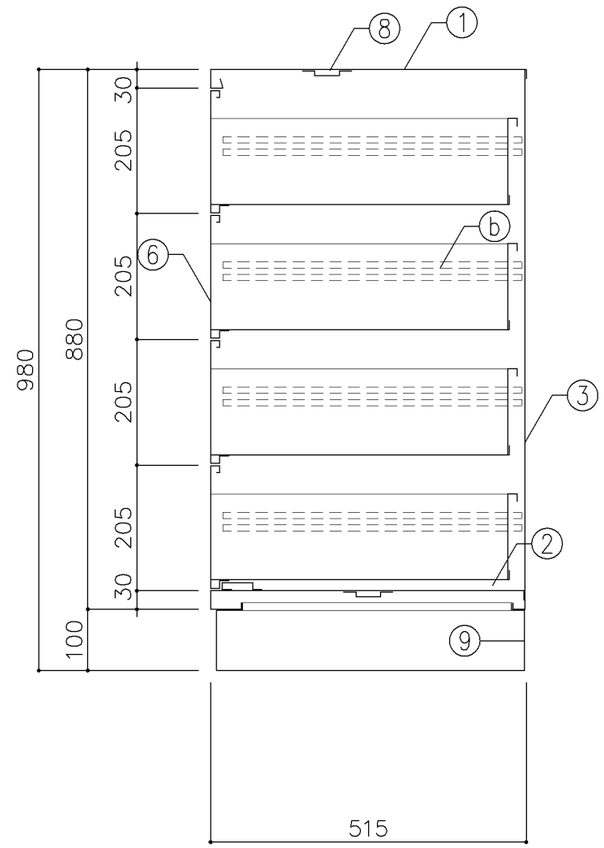
特記事項

名称	引出付整理戸棚		
縮尺	1／10	記号	G－230
設計年月日	令和2年2月		

横浜市建築局

平面図

正面図



断面図

寸　法
W1,760 x D 515 x H 980

使用箇所
図画工作準備室

仕　様

番号	名称	材質	仕上
①	天　板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地　板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏　板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	引　出	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	引出受	SPCC 1.6	焼付塗装
⑧	補強板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑨	ベース	SPCC 1.0	焼付塗装
⑩	ベース補強	SPCC 1.0	焼付塗装

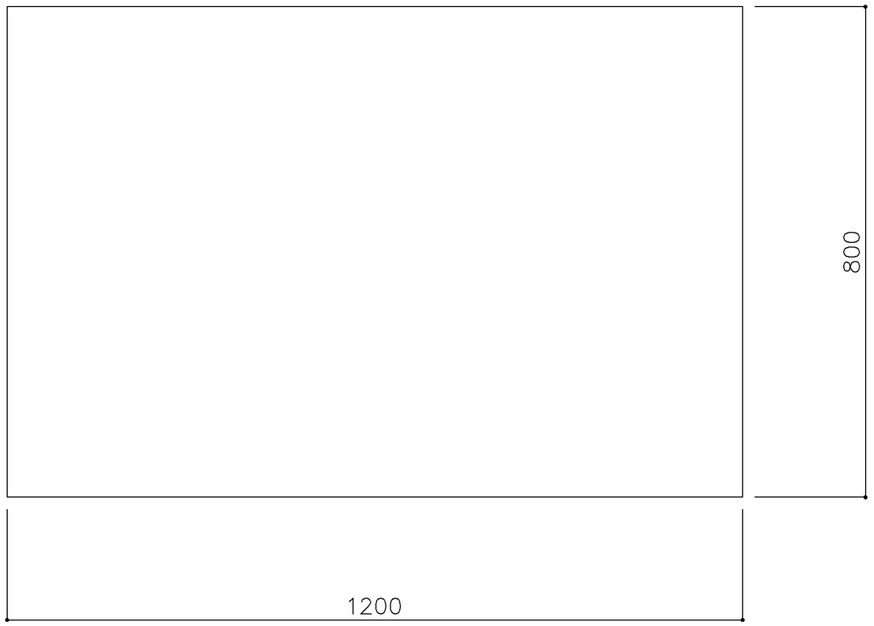
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
ⓐ	掘込引手	アルミ	アルマイト
ⓑ	レール	SPCC 1.6	焼付塗装
ⓒ	名札入		

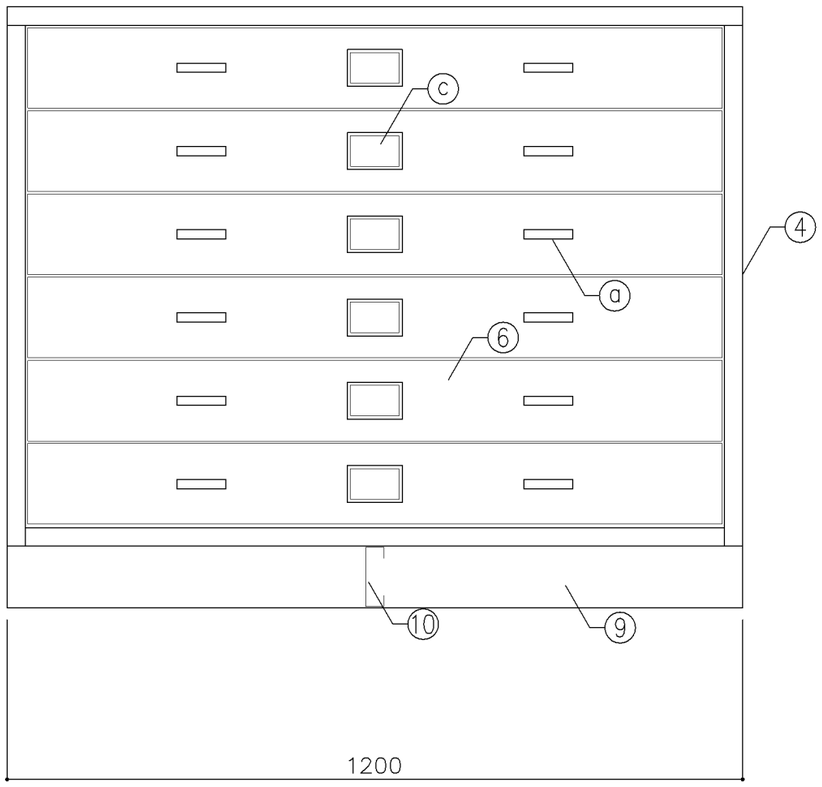
特記事項

名称	整理引出キャビネット		
縮尺	1/10	記号	G−231
設計年月日	令和2年2月		

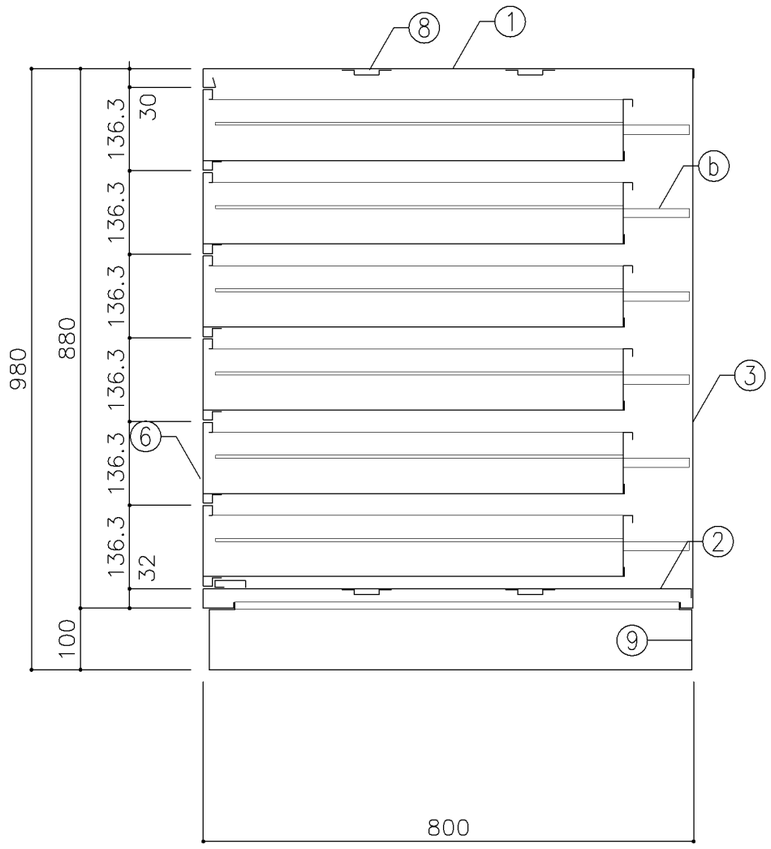
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,200 x D 800 x H 980

使用箇所
図画工作準備室、美術準備室

仕　様

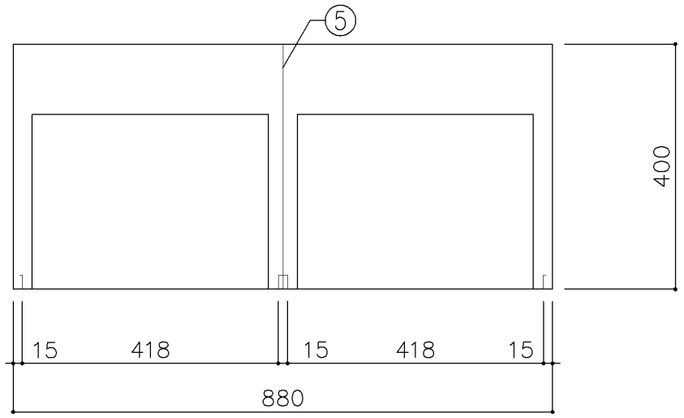
番号	名称	材質	仕上
①	天　板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地　板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏　板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	中仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	引　出	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	引出受	SPCC 1.6	焼付塗装
⑧	補強板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑨	ベース	SPCC 1.0	焼付塗装
⑩	ベース補強	SPCC 1.0	焼付塗装

金物及びその他

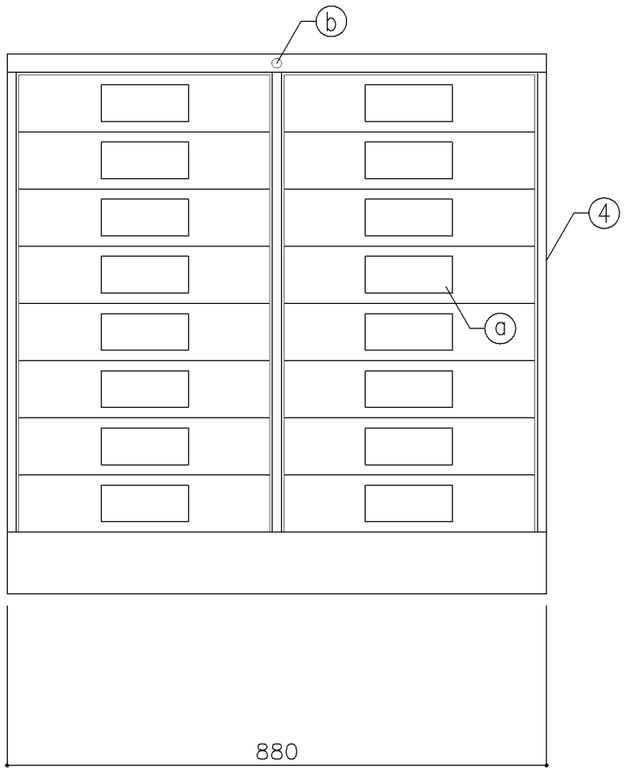
番号	名称	材質	仕上
ⓐ	掘込引手	アルミ	アルマイト
ⓑ	レール	SPCC 1.6	焼付塗装
ⓒ	名札入		

特記事項

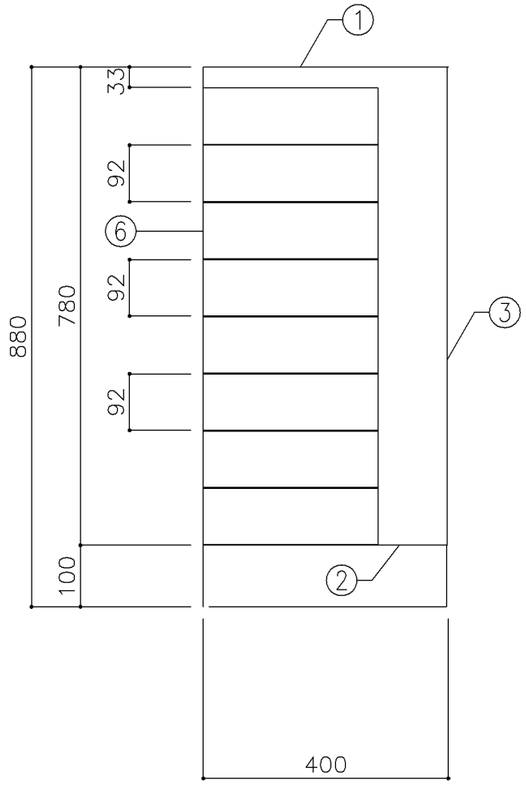
名称	引出箱保管庫		
縮尺	1/10	記号	G−232
設計年月日	令和2年2月		
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸　法
W880 x D400 x H880

使用箇所
保健室

仕　様

番号	名称	材質	仕上
①	天　板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地　板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏　板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	中仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	引　出	SPCC 0.8	焼付塗装

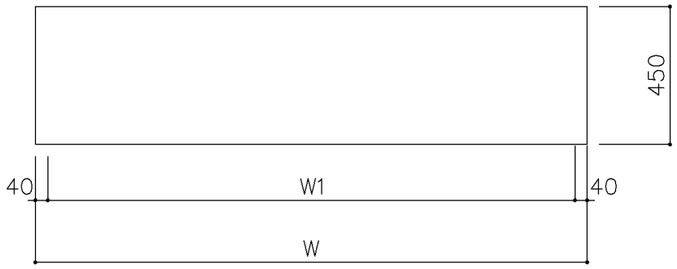
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
ⓐ	掘込引手	アルミ	アルマイト
ⓑ	オールロック錠	亜鉛合金	ニッケルメッキ

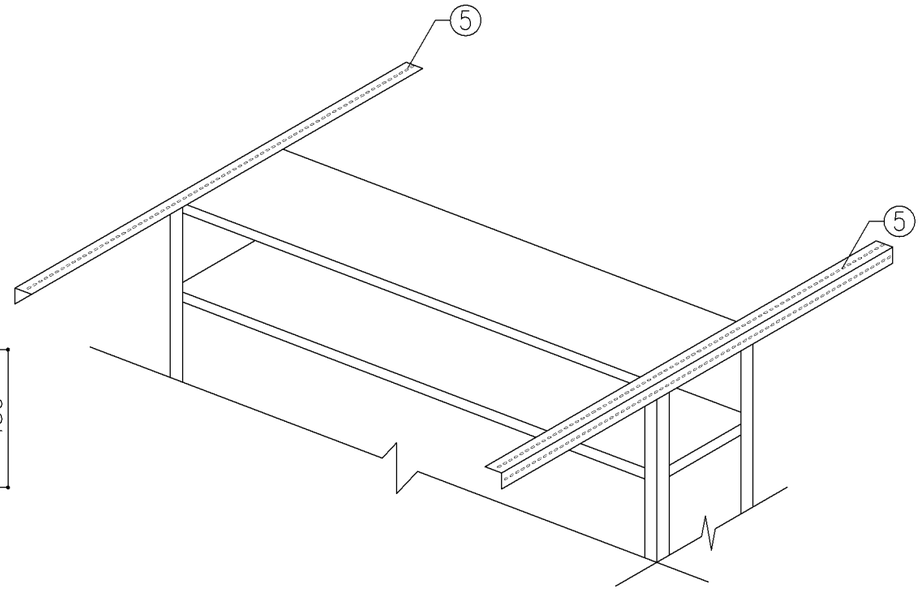
特記事項

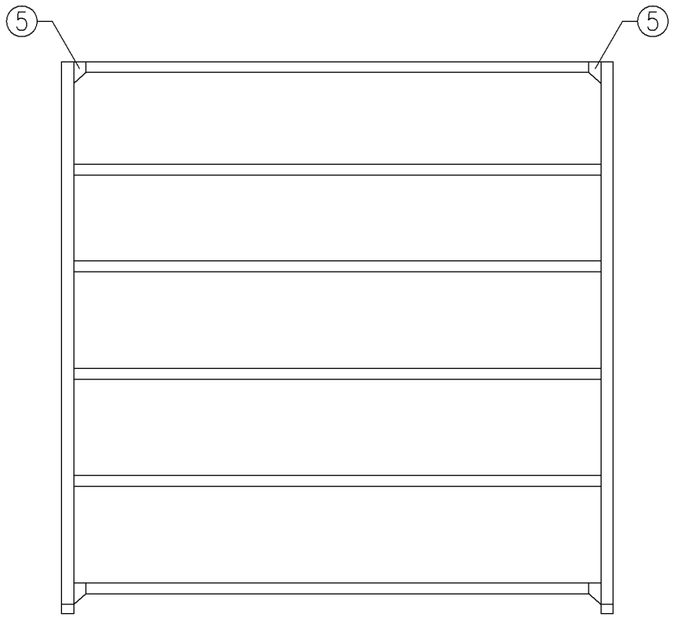
名称	資料戸棚		
縮尺	1／10	記号	G－233
設計年月日	令和2年2月		

横浜市建築局

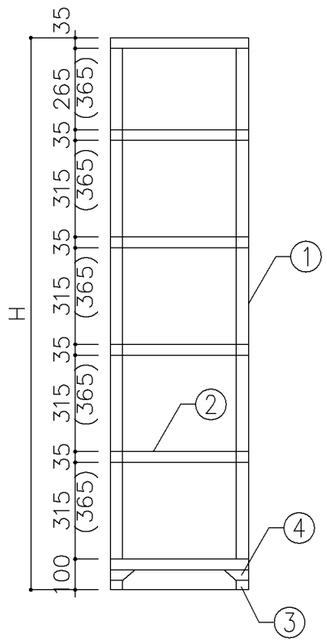


平面図





正面図



断面図

寸　法					
A：W1,200	x	D 450	x	H 2,100	
B：W1,800	x	D 450	x	H 1,800	

使用箇所
A：資料室
B：印刷室

仕　様

番号	名称	材質	仕上
①	支　柱	SPCC 2.0	焼付塗装
②	棚　板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	ベース金具	SPCC 1.2	焼付塗装
④	コーナープレート	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	耐震用振止	L−40x40x2	焼付塗装

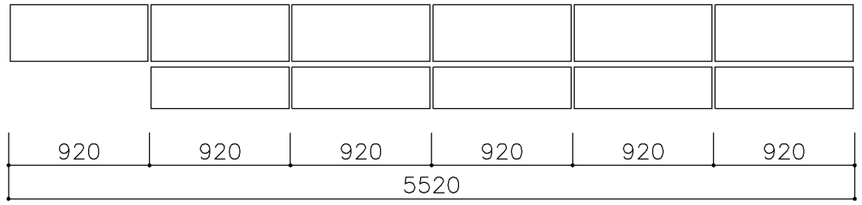
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
ⓐ	ボルト	SWRMM6	ユニクロメッキ

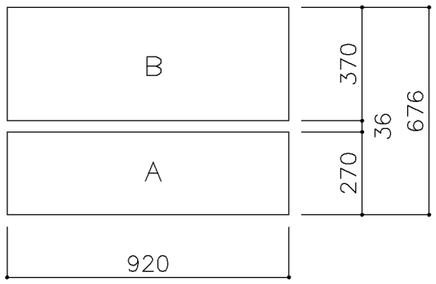
特記事項

名称	スチール棚		
縮尺	1／20	記号	G−240
設計年月日	令和2年2月		

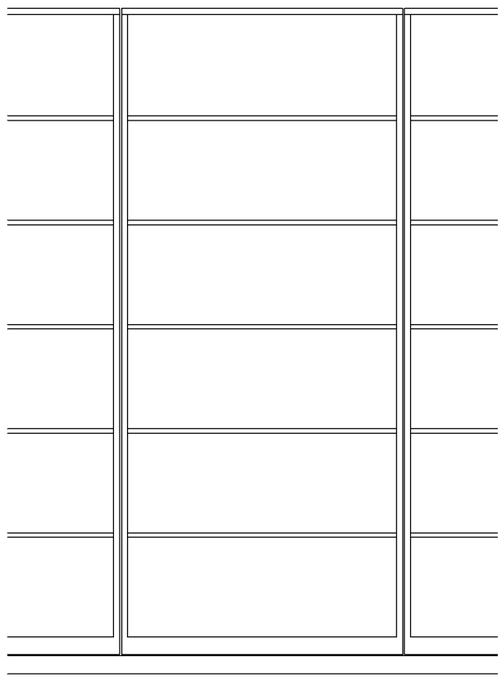
横浜市建築局



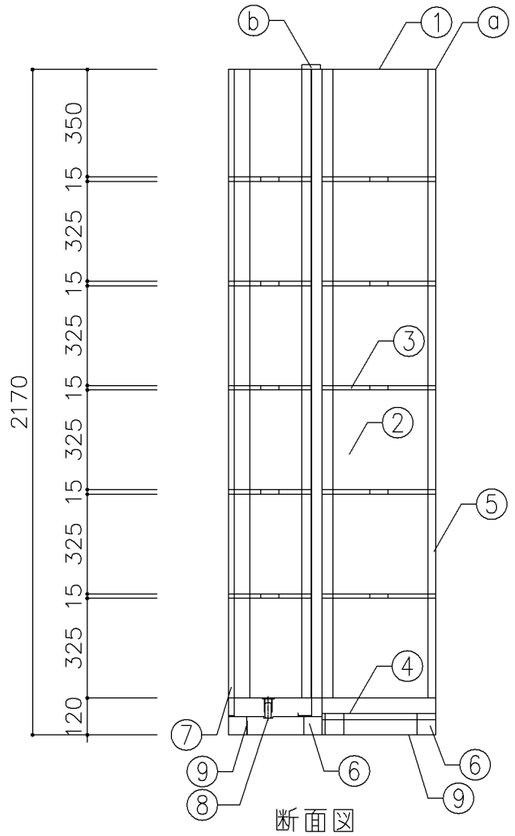
平面図



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 5,520 x D 676 x H 2,170

使用箇所
教科資料室（タイプ・2）

仕　様

番号	名称	材質	仕上
①	天　板	SPCC 2.0	焼付塗装
②	側　板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	棚　板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	底　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	背　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	ベース	SPCC 1.2	焼付塗装
⑦	移動用台枠	SPCC 1.2	焼付塗装
⑧	ｴﾝﾄﾞﾚｰﾙ	SUS 2.5	焼付塗装
⑨	固定用金具	SPCC 3.2	焼付塗装

金物及びその他

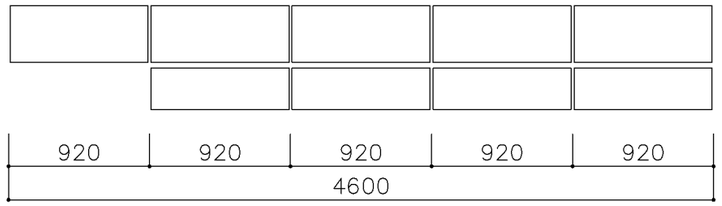
番号	名称	材質	仕上
ⓐ	本　体	振止チャンネル	
ⓑ	移動本体	転倒防止ガイドローラー	

特記事項

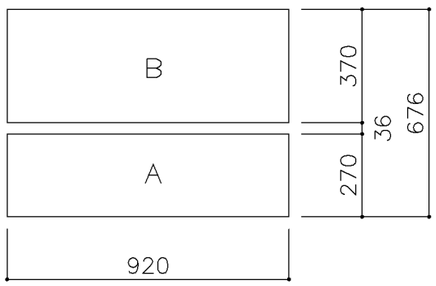
・移動本体は耐震性を講じる事

名称	6連スライド書架		
縮尺	1／20	記号	G−250
設計年月日			令和2年2月

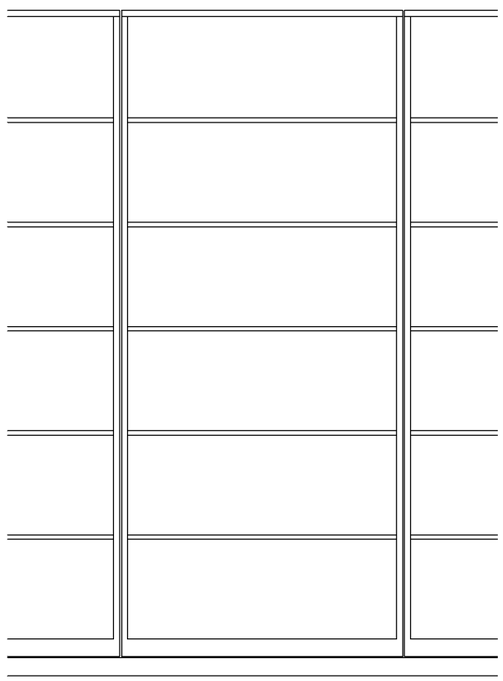
横浜市建築局



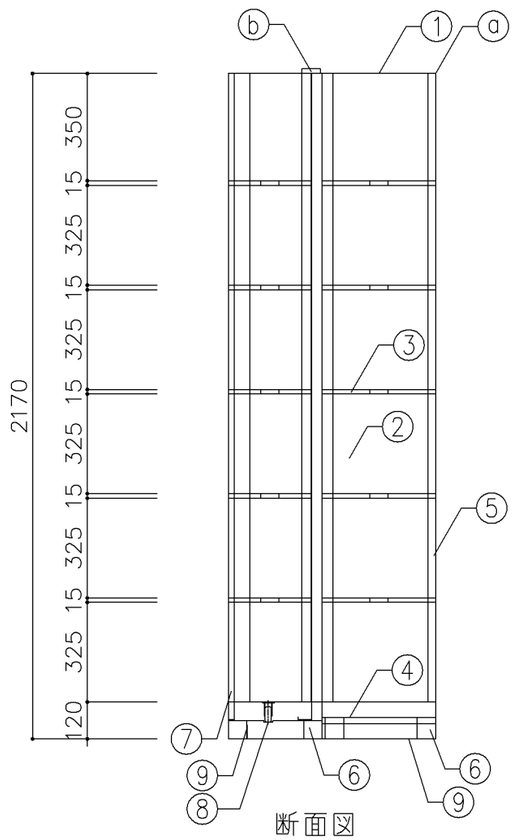
平面図



平面図



正面図



断面図

寸　法
W4,600 x D 676 x H 2,170

使用箇所
職員室（小・中学校）

仕　様

番号	名称	材質	仕上
①	天　板	SPCC 2.0	焼付塗装
②	側　板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	棚　板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	底　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	背　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	ベース	SPCC 1.2	焼付塗装
⑦	移動用台枠	SPCC 1.2	焼付塗装
⑧	ｴﾝﾄﾞﾚｰﾙ	SUS 2.5	焼付塗装
⑨	固定用金具	SPCC 3.2	焼付塗装

金物及びその他

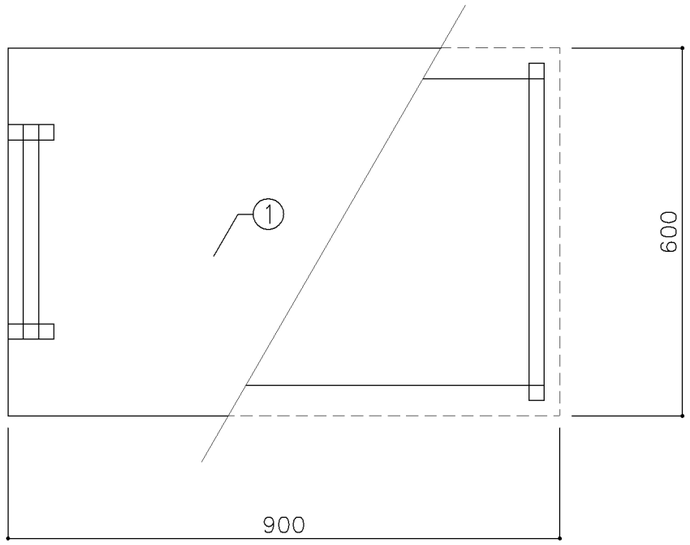
番号	名称	材質	仕上
ⓐ	本　体	振止チャンネル	
ⓑ	移動本体	転倒防止ガイドローラー	

特記事項

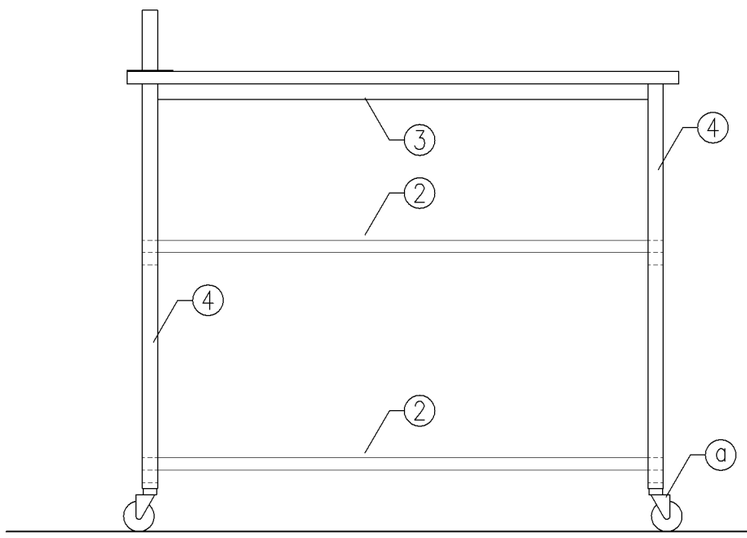
・移動本体は耐震性を講じる事

名称	5連スライド書架		
縮尺	1／20	記号	G－251
設計年月日			令和2年2月

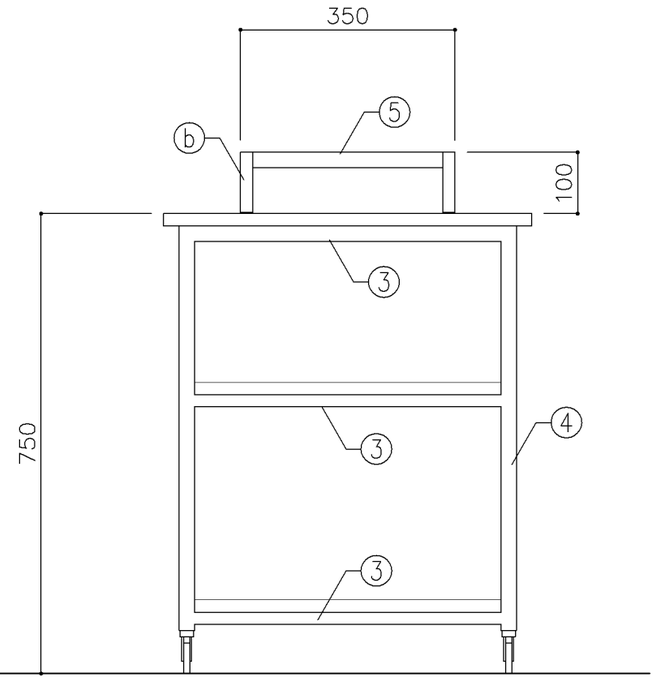
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 900 x D 600 x H 750

使用箇所
調理教室

仕　様

番号	名称	材質	仕上
①	天　板	メラミン化粧板	焼付塗装
②	棚　板	メラミン化粧板	焼付塗装
③	棚　受	25角　スチールパイプ	焼付塗装
④	脚	25角　スチールパイプ	焼付塗装
⑤	引　手	25角　スチールパイプ	クロムメッキ

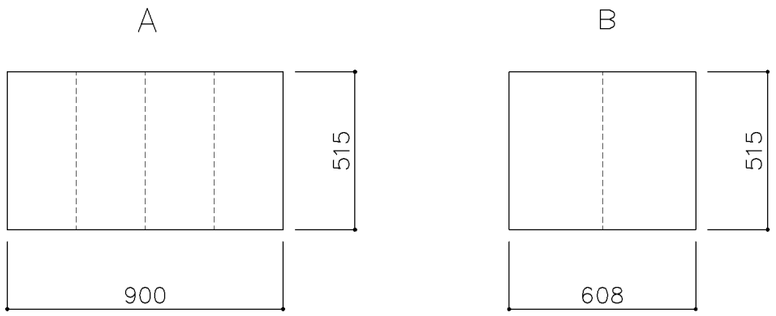
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
ⓐ	キャスター		
ⓑ	パイプ受	スチール	焼付塗装

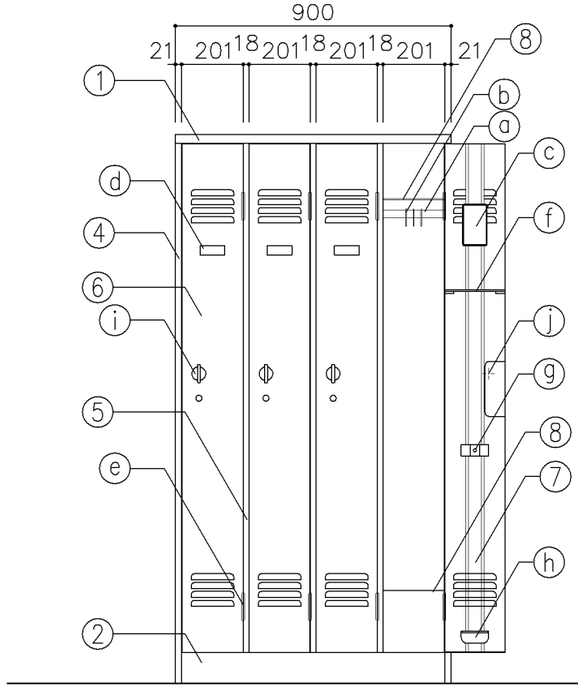
特記事項

名称	分配台（ワゴン）		
縮尺	1/10	記号	G−260
設計年月日	令和2年2月		

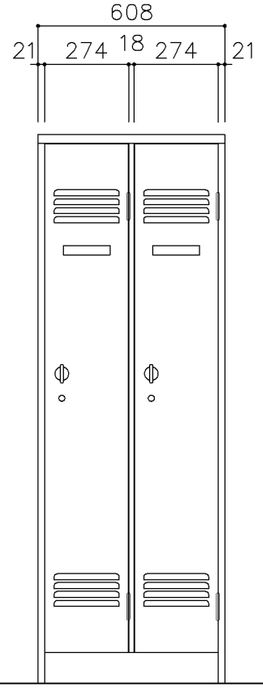
横浜市建築局

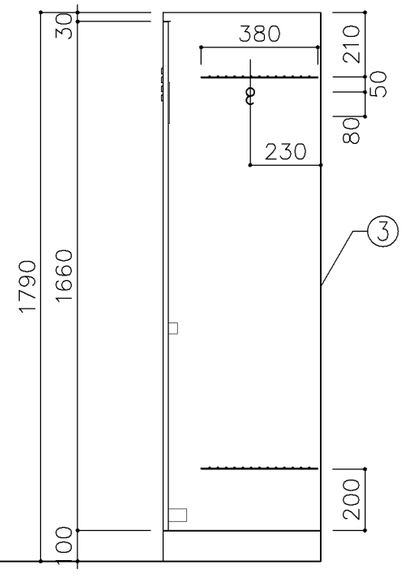


平面図



正面図





断面図

寸　法
A：W900 x D515 x H1,790（4連）
B：W608 x D515 x H1,790（2連）

使用箇所
A：職員更衣室
B：事務室、校長室

仕　様

番号	名称	材　質	仕上
①	天　板	SPCC 0.8	焼付塗装
②	ベース	SPCC 1.0	焼付塗装
③	裏　板	SPCC 0.6	焼付塗装
④	側　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	縦仕切板	SPCC 0.6	焼付塗装
⑥	扉　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	扉補強	SPCC 0.8	焼付塗装
⑧	網　棚	SWRM	クロムメッキ

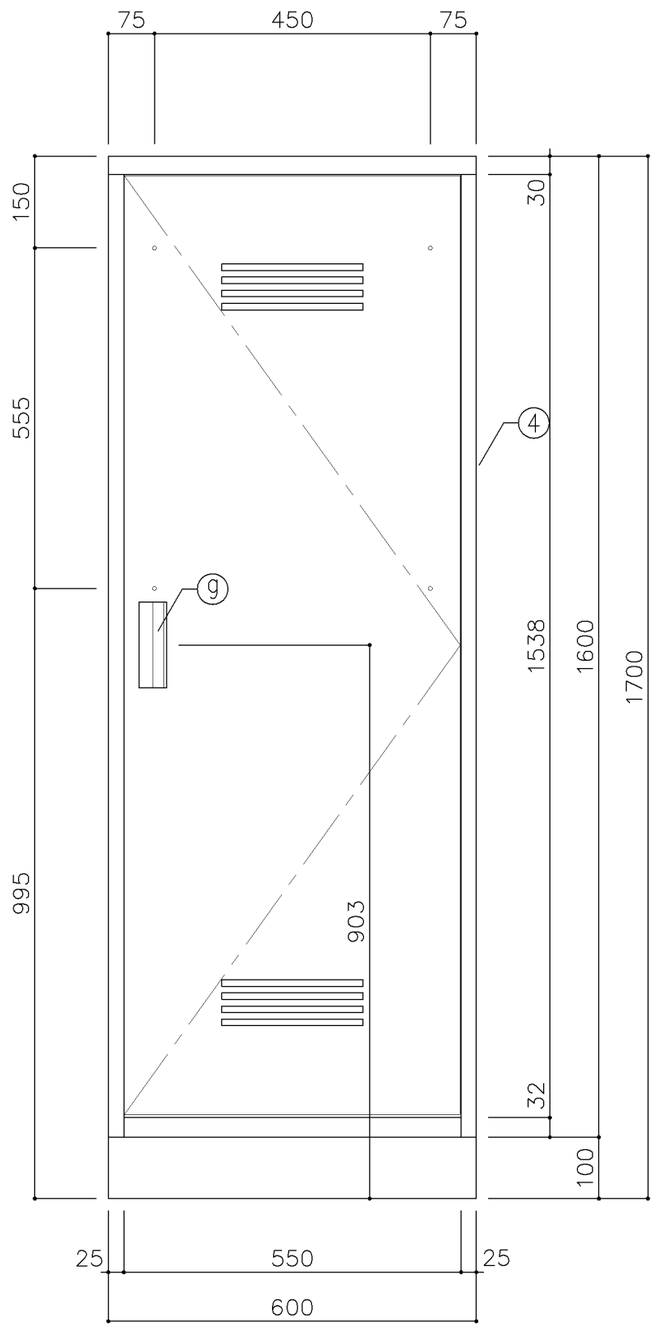
金　物

番号	使用箇所	材　質	仕上
ⓐ	ハンガーパイプ	STKM	塩ビコーティング
ⓑ	S　鐶		クロムメッキ
ⓒ	鏡		射出成型
ⓓ	名刺入	ZDC	クロムメッキ
ⓔ	T　番	SPCC	焼付塗装
ⓕ	タオル掛	SWRM	クロムメッキ
ⓖ	傘立て	プラスチック	
ⓗ	雫受け	プラスチック	
ⓘ	把　手	ZDC	クロムメッキ
ⓙ	裏カバー	SPCC0.6	焼付塗装

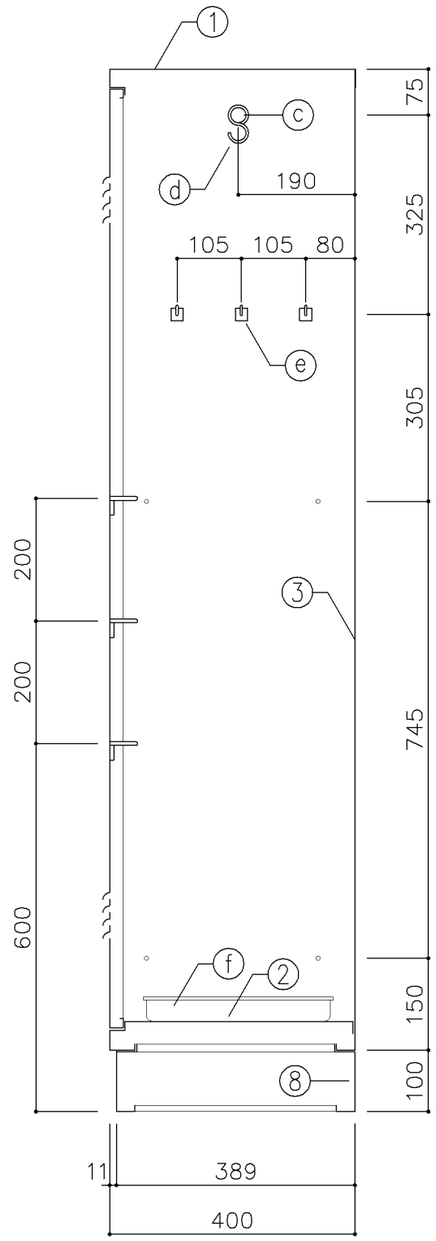
特記事項

名称	職員ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G−270
設計年月	令和2年2月		

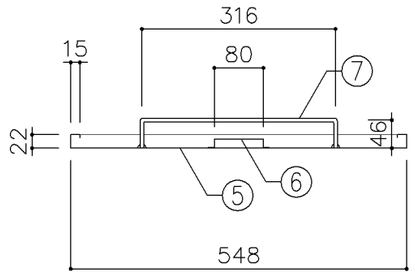
横浜市建築局



正面図



断面図



扉断面図

寸　法
W 600 x D 400 x H 1,700

使用箇所
多目的室（水廻り学習等）、家庭科教室
理科教室（小・中学校）、調理教室
音楽教室、図画工作教室、美術教室
被服教室（多目的）、PTA会議室
金工・木工教室、放送室（小・中学校）
コンピューター教室（小・中学校）
地域交流室、特別活動室、技術員室
保健室・保健相談室、倉庫
職員室（小・中学校）、会議室
図書室（小・中学校）

仕　様

番号	名称	材質	仕上
①	天　板	SPCC 0.8	焼付塗装
②	地　板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏　板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	扉　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	扉補強	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	雑巾掛	SWRM 6φ	
⑧	ベース	SPCC 1.0	
⑨	隅金具	SPCC 2.3	
⑩	アジャスター	SWRM PE	

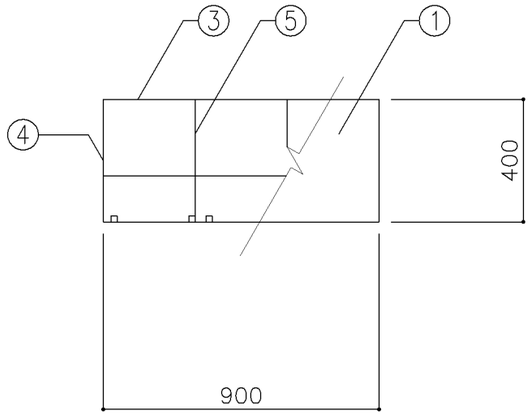
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
ⓐ	T　番	SPCC 1.2	
ⓑ	マグネット		
ⓒ	ハンガーパイプ	フラットパイプ（SUS）25φ	
ⓓ	S カン	SWRM 3φ	
ⓔ	フック	ABS	
ⓕ	トレー	SUS304	
ⓖ	把　手	A6063S	

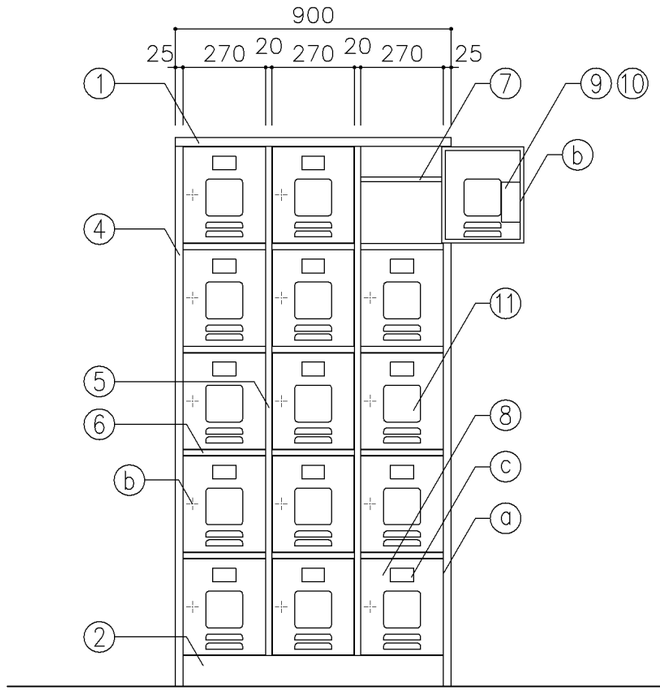
特記事項

名称	掃除用具入		
縮尺	1／10	記号	G−280
設計年月日		令和2年2月	

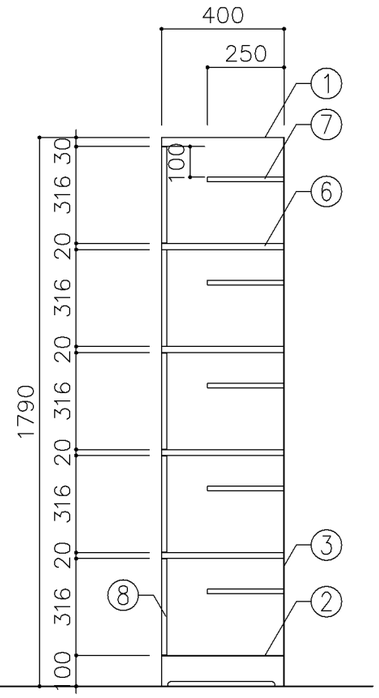
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W900 x D 400 x H 1,790

使用箇所
職員・来校者用玄関

仕　様

番号	名称	材　質	仕上
①	天　板	SPCC 0.8	焼付塗装
②	ベース	SPCC 1.0	焼付塗装
③	裏　板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	横仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	棚　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑧	扉　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑨	引手、引付板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑩	引手カバー	SPCC 0.8	焼付塗装
⑪	小　窓	アクリル ア3.0	

金　物

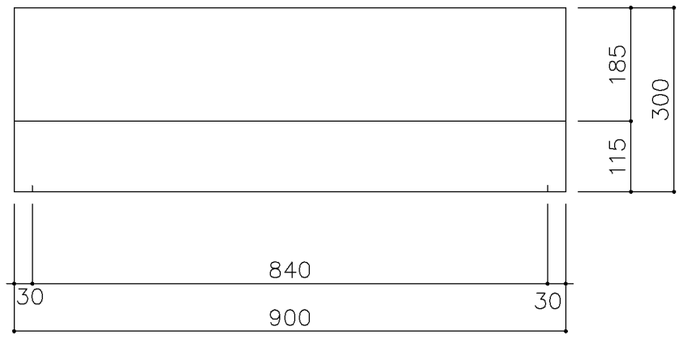
番号	使用箇所	材　質	仕上
ⓐ	丁　番	SPCC 1.6	焼付塗装
ⓑ	カンヌキ	SPCC 3.2	クロムメッキ
ⓒ	名刺入	合成樹脂	射出成型

特記事項

・扉付小窓の面積は0.01平米以上とする

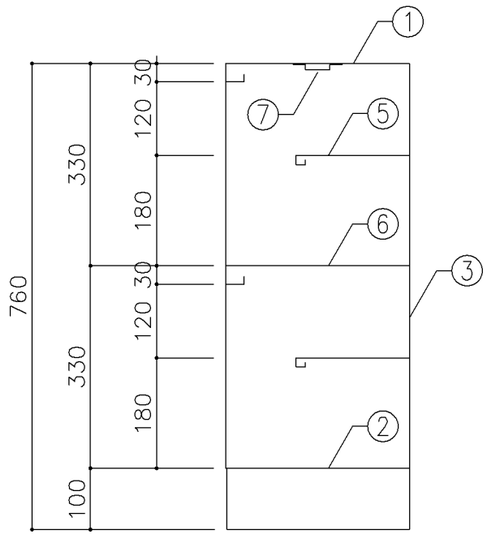
名称	職員用靴入		
縮尺	1/20	記号	G−290
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局



平面図

正面図



断面図

寸　法
W900 x D300 x H760

使用箇所
職員室（小・中学校）

仕　様

番号	名称	材質	仕上
①	天　板	SPCC 1.0	焼付塗装
②	地　板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏　板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	縦仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	引　出	SPCC 0.8	焼付塗装

金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
ⓐ	アジャスター	合成樹脂	

特記事項

・8足収納

名称	靴　入		
縮尺	1／10	記号	G－291
設計年月日		令和2年2月	

横浜市建築局

G－300 収納家具（木・パーテーション）共通事項

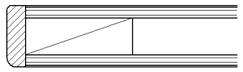
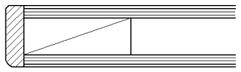
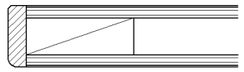
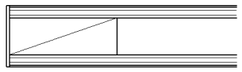
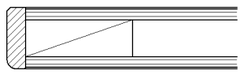
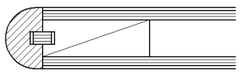
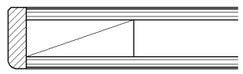
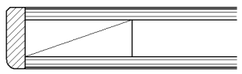
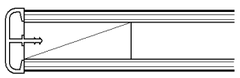
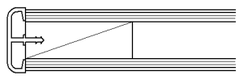
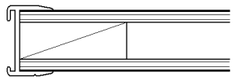
1．収納家具等の木口材及び芯材は下記による。

1．部位別の表面材と木口材は、下記リスト表より選定するものとする。
尚リスト表に記載されていないものに関しては、横浜市建築工事担当課の承認を得るものとする。

1．芯材は原則として、リスト表によるものとする。

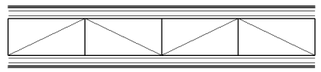
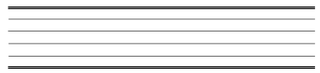
1．各部塗装は、国土交通省仕様を順守の事。

部位別による表面材と木口形状リスト

本体（枠板）	天板形状（甲板）	扉	棚板形状（可動棚）	
Ⓐ ポリエステル化粧合板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓐ メラミン化粧板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓐ ポリエステル化粧合板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓐ ポリエステル化粧合板  木口：メラミン化粧板	
Ⓑ しな合板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓑ メラミン化粧板  木口：タモ（アール加工）	Ⓑ しな合板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓑ しな合板 	
Ⓒ ポリエステル化粧合板 Or しな合板  木口：塩ビエッジ	Ⓒ メラミン化粧板  木口：塩ビエッジ		Ⓒ ポリエステル化粧合板 Or しな合板  木口：アルミ成形レール	

芯材リスト（凡例）

※各図面の芯材の蘭の表記は下記による

A－1	フラッシュ
B－1	ブロックコア
	
C－1	ベタ芯
	

名称	共通事項		
縮尺	1/2	記号	G－300
設計年月		令和2年2月	
横浜市建築局			

■ レール・戸車

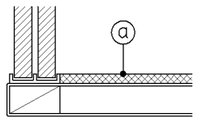
1。 引違い戸、框戸に使用するレール・戸車の材質は、下記より選択するものとする。

ａ。上枠 ―― 塩ビ製又はアルミ製鴨居レール（埋込・外付両タイプ）
　下枠 ―― アルミＶレール（埋込タイプ）

ｂ。上枠・下枠 共 ―― 塩化ビニール樹脂成型品（外付タイプ）

2。 戸車はナイロン戸車を原則とする。

3。 下枠レールに塩化ビニール樹脂成型品（外付タイプ）を使用する際は、
棚板と段差を設けず、フラットに仕上げる事とする。（図中 ⓐ 部）



■ 框戸

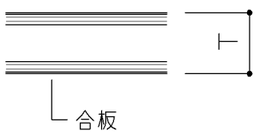
1。 框材は下記より選択するものとする。

ａ：木製

ｂ：塩ビ樹脂コーティングアルミサッシュ

■ 合板フラッシュ

1。 合板フラッシュの合板の厚みは、下記に依るものとする。



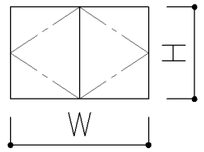
Ｔ＞25　の場合　ｱ5.5
Ｔ≦25　の場合　ｱ4

■ スライド丁番

1。 自動締り機構付とする。

1。 開き角度は120°以上とする。

1。 取付丁番の個数は、下記に依るものとする。

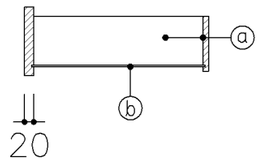


1/2W＝600 以下の場合

Ｈ≦1200 ―――― 2個
1200＜Ｈ≦1600 ―――― 3個
1600＜Ｈ≦2000 ―――― 4個

■ 引出し

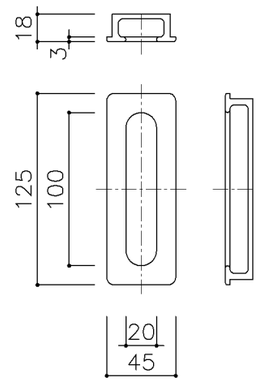
1。 特記無き限り引出しの使用は、下記に依るものとする。



ⓐ 側、先板 ： アガチス合板又はしな合板　ｱ12
ⓑ 底　　板 ： アガチス合板又はしな合板　ｱ4

■ 引手

1。 引手は国産スギ、ヒノキ材堀込引手とする。



名称	共通事項		
縮尺	1/20	記号	G－301
設 計 年 月		令和2年2月	
横浜市建築局			

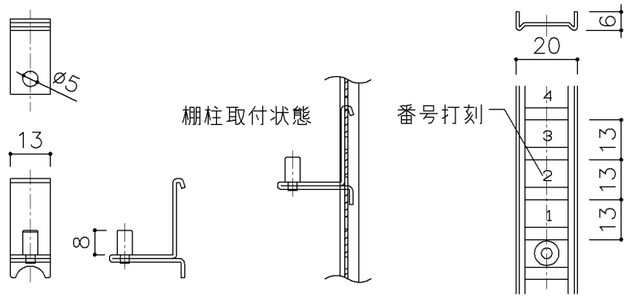
■ ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）

１。 棚柱はステンレス製とし、4点支持で安全荷重約60kgを満足するものとする。
可動ピッチは１３mmとし、可動ピッチの番号打刻入りとする。

２。 棚受はステンレス製とし、突起ダボをφ5とする。

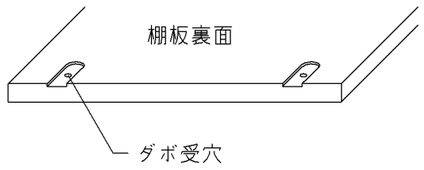
注）棚柱・棚受については震度6相当の揺れでも棚板の外れや
落下等がないようにすること。

注）棚柱・棚受ともにステンレス製とし、書籍に錆や腐食等を付着させないこと。



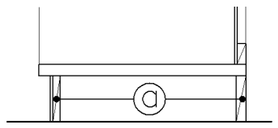
■ 可動棚

１。 棚板にはダボ受穴を設ける。



■ 巾木

１。 仕様は下記による。（仕上材は各図面参照）

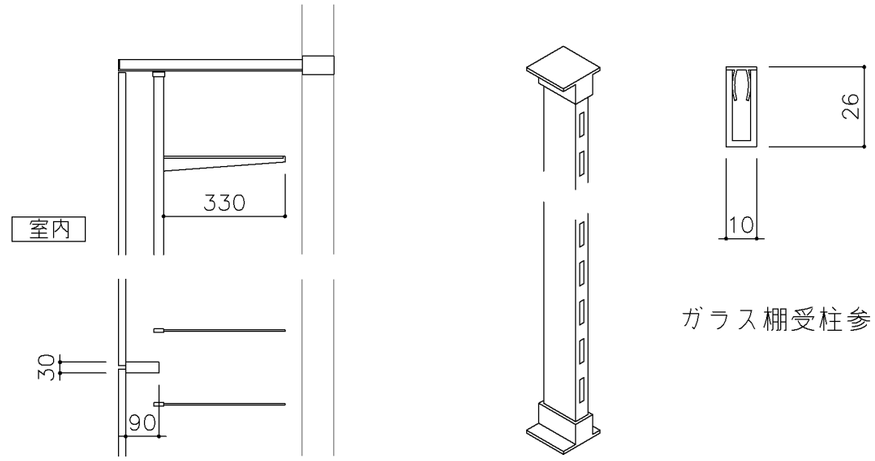


芯材図中の ⓐ の厚みは、ブロックコア合板 ｱ21とする。

■ ショーケース

Ａ。 ガラス棚受柱、ブラケット

１。ステンレス製（ヘアーライン）＃300とする。（上下座共）
１。水平ブラケットは、80kg（安全荷重）に耐えうるものとする。
１。水平ブラケットは、透明すべり止めエンビ付のものとする。
１。ステンレスの材質は、SUS 304とする。
１。ステンレス製（ヘアーライン）＃300とする。（上下座共）

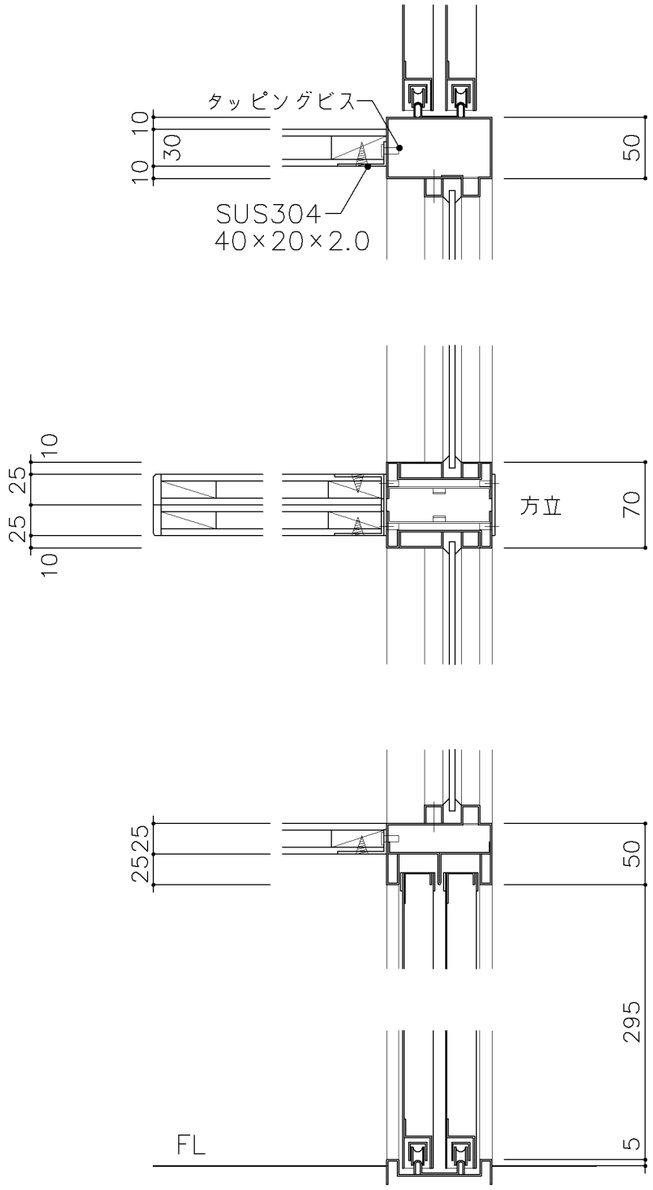


ガラス棚受柱参考図

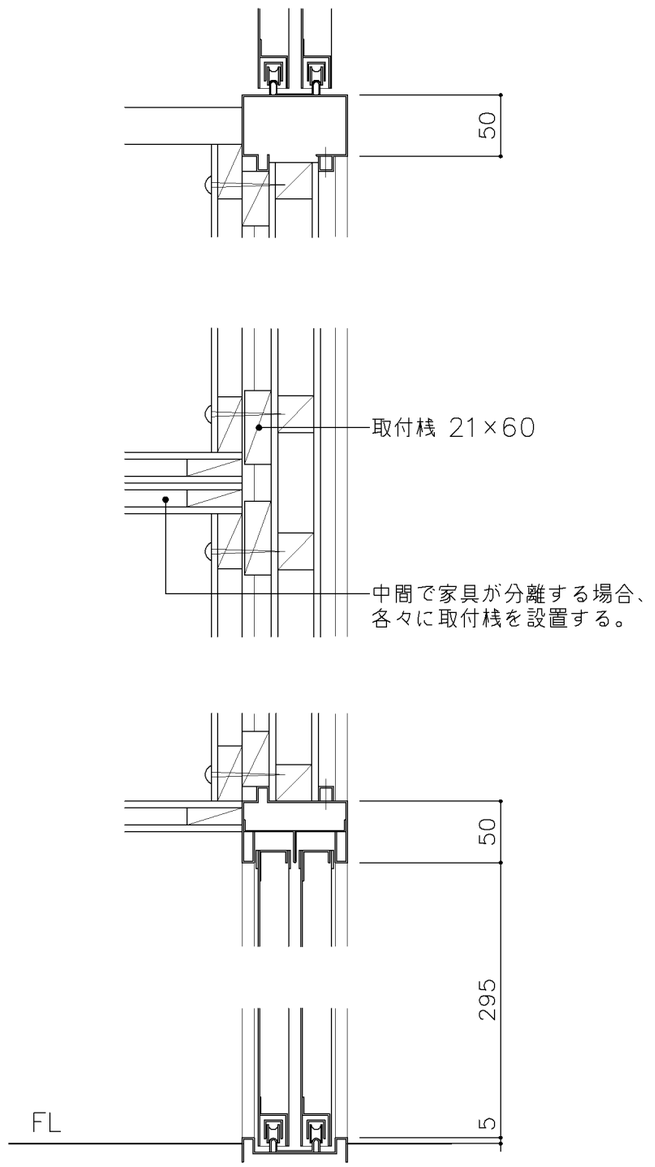
名称	共通事項		
縮尺	1/20	記号	G－302
設 計 年 月		令和2年2月	
横浜市建築局			

G−300 収納家具（木・パーテーション）共通事項

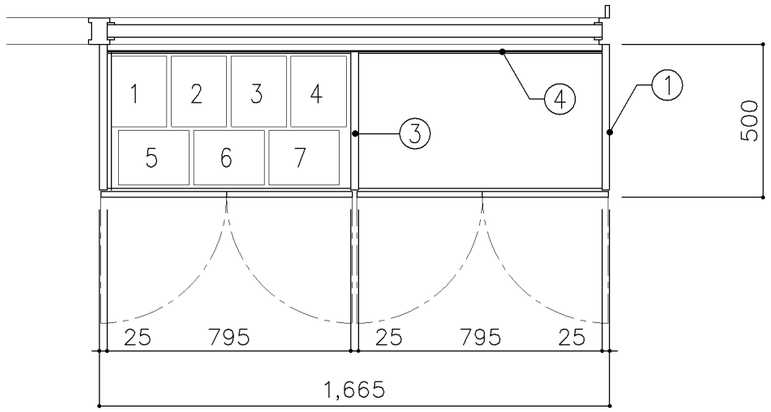
■ パーテーション付ショーケース 取合詳細図



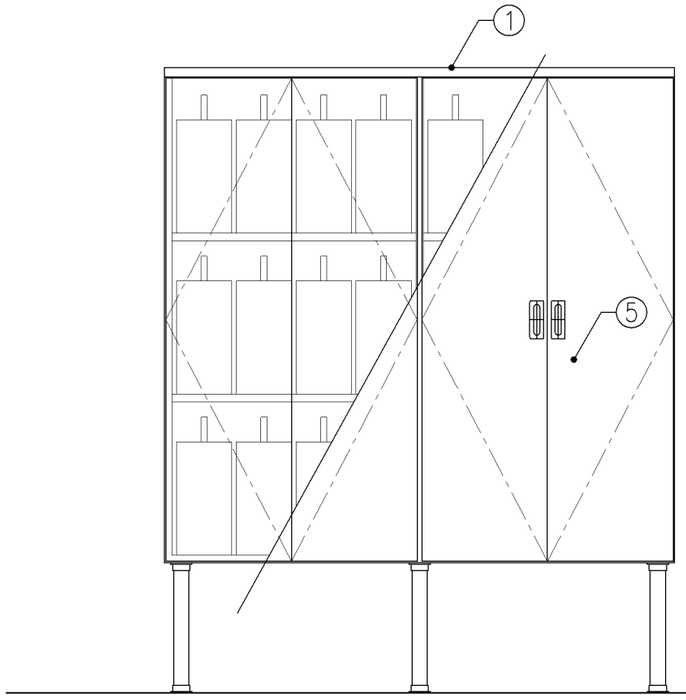
■ パーテーション付収納戸棚・展示棚他 詳細図



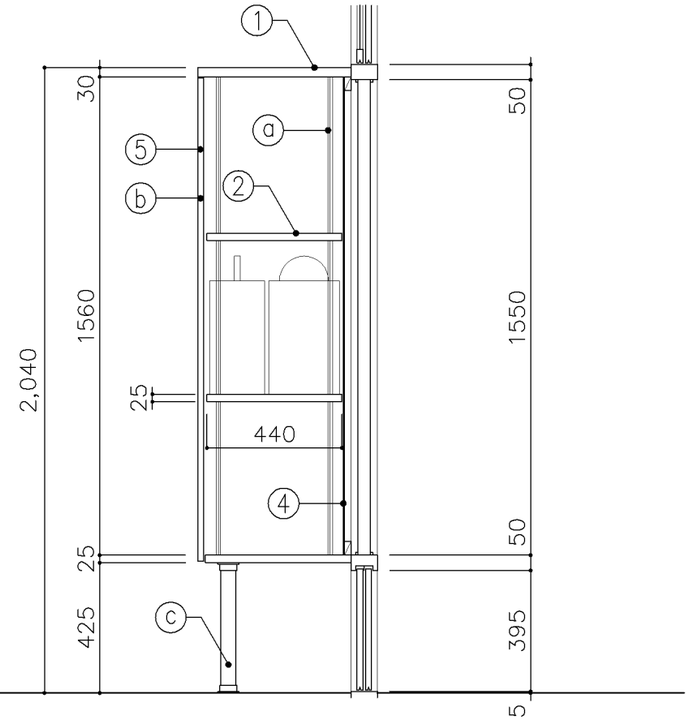
名称	収納戸棚		
縮尺	1/5	記号	G−303
設 計 年 月			令和2年2月
横浜市建築局			



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,665 x D 500 x H 2,040

使用箇所
理科教室（中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	しな合板	
③	中仕切	A−1	しな合板	
④	裏板	片A−1	しな合板	
⑤	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

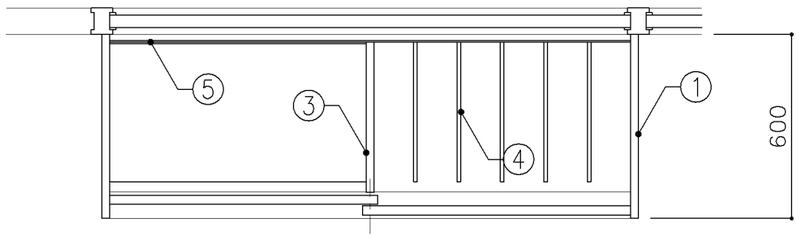
番号	使用箇所	名称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	扉	スライド丁番、3点ロック（プッシュ式）
		国産材堀込引手
ⓒ	脚	ステンレスパイプ 50φ（丸座共）

特記事項

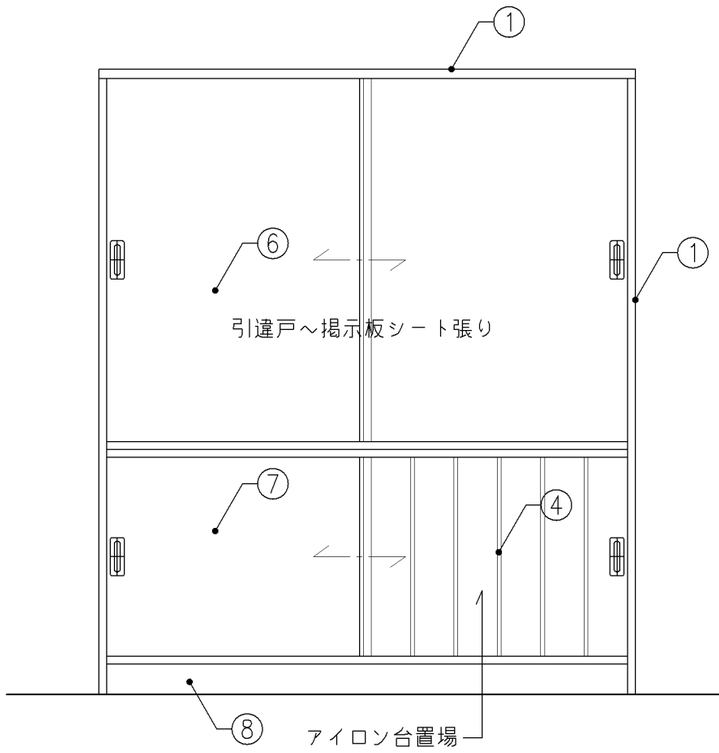
- 木口の形状については、G−300より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。
- 顕微鏡ｹｰｽ参考寸法：180×230×370

名称	顕微鏡収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−310
設 計 年 月			令和2年2月

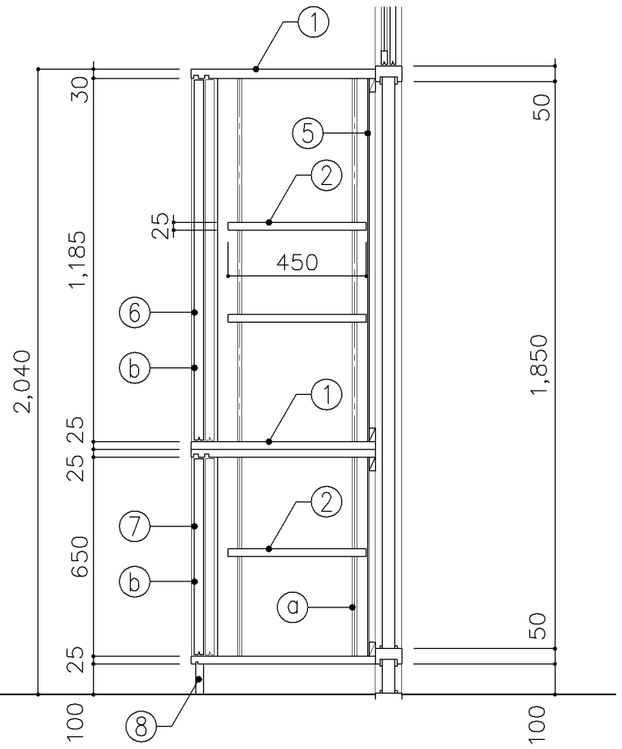
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,750 x D 600 x H 2,040

使用箇所
家庭科教室

仕　様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	仕切板		ｱ12 しな合板	
			木口：ナラ突板張り	UC
⑤	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑥	引違戸	A−1	しな合板	
			片面掲示板シート張り	
⑦	引違戸	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑧	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

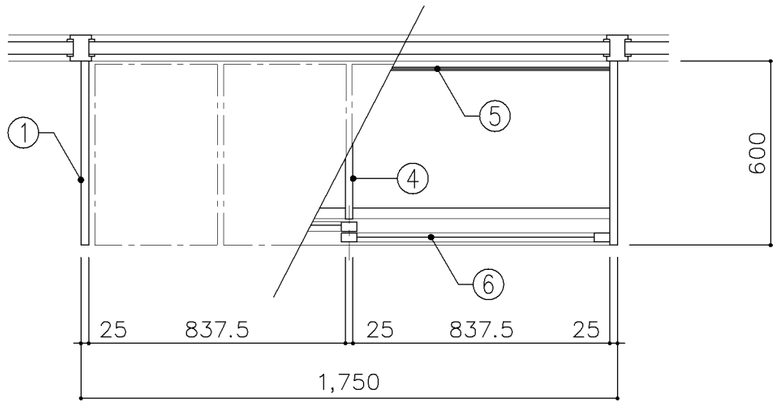
番号	使用箇所	名称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	引違戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手

特記事項

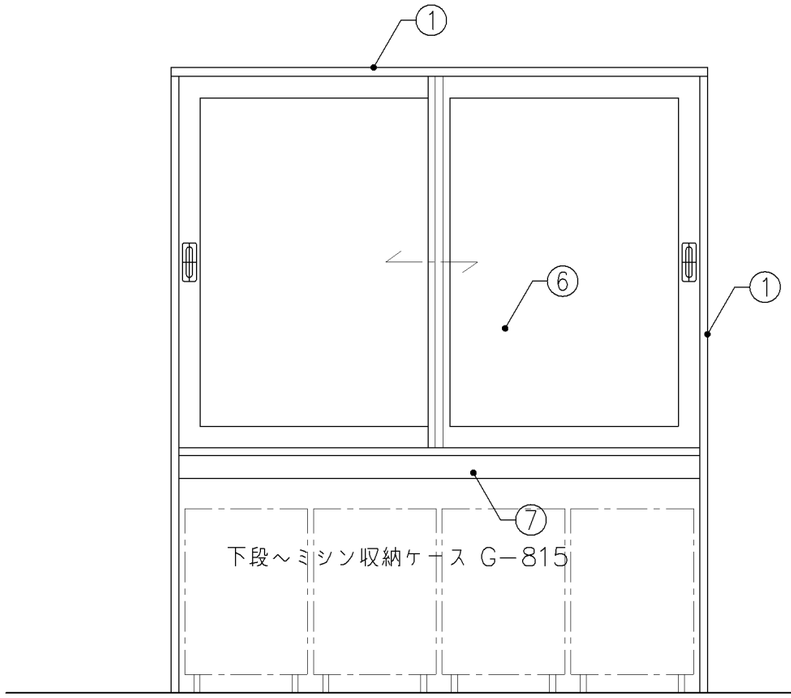
- 木口の形状については、G−300より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 引違戸の厚みは、30mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−311
設計年月		令和2年2月	

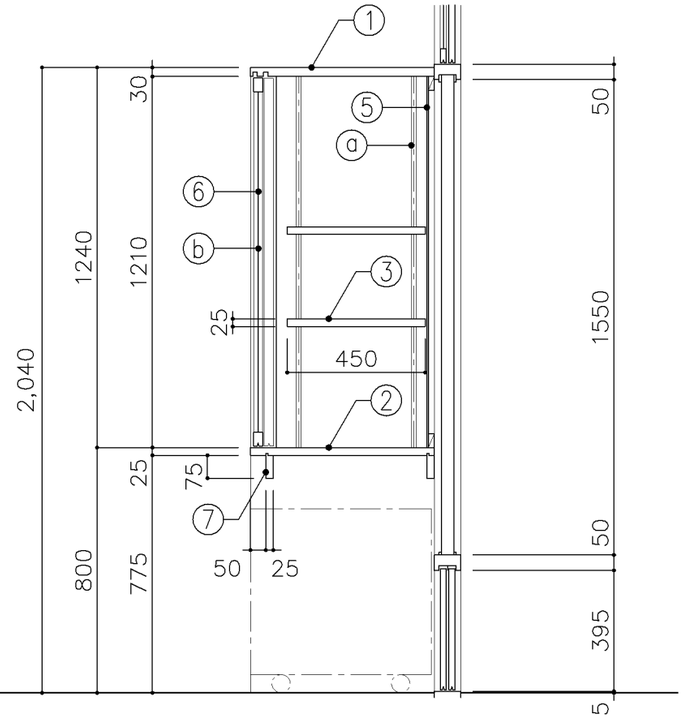
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,750 x D 600 x H 2,040

使用箇所
家庭科教室

仕　様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	中仕切	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑥	框戸		ｱ3 ポリカーボネード板	
⑦	補強板	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

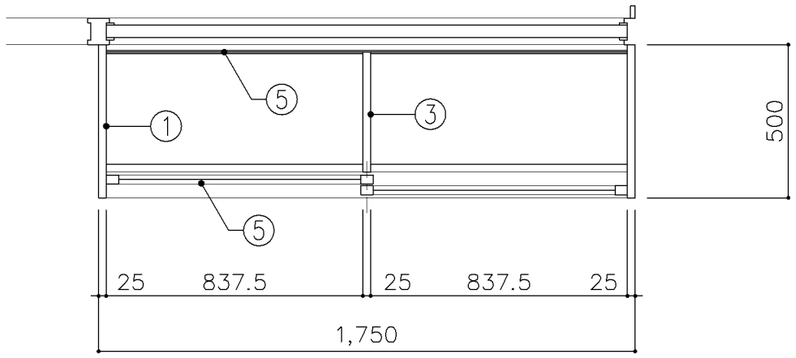
番号	使用箇所	名称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	框戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手

特記事項

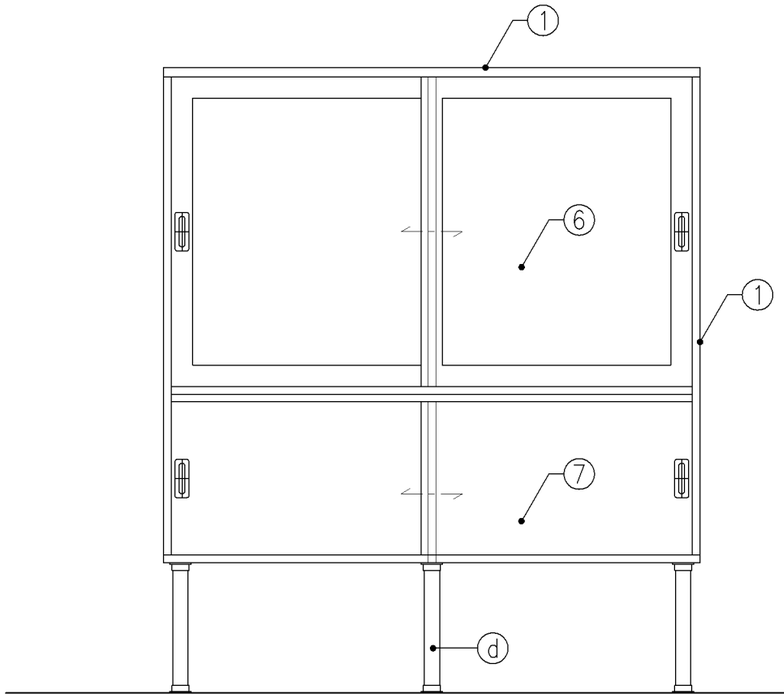
- 木口の形状については、G−300より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 引違戸の厚みは、30mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−312
設 計 年 月			令和2年2月

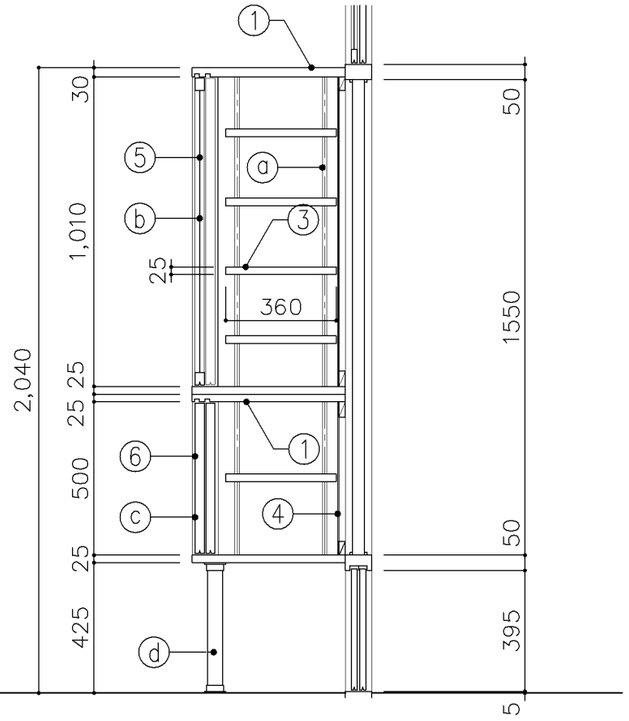
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,750 x D 500 x H 2,040

使用箇所
調理教室

仕　様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	框戸		ｱ3 ポリカーボネード板	
⑥	引違戸	A−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

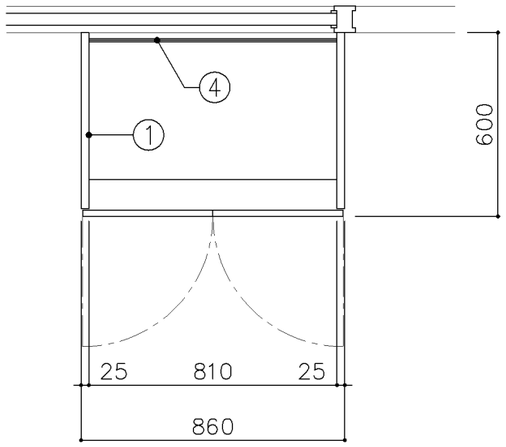
番号	使用箇所	名称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	框戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手
ⓒ	引違戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手
ⓓ	脚	ステンレスパイプ 50φ（丸座共）

特記事項

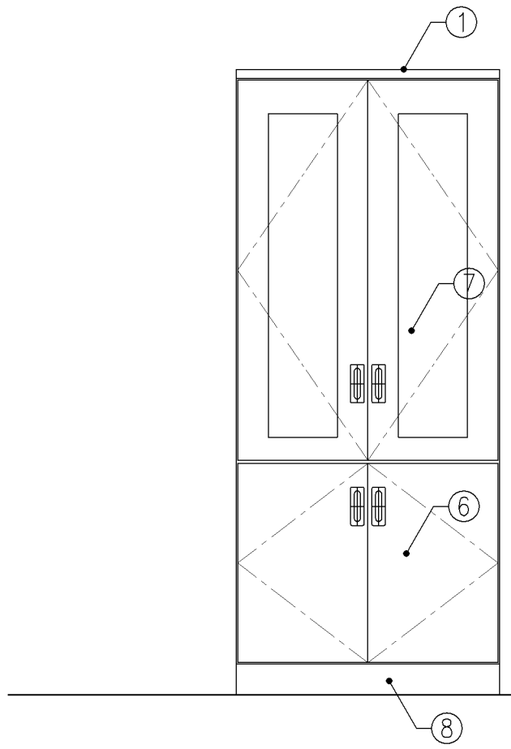
- 木口の形状については、G−300より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 引違戸の厚みは、30mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−313
設 計 年 月			令和2年2月

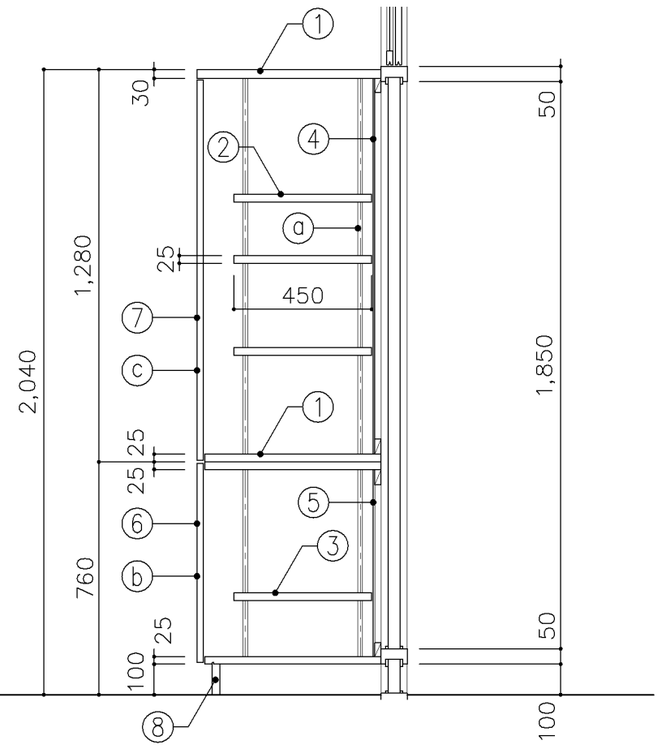
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 860 x D 600 x H 2,040

使用箇所
被服教室（多目的）

仕　様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	可動棚	A−1	しな合板	
④	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	裏板	片A−1	しな合板	
⑥	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑦	框戸		ｱ3 ポリカーボネード板	
⑧	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

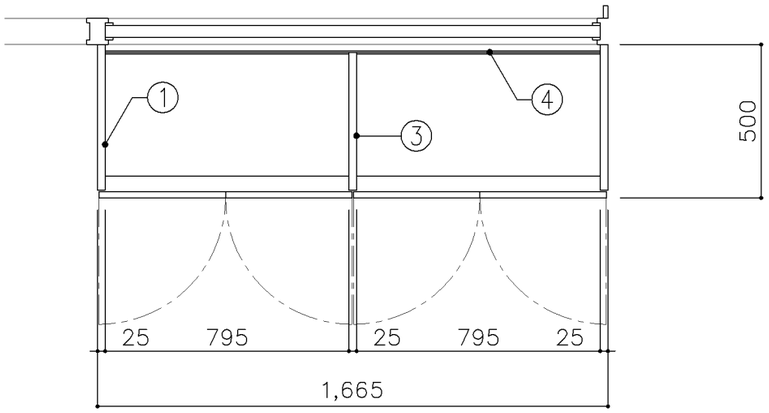
番号	使用箇所	名称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	扉	スライド丁番、国産材堀込引手、セーフラッチ
ⓒ	框戸	スライド丁番、3点ロック（プッシュ式）
		国産材堀込引手

特記事項

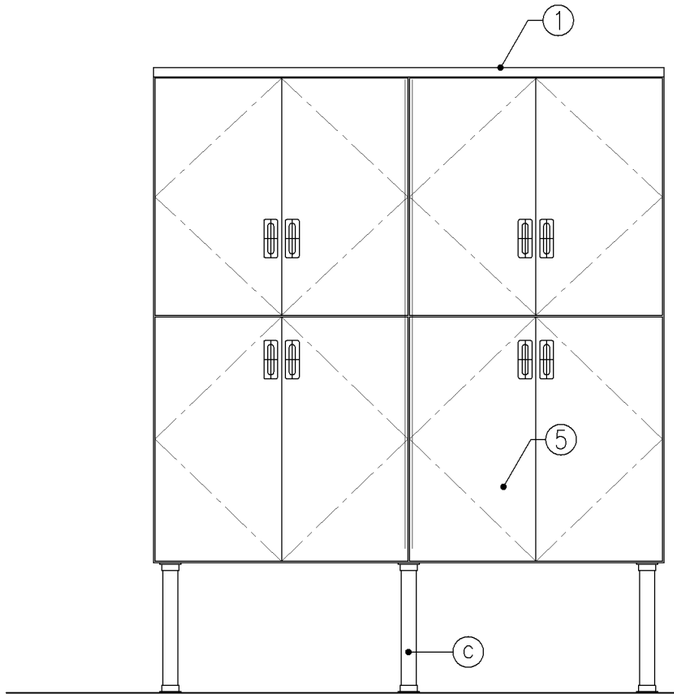
- 木口の形状については、G−300より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−314
設計年月		令和2年2月	

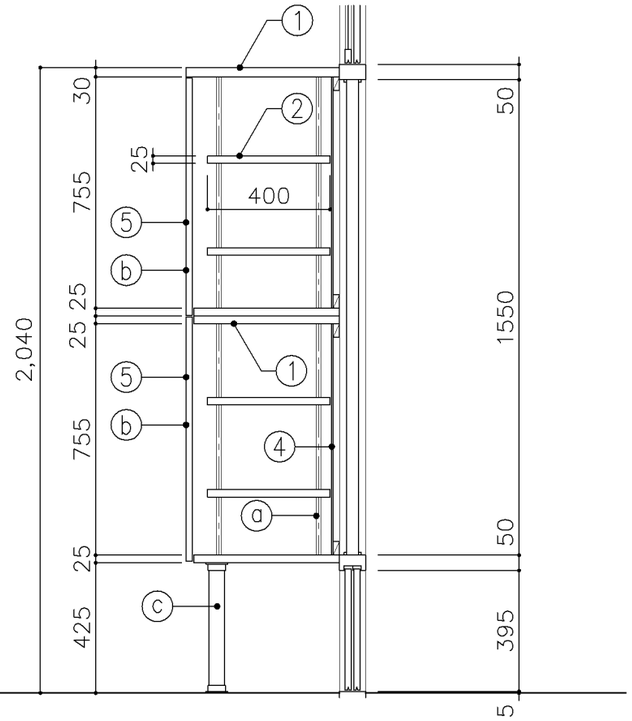
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,665 x D 500 x H 2,040

使用箇所
美術教室
図画工作教室

仕　様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	しな合板	
③	中仕切	A−1	しな合板	
④	裏板	片A−1	しな合板	
⑤	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

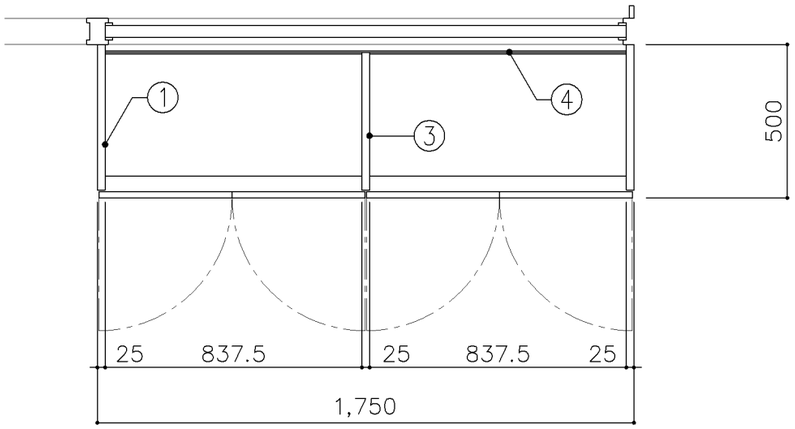
番号	使用箇所	名称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	扉	スライド丁番、国産材堀込引手、セーフラッチ
ⓒ	脚	ステンレスパイプ 50φ（丸座共）

特記事項

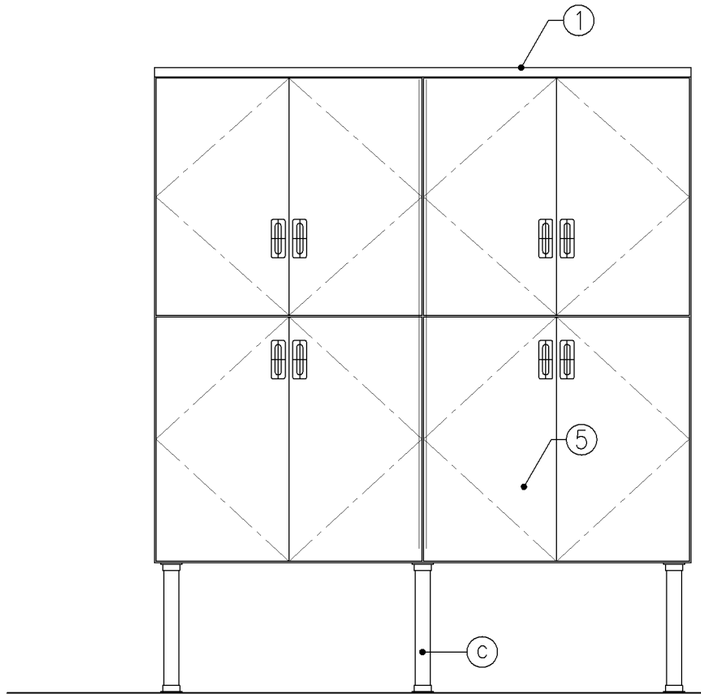
- 木口の形状については、G−300より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−315A
設 計 年 月			令和2年2月

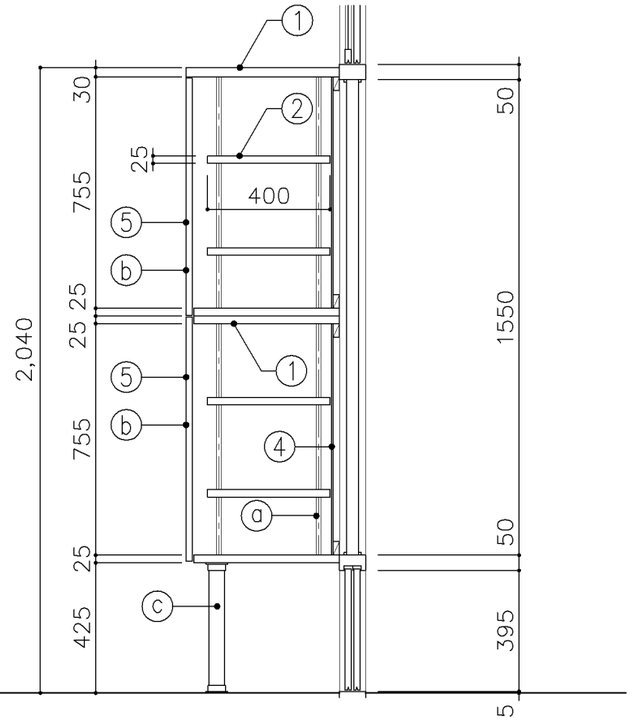
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,750 x D 500 x H 2,040

使用箇所
理科教室（小・中学校）
多目的室（水回り学習等）

仕　様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	しな合板	
③	中仕切	A−1	しな合板	
④	裏板	片A−1	しな合板	
⑤	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

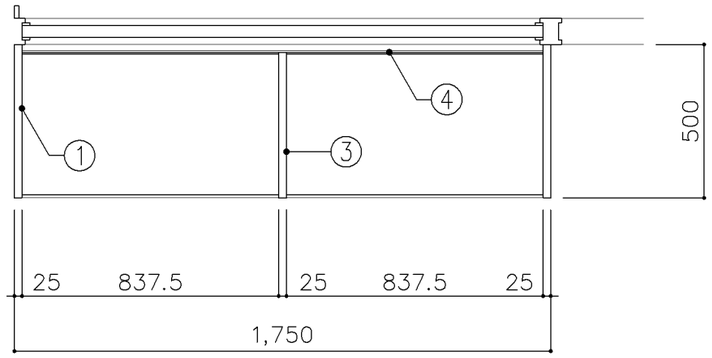
番号	使用箇所	名称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	扉	スライド丁番、国産材堀込引手、セーフラッチ
ⓒ	脚	ステンレスパイプ 50φ（丸座共）

特記事項

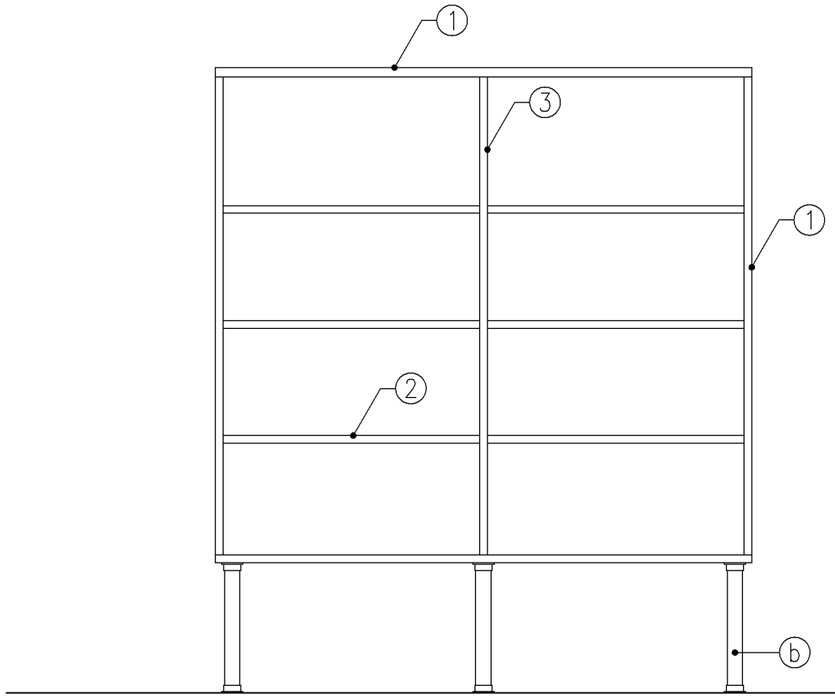
- 木口の形状については、G−300より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−315B
設 計 年 月		令和2年2月	

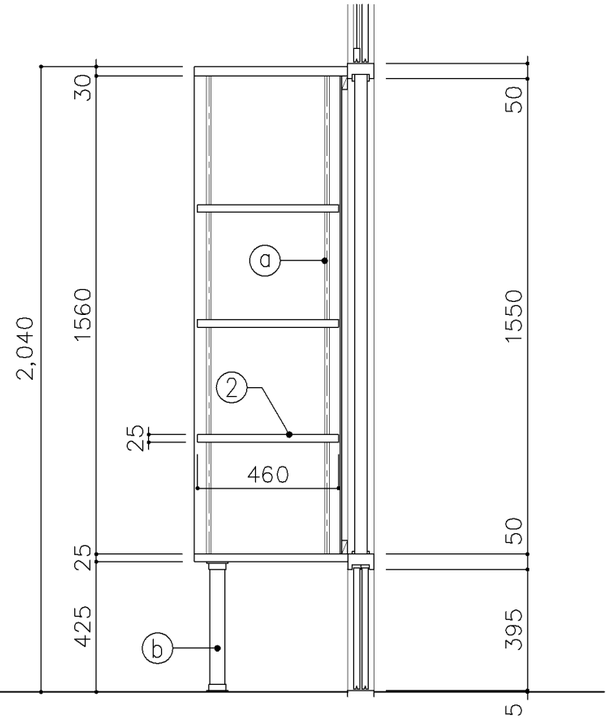
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,750 x D 500 x H 2,040

使用箇所
美術教室
図画工作教室
保健室

仕　様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

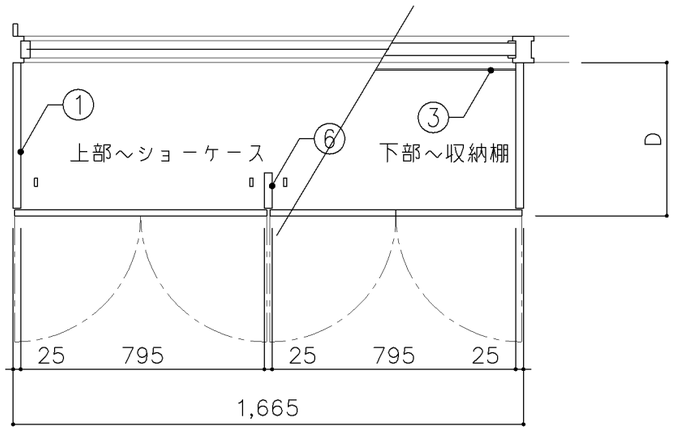
番号	使用箇所	名称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	脚	ステンレスパイプ 50φ（丸座共）

特記事項

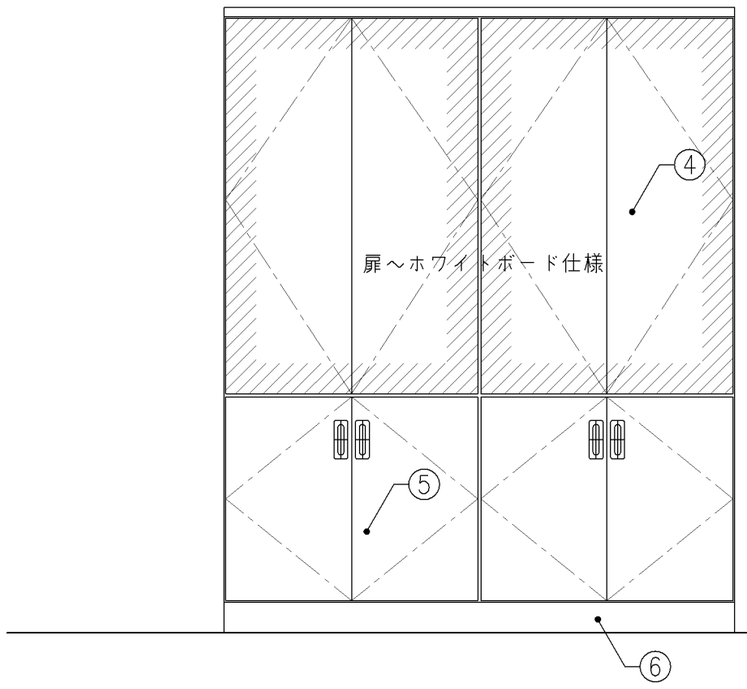
- 木口の形状については、G−300より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	展示棚		
縮尺	1/20	記号	G−320
設 計 年 月			令和2年2月

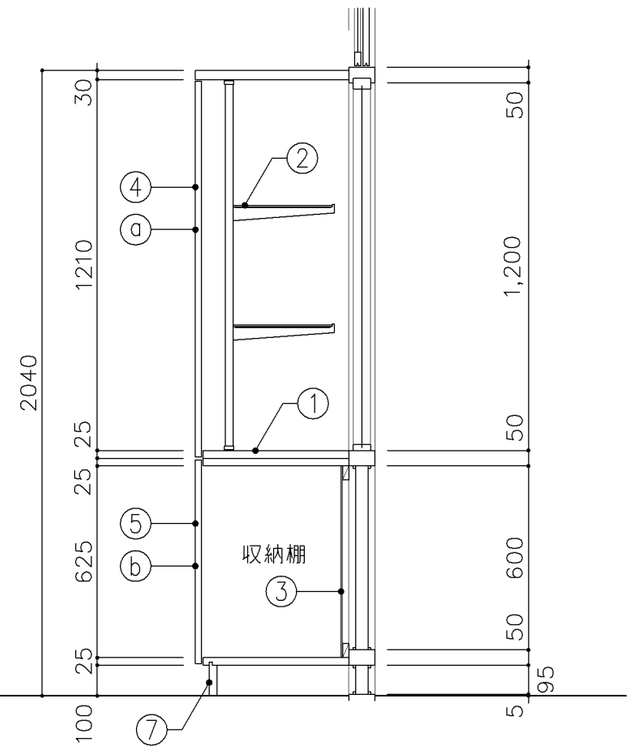
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,665 x D 500 x H 2,040

使用箇所
理科教室（小・中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	ガラス棚		ｱ5 透明	
③	裏板	片A−1	しな合板	
④	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	
			片面ホワイトボード仕様	
⑤	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑥	方立	B−1	ポリエステル化粧合板	
⑦	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

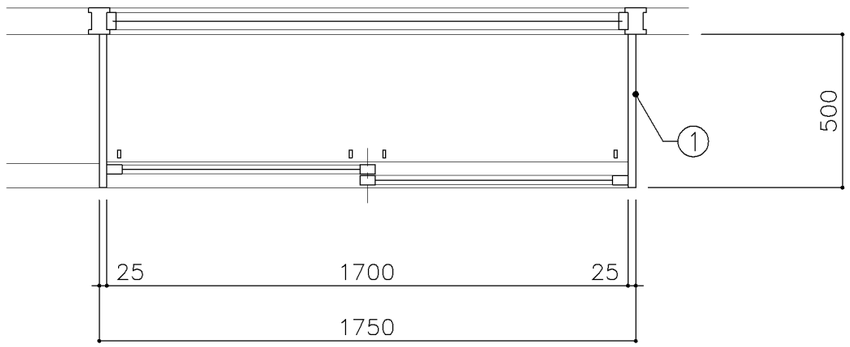
番号	使用箇所	名称
ⓐ	扉	スライド丁番、3点ロック（プッシュ式）
ⓑ	扉	スライド丁番、国産材堀込引手
		面付シリンダー錠、セーフラッチ
ⓒ	ガラス棚	棚柱、ブラケット、座金

特記事項

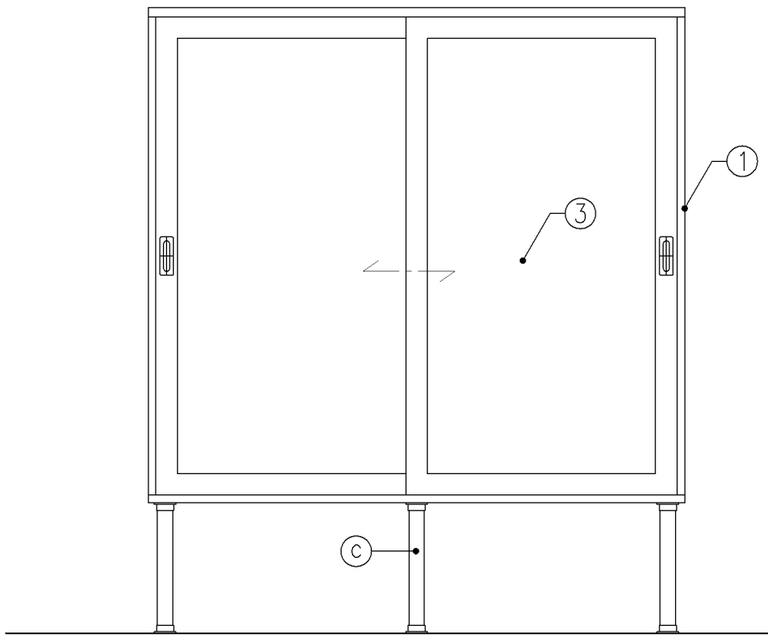
- 木口の形状については、G−300より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	ショーケース		
縮尺	1/20	記号	G−330
設計年月		令和2年2月	

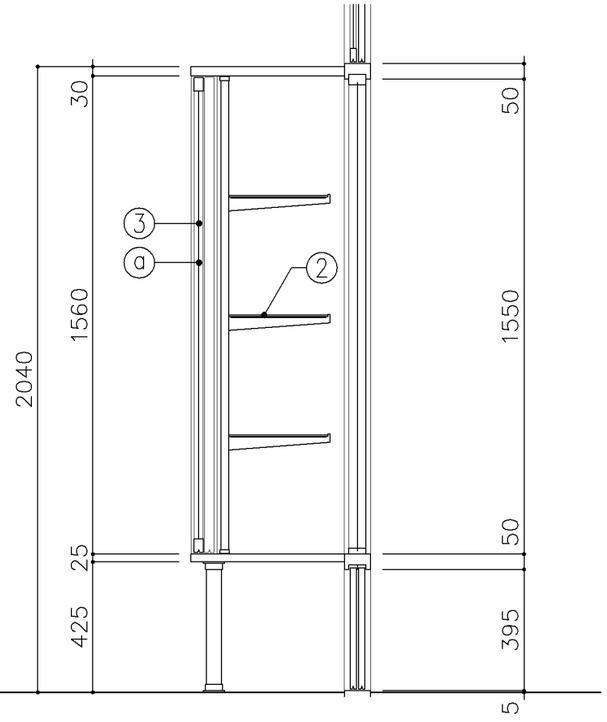
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,750 x D 500 x H 2,040

使用箇所
図画工作教室

仕　様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	ガラス棚		ｱ5 透明	
③	框戸		ｱ5 ポリカーボネード板	

金　物

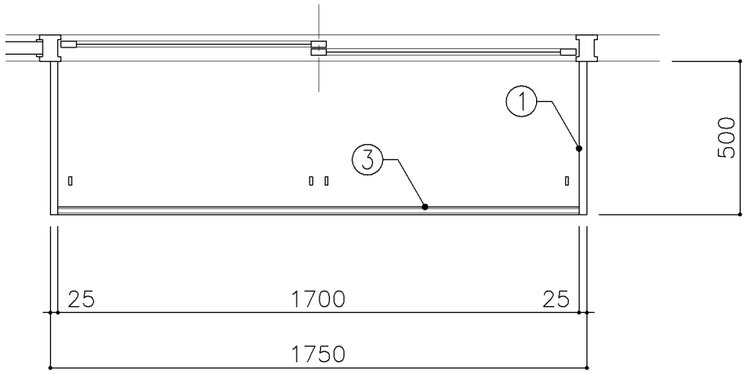
番号	使用箇所	名称
ⓐ	框戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手
ⓑ	ガラス棚	棚柱、ブラケット、座金
ⓒ	脚	ステンレスパイプ 50φ（丸座共）

特記事項

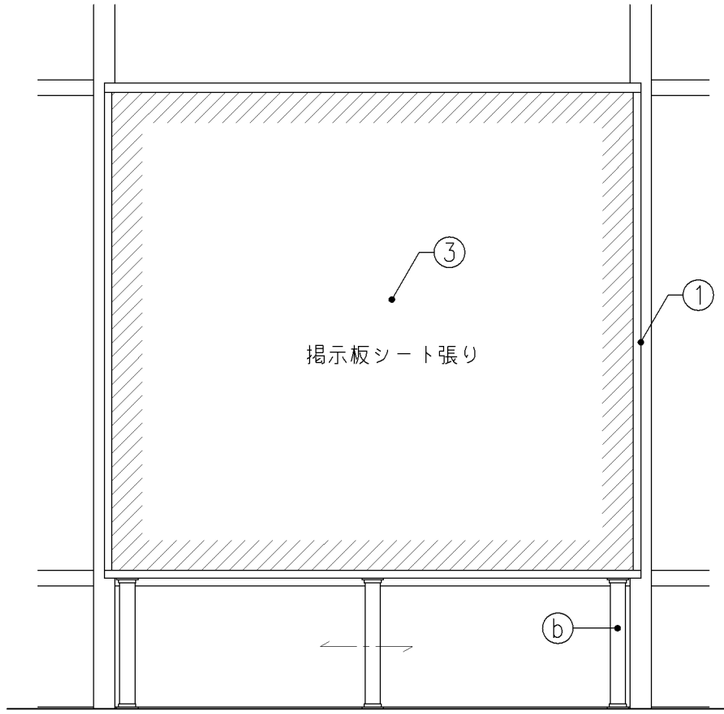
- 木口の形状については、G−300より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- 引違戸の厚みは、30mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	ショーケース		
縮尺	1/20	記号	G−331
設計年月		令和2年2月	

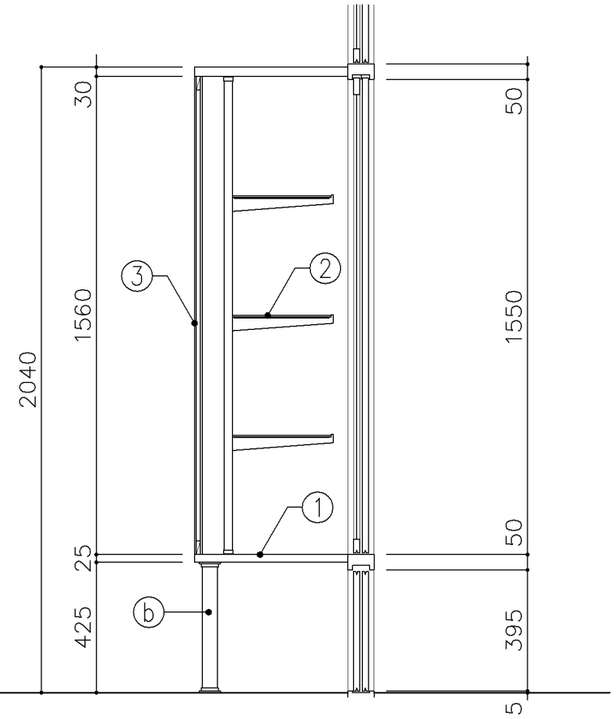
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,750 x D 500 x H 2,040

使用箇所
美術教室

仕　様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	ガラス棚		ア5 透明	
③	裏板	A−1	ポリエステル化粧合板	
			片面掲示板シート張り	

金　物

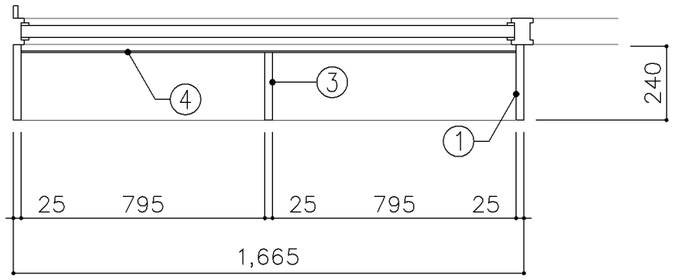
番号	使用箇所	名称
ⓐ	ガラス棚	棚柱、ブラケット、座金
ⓑ	脚	ステンレスパイプ 50φ（丸座共）

特記事項

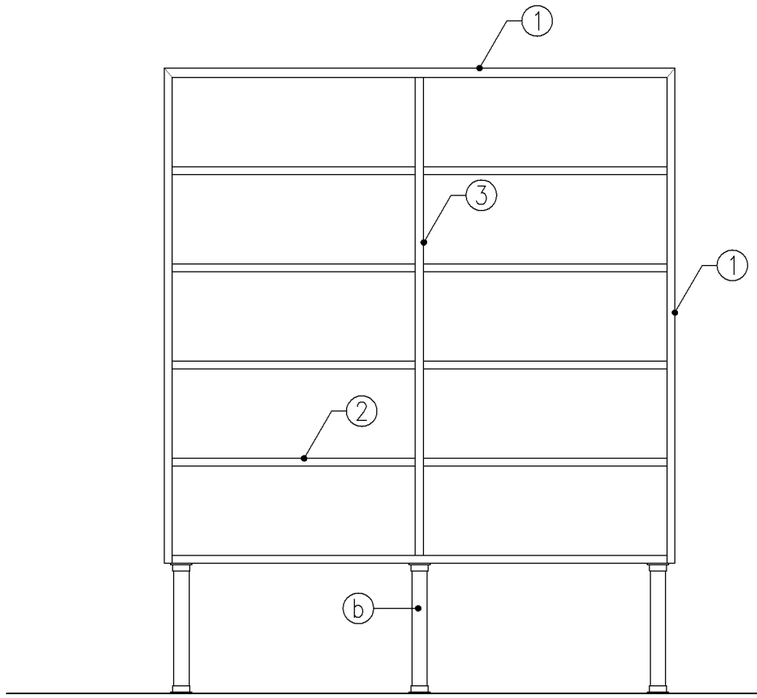
- 木口の形状については、G−300より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	ショーケース		
縮尺	1/20	記号	G−332
設計年月		令和2年2月	

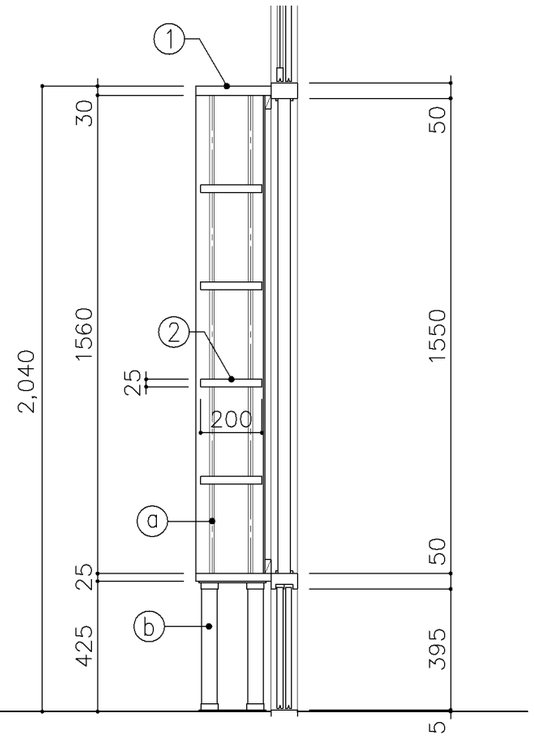
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,665 x D 240 x H 2,040

使用箇所
理科準備室（小・中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

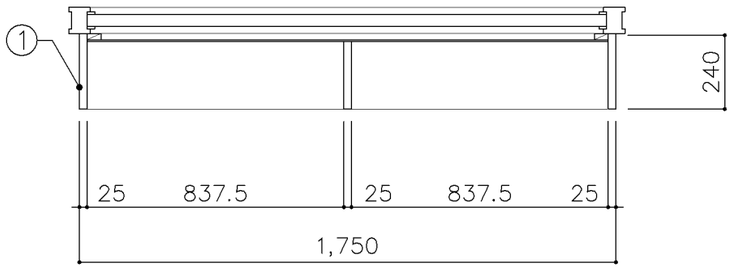
番号	使用箇所	名称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	脚	ステンレスパイプ 50φ（丸座共）

特記事項

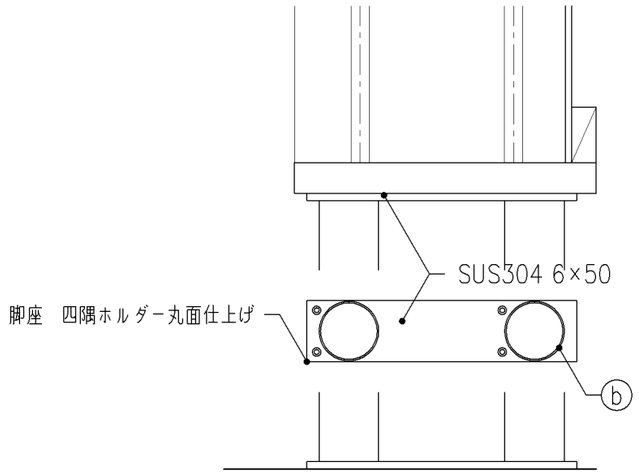
- 木口の形状については、G−300より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

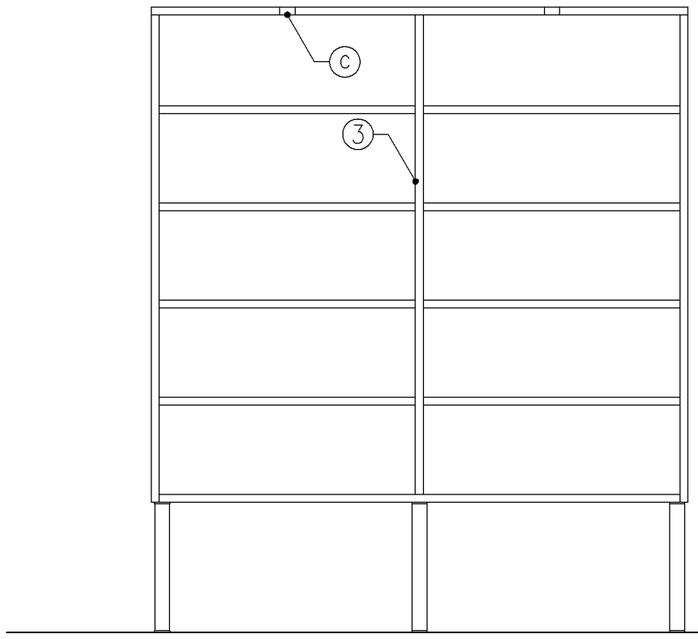
名称	書架		
縮尺	1/20	記号	G−350
設 計 年 月		令和2年2月	

横浜市建築局

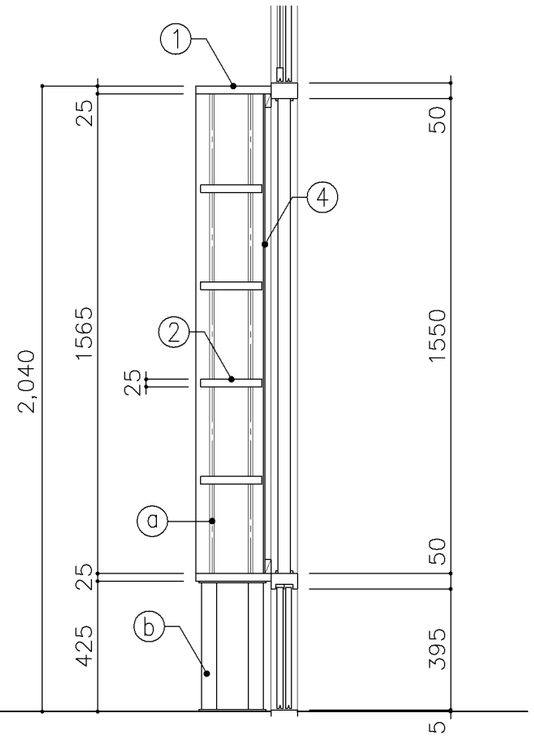


平面図





正面図



断面図

寸　法
W1,750 x D 240 x H 2,040

使用箇所
図書室（小・中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	B−1	しな合板	UC
②	可動棚	B−1	しな合板	UC
③	中仕切	B−1	しな合板	UC
④	裏板	片A−1	しな合板	UC

金　物

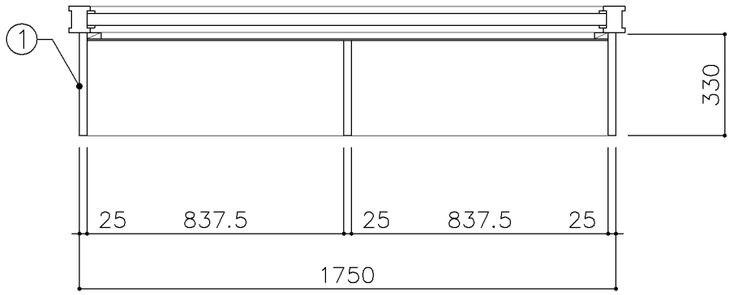
番号	使用箇所	名称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	脚	ステンレスパイプ 48.6φ
ⓒ	カード差し	塩化ビニール製

特記事項

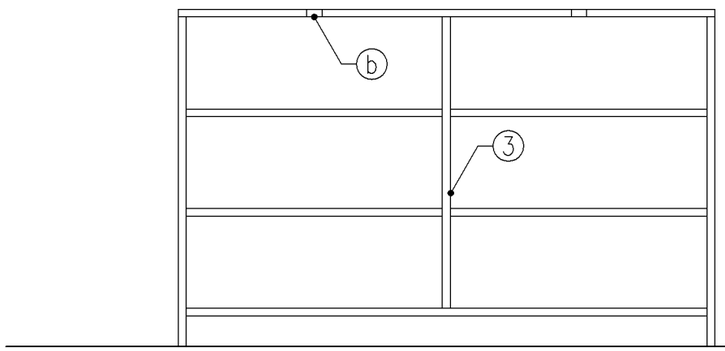
- 木口の形状については、G−300より選定する。
- 見掛かり部はUC仕上とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	書架		
縮尺	1/20	記号	G−351
設計年月		令和2年2月	

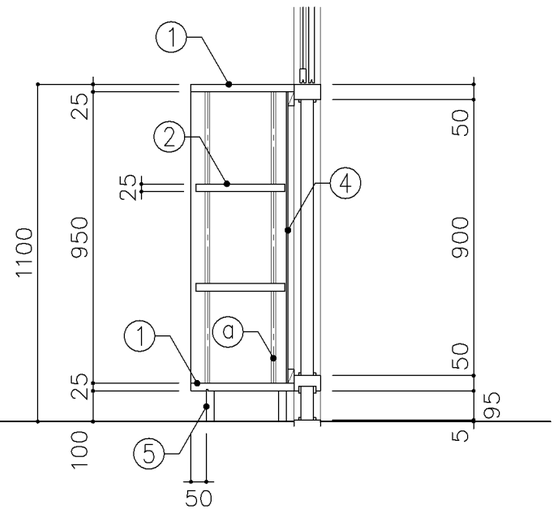
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,750 x D 330 x H1,100

使用箇所
図書室（小・中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	B−1	しな合板	UC
②	可動棚	B−1	しな合板	UC
③	中仕切	B−1	しな合板	UC
④	裏板	片A−1	しな合板	UC
⑤	巾木	B−1	しな合板	UC

金　物

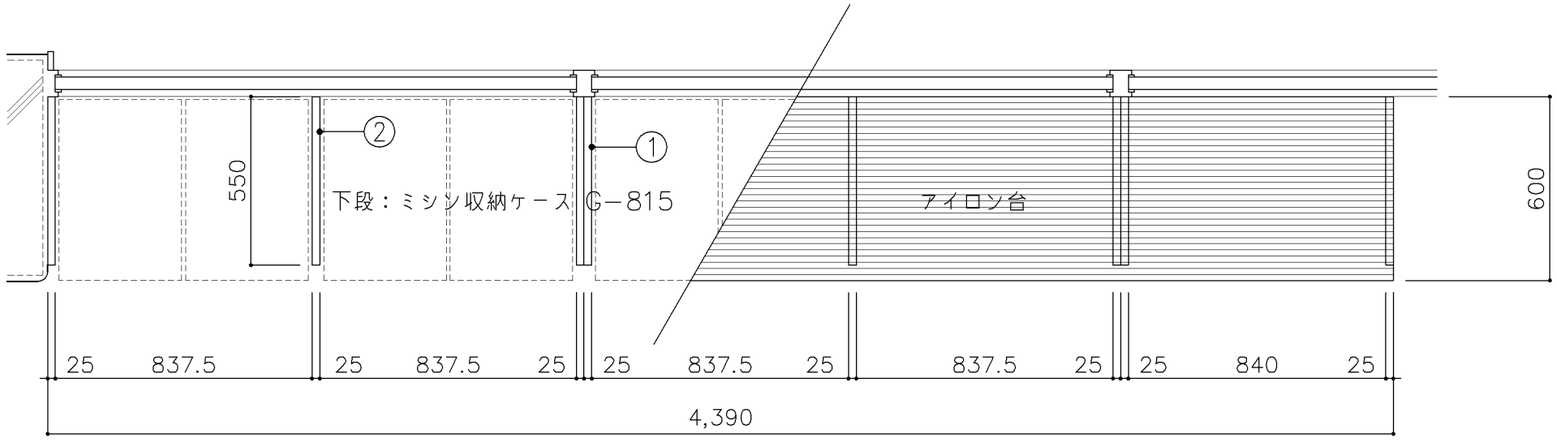
番号	使用箇所	名称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	カード差し	塩化ビニール製

特記事項

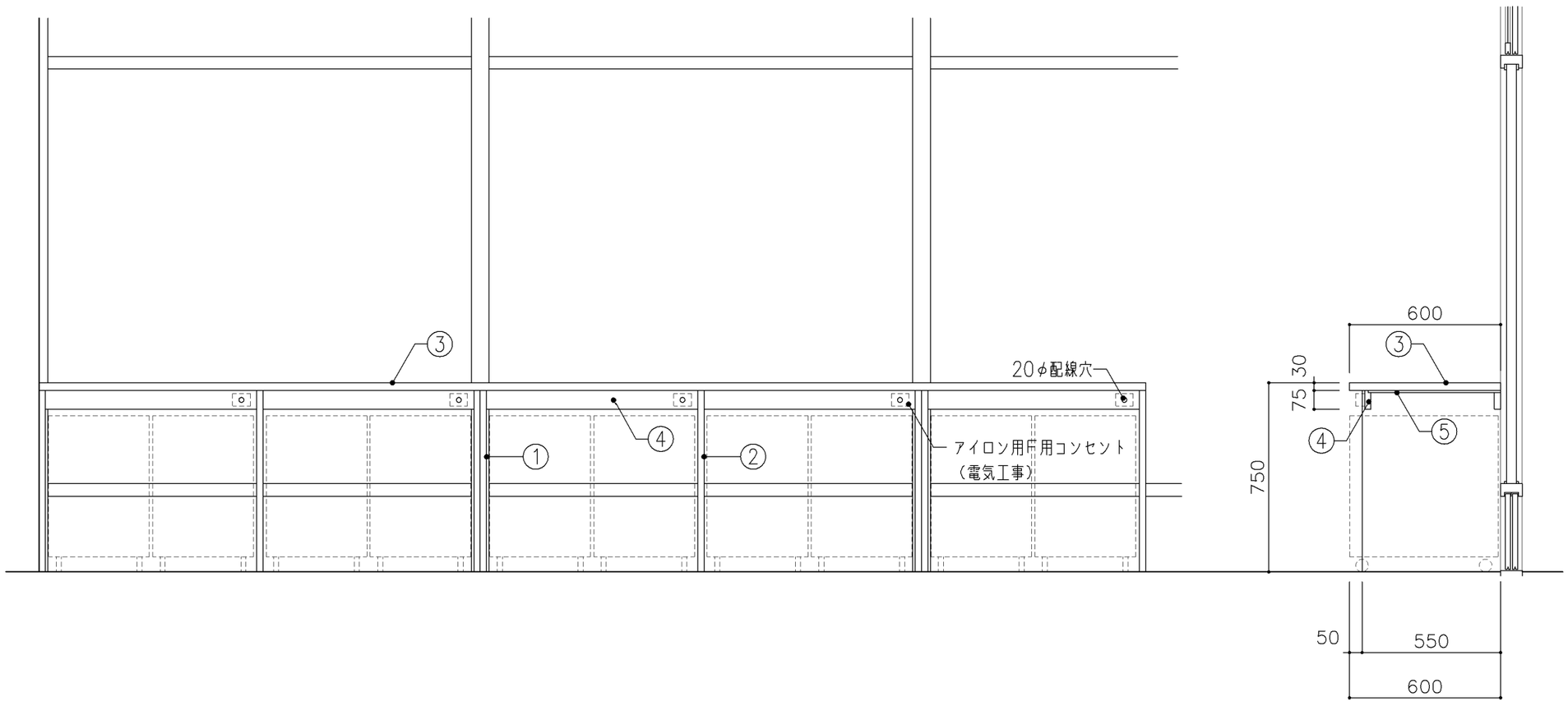
- 木口の形状については、G−300より選定する。
- 見掛かり部はUC仕上とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	書架		
縮尺	1/20	記号	G−352
設計年月			令和2年2月

横浜市建築局



平面図



正面図

断面図

寸　法
W4,390 x D 600 x H 750

使用箇所
被服教室（多目的）

仕　様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	中仕切	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	天板		ァ 30 ナラ積層材	UC
④	補強板	B−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	下地板		ァ9 針葉樹合板	

金　物

番号	使用箇所	名称

特記事項

- 木口の形状については、G−300より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	アイロン台		
縮尺	1/20	記号	G−360
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局

G−400 収納家具（木・その他）共通事項

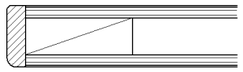
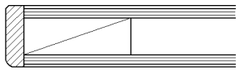
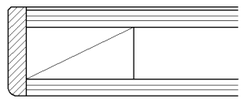
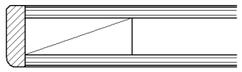
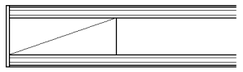
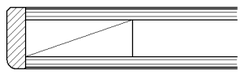
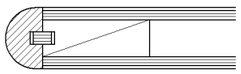
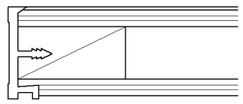
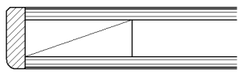
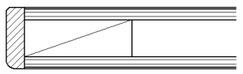
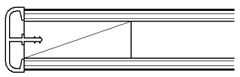
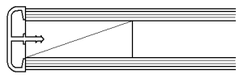
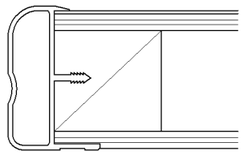
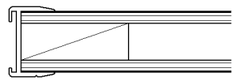
1．収納家具等の木口材及び芯材は下記による。

1．部位別の表面材と木口材は、下記リスト表より選定するものとする。
尚リスト表に記載されていないものに関しては、横浜市建築工事担当課の承認を得るものとする。

1．芯材は原則として、リスト表によるものとする。

1．各部塗装は、国土交通省仕様を順守の事。

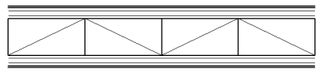
部位別による表面材と木口形状リスト

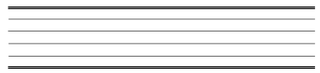
本体（枠板）	天板形状（甲板）		扉	棚板形状（可動棚）
Ⓐ ポリエステル化粧合板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓐ メラミン化粧板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓓ 耐薬品特殊アクリル系樹脂化粧板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓐ ポリエステル化粧合板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓐ ポリエステル化粧合板  木口：メラミン化粧板
Ⓑ しな合板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓑ メラミン化粧板  木口：タモ（アール加工）	Ⓔ 耐薬品特殊アクリル系樹脂化粧板  木口：樹脂成形品	Ⓑ しな合板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓑ しな合板 
Ⓒ ポリエステル化粧合板 Or しな合板  木口：塩ビエッジ	Ⓒ メラミン化粧板  木口：塩ビエッジ	Ⓕ 耐薬品特殊アクリル系樹脂化粧板  木口：アルミ成形品		Ⓒ ポリエステル化粧合板 Or しな合板  木口：アルミ成形レール

芯材リスト（凡例）

※各図面の芯材の蘭の表記は下記による

A－1	フラッシュ
B－1	ブロックコア
C－1	ベタ芯





名称	共通事項		
縮尺		記号	G−400
設計年月日	令和2年2月		
横浜市建築局			

■ レール・戸車

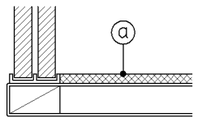
1。 引違い戸、框戸に使用するレール・戸車の材質は、下記より選択するものとする。

a。上枠 —— 塩ビ製又はアルミ製鴨居レール（埋込・外付両タイプ）
下枠 —— アルミVレール（埋込タイプ）

b。上枠・下枠 共 —— 塩化ビニール樹脂成型品（外付タイプ）

2。 戸車はナイロン戸車を原則とする。

3。 下枠レールに塩化ビニール樹脂成型品（外付タイプ）を使用する際は、
棚板と段差を設けず、フラットに仕上げる事とする。（図中 ⓐ 部）



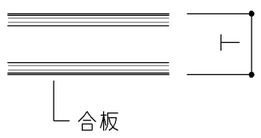
■ 框戸

1。 框材は下記より選択するものとする。

a：木製
b：塩ビ樹脂コーティングアルミサッシュ

■ 合板フラッシュ

1。 合板フラッシュの合板の厚みは、下記に依るものとする。



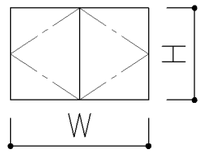
T＞25 の場合 ァ5.5
T≦25 の場合 ァ4

■ スライド丁番

1。 自動締り機構付とする。

1。 開き角度は120° 以上とする。

1。 取付丁番の個数は、下記に依るものとする。

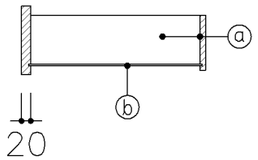


1/2W=600 以下の場合

H≦1200 ———— 2個
1200＜H≦1600 ———— 3個
1600＜H≦2000 ———— 4個

■ 引出し

1。 特記無き限り引出しの使用は、下記に依るものとする。



ⓐ 側、先板 ： アガチス合板又はしな合板 ァ12
ⓑ 底 板 ： アガチス合板又はしな合板 ァ4

1。 金工・木工準備室の工具収納戸棚（G−434、G−435、G−436）の仕様は、
下記に依るものとする。

ⓐ 側、先板 ： ァ15 ラワン
ⓑ 底 板 ： ラワン合板 ァ4

名称	共通事項		
縮尺		記号	G−401
設計年月日			令和2年2月
横浜市建築局			

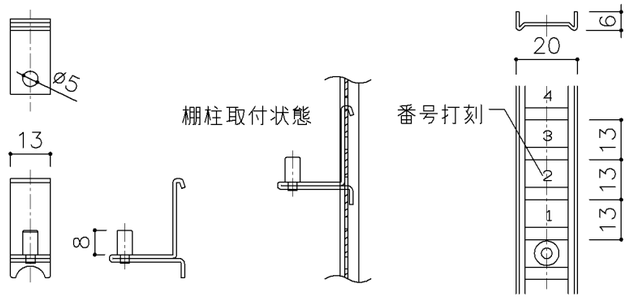
■ ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）

１。 棚柱はステンレス製とし、4点支持で安全荷重約60kgを満足するものとする。
可動ピッチは１３mm程度とし、可動ピッチの番号打刻入りとする。

２。 棚受はステンレス製とし、突起ダボをφ5とする。

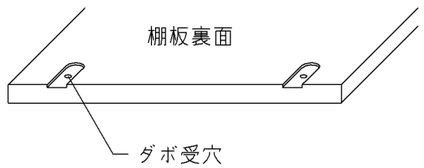
注）棚柱・棚受については耐震性があるものとし、棚板の外れや
落下等がないようにすること。

注）棚柱・棚受ともにステンレス製とし、書籍に錆や腐食等を付着させないこと。



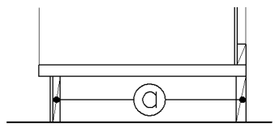
■ 可動棚

１。 棚板にはダボ受穴を設ける。



■ 巾木

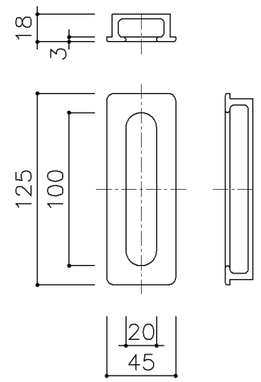
１。 仕様は下記による。（仕上材は各図面参照）



芯材図中の ⓐ の厚みは、ブロックコア合板 ァ21とする。

■ 引手

１。 引手は国産スギ、ヒノキ材堀込引手とする。



名称	共通事項		
縮尺		記号	G−402
設 計 年 月 日			令和2年2月
横浜市建築局			

G－400 収納家具（木・その他）共通事項

□ 特殊学級　収納家具等　共通仕様

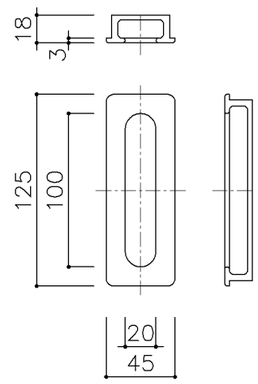
1。摘要　　特記なき限り、材料、各部詳細は下記の通りとする　（D－1、2、3）

2。建具金物　　丁番　　自動締り付スライド丁番　（135°開放以上）

引手　　国産スギ、ヒノキ材堀込引手

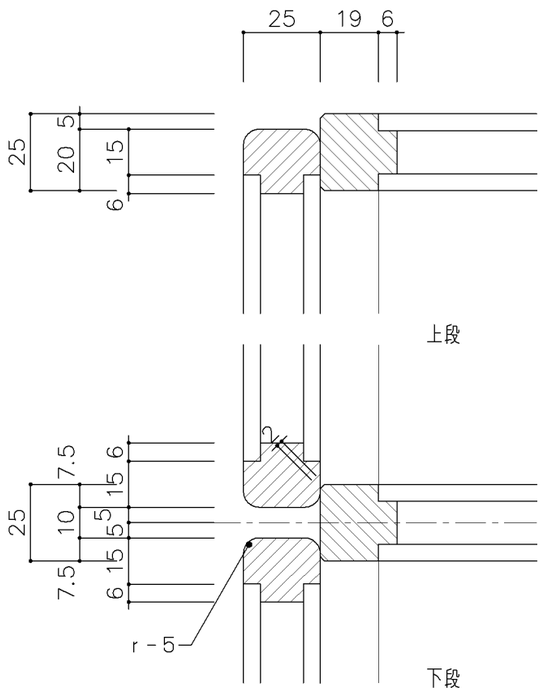
注）空気孔、開き止めマグネットキャッチは取付けない

3。棚板　　ダボ取合部分には、ダボ受穴を設ける　（共通事項参照）

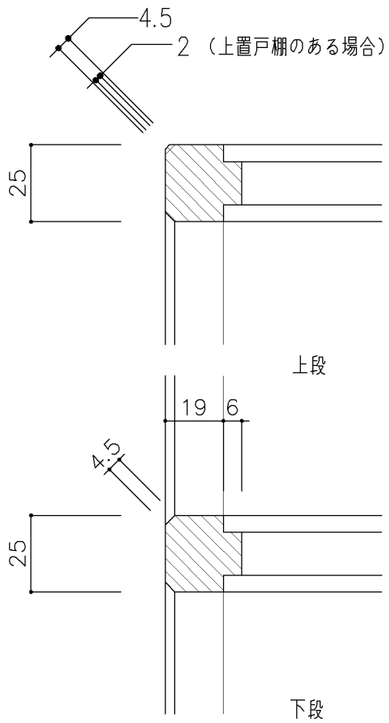


□ 特殊学級　収納家具等　各部詳細図

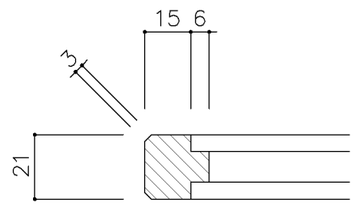
D－1　収納戸棚



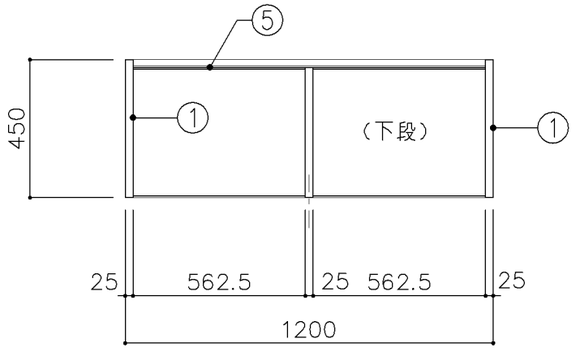
D－2　収納棚



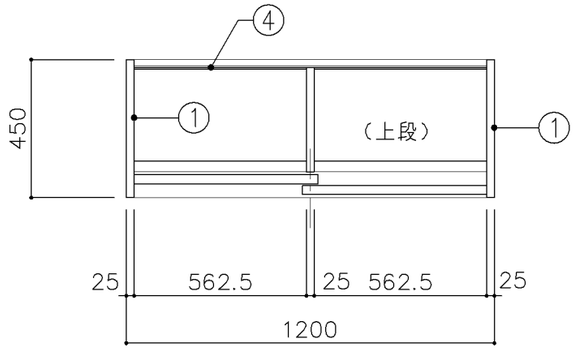
D－3　棚板



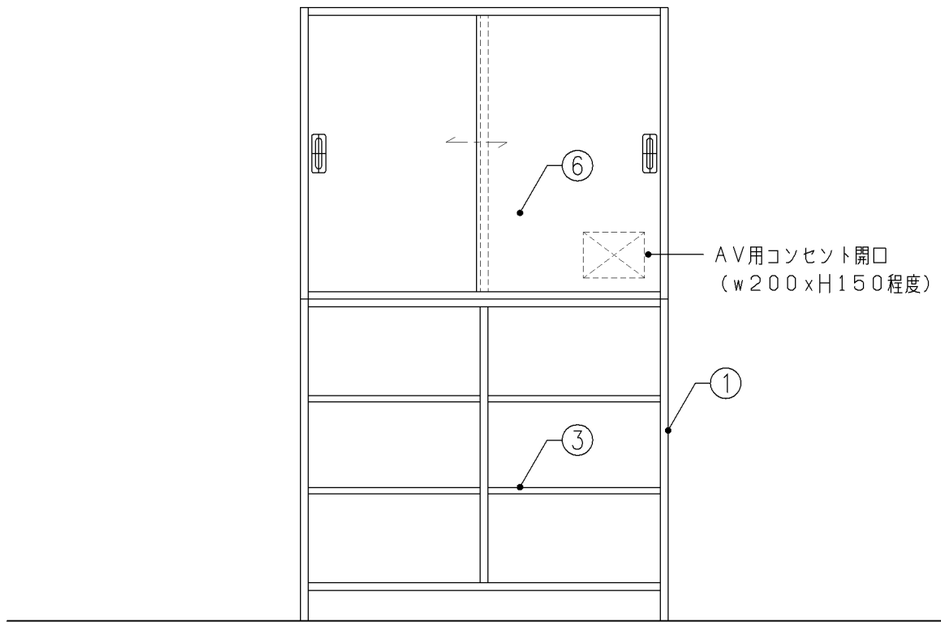
名称	特殊学級用共通仕様		
縮尺		記号	G－403
設計年月日			令和2年2月
横浜市建築局			



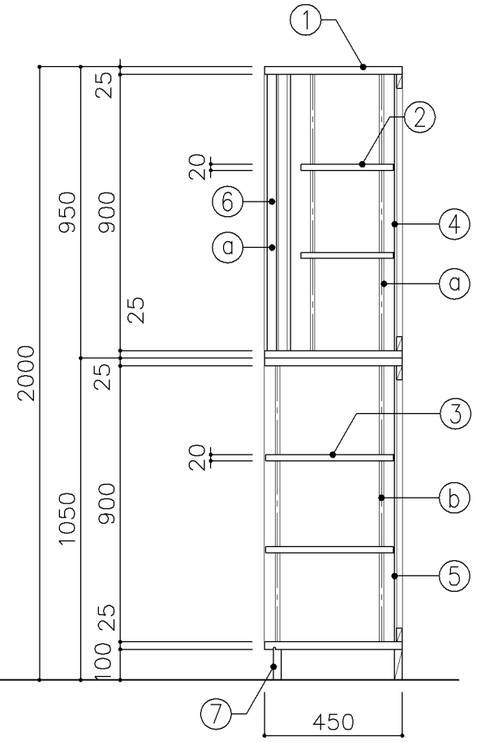
平面図



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,200 x D 450 x H 2,000

使用箇所
普通教室（小学校）
多目的室（少人数）（小学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	しな合板	
③	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A−1	しな合板	
⑤	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑥	引違戸	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑦	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

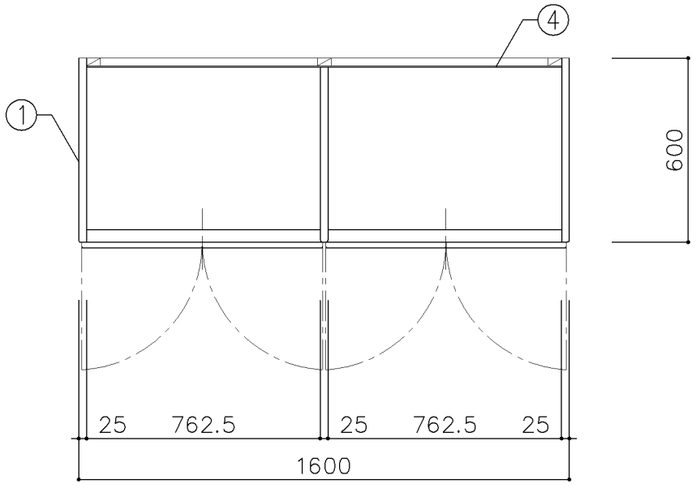
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	引違戸	シリンダー栓錠、国産材堀込引手
ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）

特記事項

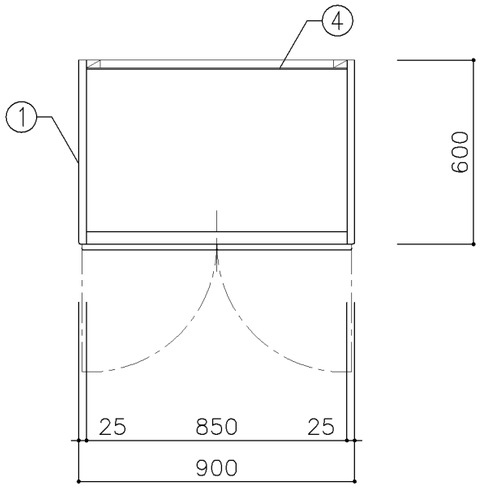
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かりはポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 引違戸の厚みは、30mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。
- コンセント開口位置については電気工事請負業者と打合せ
- コンセント用開口廻りは、桟にて補強する。

名称	教師用戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−410
設計年月		令和2年2月	

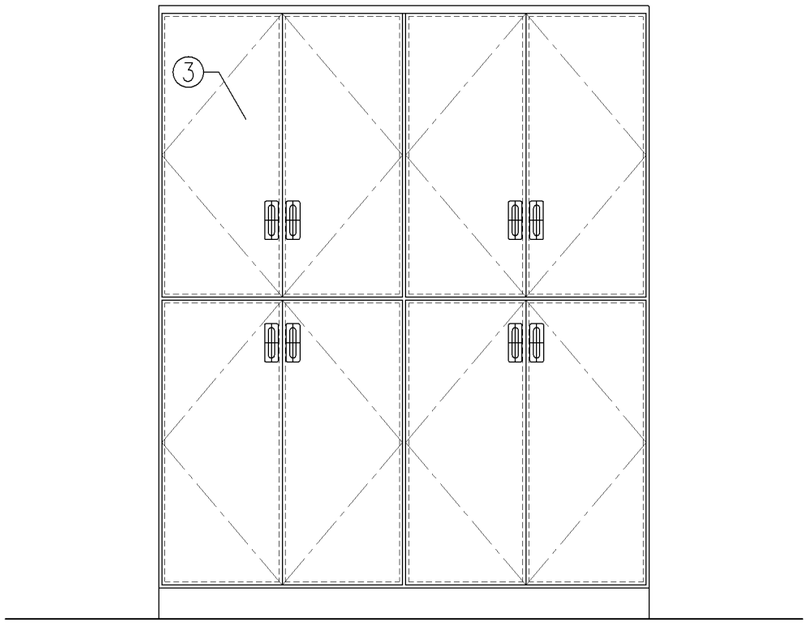
横浜市建築局



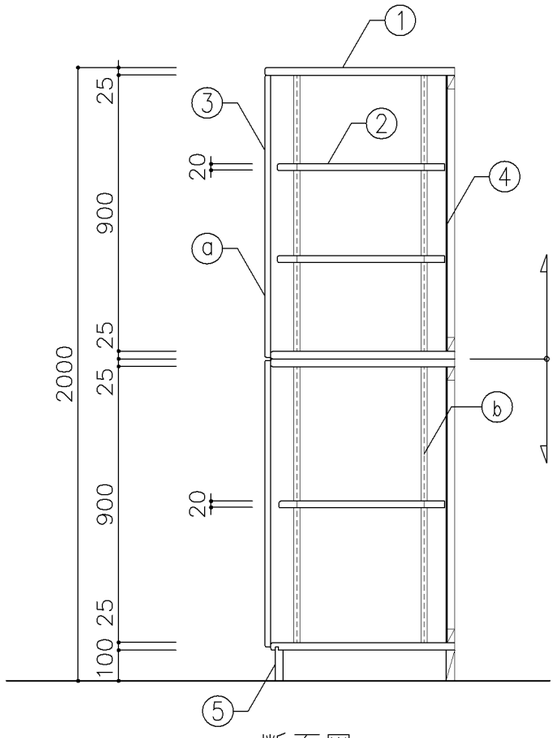
B平面図



A平面図



正面図



断面図

寸　法
A：W900 × D600 × H2,000
B：W1,600 × D600 × H2,000

使用箇所
A：個別支援教室（第二学習室）（小・中学校）
B：個別支援教室（第二学習室）（小・中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	しな合板	UC
②	可動棚	A−1	しな合板	
③	扉	A−1	しな合板	UC
④	裏板	片A−1	しな合板	
⑤	巾木	B−1	しな合板	UC

金　物

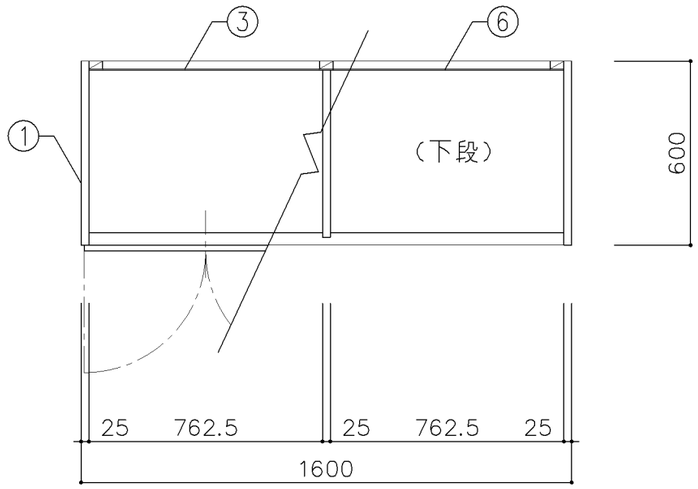
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ
		面付シリンダー錠
ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）

特記事項

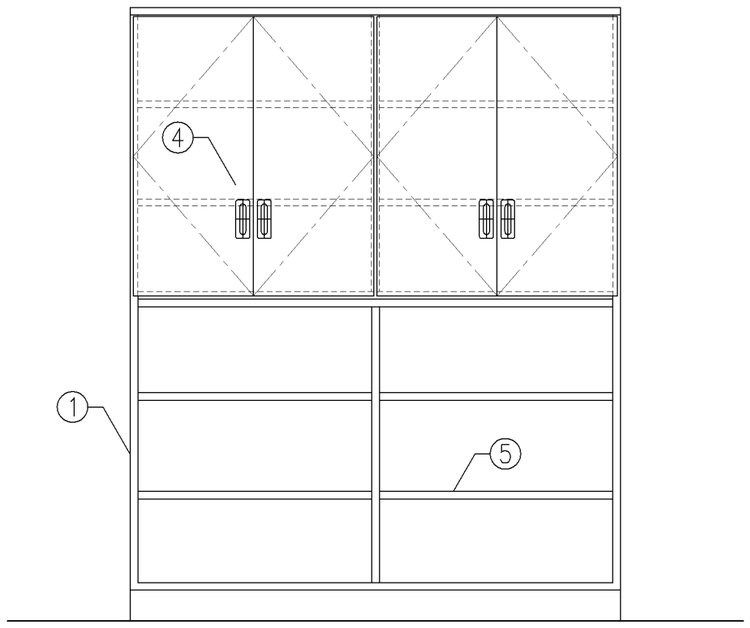
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はUC仕上とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−411
設計年月		令和2年2月	

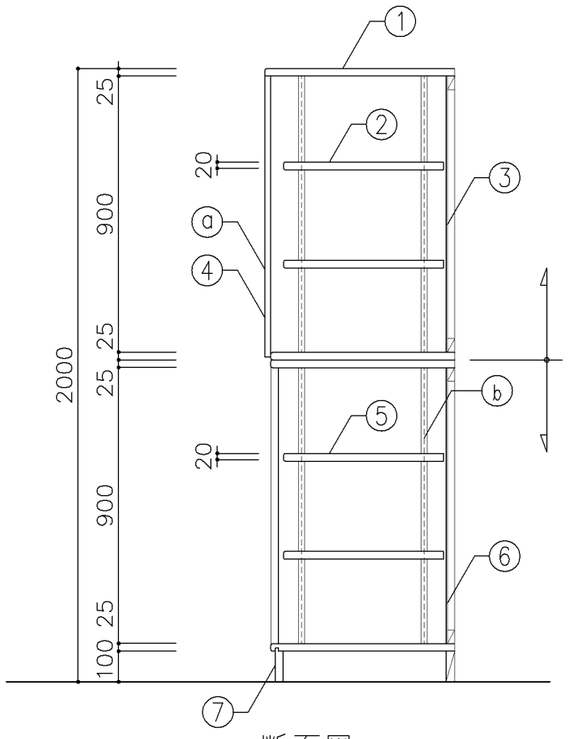
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,600 × D600 × H2,000

使用箇所
個別支援教室（第一学習室）（小・中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	しな合板	UC
②	可動棚	A−1	しな合板	
③	裏板	片A−1	しな合板	
④	扉	A−1	しな合板	UC
⑤	可動棚	A−1	しな合板	UC
⑥	裏板	片A−1	しな合板	UC
⑦	巾木	B−1	しな合板	UC

金　物

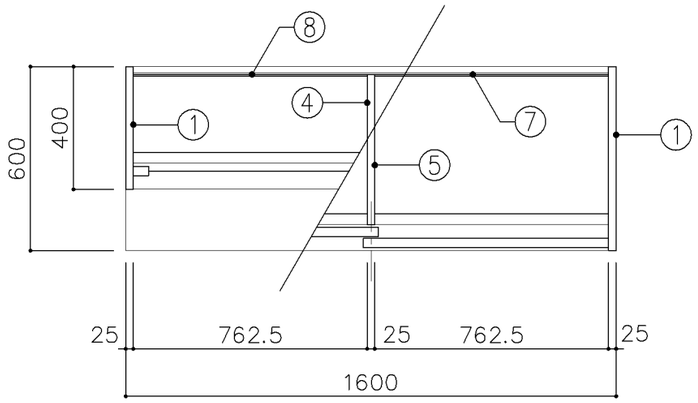
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ
		面付シリンダー錠
ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）

特記事項

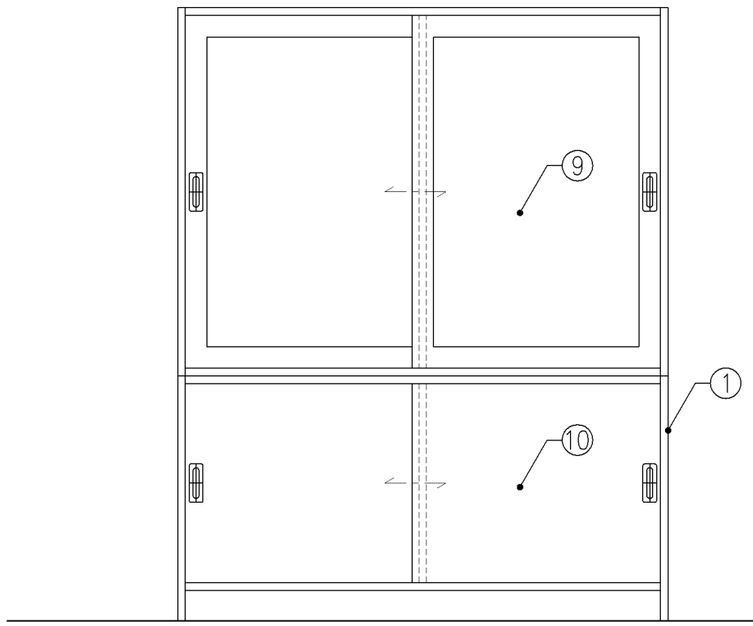
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はUC仕上とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−412
設計年月		令和2年2月	

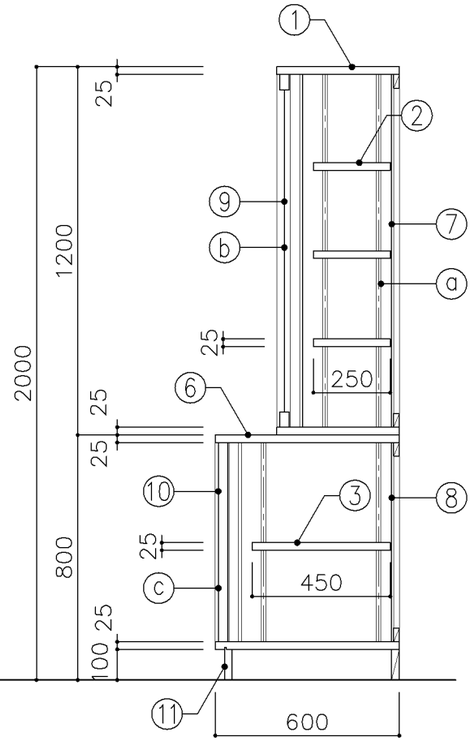
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,600 x D 400/600 x H 2,000

使用箇所
理科教室（小・中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	可動棚	A−1	しな合板	
④	中仕切	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	中仕切	A−1	しな合板	
⑥	天板	A−1	メラミン化粧板	
⑦	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑧	裏板	片A−1	しな合板	
⑨	框戸		ｱ3 ポリカーボネード板	
⑩	引違戸	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑪	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

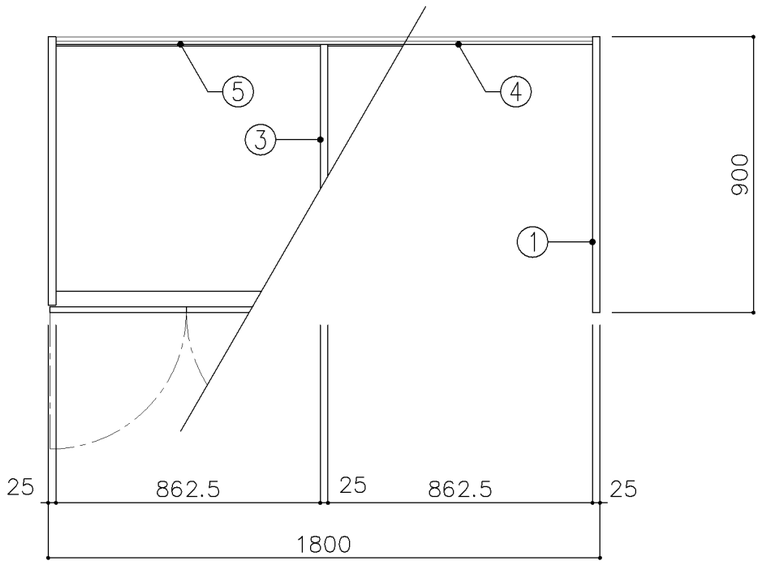
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	框戸	シリンダー栓錠、国産材堀込引手
ⓒ	引違戸	シリンダー栓錠、国産材堀込引手

特記事項

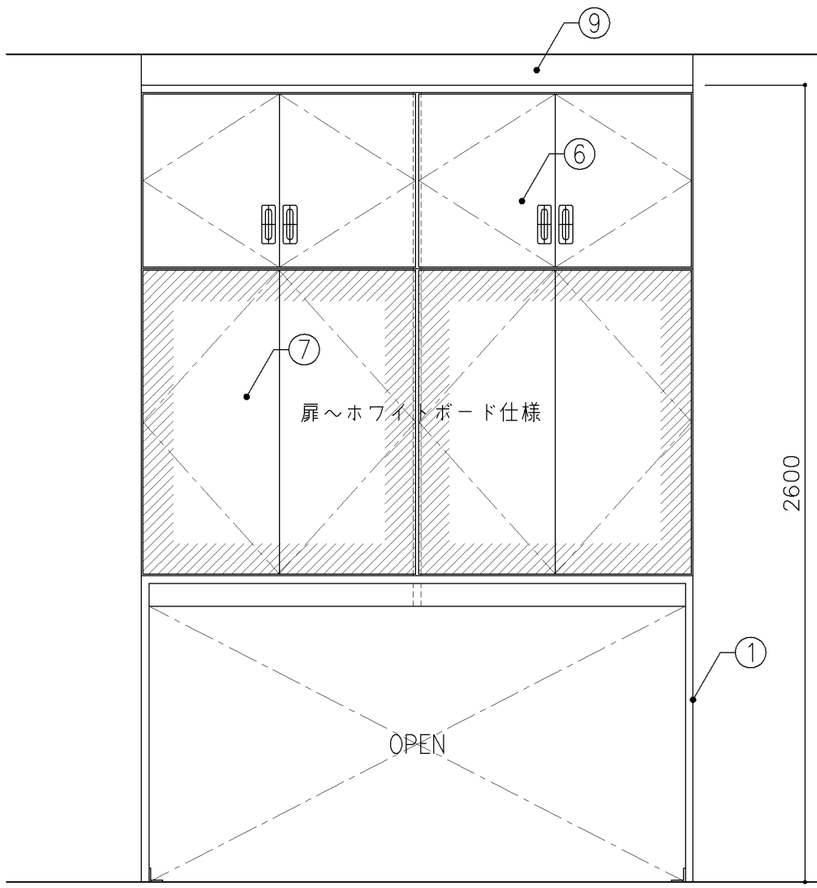
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 引違戸の厚みは、30mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−413
設計年月		令和2年2月	

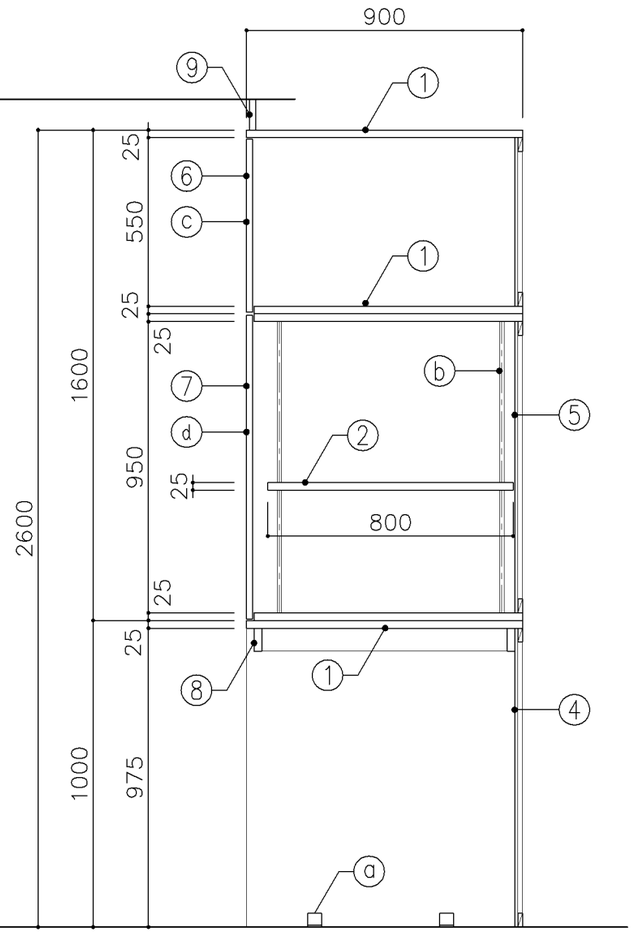
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,800 x D 900 x H 2,600

使用箇所
音楽教室

仕　様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	しな合板	
③	中仕切	A−1	しな合板	
④	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	裏板	片A−1	しな合板	
⑥	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑦	扉	A−1	しな合板	
			ホワイトボード仕様	
⑧	補強板	B−1	ポリエステル化粧合板	
⑨	幕板	A−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

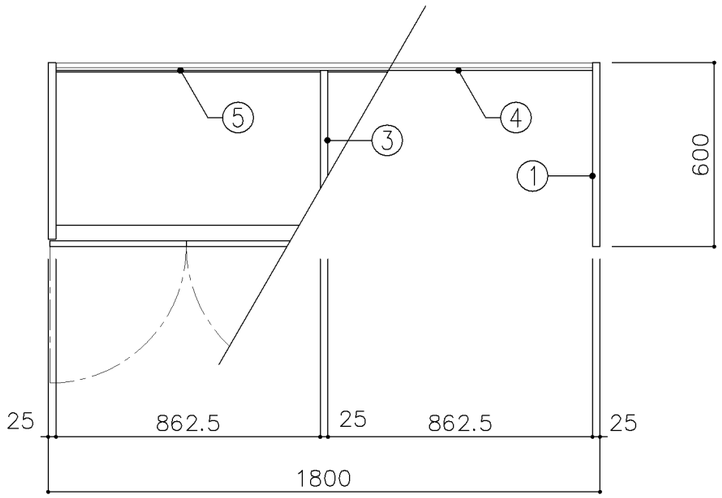
番号	使用箇所	名称
ⓐ	本体	床固定金物
ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓒ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ
ⓓ	扉	スライド丁番、プッシュラッチ
		面付シリンダー錠

特記事項

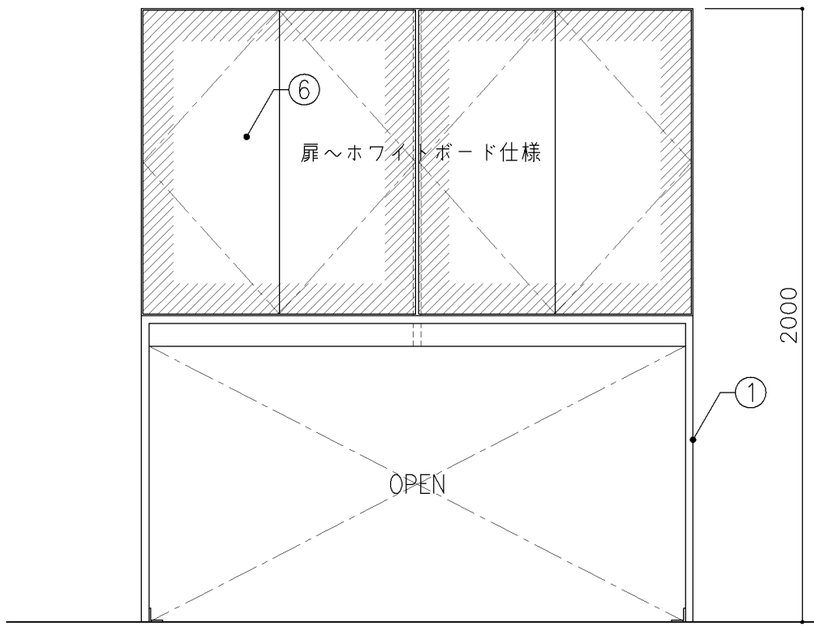
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納戸棚・ホワイトボード		
縮尺	1/20	記号	G−414A
設計年月		令和2年2月	

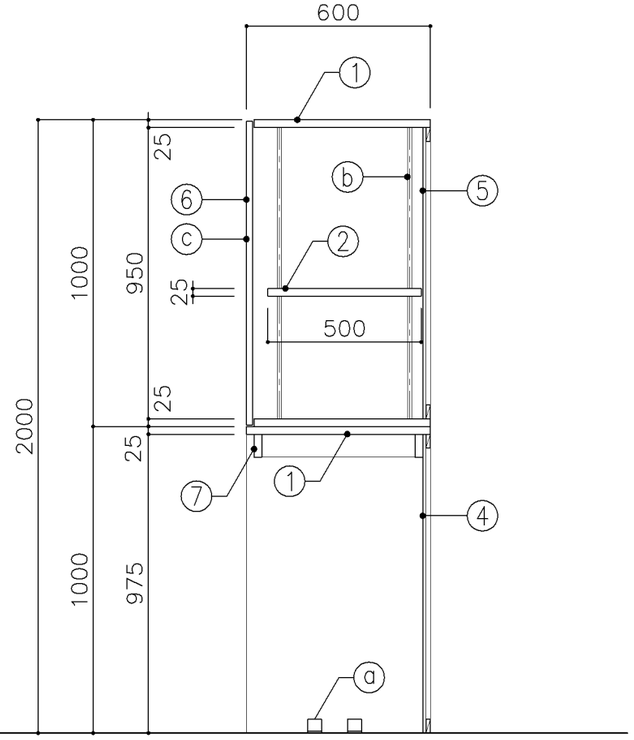
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,800 x D 600 x H 2,000

使用箇所
多目的室（集会・発表等）（小・中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	しな合板	
③	中仕切	A−1	しな合板	
④	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	裏板	片A−1	しな合板	
⑥	扉	A−1	しな合板	
			ホワイトボード仕様	
⑦	補強板	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

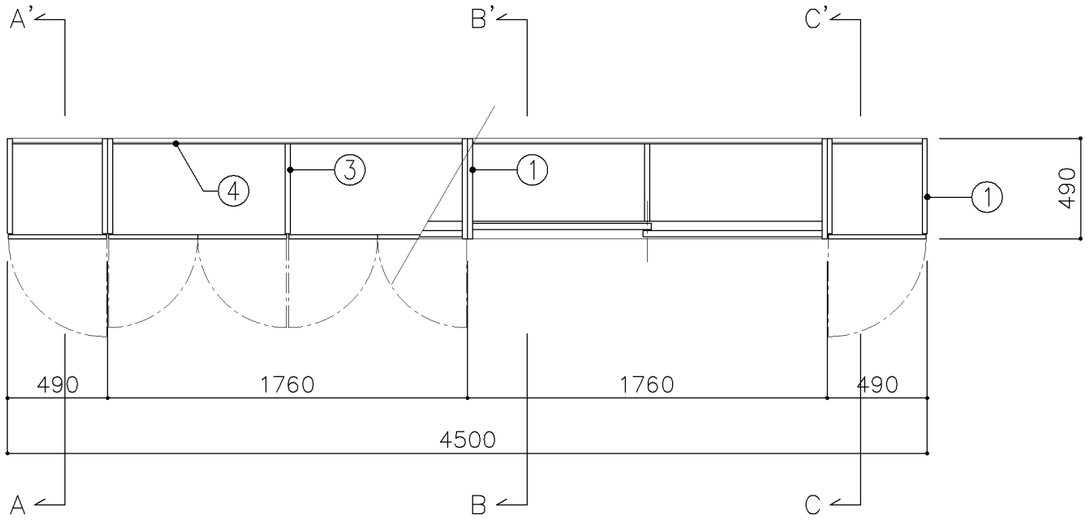
番号	使用箇所	名称
ⓐ	本体	床固定金物
ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓒ	扉	スライド丁番、プッシュラッチ
		面付シリンダー錠

特記事項

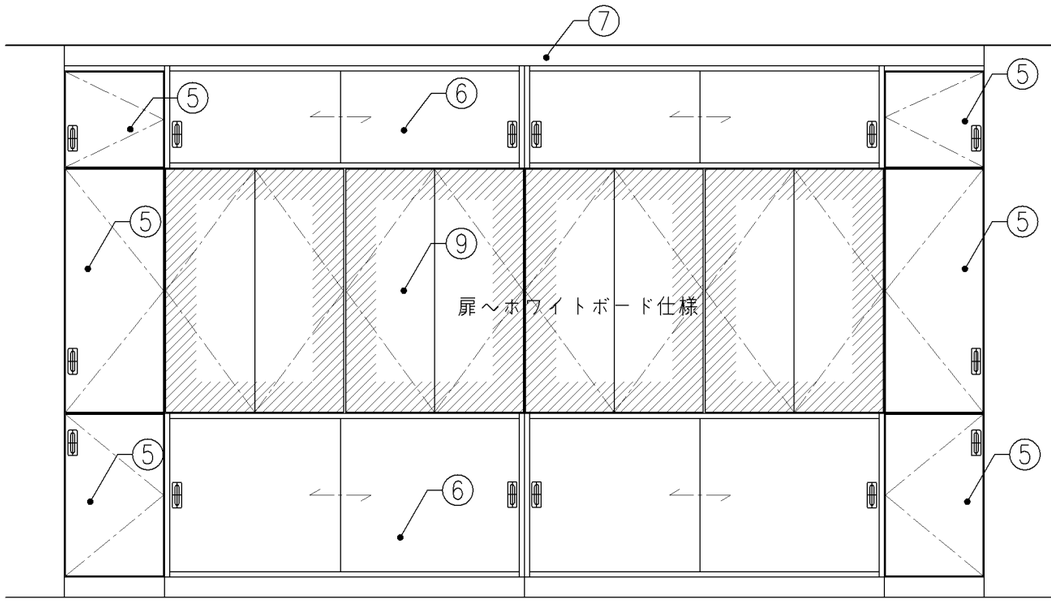
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納戸棚・ホワイトボード		
縮尺	1/20	記号	G−414B
設計年月			令和2年2月

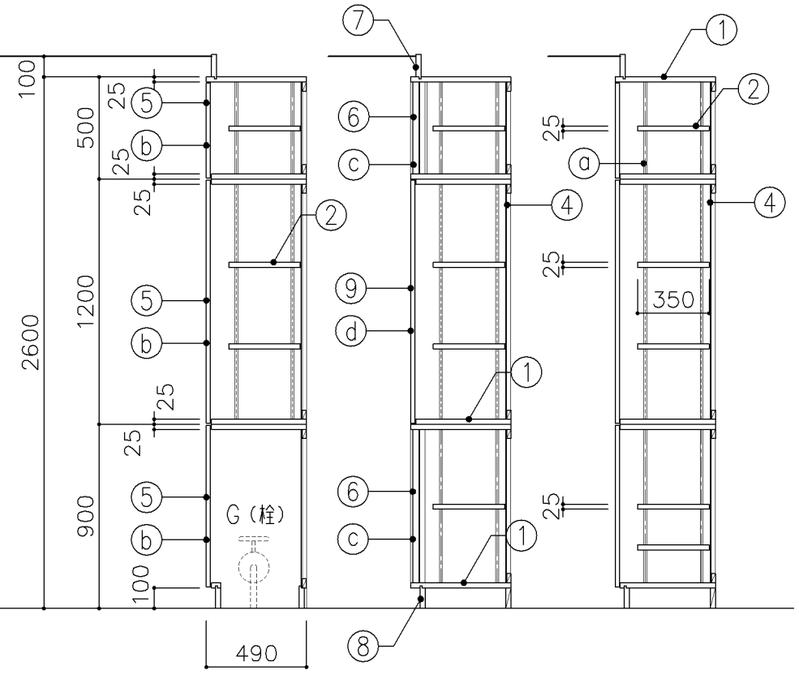
横浜市建築局



平面図



正面図



A－A' 断面図　B－B' 断面図　C－C' 断面図

寸　法
W4,500 x D 490 x H 2,600

使用箇所
被服教室（多目的）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A－1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A－1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A－1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A－1	ポリエステル化粧合板	
⑤	扉	A－1	ポリエステル化粧合板	
⑥	引違戸	A－1	ポリエステル化粧合板	
⑦	幕板	A－1	ポリエステル化粧合板	
⑧	巾木	B－1	ポリエステル化粧合板	
⑨	扉	A－1	しな合板	
			ホワイトボード仕様	

金　物

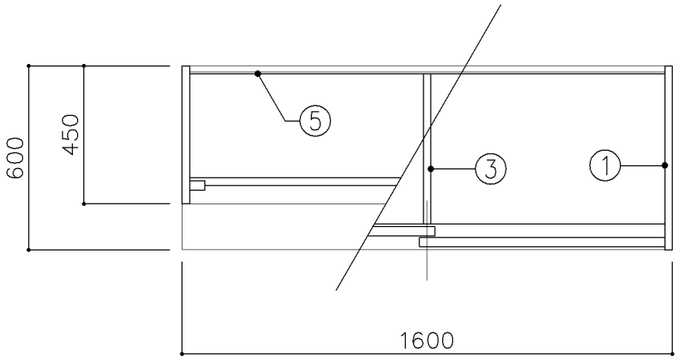
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ
		面付シリンダー錠
ⓒ	引違戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手
ⓓ	扉	スライド丁番、プッシュラッチ
		面付シリンダー錠

特記事項

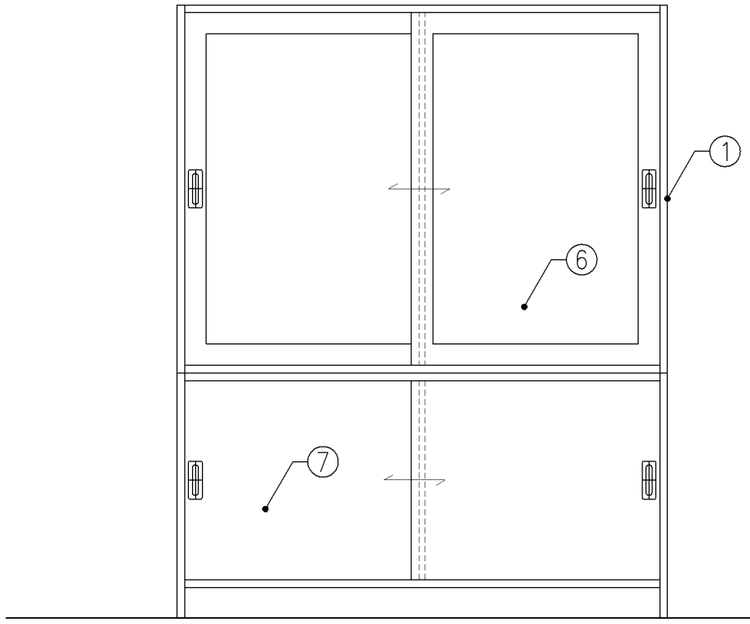
- 木口の形状については、G－400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 引違戸の厚みは、30mmを原則とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納戸棚・ホワイトボード		
縮尺	1/30	記号	G－415
設計年月		令和2年2月	

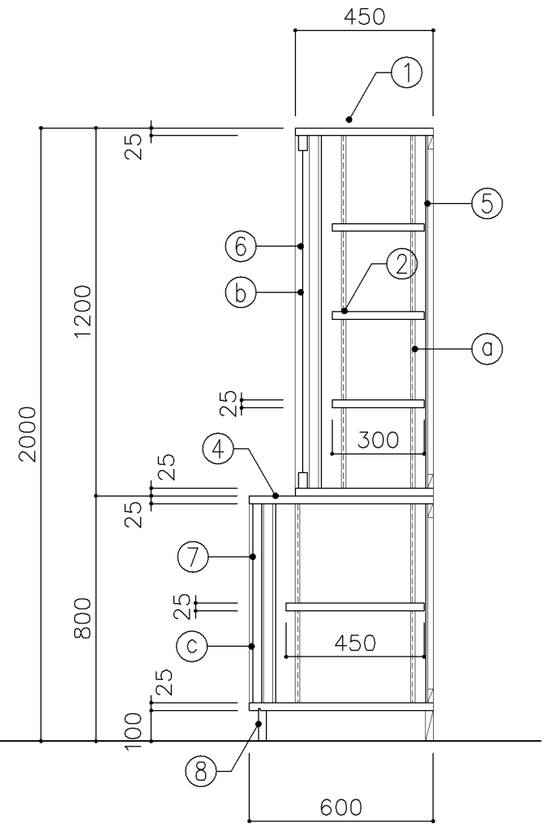
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,600 x D 450/600 x H 2,000

使用箇所
家庭科教室、調理教室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	天板	A−1	メラミン化粧板	
⑤	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑥	框戸		ｱ3 ポリカーボネード板	
⑦	引違戸	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑧	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

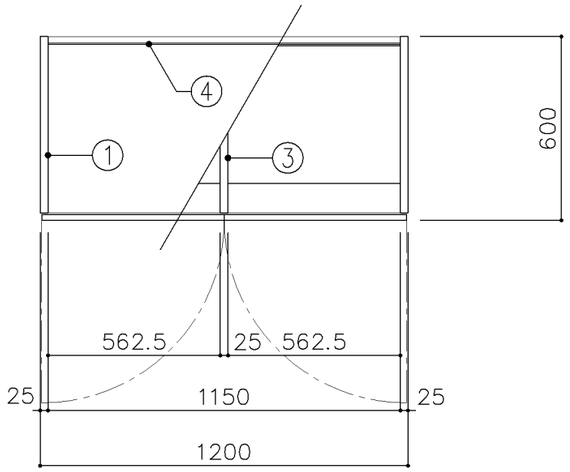
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	框戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手
ⓒ	引違戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手

特記事項

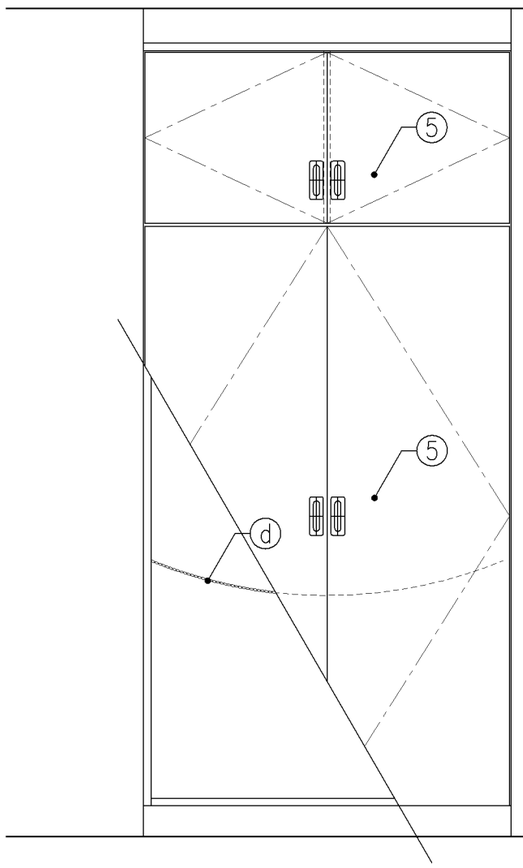
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 引違戸の厚みは、30mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−416
設計年月		令和2年2月	

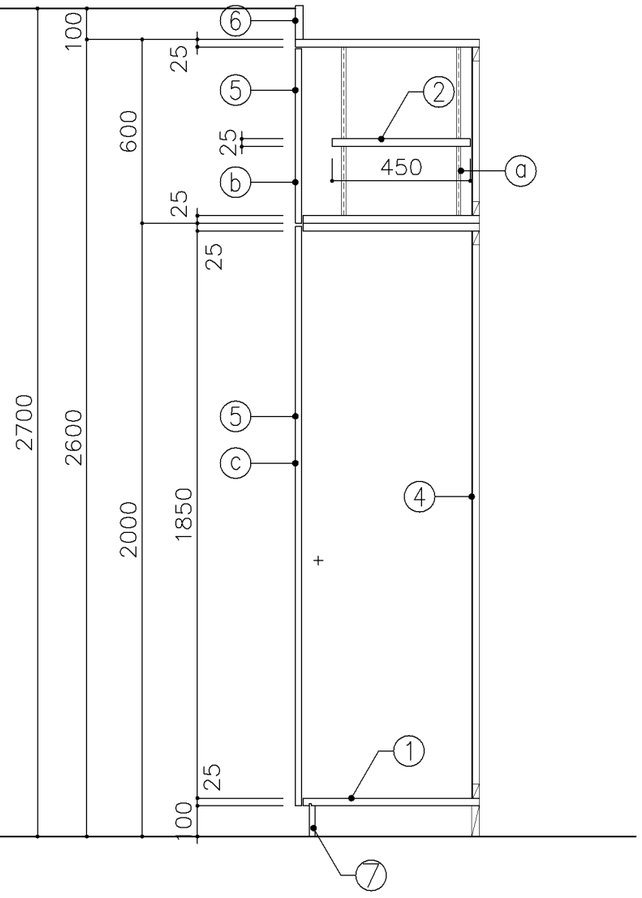
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,200 x D 600 x H 2,600

使用箇所
美術教室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	しな合板	
③	中仕切	A−1	しな合板	
④	裏板	A−1	しな合板	
⑤	扉	A−1	しな合板	
⑥	幕板	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑦	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

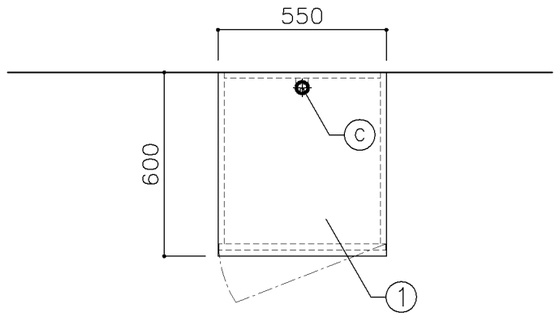
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ
		面付シリンダー錠
ⓑ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手
		マグネットキャッチ
ⓓ	ズレ防止	ステンレス製チェーン

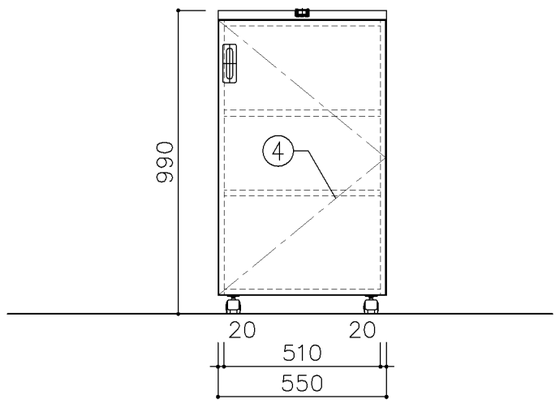
特記事項

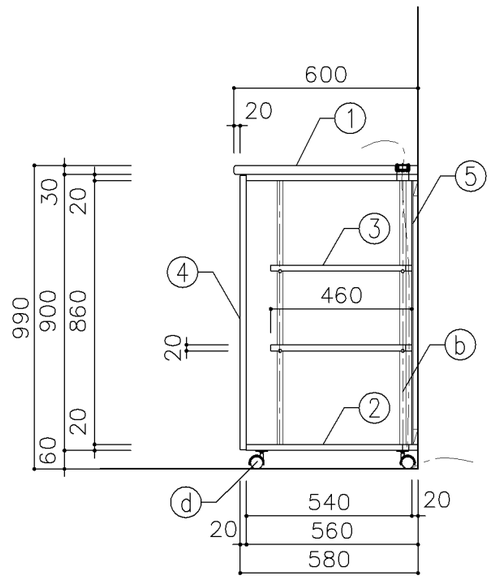
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	イーゼル収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−417
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局







寸　法
W550 × D600 × H990

使用箇所
多目的室（集会等）（小・中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	天板	B−1	メラミン化粧板	
②	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

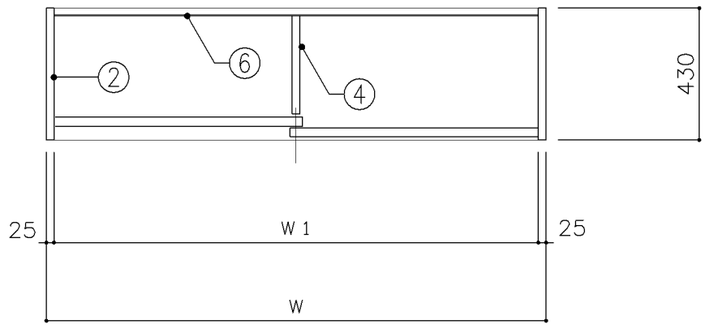
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ
		面付シリンダー錠
ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓒ	天板	通線孔
ⓓ	本体	ナイロン樹脂キャスター 30Kg用
		（ストッパー付）

特記事項

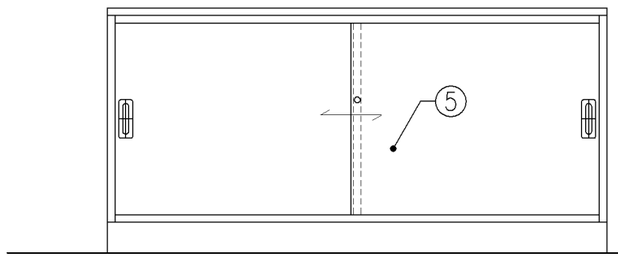
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	AV機器収納ラック		
縮尺	1/20	記号	G−418
設計年月		令和2年2月	

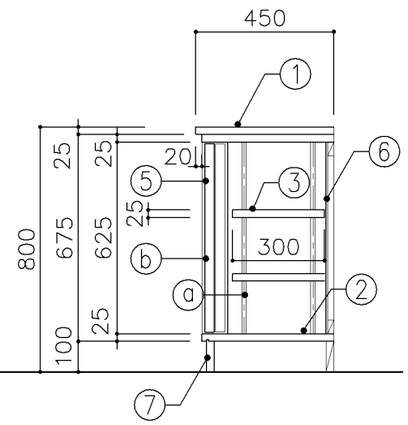
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法					
A：W	1,630	xD	450	xH	800
B：W	1,730	xD	450	xH	800

使用箇所
A：コンピューター教室（小学生）
B：コンピューター教室（中学生）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	天板	B−1	メラミン化粧板	
②	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	可動棚	A−1	しな合板	
④	中仕切	A−1	しな合板	
⑤	引違戸	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑥	裏板	片A−1	しな合板	
⑦	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

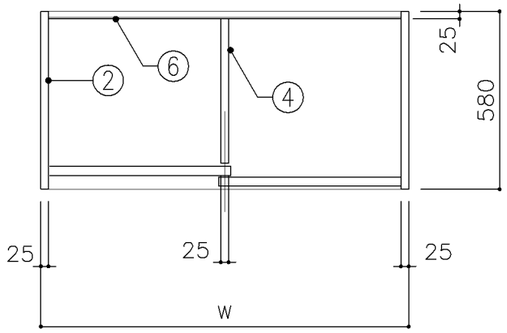
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	引違戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手

特記事項

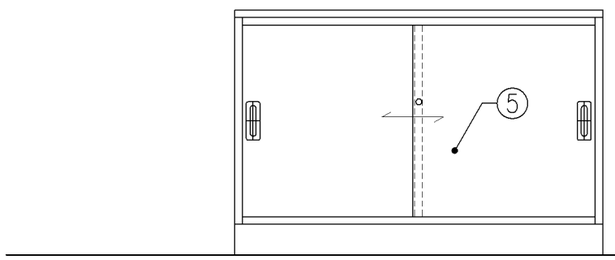
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 引違戸の厚みは、30mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−419
設計年月		令和2年2月	

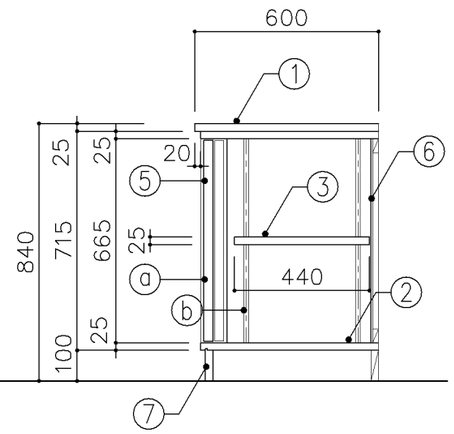
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法						
A：W	1,200	xD	600	xH	840	
B：W	1,800	xD	600	xH	840	

使用箇所

A：保健室

B：理科準備室・理科準備室（2室タイプ）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	天板	B−1	メラミン化粧板	
②	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	可動棚	A−1	しな合板	
④	中仕切	A−1	しな合板	
⑤	引違戸	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑥	裏板	片A−1	しな合板	
⑦	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

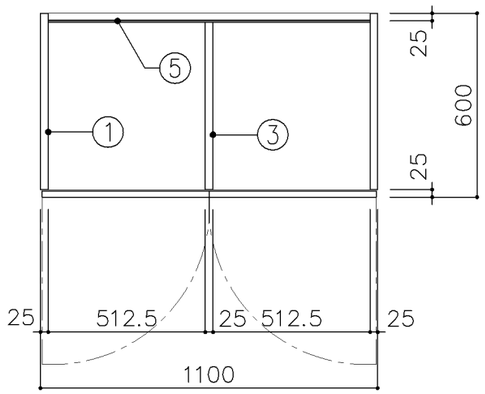
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	引違戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手
ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）

特記事項

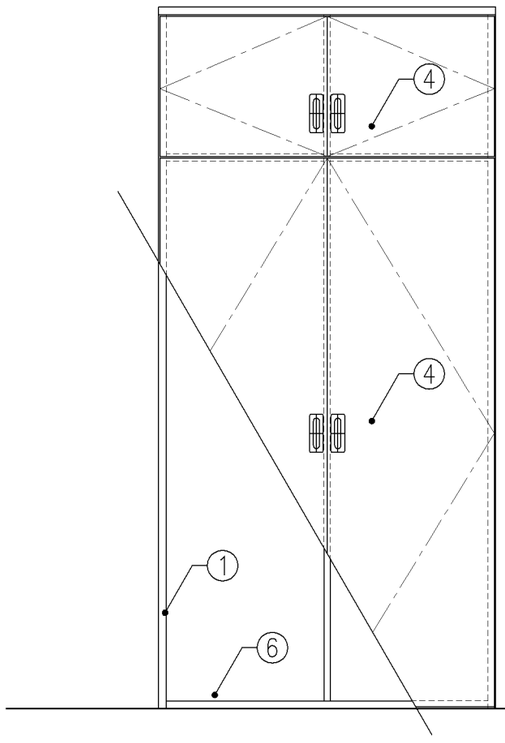
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 引違戸の厚みは、30mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。
- Bタイプは、③ 可動棚なしとする。

名称	窓下収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−420
設計年月			令和2年2月

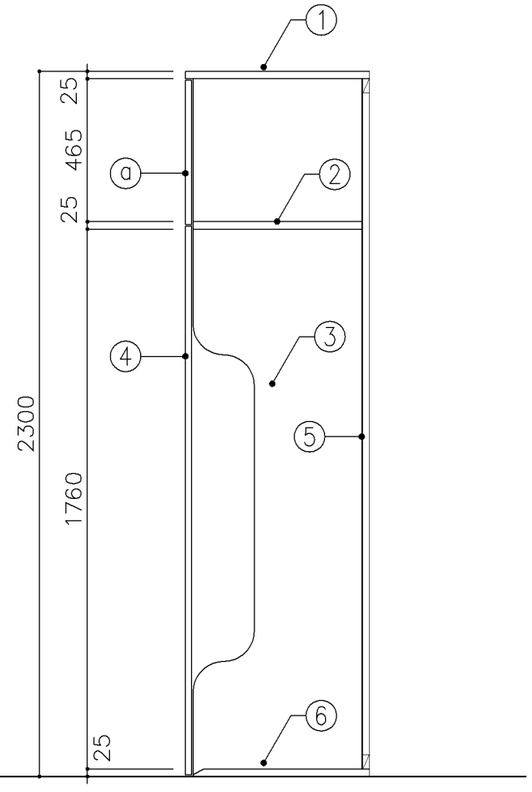
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,100 x D 600 x H 2,300

使用箇所
保健室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	固定棚	A−1	しな合板	
③	中仕切	A−1	しな合板	
④	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	裏板	片A−1	しな合板	
⑥	底板	B−1	ニードルパンチカーペット	

金　物

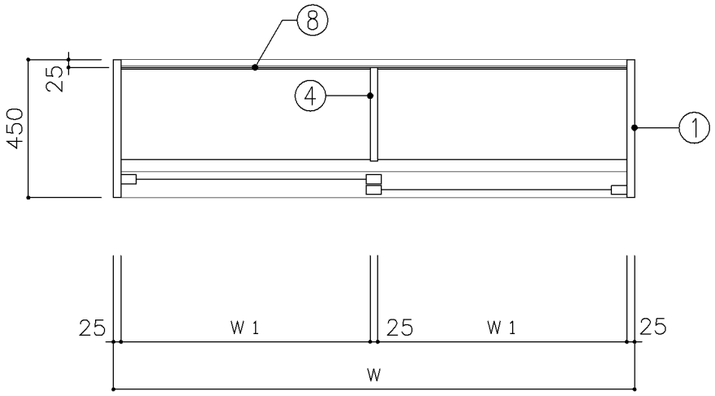
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	スライド丁番、掘込取手、マグネットキャッチ

特記事項

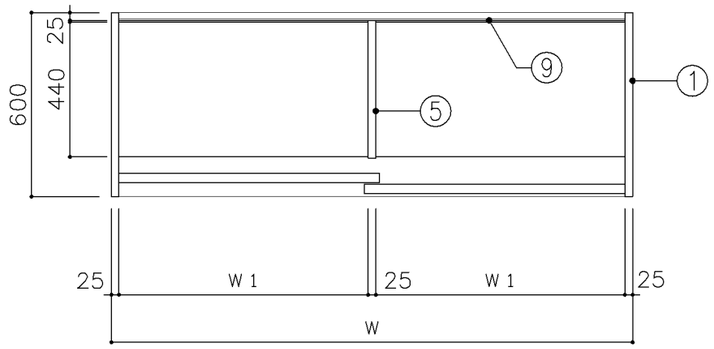
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	備品収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−421
設 計 年 月		令和2年2月	

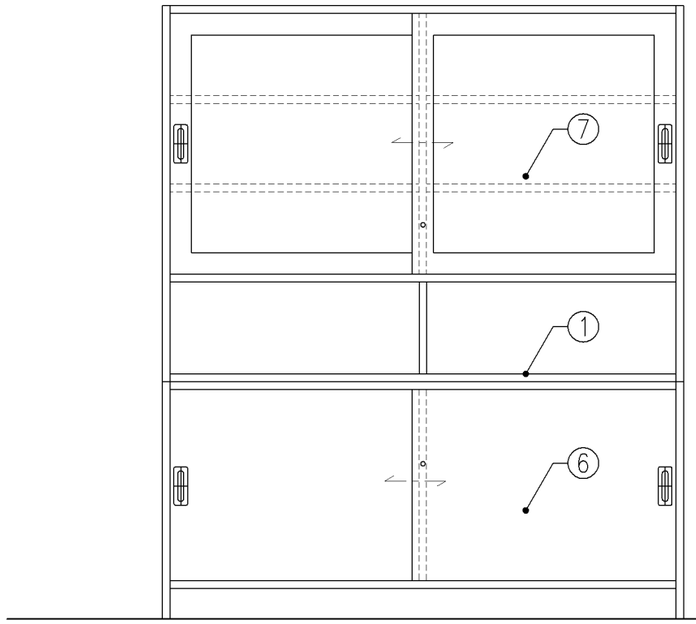
横浜市建築局



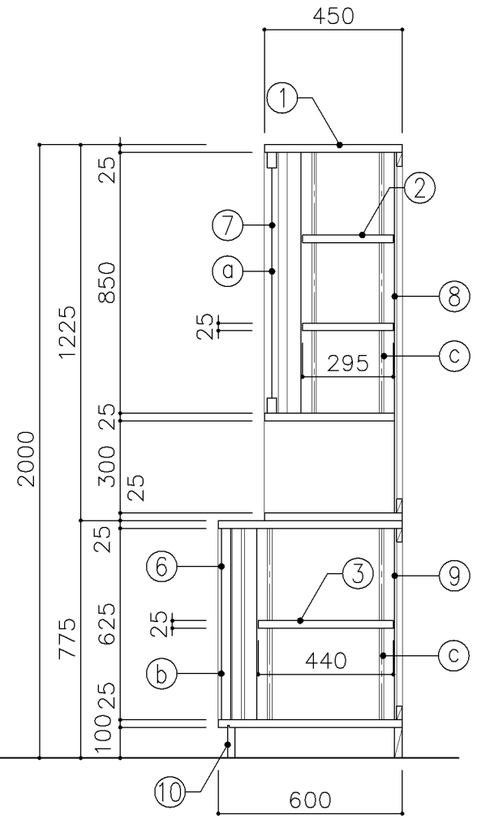
上段平面図



下段平面図



正面図



断面図

寸　法
A：W 1,200 xD 450/600 xH 2,000
B：W 1,700 xD 450/600 xH 2,000

使用箇所
A：保健室
B：保健室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	可動棚	A−1	しな合板	
④	中仕切	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	中仕切	A−1	しな合板	
⑥	引違戸	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑦	框戸		ｱ3 ポリカーボネード板	
⑧	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑨	裏板	片A−1	しな合板	
⑩	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

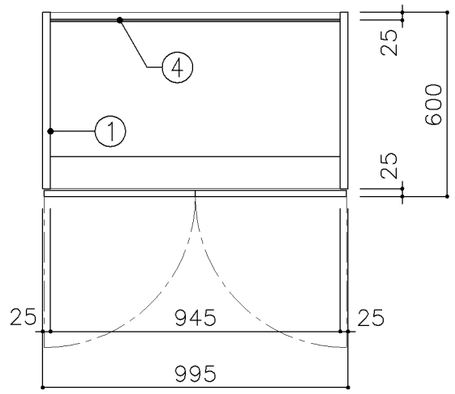
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	框戸	シリンダー栓錠、国産材堀込引手
ⓑ	引違戸	シリンダー栓錠、国産材堀込引手
ⓒ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）

特記事項

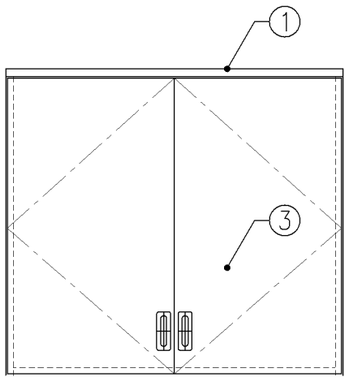
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 引違戸の厚みは、30mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−422
設計年月		令和2年2月	

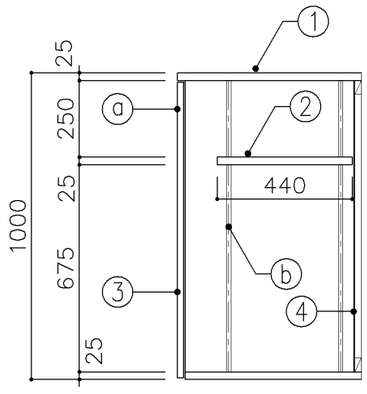
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 995 x D 600 x H 1,000

使用箇所
保健室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	しな合板	
③	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A−1	しな合板	

金　物

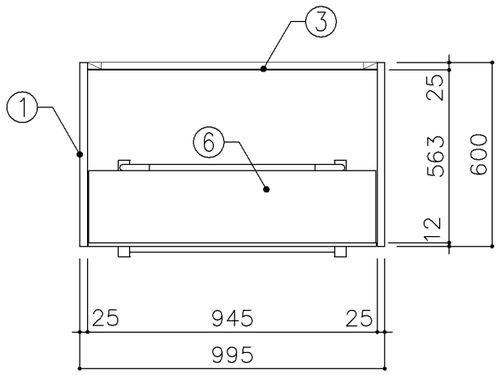
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ
		面付シリンダー錠
ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）

特記事項

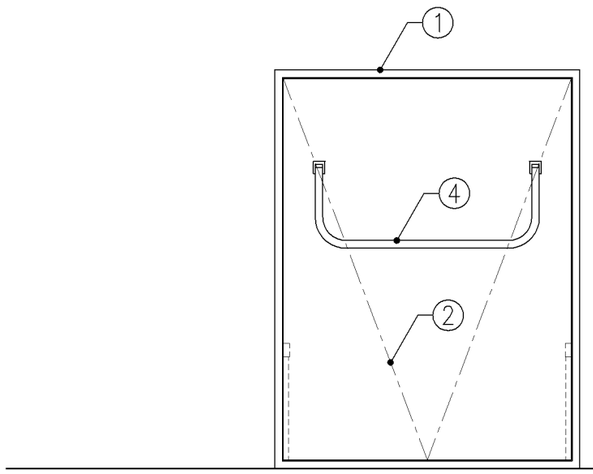
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	布団収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−423
設計年月		令和2年2月	

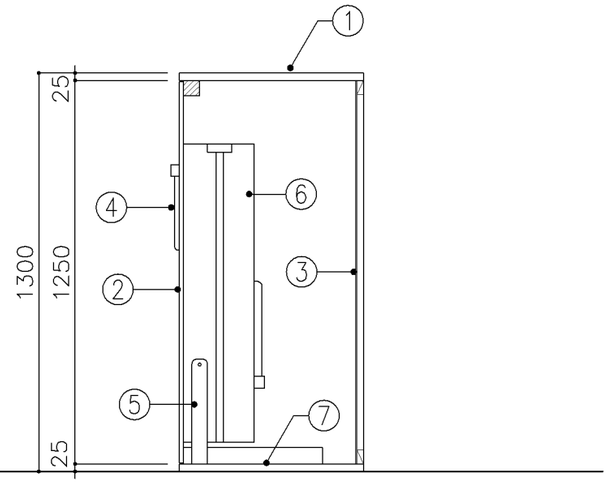
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 995 x D 600 x H 1,300

使用箇所
保健室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	前板		ポリエステル化粧合板	
③	裏板	片A−1	しな合板	
④	脚		スチール	クロームメッキ
⑤	フレーム受		スチール	クロームメッキ
⑥	ベッド		ボトムマットレス	
⑦	底板	B−1	しな合板	

金　物

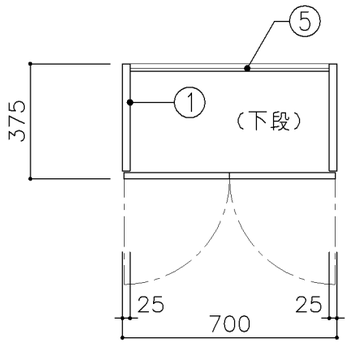
番号	使用箇所	名　称
		メーカー仕様

特記事項

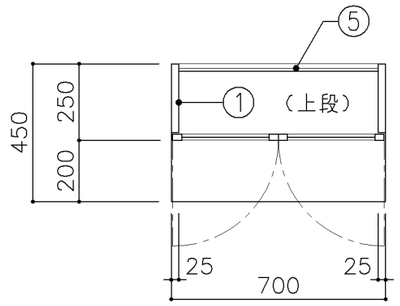
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納式ベッド		
縮尺	1/20	記号	G−424
設計年月			令和2年2月

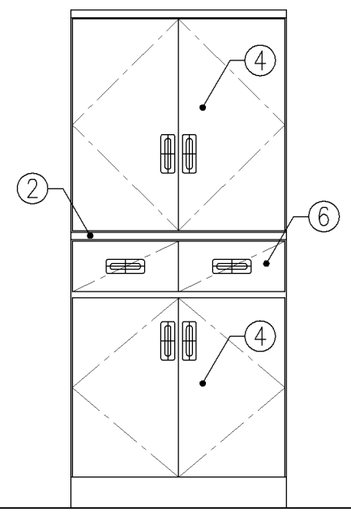
横浜市建築局



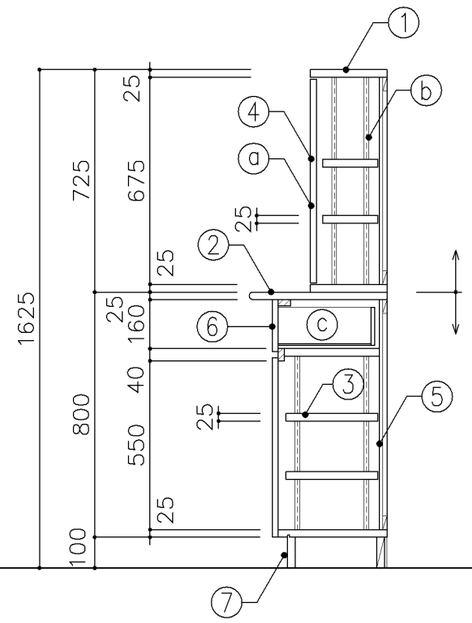
平面図



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 700 x D 250/450 xH 1,625

使用箇所
個別支援教室（第一学習室）（小・中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	しな合板	UC
②	膳板	A−1	しな合板	UC
③	可動棚	A−1	しな合板	
④	扉	A−1	しな合板	UC
⑤	裏板	片A−1	しな合板	
⑥	引出シ		しな合板	UC
⑦	巾木	B−1	しな合板	UC

金　物

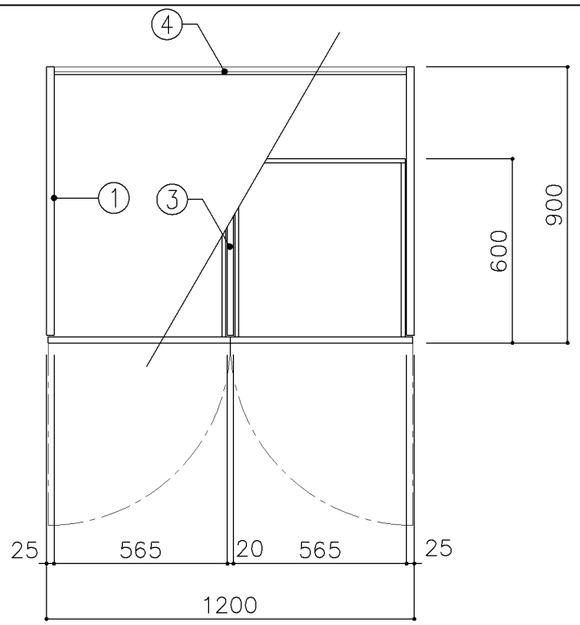
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ
		面付シリンダー錠
ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓒ	引出シ	掘込引手、スベリ鋲、ストッパー

特記事項

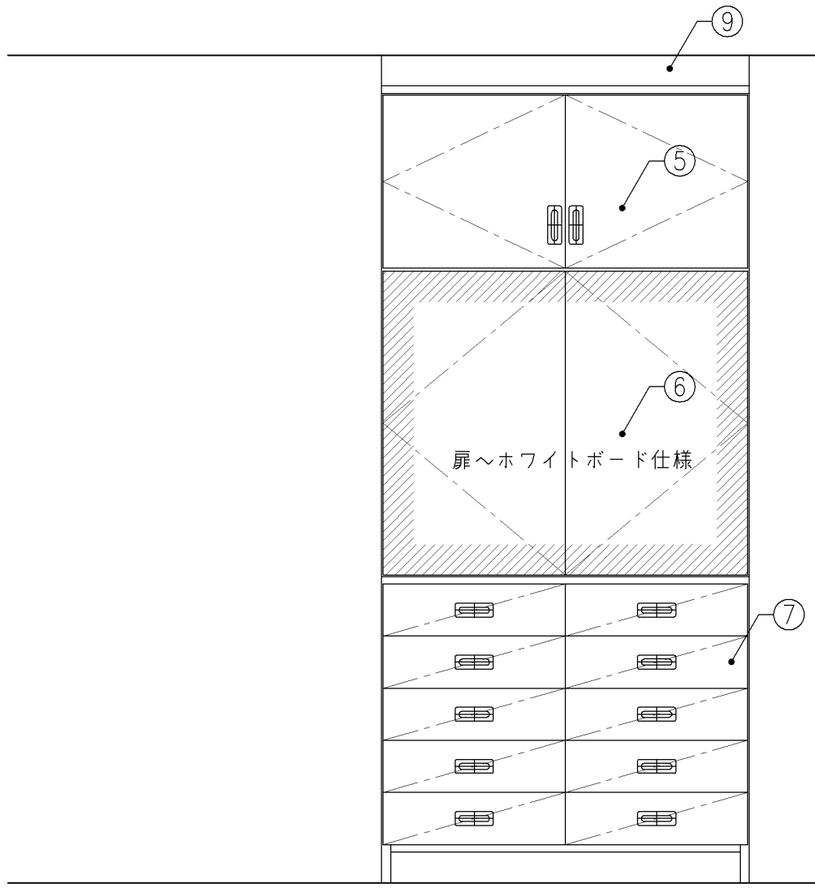
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はUC仕上とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	食器戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−430
設計年月			令和2年2月

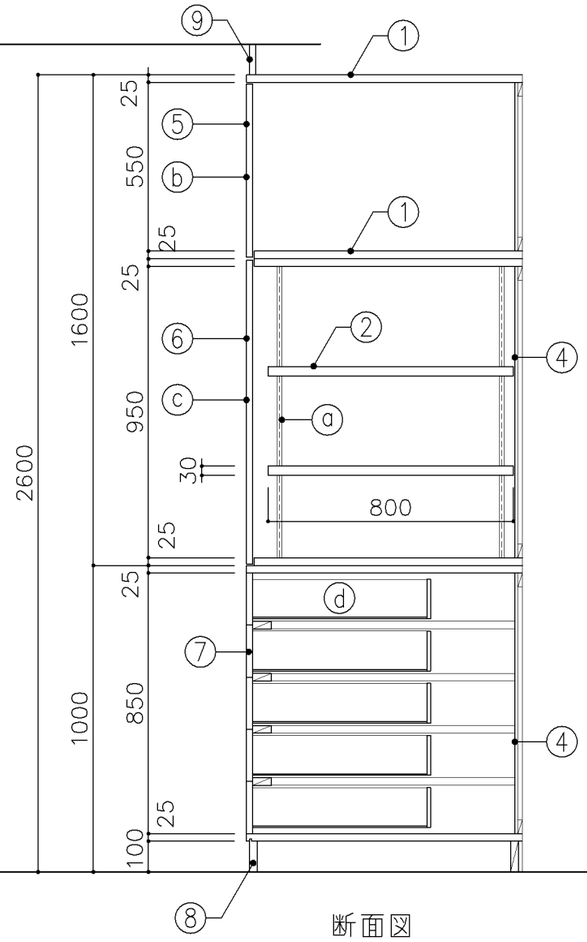
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,200 x D 900 x H 2,600

使用箇所
音楽教室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	しな合板	
③	中仕切	A−1	しな合板	
④	裏板	片A−1	しな合板	
⑤	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑥	扉	A−1	しな合板	
			片面ホワイトボード仕様	
⑦	引出シ	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑧	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	
⑨	幕板	A−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

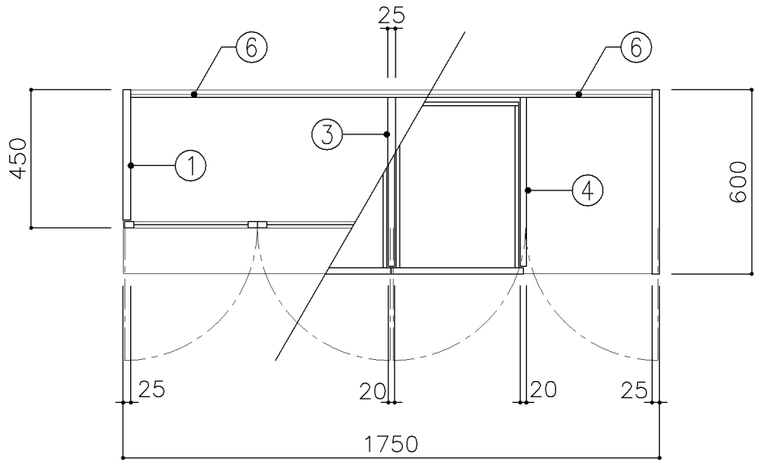
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ
		面付シリンダー錠
ⓒ	扉	スライド丁番、プッシュラッチ
		面付シリンダー錠
ⓓ	引出シ	国産材掘込引手、スベリ鋲、ストッパー
		シリンダーオールロック

特記事項

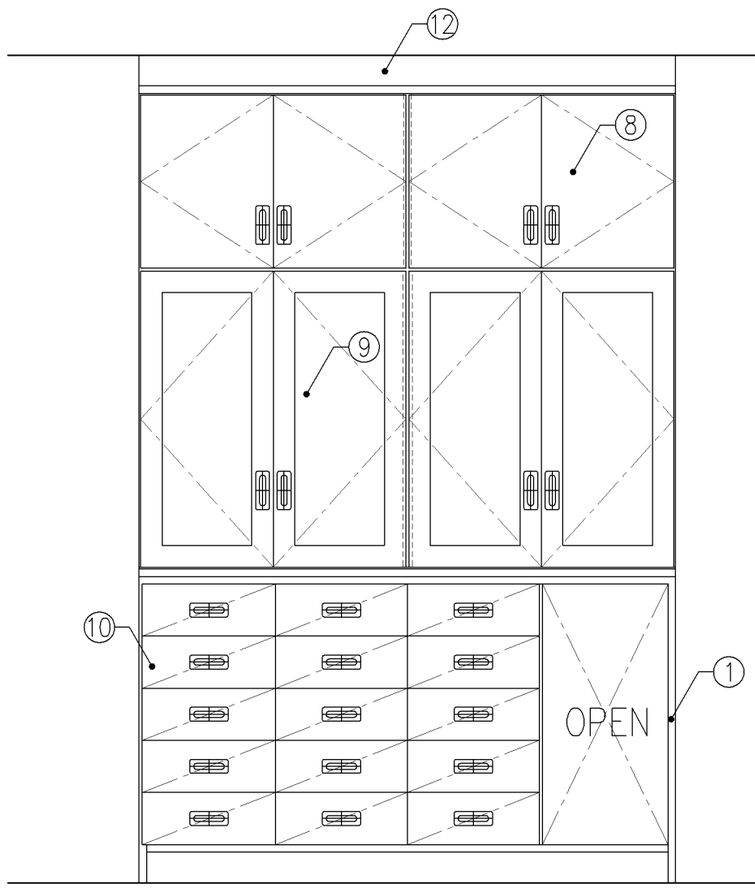
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−431
設計年月		令和2年2月	

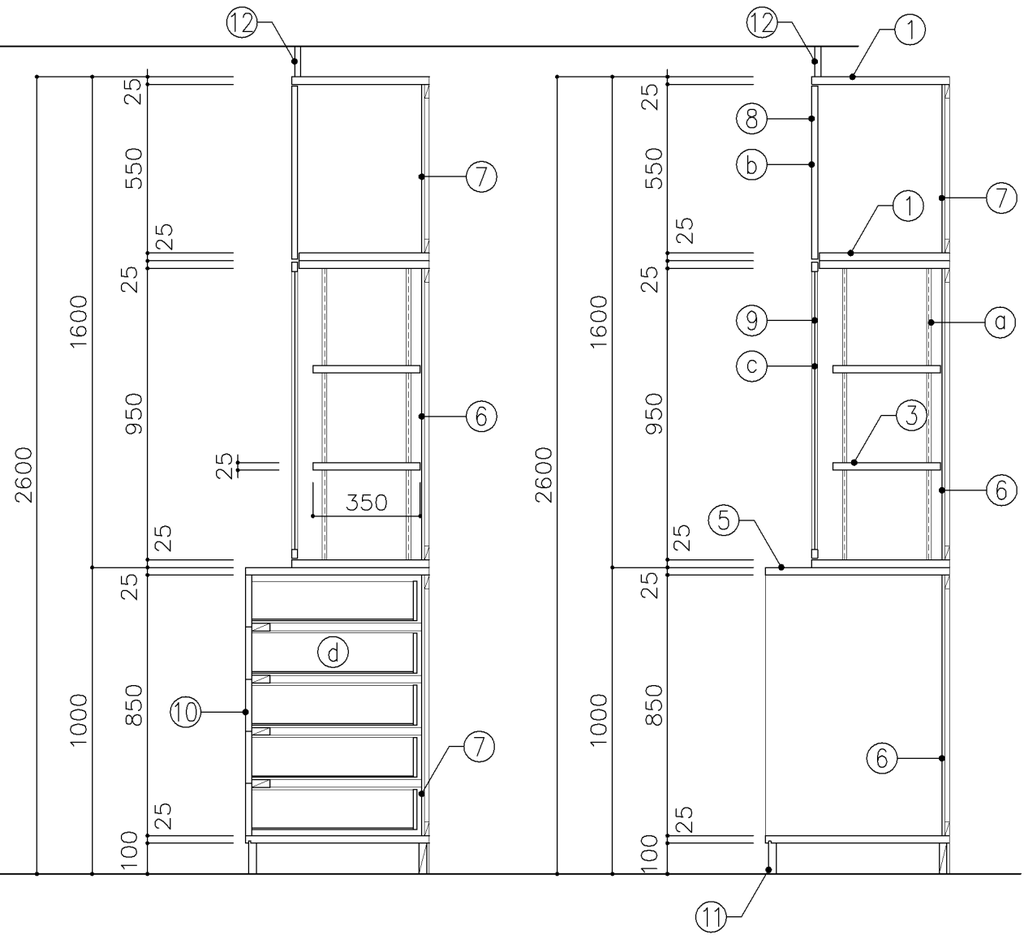
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,750 x D 450/600 xH 2,600

使用箇所
音楽準備室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	中仕切	A−1	しな合板	
⑤	天板	A−1	メラミン化粧板	
⑥	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑦	裏板	片A−1	しな合板	
⑧	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑨	框戸		ｱ3 ポリカーボネード板	
⑩	引出シ	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑪	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	
⑫	幕板	A−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

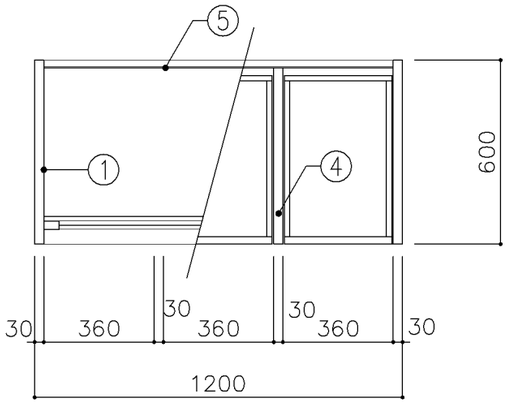
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ
		面付シリンダー錠
ⓒ	框戸	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ
		面付シリンダー錠
ⓓ	引出シ	掘込引手、スベリ鋲、ストッパー
		シリンダーオールロック

特記事項

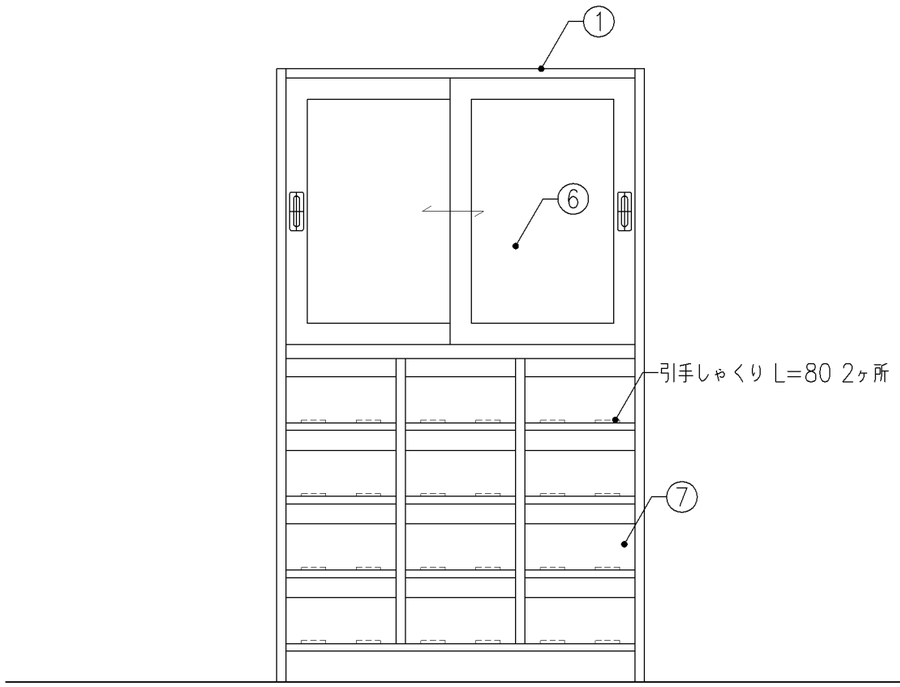
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−432
設計年月		令和2年2月	

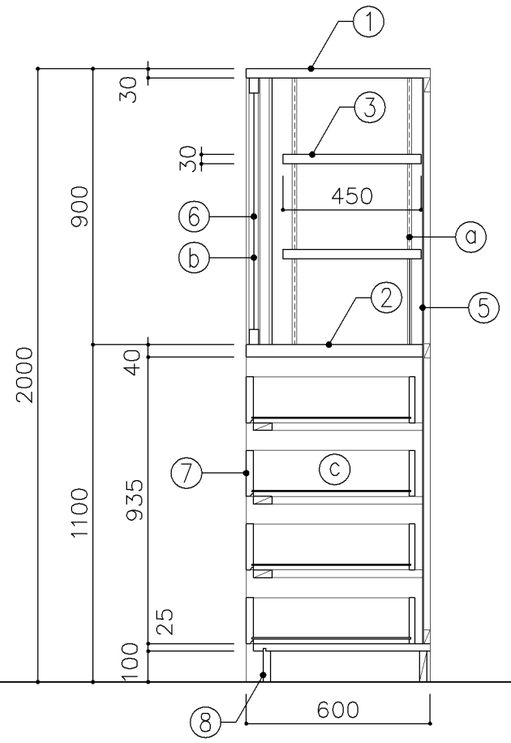
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,200 x D 600 x H 2,000

使用箇所
金工・木工準備室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ラワン合板	OS.UC
②	棚板	A−1	ラワン合板	OS.UC
③	可動棚	A−1	ラワン合板	OS.UC
④	中仕切	A−1	ラワン合板	OS.UC
⑤	裏板	片A−1	ラワン合板	OS.UC
⑥	框戸		ｱ3 ポリカーボネード板	
⑦	引出シ		ｱ24 ラワン	OS.UC
⑧	巾木	B−1	ラワン合板	OS.UC

金　物

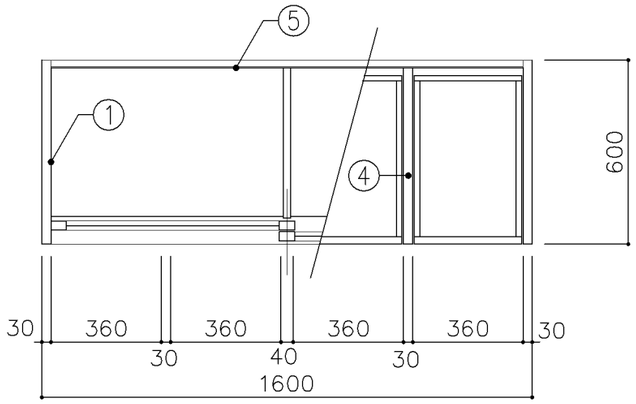
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	框戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手
ⓒ	引出シ	スベリ鋲、ストッパー

特記事項

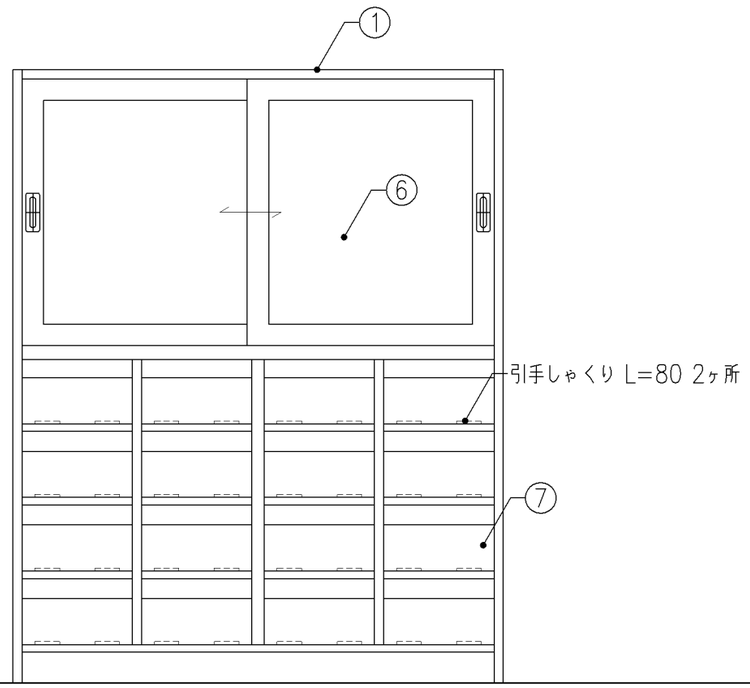
・木口の形状については、G−400より選定する。
・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	工具収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−433
設計年月			令和2年2月

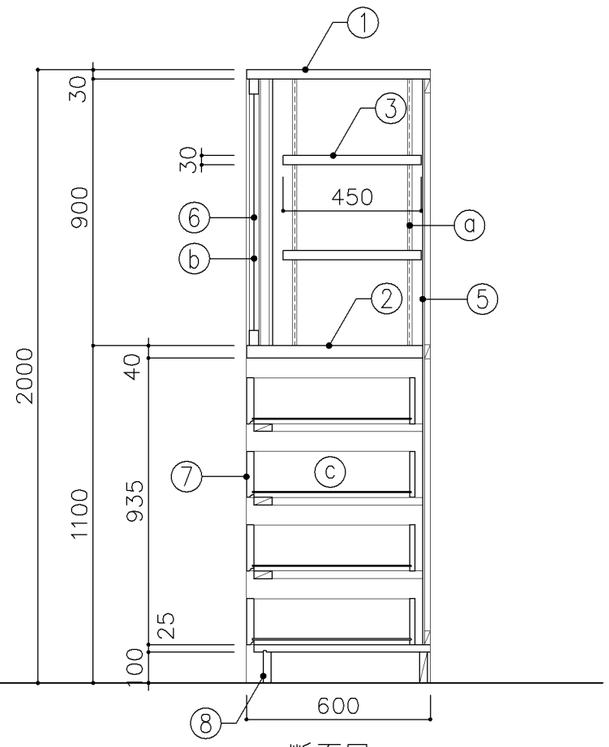
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,600 x D 600 x H 2,000

使用箇所
金工・木工準備室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ラワン合板	OS.UC
②	棚板	A−1	ラワン合板	OS.UC
③	可動棚	A−1	ラワン合板	OS.UC
④	中仕切	A−1	ラワン合板	OS.UC
⑤	裏板	片A−1	ラワン合板	OS.UC
⑥	框戸		ｱ3 ポリカーボネード板	
⑦	引出シ		ｱ24 ラワン	OS.UC
⑧	巾木	B−1	ラワン合板	OS.UC

金　物

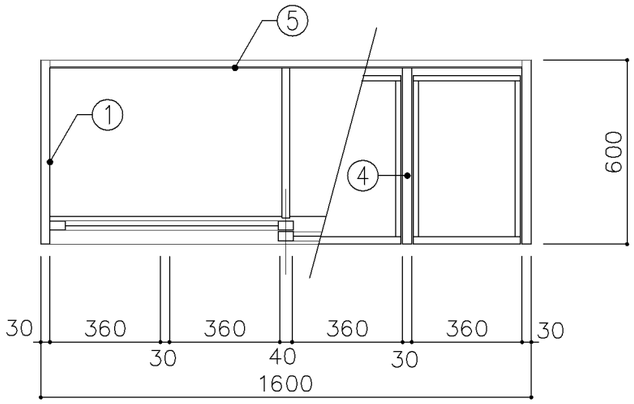
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	框戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手
ⓒ	引出シ	スベリ鋲、ストッパー

特記事項

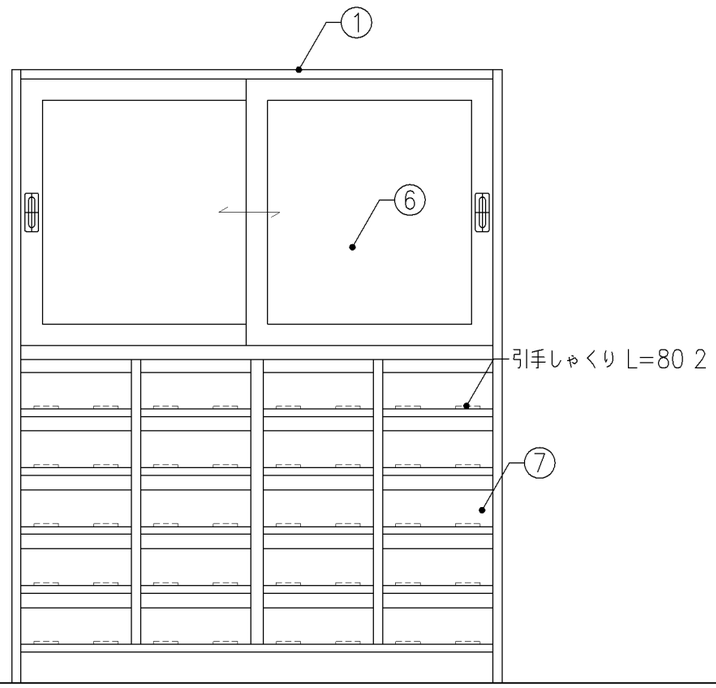
・木口の形状については、G−400より選定する。
・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	工具収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−434
設計年月			令和2年2月

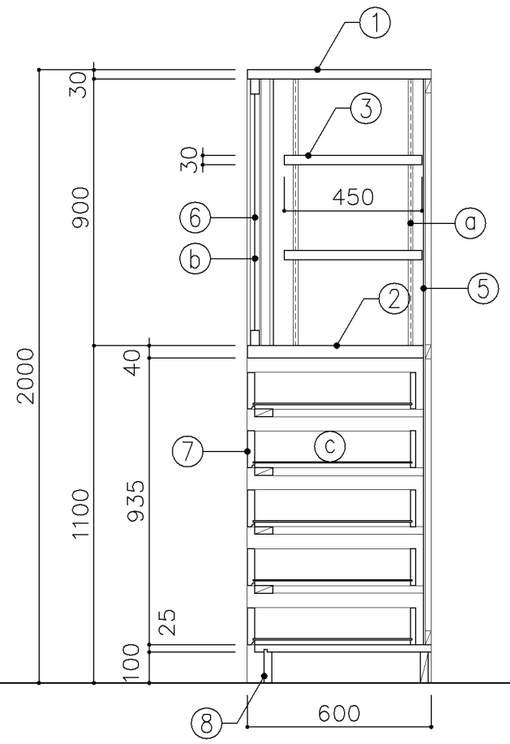
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,600 x D 600 x H 2,000

使用箇所
金工・木工準備室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ラワン合板	OS.UC
②	棚板	A−1	ラワン合板	OS.UC
③	可動棚	A−1	ラワン合板	OS.UC
④	中仕切	A−1	ラワン合板	OS.UC
⑤	裏板	片A−1	ラワン合板	OS.UC
⑥	框戸		ｱ3 ポリカーボネード板	
⑦	引出シ		ｱ24 ラワン	OS.UC
⑧	巾木	B−1	ラワン合板	OS.UC

金　物

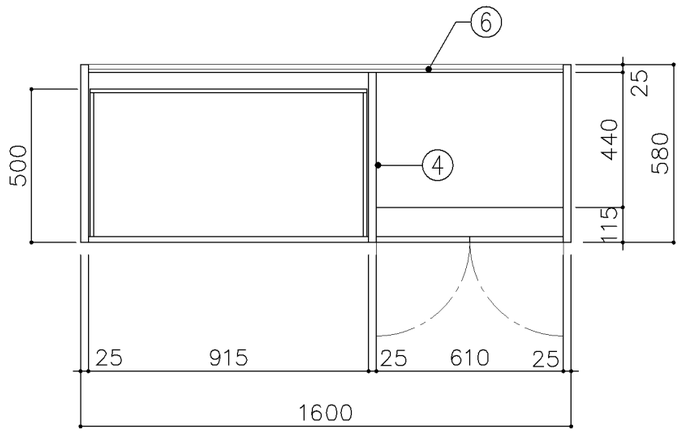
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	框戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手
ⓒ	引出シ	スベリ鋲、ストッパー

特記事項

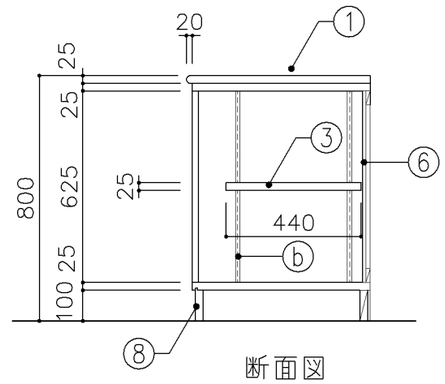
・木口の形状については、G−400より選定する。
・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	工具収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−435
設計年月			令和2年2月

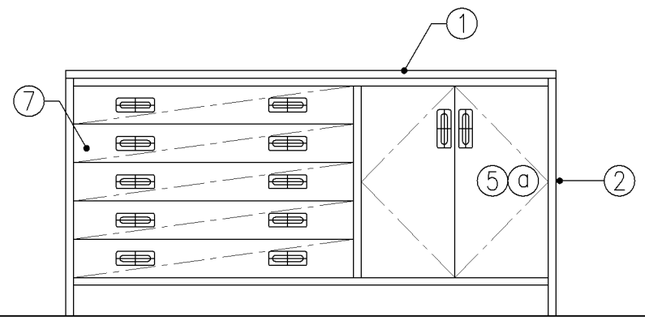
横浜市建築局



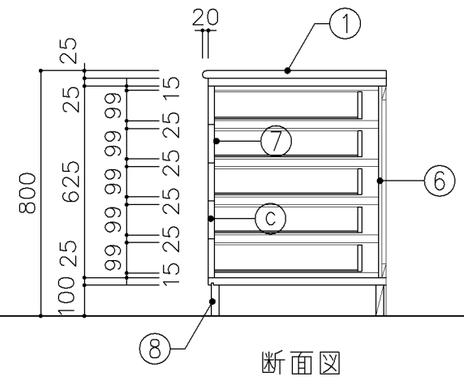
平面図



断面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,600 x D 600 x H 800

使用箇所
保健室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	天板	B−1	メラミン化粧板	
②	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	可動棚	A−1	しな合板	
④	中仕切	A−1	しな合板	
⑤	扉		ポリエステル化粧合板	
⑥	裏板	片A−1	しな合板	
⑦	引出シ	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑧	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

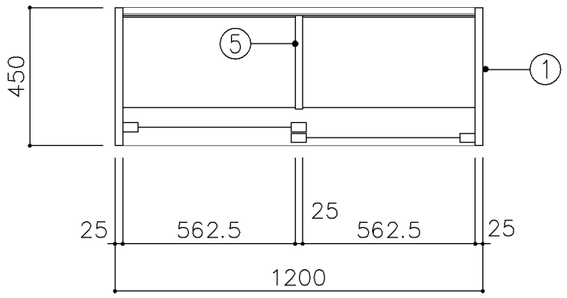
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ
		面付シリンダー錠
ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓒ	引出シ	スベリ鋲、ストッパー、掘込引手
		面付シリンダー錠

特記事項

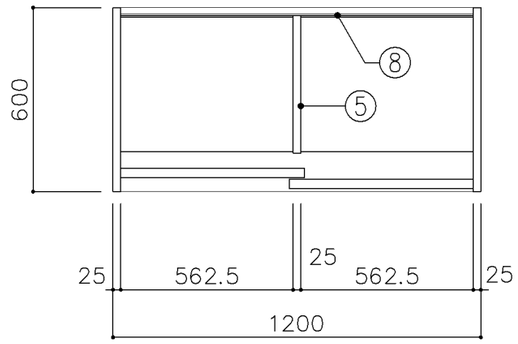
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−436
設計年月		令和2年2月	

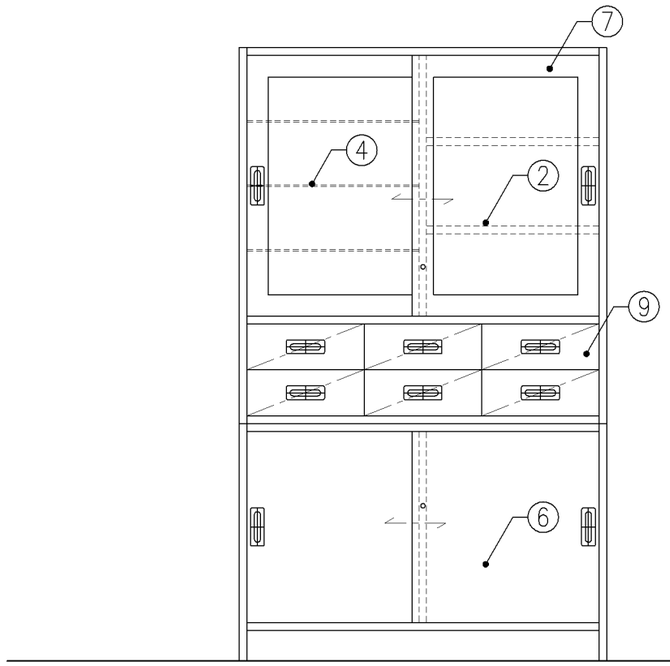
横浜市建築局



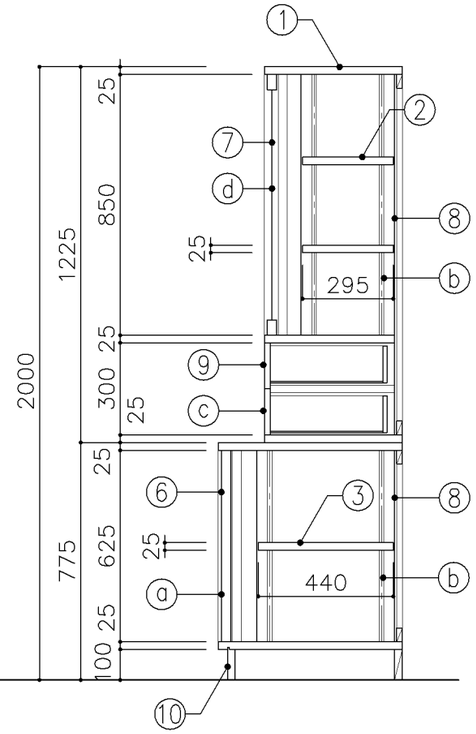
上段平面図



下段平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,200 x D 450/600 x H 2,000

使用箇所
保健室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	可動棚	A−1	しな合板	
④	ｶﾞﾗｽ可動棚		透明 ｱ5	
⑤	中仕切	A−1	しな合板	
⑥	引違戸	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑦	框戸		ｱ3 ポリカーボネード板	
⑧	裏板	片A−1	しな合板	
⑨	引出シ	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑩	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

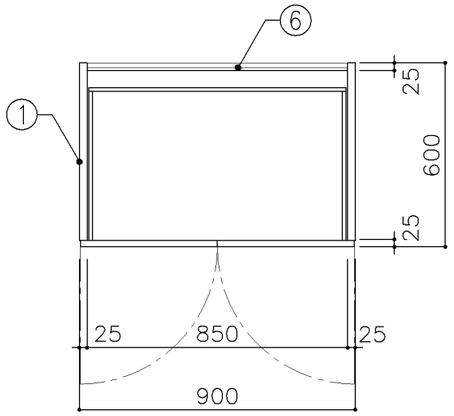
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	引違戸	シリンダー栓錠、国産材堀込引手
ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓒ	引出シ	スベリ鋲、ストッパー、堀込引手
ⓓ	框戸	シリンダー栓錠、国産材堀込引手

特記事項

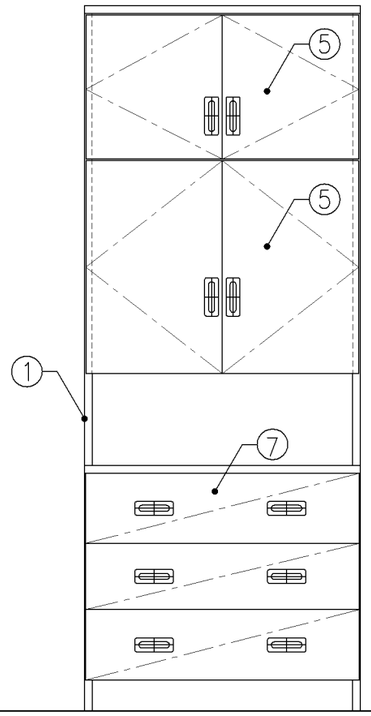
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 引違戸の厚みは、30mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	薬品機器戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−437
設計年月			令和2年2月

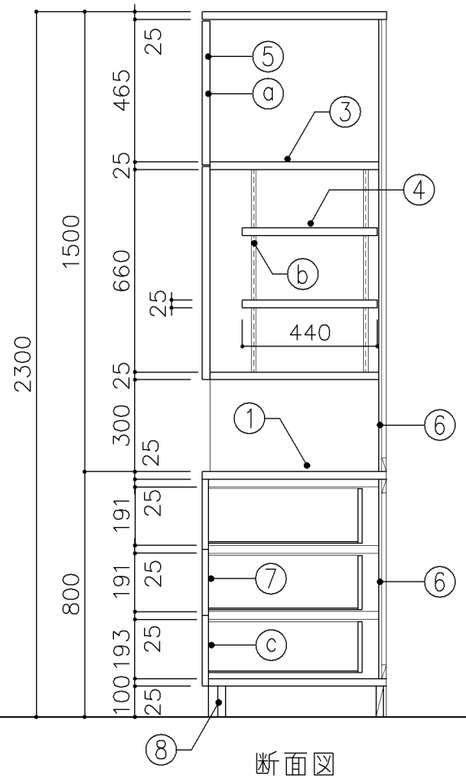
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 900 x D 600 x H 2,300

使用箇所
保健室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	天板	B−1	メラミン化粧板	
②	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	棚板	A−1	しな合板	
④	可動棚	A−1	しな合板	
⑤	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑥	裏板	片A−1	しな合板	
⑦	引出シ	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑧	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

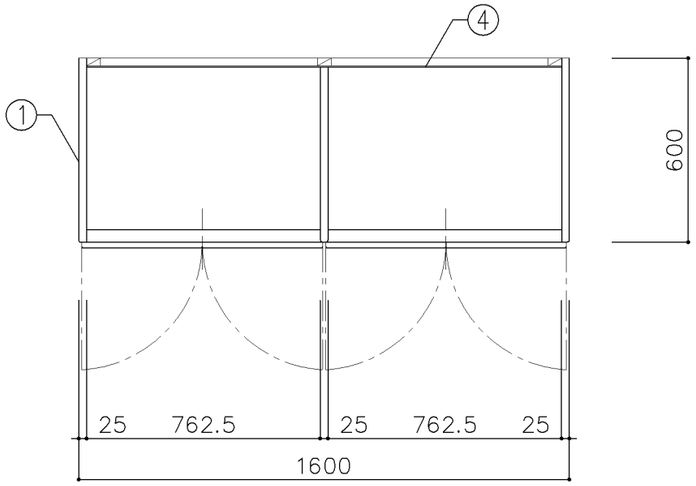
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ
		面付シリンダー錠
ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓒ	引出シ	スベリ鋲、ストッパー、国産材掘込引手
		面付シリンダー錠

特記事項

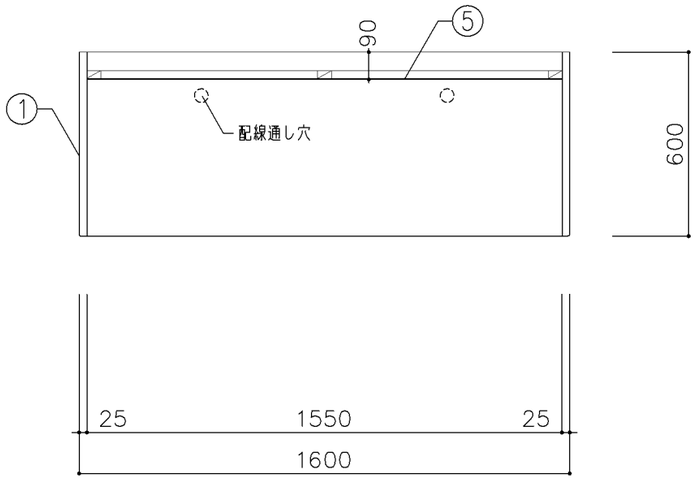
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	ベッド備品収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−438
設計年月			令和2年2月

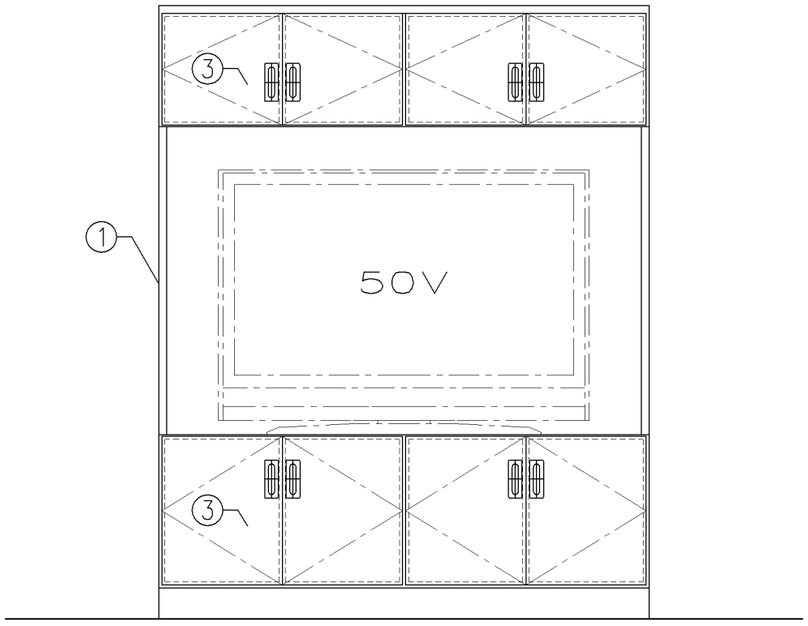
横浜市建築局



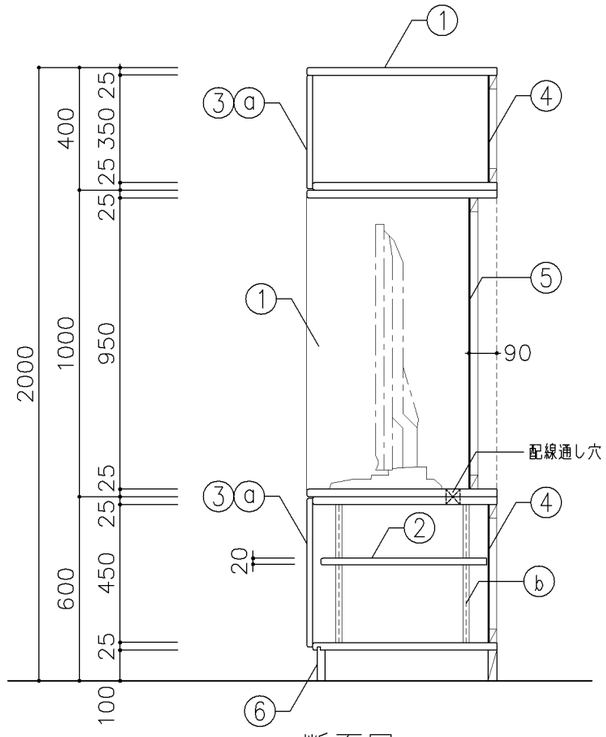
平面図



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,600 × D600 × H2,000

使用箇所
個別支援教室（第一・第二学習室）（小・中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	シナ合板	UC
②	可動棚	A−1	シナ合板	
③	扉	A−1	シナ合板	UC
④	裏板	片A−1	シナ合板	
⑤	裏板	片A−1	シナ合板	UC
⑥	巾木	B−1	シナ合板	UC

金　物

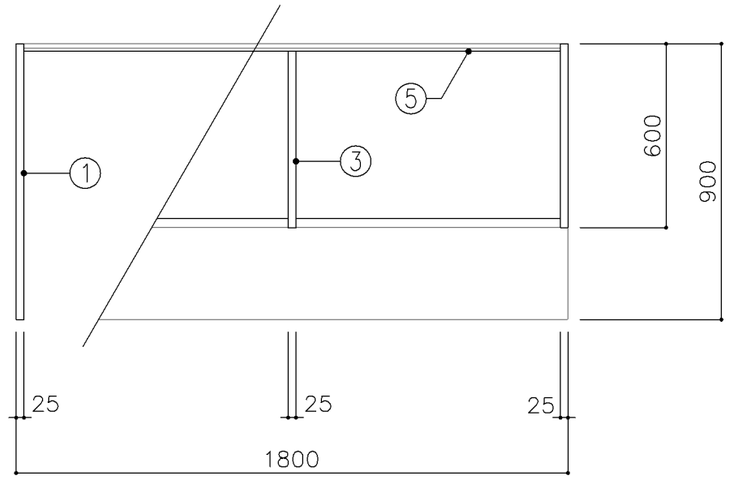
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ
		面付シリンダー錠
ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）

特記事項

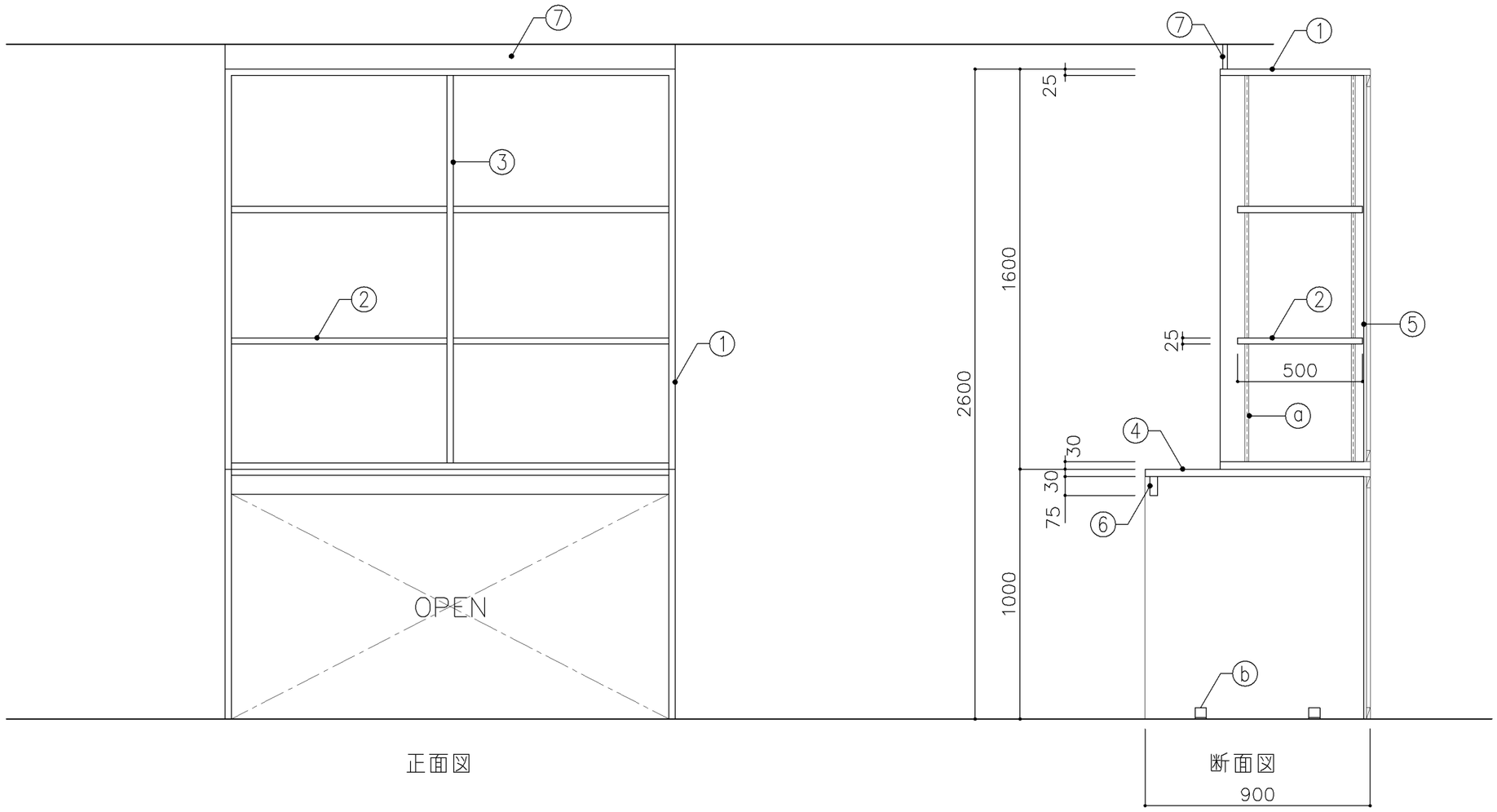
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はUC仕上とする。
- テレビジャック、コンセント開口位置については電気と打合せとする。
- テレビ転倒防止ベルト等を設置できる用、転倒防止金物の取付けをおこなう。

名称	テレビ棚・収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−450
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局



平面図



正面図

断面図

寸　法
W1,800 x D 600/900 xH 2,600

使用箇所
音楽準備室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	天板	A−1	メラミン化粧板	
⑤	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑥	補強板	B−1	ポリエステル化粧合板	
⑦	幕板	A−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

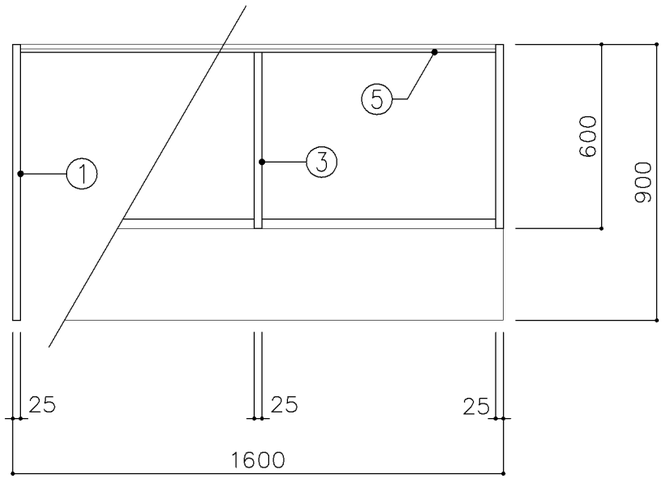
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	本体	床固定金物

特記事項

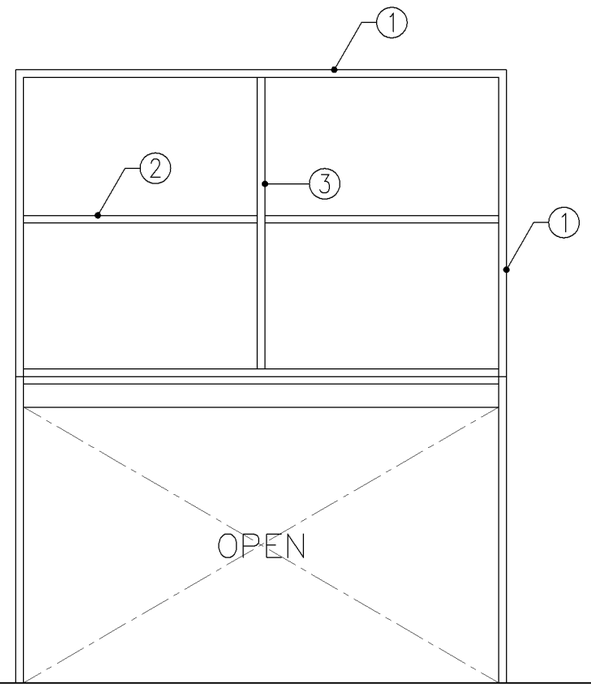
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納棚		
縮尺	1/20	記号	G−451A
設 計 年 月			令和2年2月

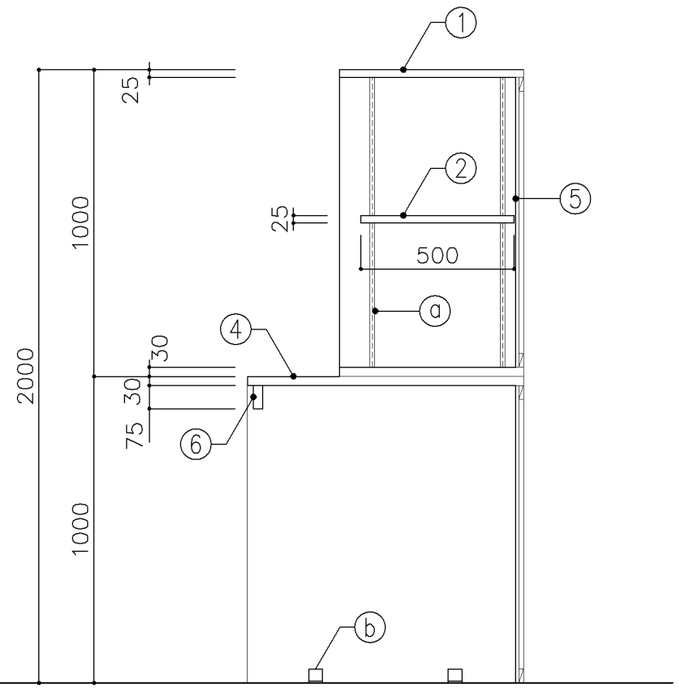
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,600 x D 600/900 xH 2,000

使用箇所
多目的室（集会・発表等）、準備室（中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	天板	A−1	メラミン化粧板	
⑤	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑥	補強板	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

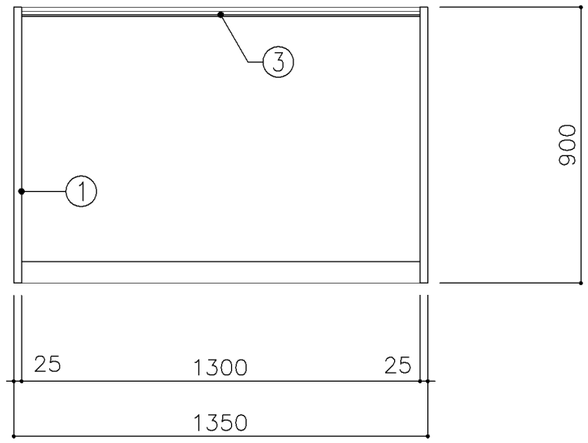
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	本体	床固定金物

特記事項

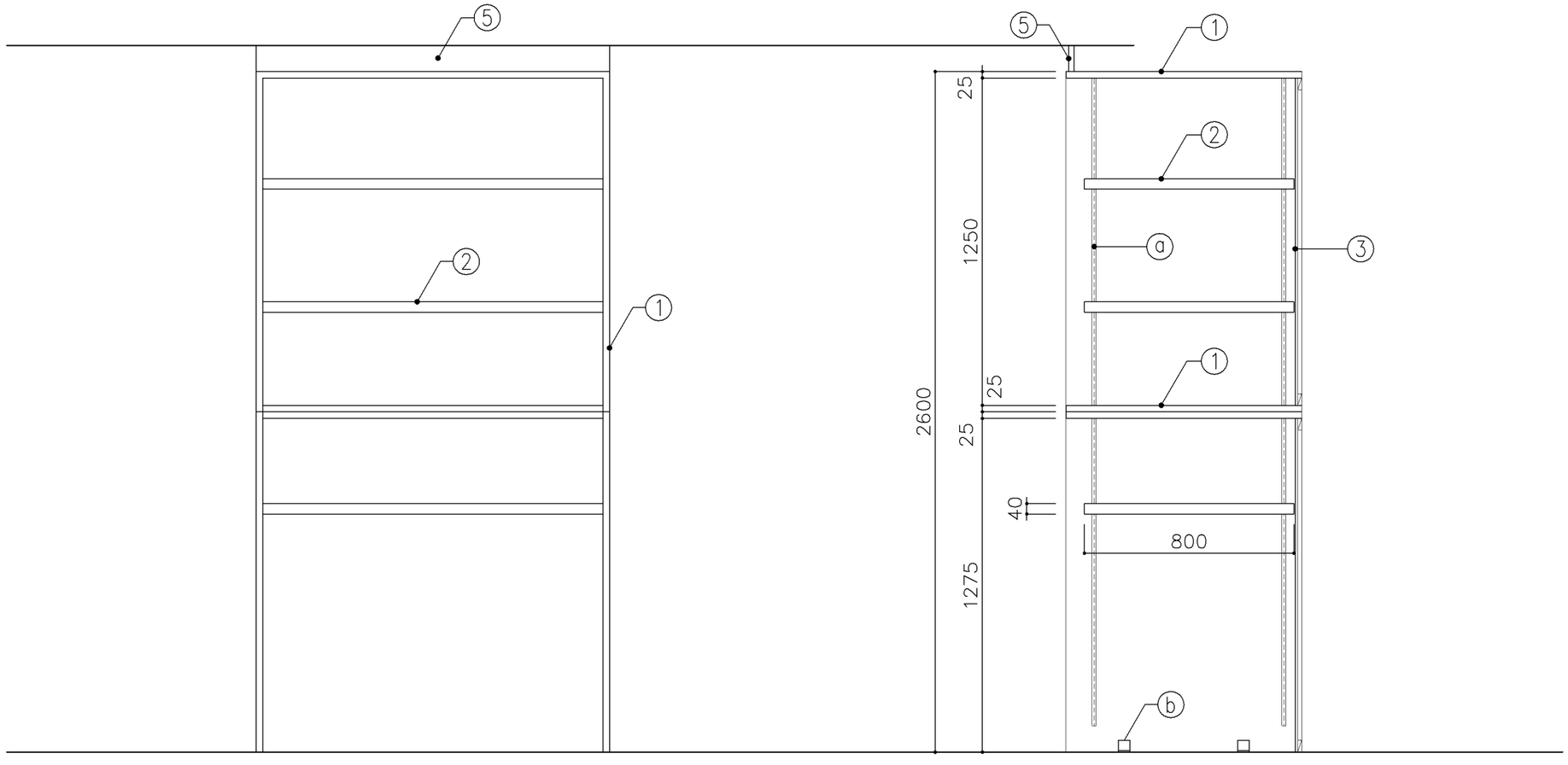
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納棚		
縮尺	1/20	記号	G−451B
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局



平面図



正面図

断面図

寸　法
W1,350 x D 900 x H 2,600

使用箇所
音楽準備室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
④	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	幕板	A−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

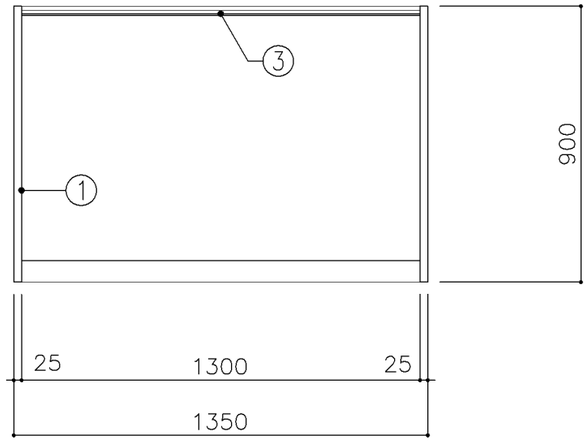
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	全可動棚受柱レール、ダボ
ⓑ	本体	床固定金物

特記事項

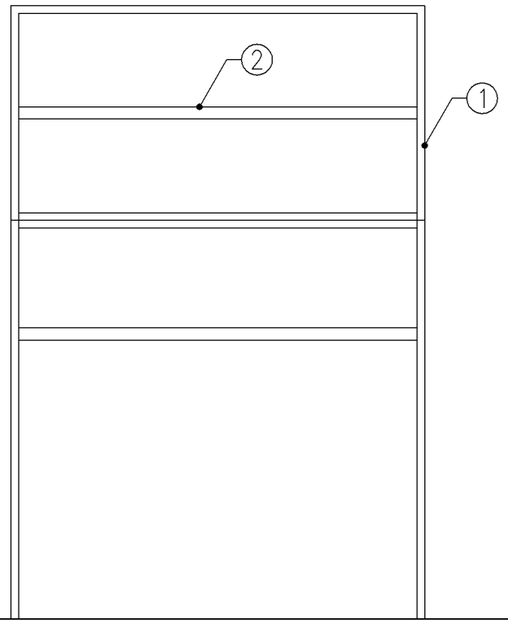
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納棚		
縮尺	1/20	記号	G−452A
設 計 年 月		令和2年2月	

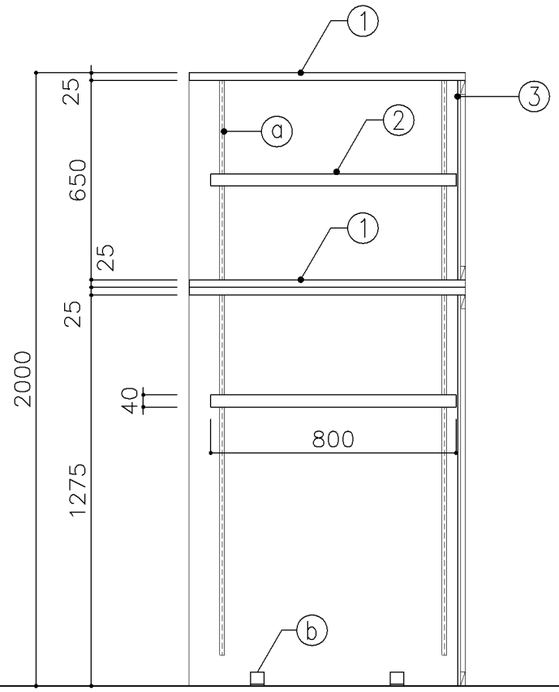
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,350 x D 900 x H 2,000

使用箇所
多目的室（集会・発表等）、準備室（中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
④	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

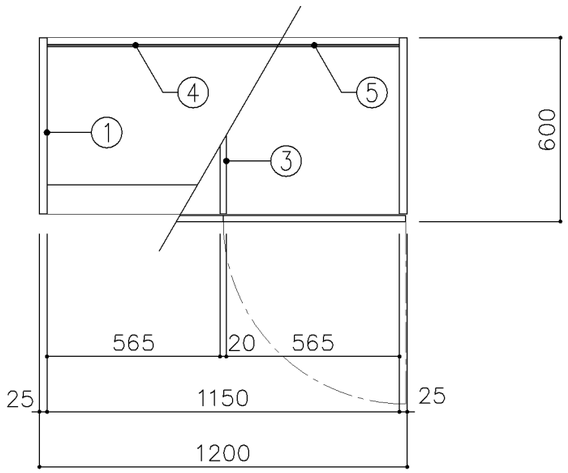
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	全可動棚受柱レール、ダボ
ⓑ	本体	床固定金物

特記事項

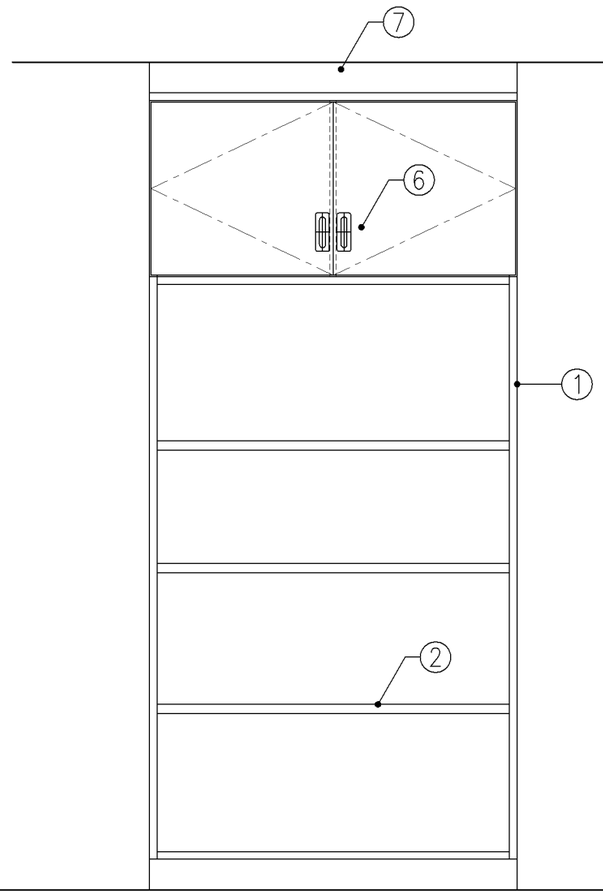
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納棚		
縮尺	1/20	記号	G−452B
設 計 年 月		令和2年2月	

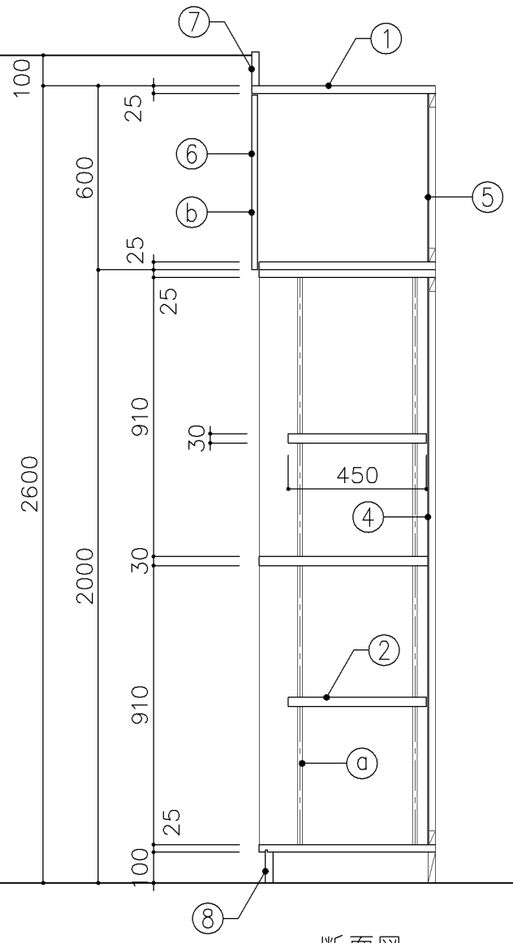
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,200 x D 600 x H 2,600

使用箇所
美術準備室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A−1	しな合板	
④	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	裏板	片A−1	しな合板	
⑥	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑦	幕板	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑧	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

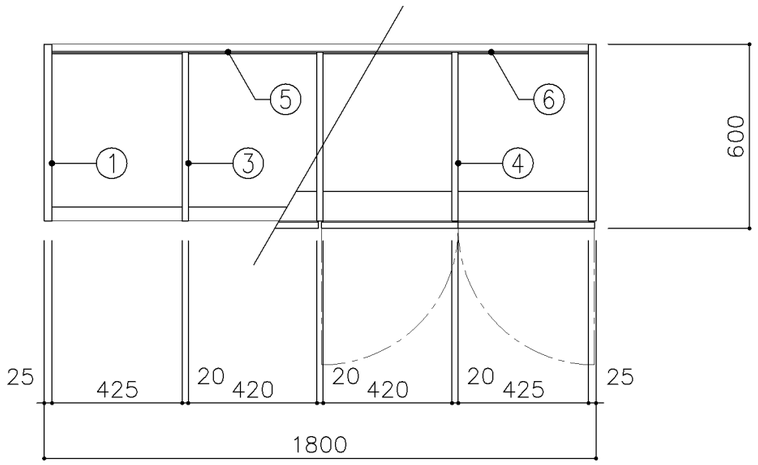
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ
		面付シリンダー錠

特記事項

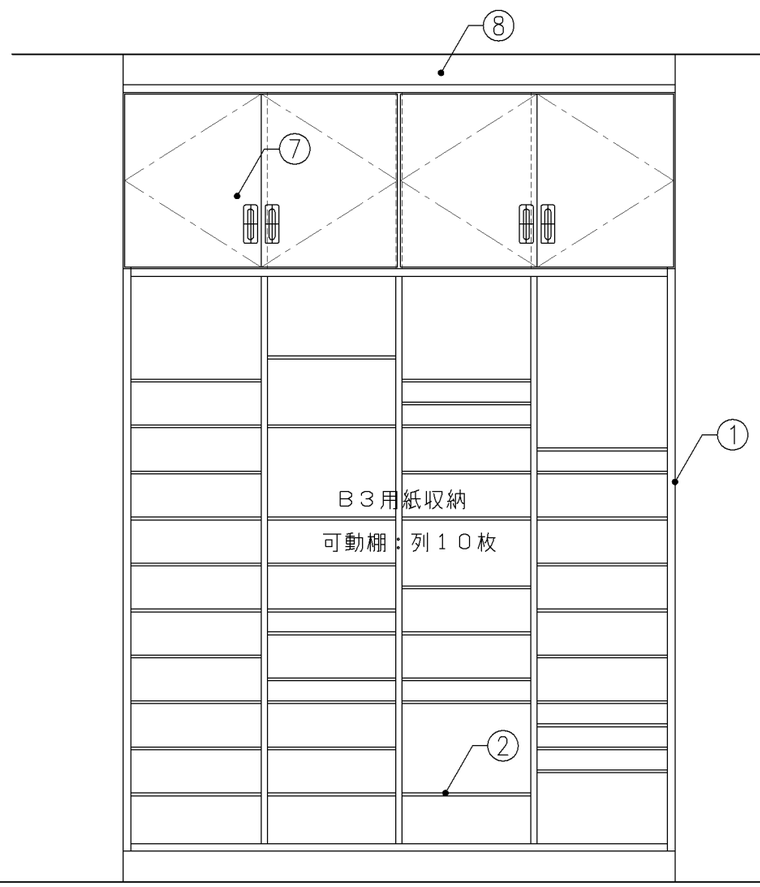
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	備品収納棚		
縮尺	1/20	記号	G−453
設計年月		令和2年2月	

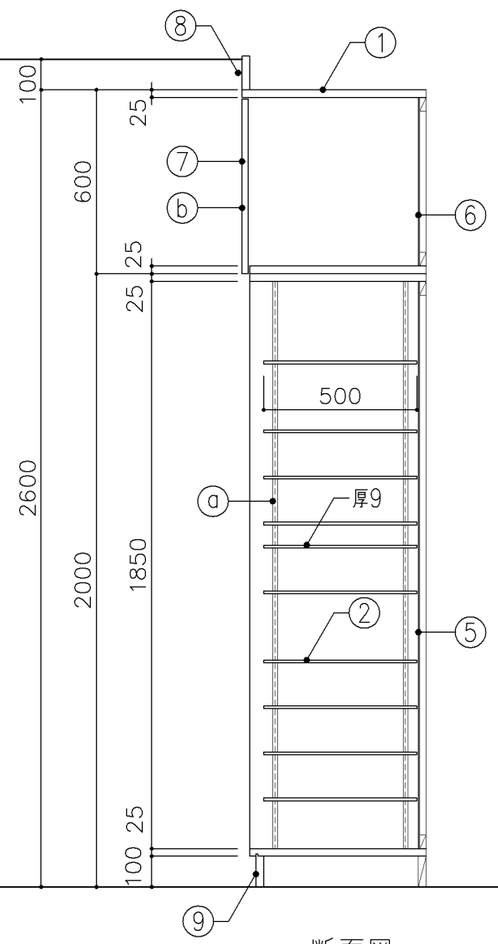
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,800 x D 600 x H 2,600

使用箇所
美術準備室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	中仕切	A−1	しな合板	
⑤	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑥	裏板	片A−1	しな合板	
⑦	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑧	幕板	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑨	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

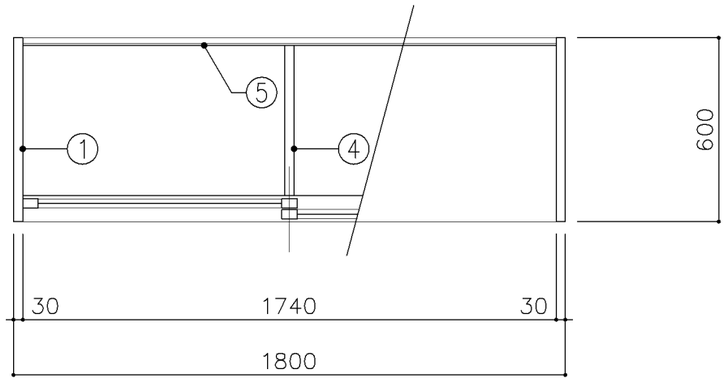
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	扉	スライド丁番、国産材掘込引手、耐震ラッチ
		面付シリンダー錠

特記事項

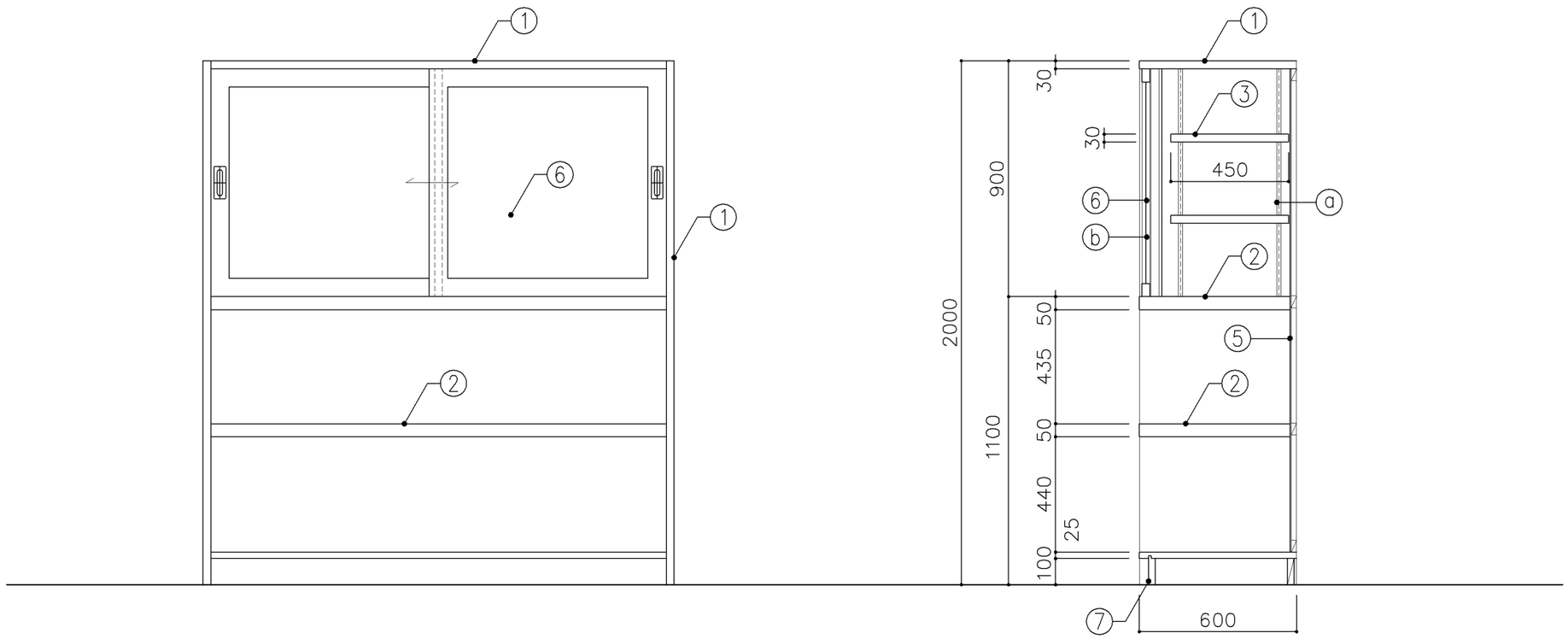
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	平面作品収納棚		
縮尺	1/20	記号	G−454
設 計 年 月			令和2年2月

横浜市建築局



平面図



正面図

断面図

寸　法
W 1,800 x D 600 x H 2,000

使用箇所
金工・木工準備室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ラワン合板	OS.UC
②	棚板	A−1	ラワン合板	OS.UC
③	可動棚	A−1	ラワン合板	OS.UC
④	中仕切	A−1	ラワン合板	OS.UC
⑤	裏板	片A−1	ラワン合板	OS.UC
⑥	框戸		ｱ3 ポリカーボネード板	
⑦	巾木		ラワン合板	OS.UC

金　物

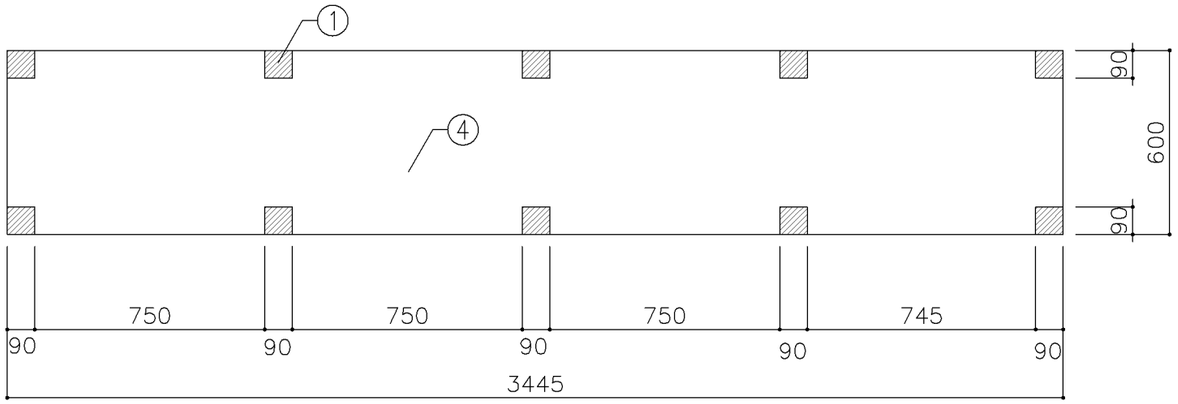
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	框戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手

特記事項

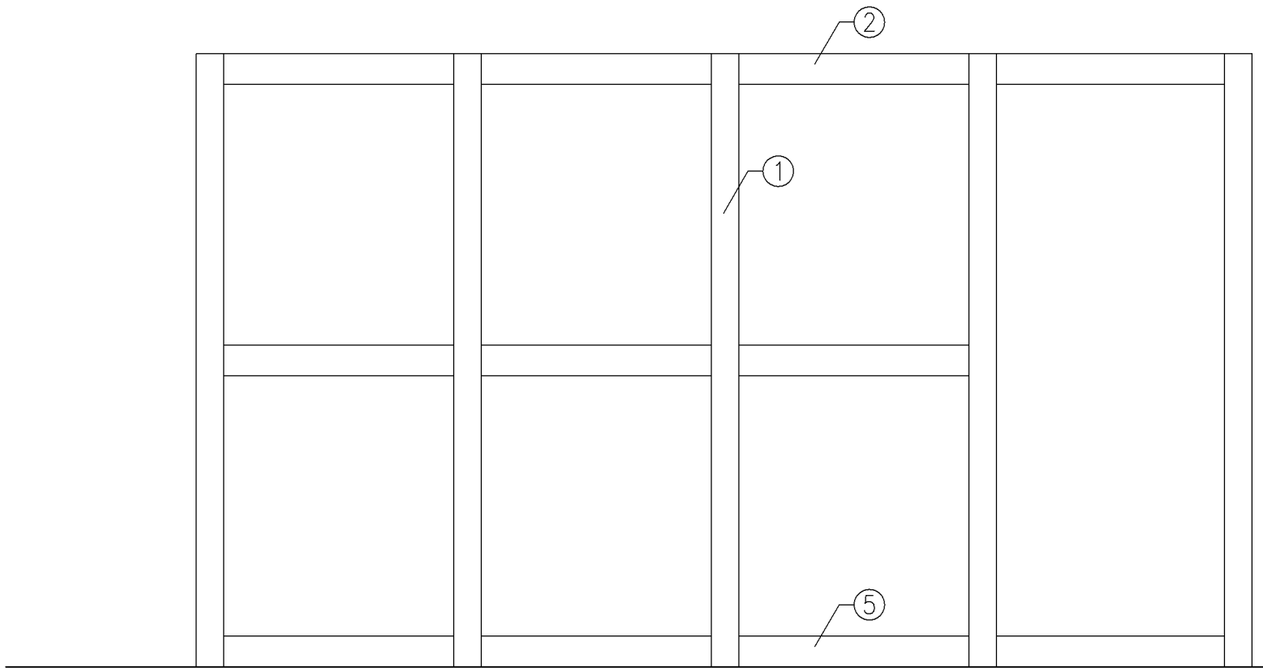
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 引違戸の厚みは、30mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	工具棚		
縮尺	1/20	記号	G−455
設計年月		令和2年2月	

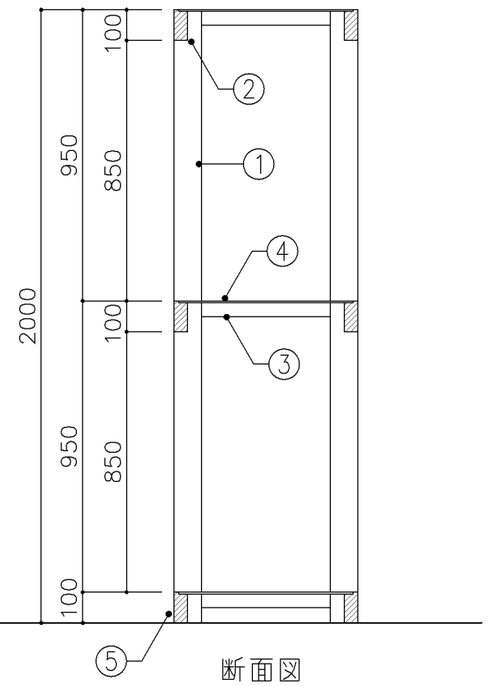
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸法
W 3,445 x D 600 x H 2,000

使用箇所
倉庫

仕様

番号	名称	芯材	材質	仕上
①	支柱		杉	
②	横材		杉	
③	根太		杉 45X45@400	
④	棚板		しな合板 ｱ5.5	
⑤	巾木		杉	

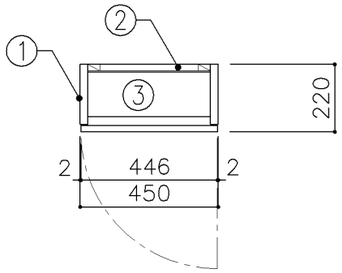
金物

番号	使用箇所	名称

特記事項

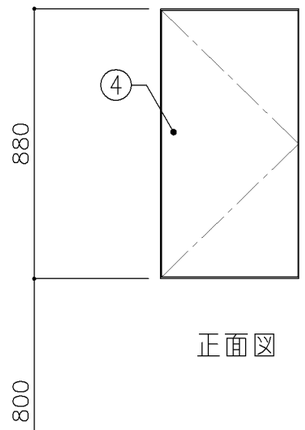
名称	木製棚		
縮尺	1/20	記号	G−456
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局

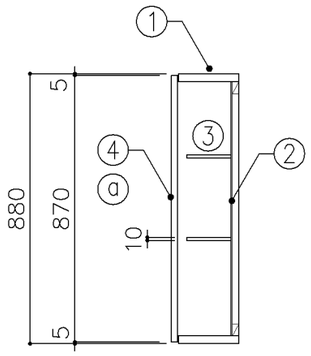


平面図

天端高さは床面より1680程度とする。



正面図



断面図

寸　法
W 450 x D 220 x H 880

使用箇所
職員便所

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	化粧パーティクルボード	
②	背板	片A−1	化粧パーティクルボード	
③	可動棚	A−1	化粧パーティクルボード	
④	扉	A−1	メラミン化粧板	

金　物

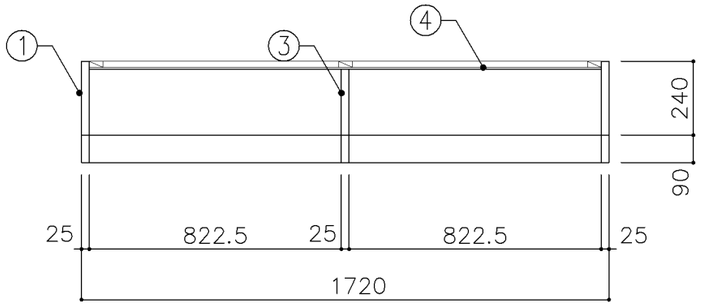
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	スライド丁番、プッシュラッチ

特記事項

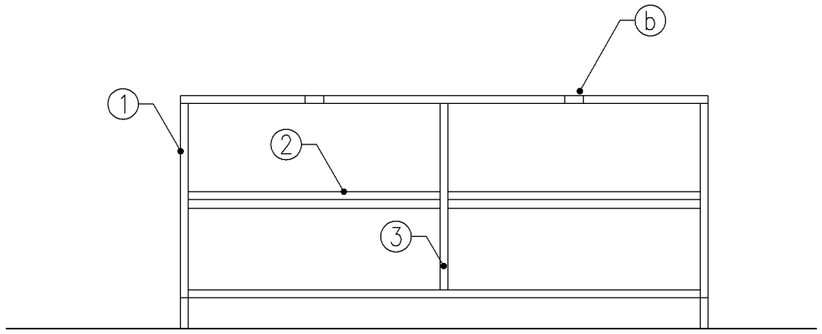
・同程度既製品とする。

名称	壁掛け収納棚		
縮尺	1/20	記号	G−457
設 計 年 月		令和2年2月	

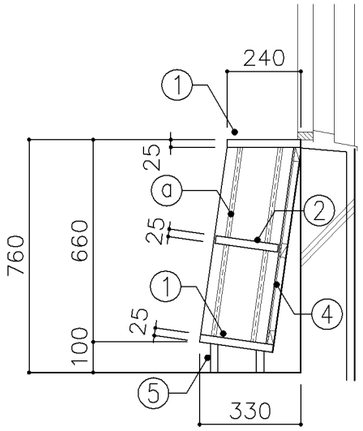
横浜市建築局



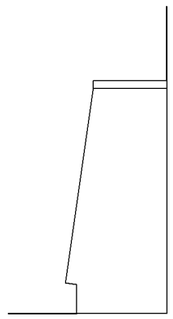
平面図



正面図



断面図



側面図

寸　法
W 1,720 x D 330 x H 760

使用箇所
図書室（小・中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	B−1	しな合板	UC
②	可動棚	B−1	しな合板	UC
③	中仕切	B−1	しな合板	UC
④	裏板	片A−1	しな合板	UC
⑤	巾木	B−1	しな合板	UC

金　物

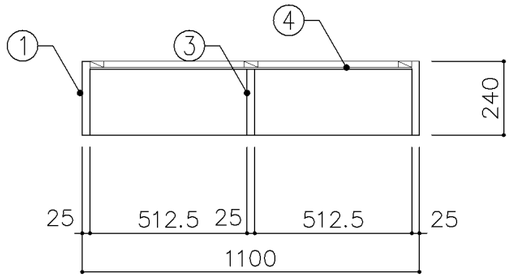
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	カード差し	塩化ビニール製

特記事項

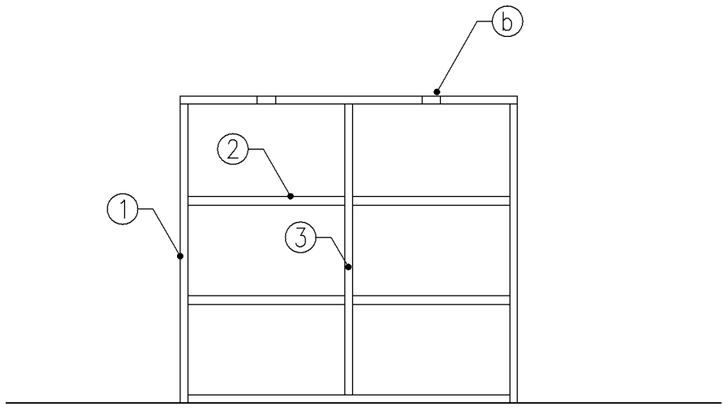
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はUC仕上とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	書架		
縮尺	1/20	記号	G−470
設計年月			令和2年2月

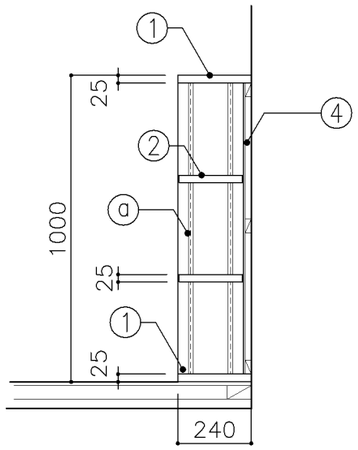
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,100 x D 240 x H 1,000

使用箇所
図書室（小学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	B−1	しな合板	UC
②	可動棚	B−1	しな合板	UC
③	中仕切	B−1	しな合板	UC
④	裏板	片A−1	しな合板	UC

金　物

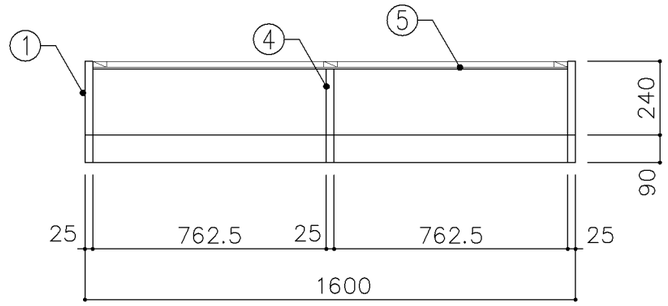
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	カード差し	塩化ビニール製

特記事項

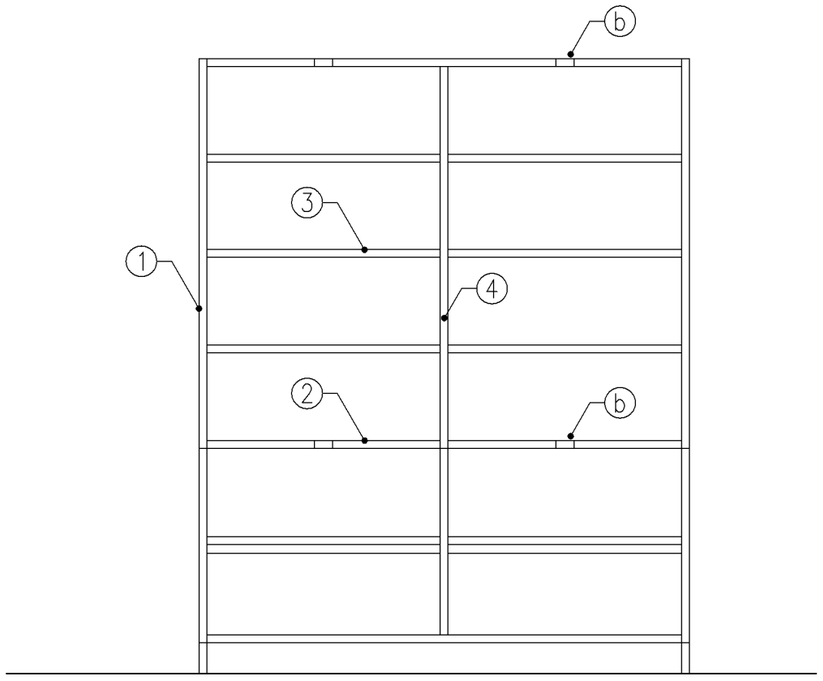
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はUC仕上とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	書架		
縮尺	1/20	記号	G−471
設計年月		令和2年2月	

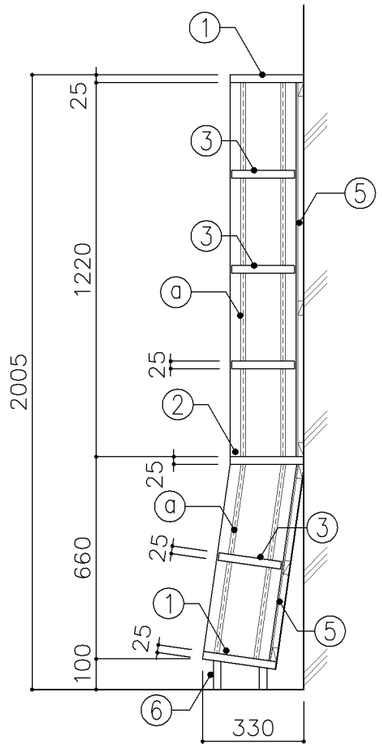
横浜市建築局



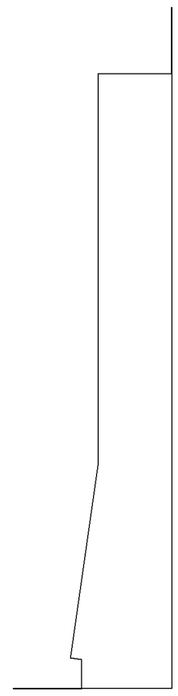
平面図



正面図



断面図



側面図

寸　法
W 1,600 x D 240/330 x H 2,005

使用箇所
図書室（小・中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	B−1	しな合板	UC
②	棚板	B−1	しな合板	UC
③	可動棚	B−1	しな合板	UC
④	中仕切	B−1	しな合板	UC
⑤	裏板	片A−1	しな合板	UC
⑥	巾木	B−1	しな合板	UC

金　物

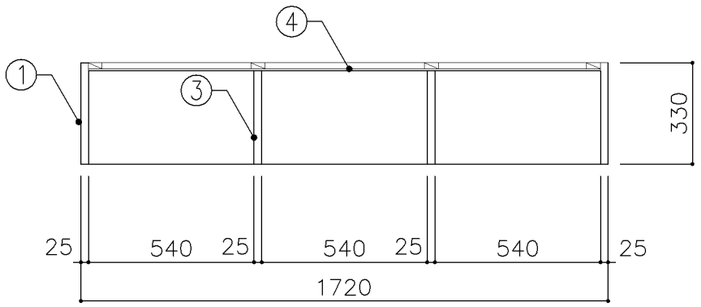
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	カード差し	塩化ビニール製

特記事項

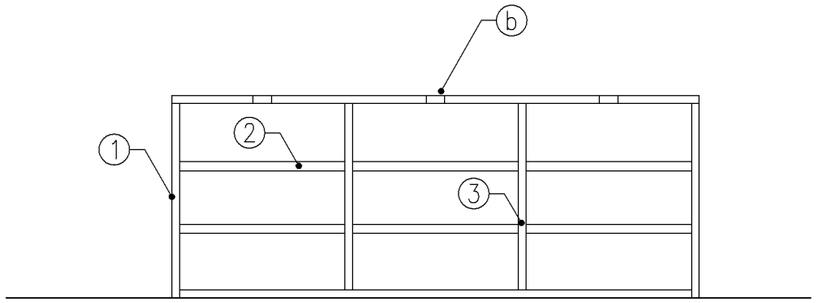
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はUC仕上とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	書架		
縮尺	1/20	記号	G−472
設計年月			令和2年2月

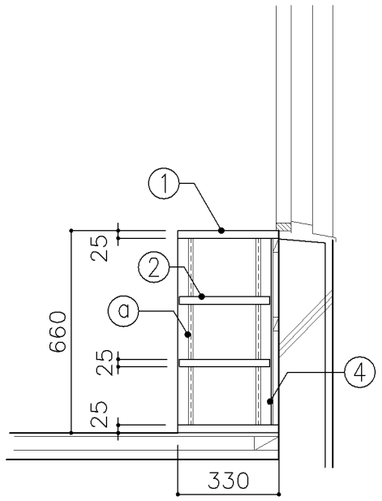
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,720 x D 330 x H 660

使用箇所
図書室（小学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	B−1	しな合板	UC
②	可動棚	B−1	しな合板	UC
③	中仕切	B−1	しな合板	UC
④	裏板	片A−1	しな合板	UC

金　物

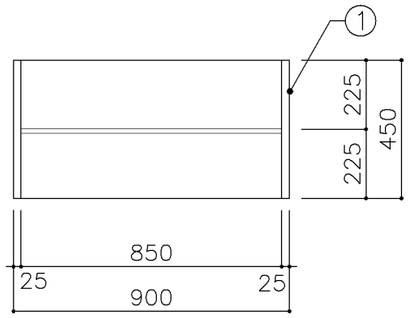
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	カード差し	塩化ビニール製

特記事項

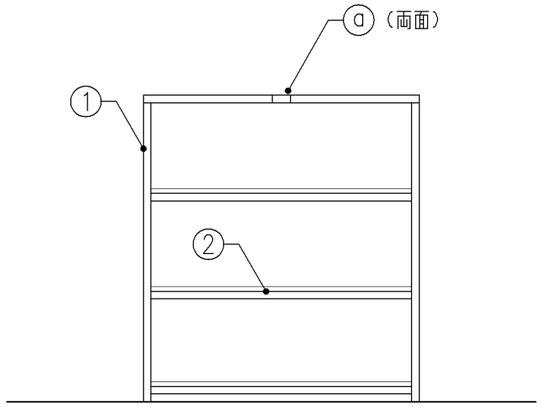
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はUC仕上とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	書架		
縮尺	1/20	記号	G−473
設計年月			令和2年2月

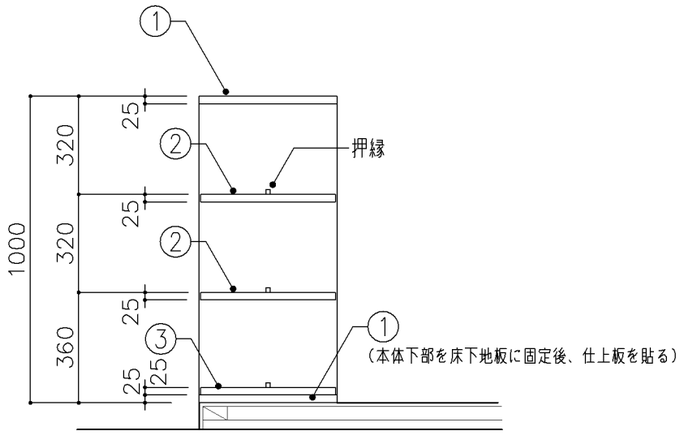
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 900 x D 450 x H 1,000

使用箇所
図書室（小学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	B−1	しな合板	UC
②	棚板	B−1	しな合板	UC
③	仕上板	A−1	しな合板	UC

金　物

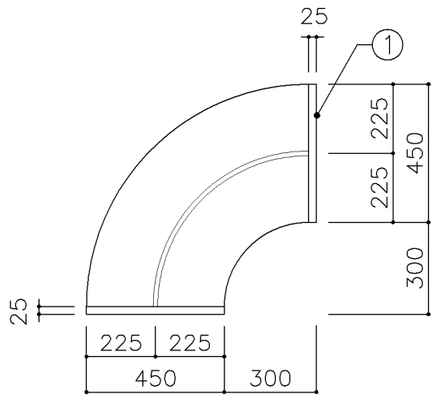
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	カード差し	塩化ビニール製

特記事項

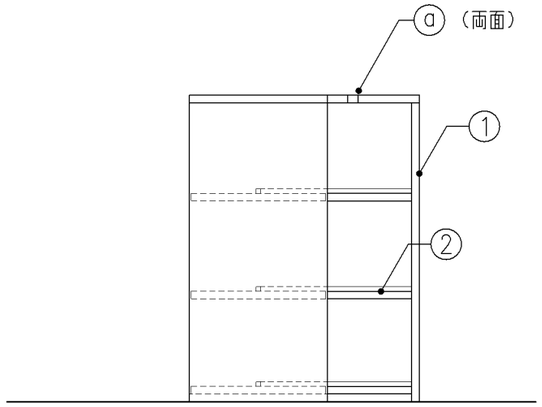
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はUC仕上とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	自立書架		
縮尺	1/20	記号	G−474
設計年月		令和2年2月	

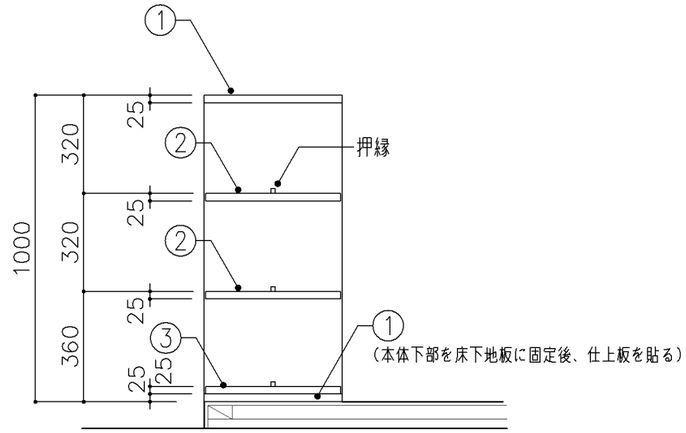
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 750 x D 450 x H 1,000

使用箇所
図書室（小学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	天板	B−1	しな合板	UC
②	棚板	B−1	しな合板	UC
③	仕上板	A−1	しな合板	UC

金　物

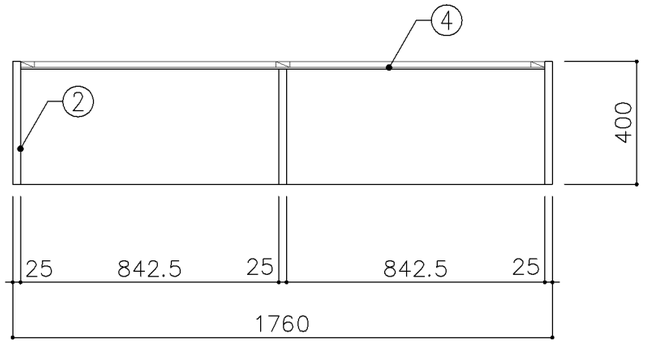
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	カード差し	塩化ビニール製

特記事項

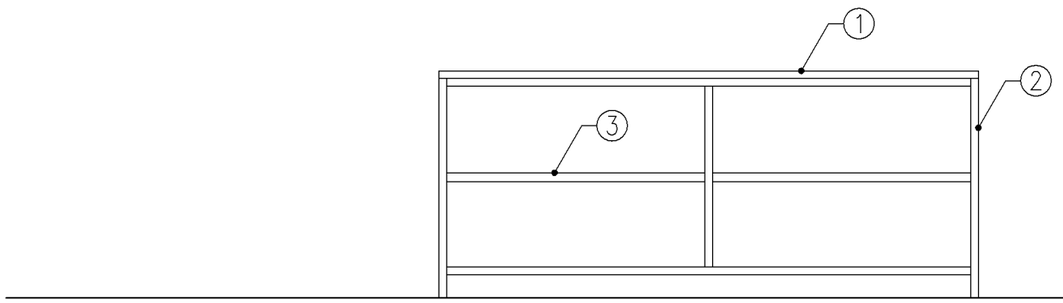
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はUC仕上とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	自立書架		
縮尺	1/20	記号	G−475
設計年月		令和2年2月	

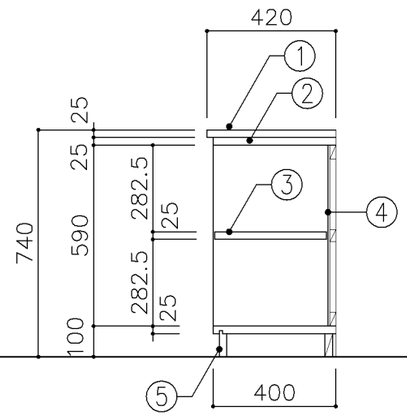
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,760 x D 400 x H 740

使用箇所
普通教室（小学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	天板		ア25タモ集成材	UC
②	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	棚板	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

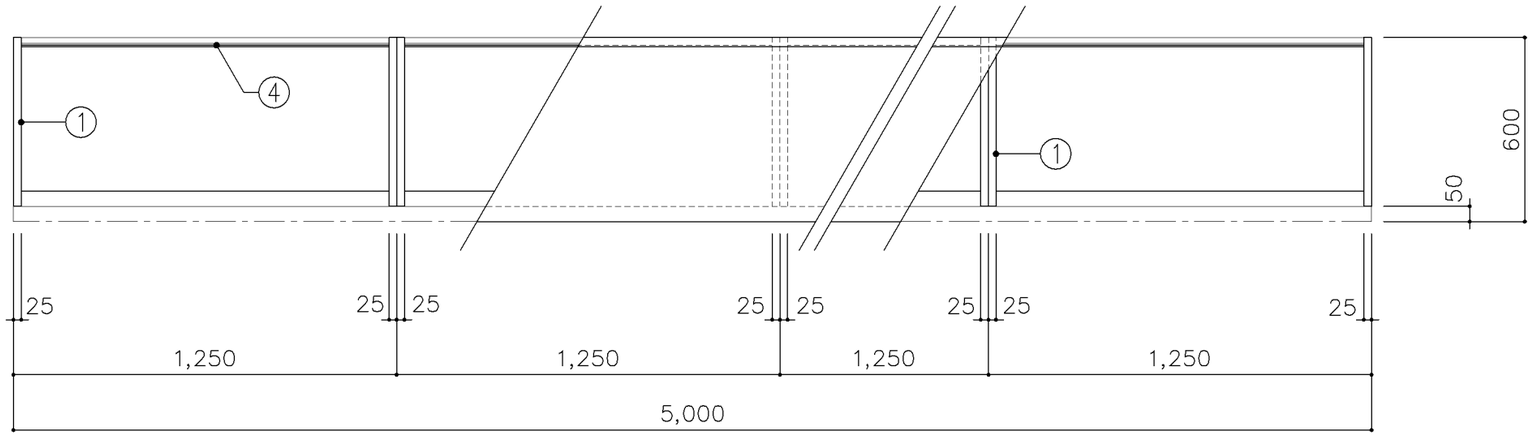
番号	使用箇所	名　称

特記事項

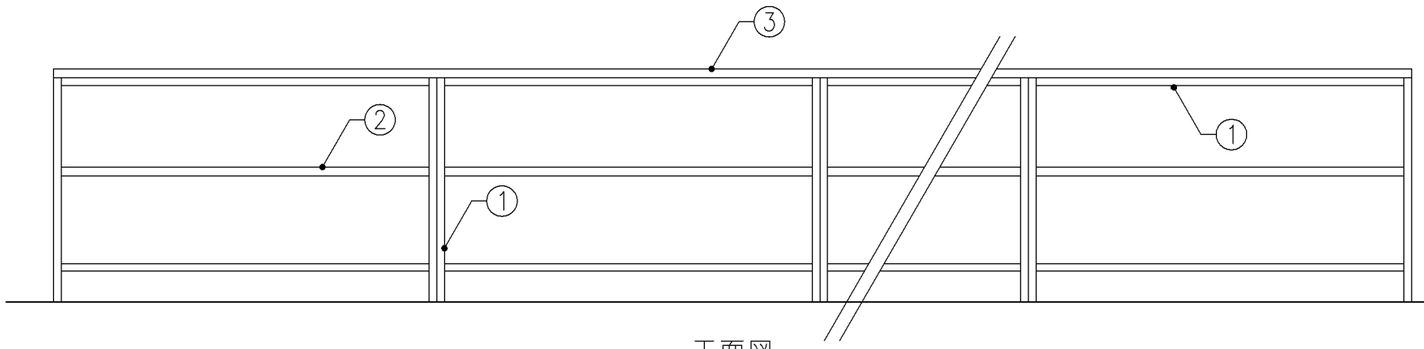
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- 天板はUC仕上とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	観察台		
縮尺	1/20	記号	G−480
設計年月		令和2年2月	

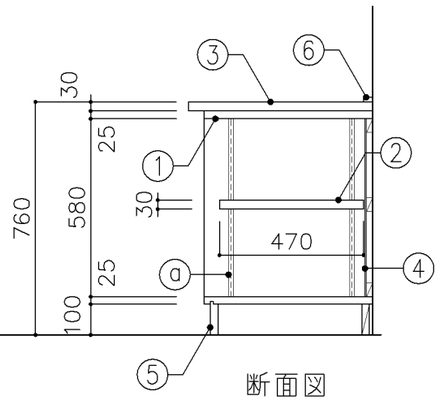
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W5,000 x D 600 x H 760

使用箇所
被服教室（多目的）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	天板	B−1	メラミン化粧板	
④	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	
⑥	雑巾摺		ラワン	UC

金　物

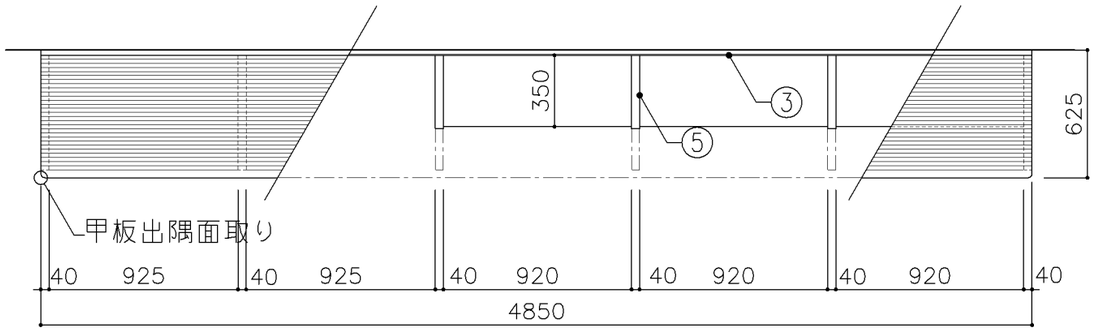
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）

特記事項

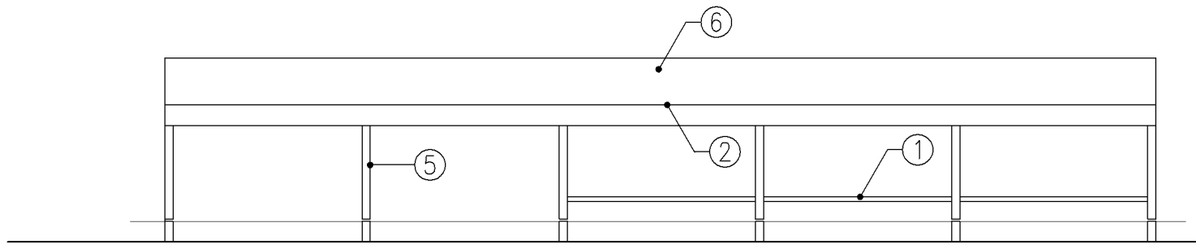
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	作業台		
縮尺	1/20	記号	G−481
設計年月		令和2年2月	

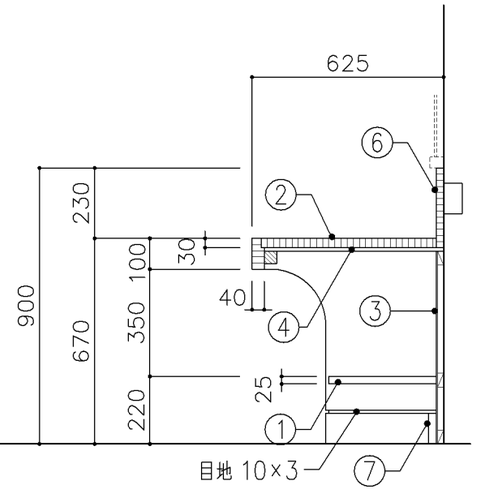
横浜市建築局



平面図　S:1／30



正面図　S:1／30



正面図　S:1／20

寸　法
W4,850 x D 625 x H 670

使用箇所
図画工作教室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	棚板	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	天板		ァ30 ナラ集成材	OS.UC
③	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
④	下地板		ァ12 ラワン合板	
⑤	脚	B−1	ポリエステル化粧合板	
⑥	立上り		ァ20 ナラ集成材	OS.UC
⑦	巾木	A−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

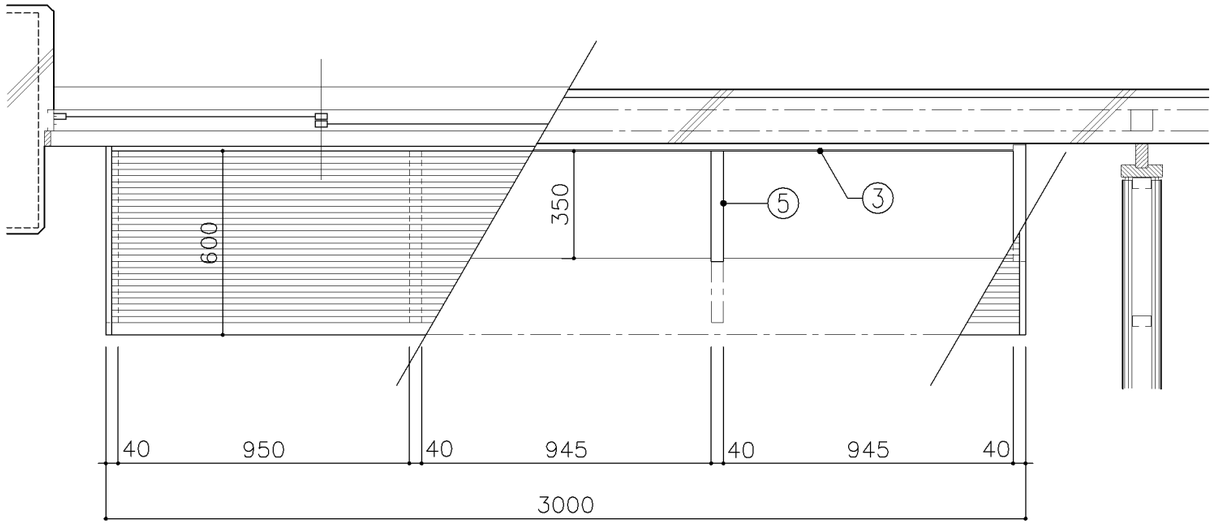
番号	使用箇所	名　称

特記事項

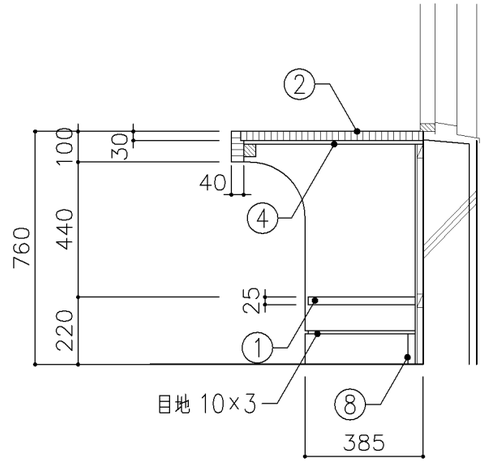
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 立上り部にコンセント4ヶ所設置
  （電気工事）
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	作業台		
縮尺	1/20 1/30	記号	G−482
設計年月		令和2年2月	

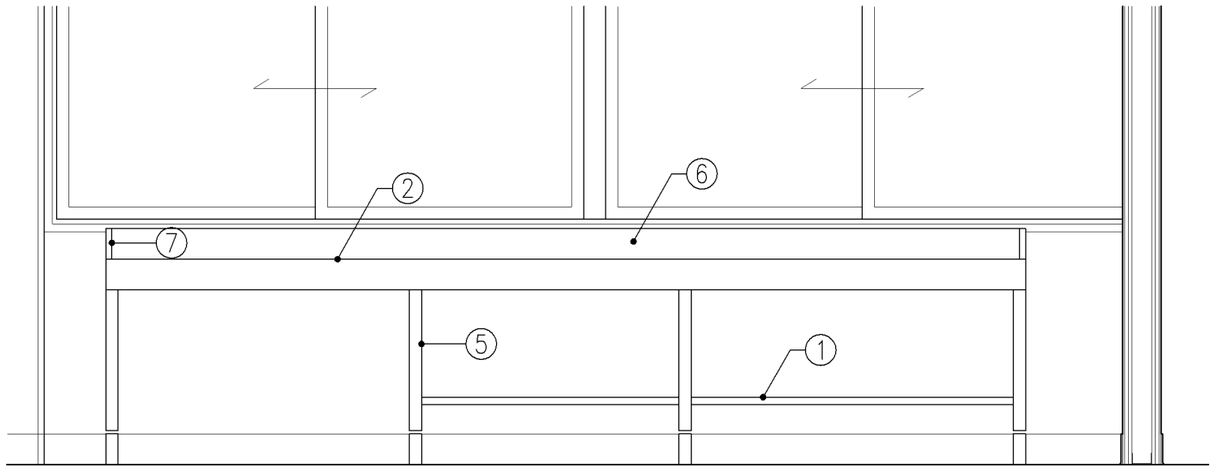
横浜市建築局



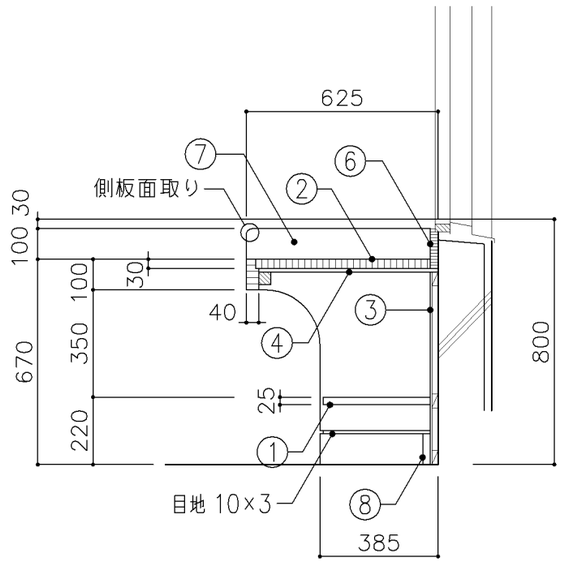
平面図



断面図（Bタイプ）



正面図



断面図（Aタイプ）

寸　法
A：W3,000 x D 625 x H 670
B：W3,000 x D 625 x H 760

使用箇所
A：図画工作教室
B：美術教室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	棚板	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	天板		ｱ30 ナラ集成材	OS.UC
③	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
④	下地板		ｱ12 ラワン合板	
⑤	脚	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑥	立上り		ｱ20 ナラ集成材	OS.UC
⑦	側板		ｱ20 ナラ集成材	OS.UC
⑧	巾木	A−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

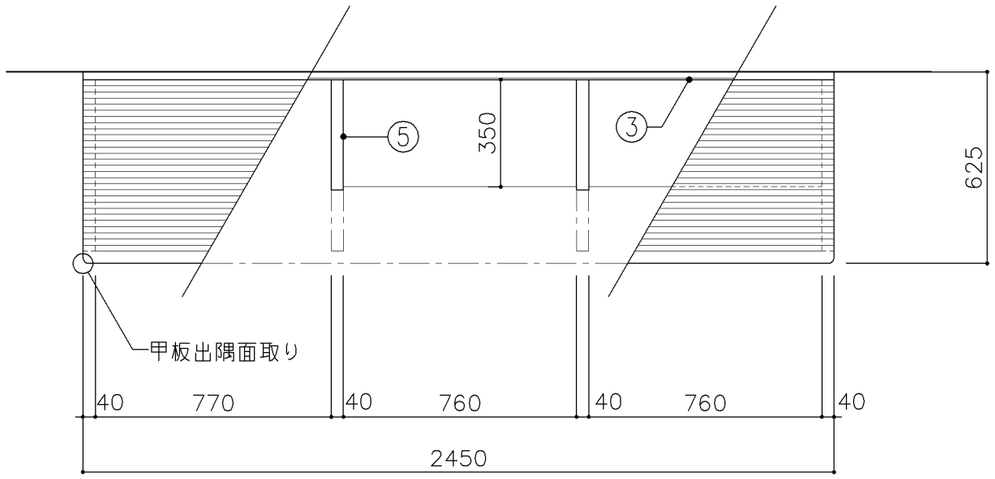
番号	使用箇所	名　称

特記事項

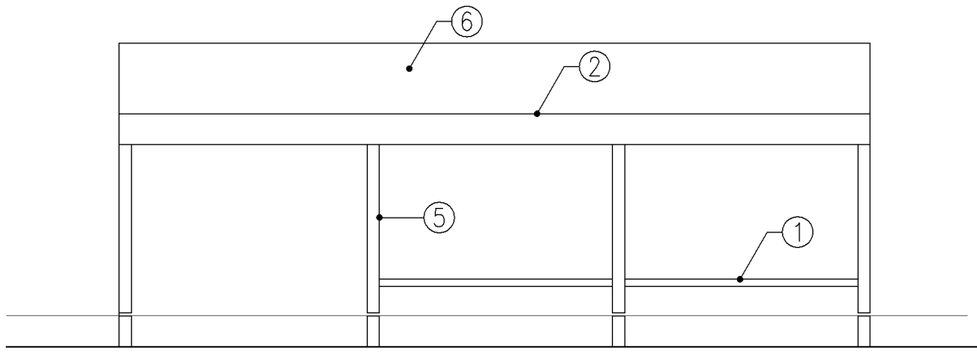
・木口の形状については、G−400より選定する。
・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	窓下作業台		
縮尺	1/20	記号	G−483
設計年月		令和2年2月	

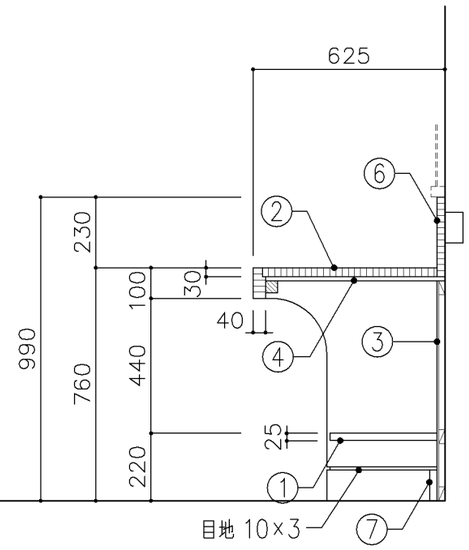
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W2,450 x D 625 x H 760

使用箇所
美術教室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	棚板	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	天板		ｱ30 ナラ集成材	OS.UC
③	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
④	下地板		ｱ12 ラワン合板	
⑤	脚	B−1	ポリエステル化粧合板	
⑥	立上り		ｱ20 ナラ集成材	OS.UC
⑦	巾木	A−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

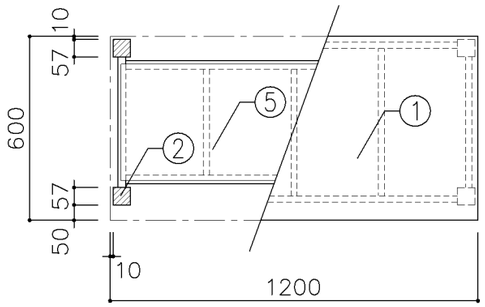
番号	使用箇所	名　称

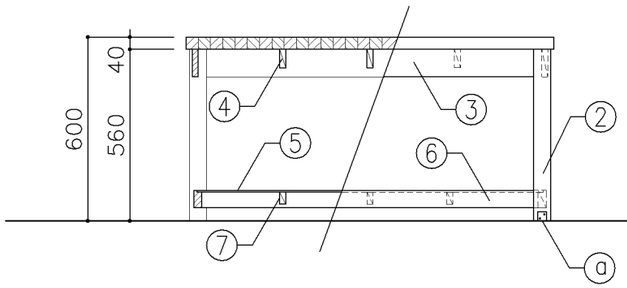
特記事項

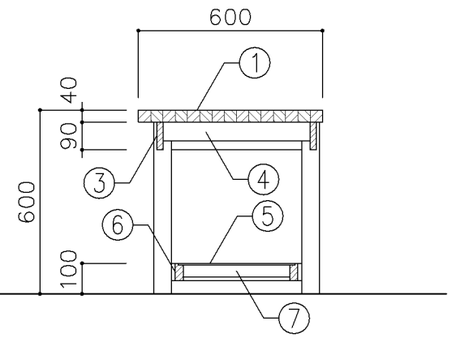
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 立上り部にコンセント設置（電気工事）
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	作業台		
縮尺	1/20	記号	G−484
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局







寸　法
W1,200 × D 600 × H 600

使用箇所
金工・木工教室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	天板		ァ40 タモ・ナラ集成材	NOS
②	脚		57×57 タモ・ナラ材	NOS
③	幕板		20×90 タモ・ナラ材	NOS
④	根太		20×60 国産間伐材	NOS
⑤	棚板		ァ5.5 ラワン合板	NOS
⑥	棚受け		27×57 タモ・ナラ材	NOS
⑦	根太		20×40 国産間伐材	NOS

金　物

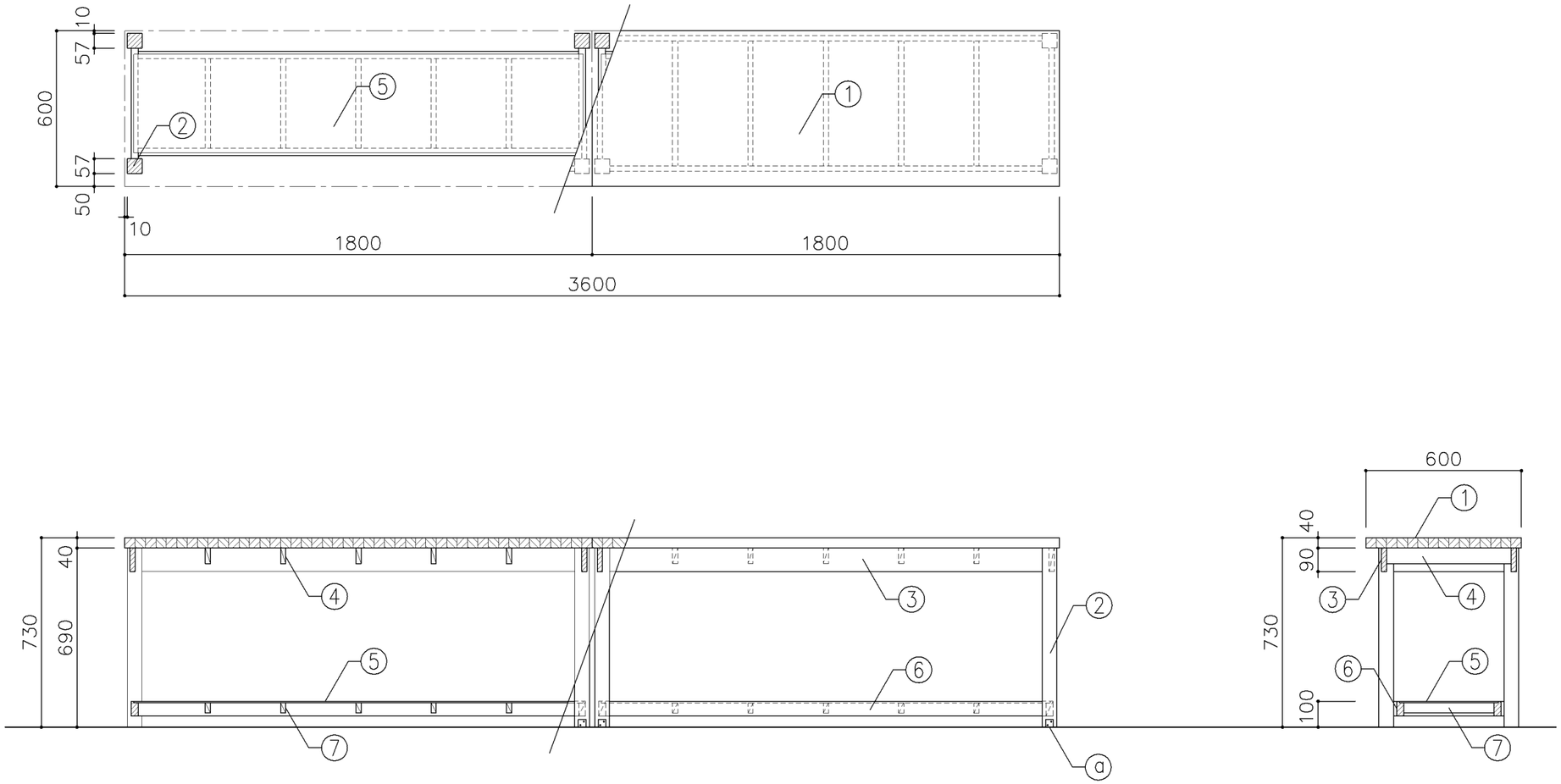
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	脚	床固定金具

特記事項

・NOS仕上とする。

名称	ボール盤・帯のこ盤台		
縮尺	1/20	記号	G−485
設計年月			令和2年2月

横浜市建築局



寸　法
W3,600 × D 600 × H 730

使用箇所
金工・木工教室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	天板		ァ40 タモ・ナラ集成材	NOS
②	脚		57×57 タモ・ナラ材	NOS
③	幕板		20×90 タモ・ナラ材	NOS
④	根太		20×60 国産間伐材	NOS
⑤	棚板		ァ5.5 ラワン合板	NOS
⑥	棚受け		27×57 タモ・ナラ材	NOS
⑦	根太		20×40 国産間伐材	NOS

金　物

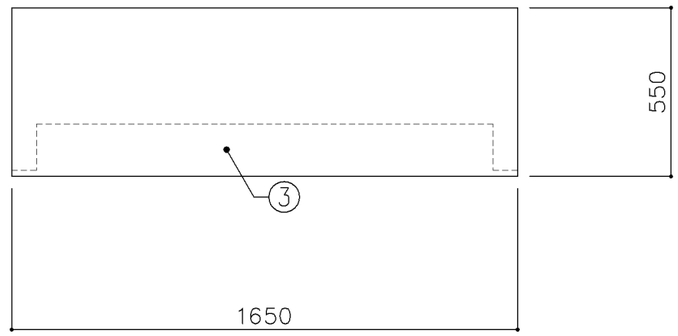
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	脚	床固定金具

特記事項

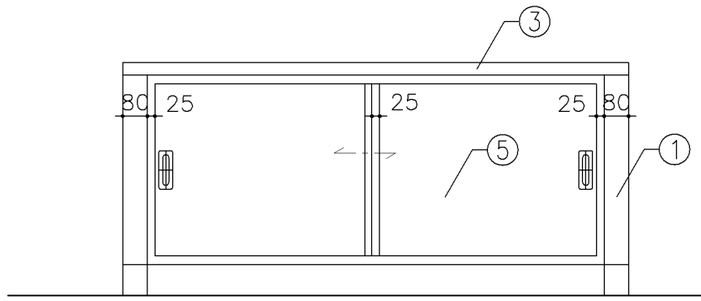
・NOS仕上とする。

名称	糸鋸台		
縮尺	1/20	記号	G−486
設 計 年 月			令和2年2月

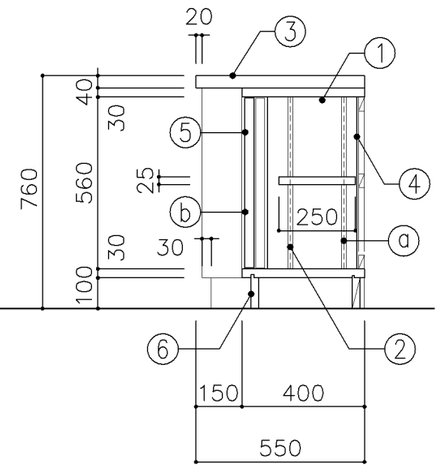
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,650 x D 550 x H 760

使用箇所
金工・木工教室、金工・木工準備室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ラワン合板	OS.UC
②	可動棚	A−1	ラワン合板	OS.UC
③	天板		ｱ40タモ・ナラ集成材	OS.UC
④	裏板	片A−1	ラワン合板	OS.UC
⑤	引違戸	A−1	ラワン合板	OS.UC
⑥	巾木	B−1	ラワン合板	OS.UC

金　物

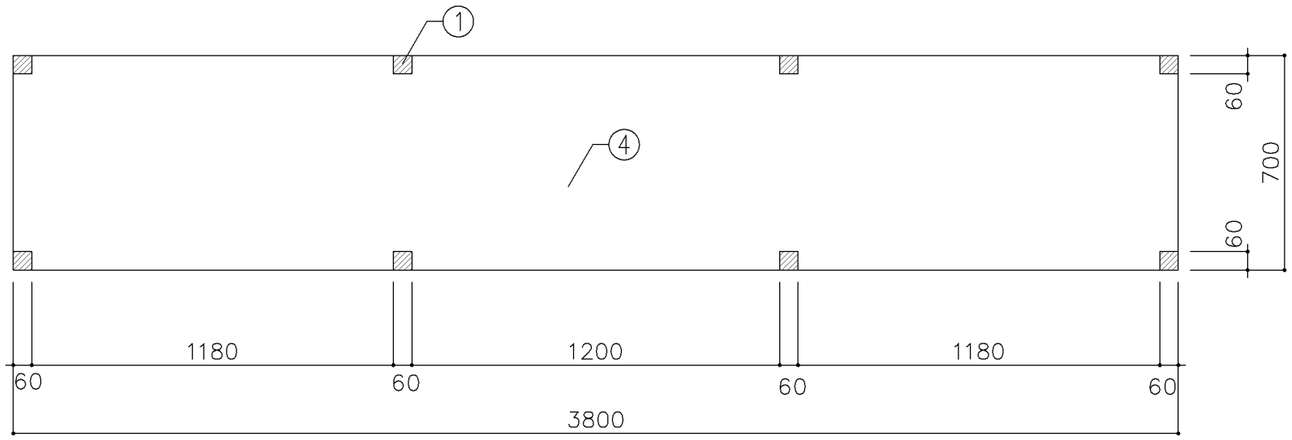
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	引違戸	シリンダー栓錠、国産材掘込引手

特記事項

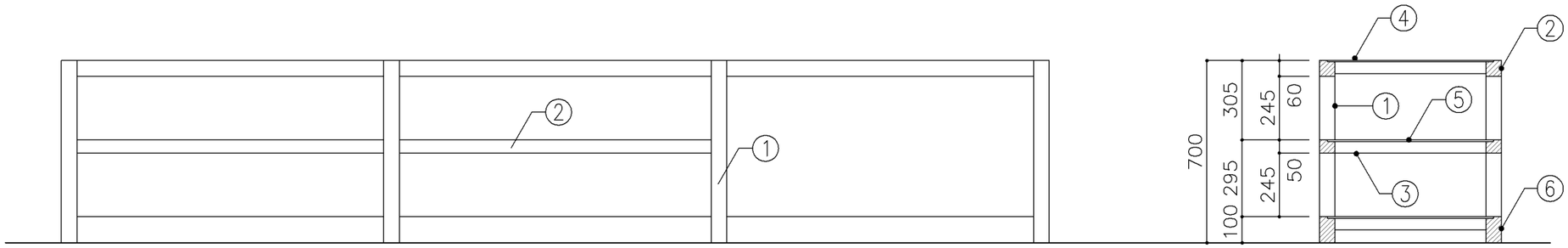
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 引違戸の厚みは、30mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	作業台（収納付）		
縮尺	1/20	記号	G−487
設 計 年 月			令和2年2月

横浜市建築局



平面図



断面図

寸　法
W 3,800 x D 700 x H 700

使用箇所
印刷室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	支柱		杉	OP
②	横材		杉	OP
③	根太		杉　45X45@400	OP
④	天板		ポリ合板ァ4+ラワン合板ァ9	
⑤	棚板		しな合板　ァ9	OP
⑥	巾木		杉	OP

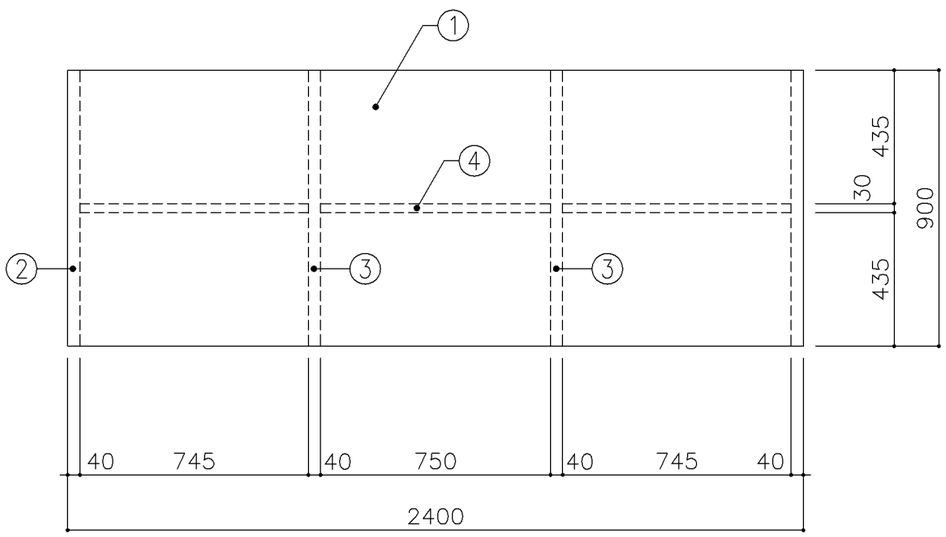
金　物

番号	使用箇所	名　称

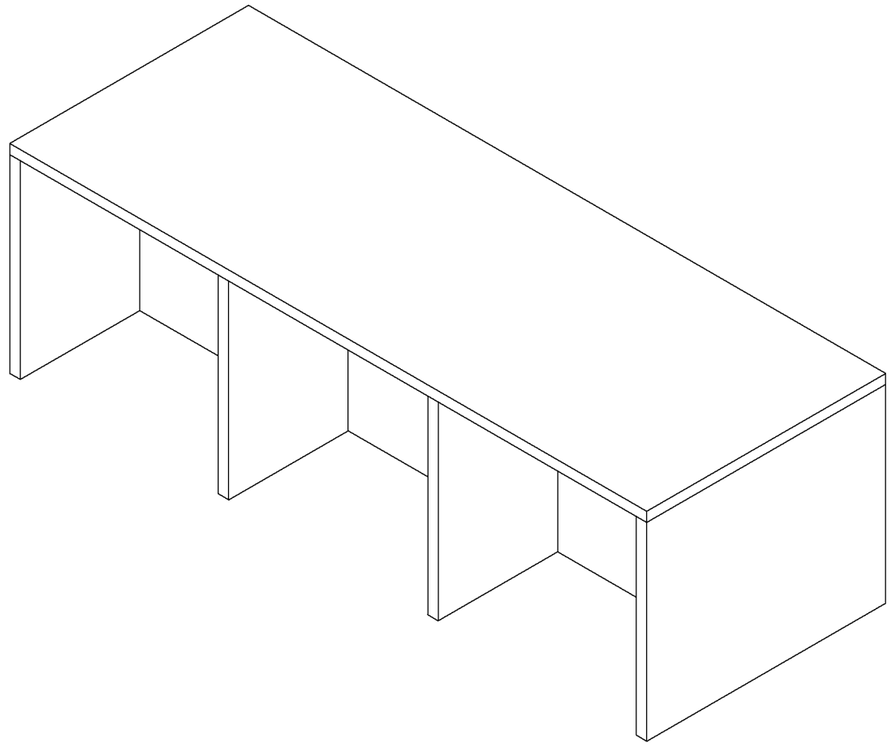
特記事項

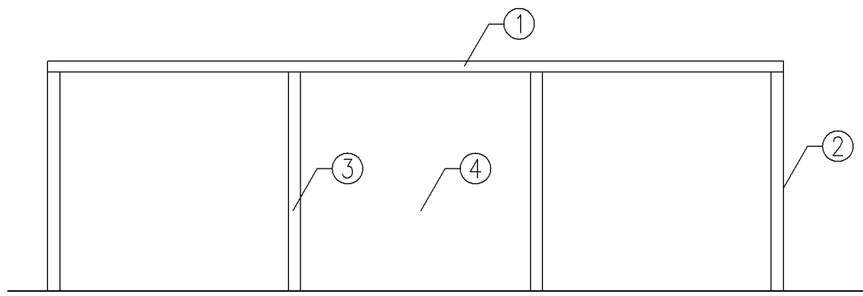
名称	機械台		
縮尺	1/20	記号	G−488
設 計 年 月		令和2年2月	

横浜市建築局

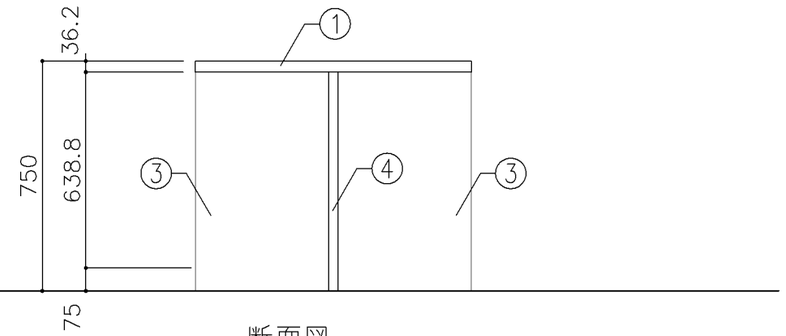


平面図





正面図



断面図

寸　法
W 2,400 x D 900 x H 750

使用箇所
技術員室1

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	天板	B−1	メラミン化粧板	
②	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	中仕切	A−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

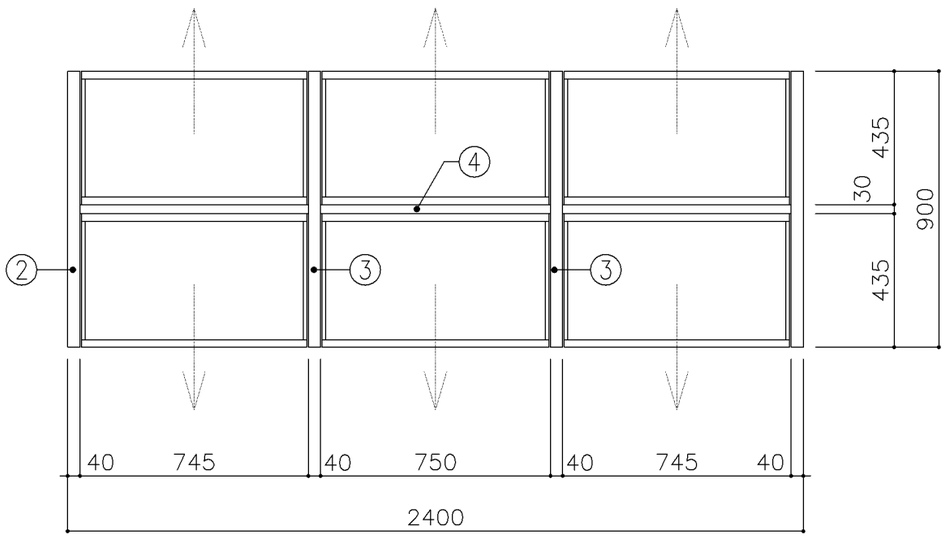
番号	使用箇所	名　称

特記事項

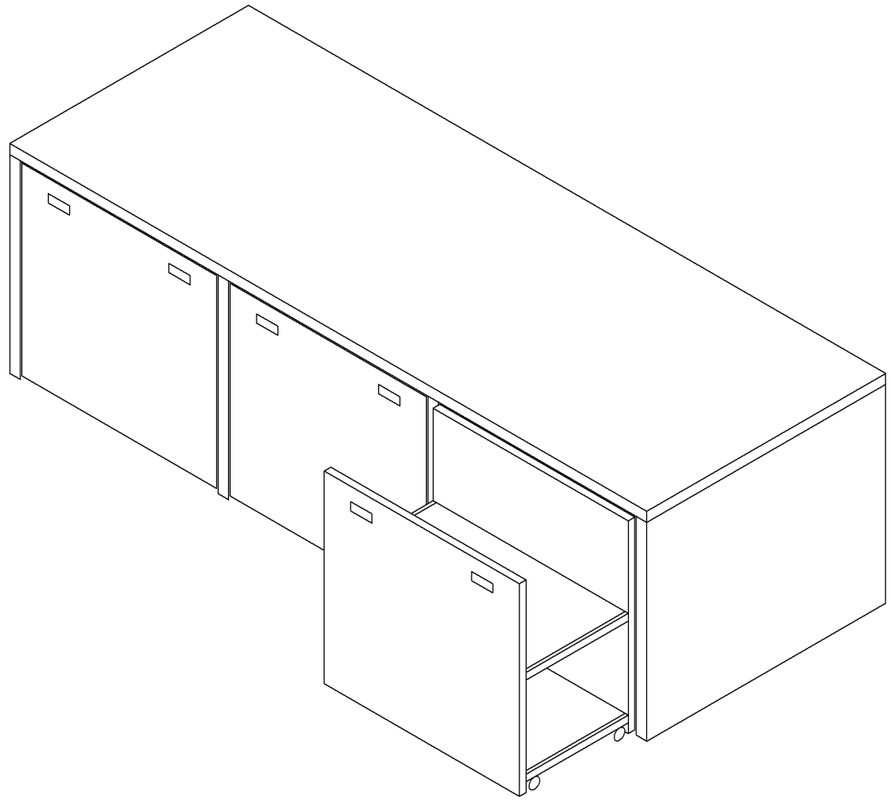
・木口の形状については、G−400より選定する。
・芯材は、国産杉芯合板とする。

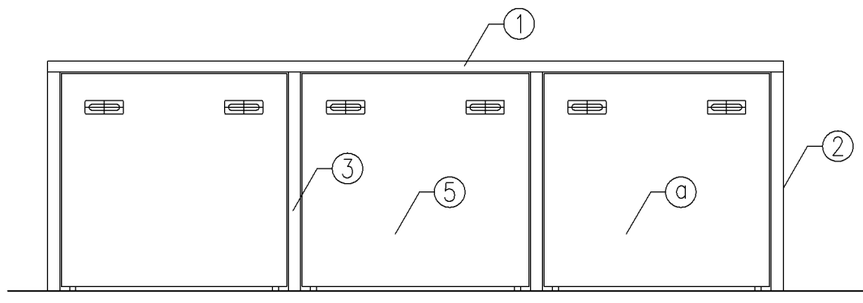
名称	作業机		
縮尺	1/20	記号	G−489A
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局

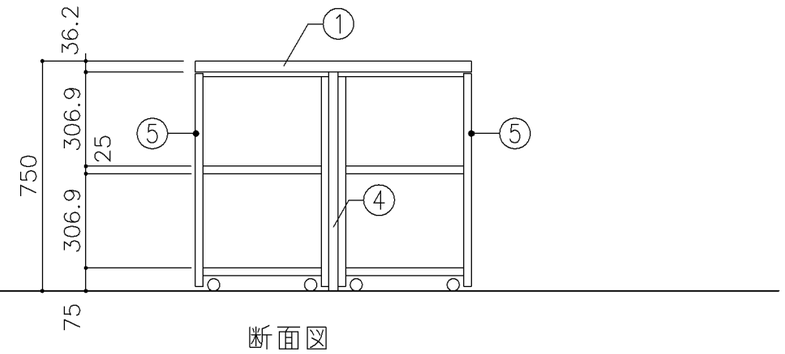


平面図





正面図



断面図

寸　法
W 2,400 x D 900 x H 750

使用箇所
湯沸室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	天板	B−1	メラミン化粧板	
②	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	A−1	しな合板	
⑤	引出シ	A−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

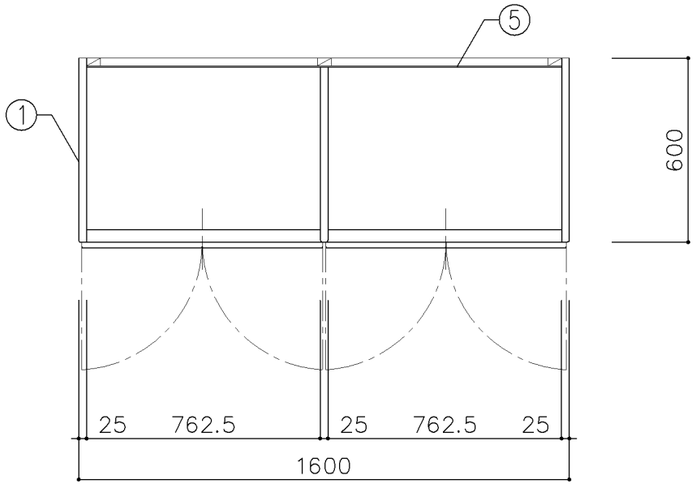
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	引出シ	国産材掘込引手、キャスター

特記事項

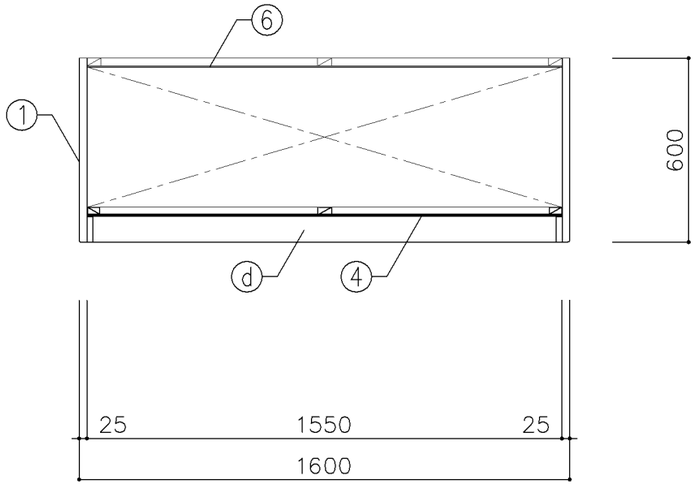
・木口の形状については、G−400より選定する。
・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	作業机		
縮尺	1/20	記号	G−489B
設計年月		令和2年2月	

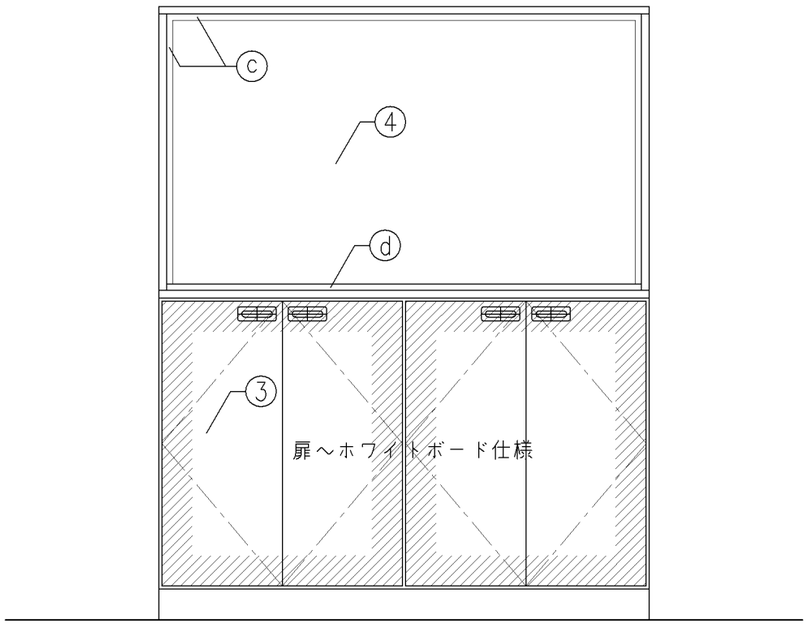
横浜市建築局



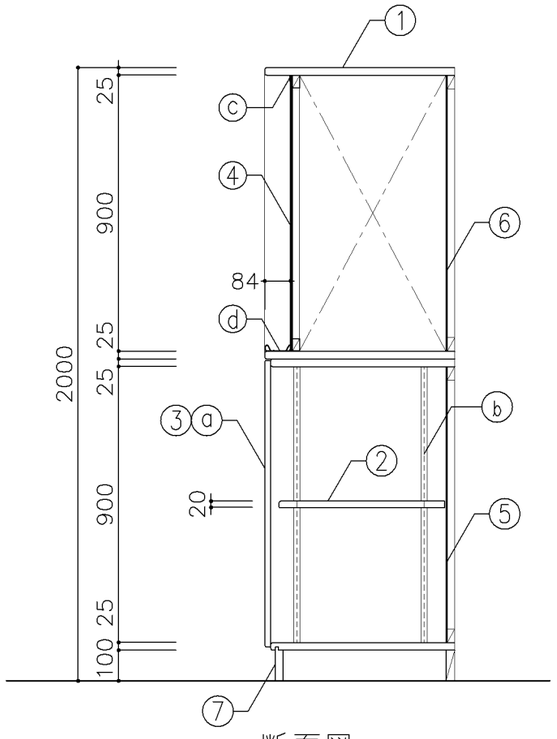
平面図



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,600 × D600 × H2,000

使用箇所
個別支援教室（第一・第二学習室）（小・中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	しな合板	UC
②	可動棚	A−1	しな合板	
③	扉	A−1	しな合板	
			ホワイトボード仕様	
④	黒板	片A−1	ラワン合板	
			スチールホーロー	
⑤	裏板	片A−1	しな合板	
⑥	裏板	片A−1	ラワン合板	
⑦	巾木	B−1	しな合板	UC

金　物

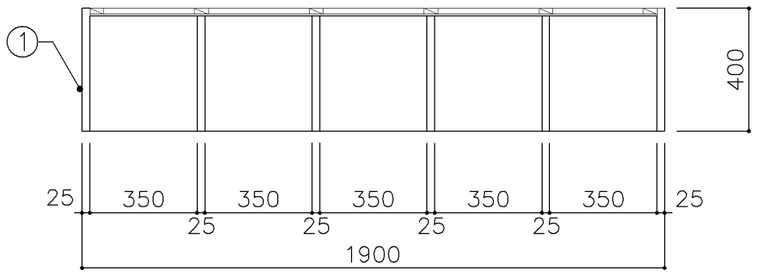
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	スライド丁番、塩ビ製掘込引手（乳白色）
		耐震ラッチ、面付シリンダー錠
ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓒ	枠	アルミ製
ⓓ	受枠	アルミ製（チョーク用）

特記事項

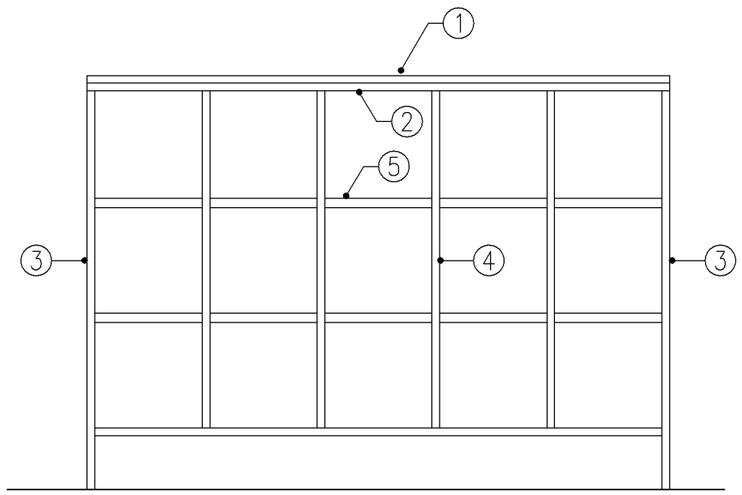
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	黒板・収納戸棚		
縮尺	1/20	記号	G−490
設計年月		令和2年2月	

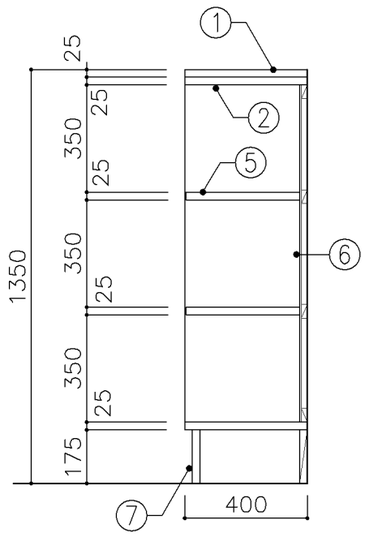
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,900 x D 400 x H 1,350

使用箇所
普通教室（小学校）、児童更衣室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	天板		ア25 タモ集成材	UC
②	本体	A−1	しな合板	
③	本体	B−1	しな合板	UC
④	仕切板	B−1	しな合板	UC
⑤	棚板	B−1	しな合板	UC
⑥	裏板	片A−1	しな合板	UC
⑦	巾木	B−1	しな合板	UC

金　物

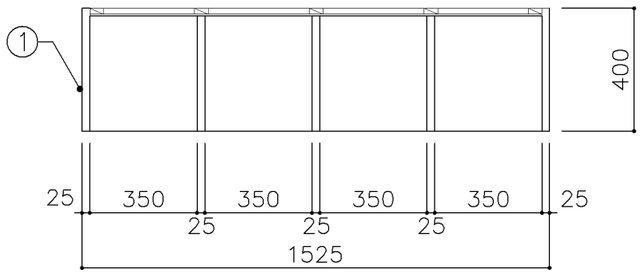
番号	使用箇所	名　称

特記事項

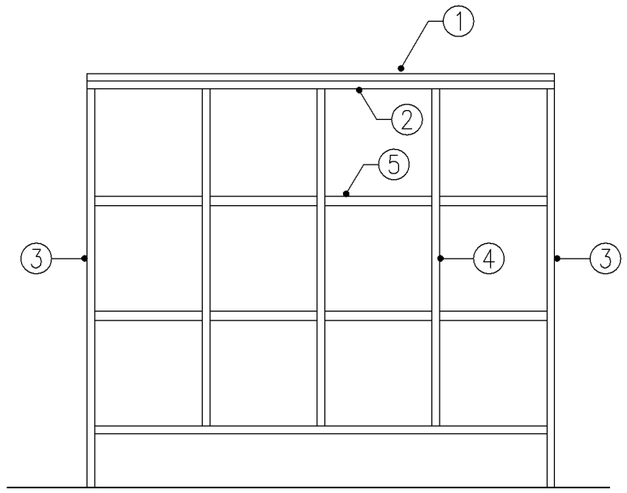
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はUC仕上とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	児童用ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G−510A
設計年月		令和2年2月	

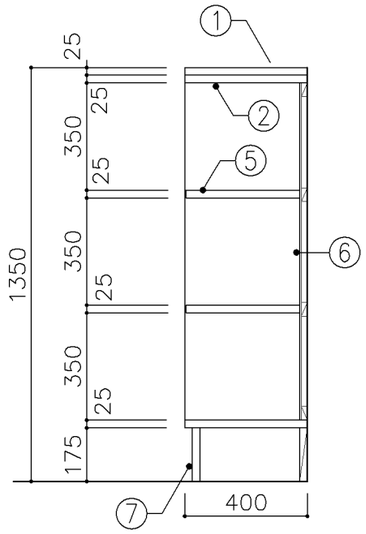
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,525 x D 400 x H 1,350

使用箇所
普通教室（小学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	天板		ア25 タモ集成材	UC
②	本体	A−1	しな合板	
③	本体	B−1	しな合板	UC
④	仕切板	B−1	しな合板	UC
⑤	棚板	B−1	しな合板	UC
⑥	裏板	片A−1	しな合板	UC
⑦	巾木	B−1	しな合板	UC

金　物

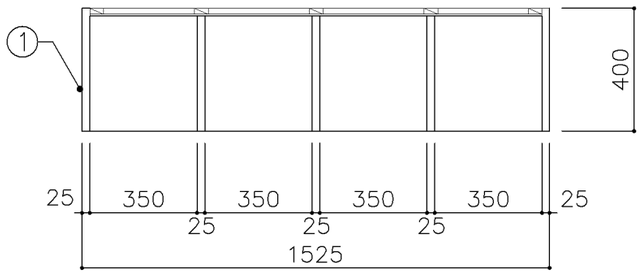
番号	使用箇所	名　称

特記事項

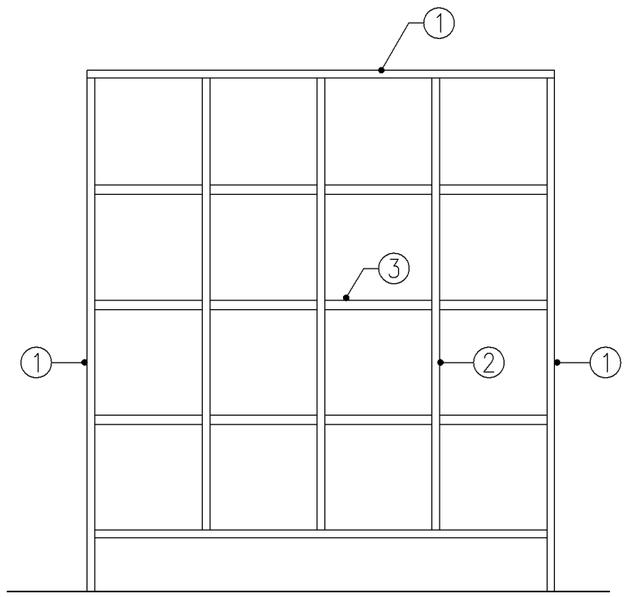
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はUC仕上とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	児童用ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G−510B
設計年月		令和2年2月	

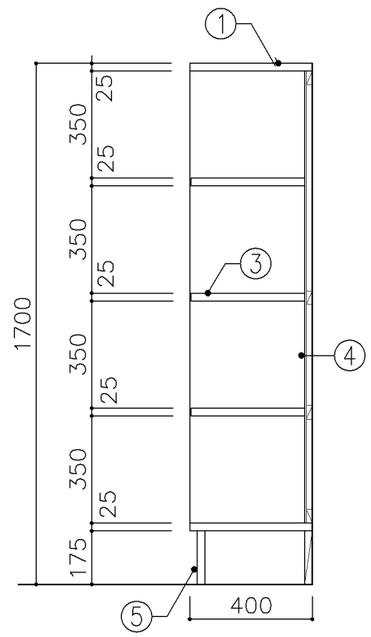
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,525 x D 400 x H 1,700

使用箇所
特別支援教室（小学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	B−1	しな合板	UC
②	仕切板	B−1	しな合板	UC
③	棚板	B−1	しな合板	UC
④	裏板	片A−1	しな合板	UC
⑤	巾木	B−1	しな合板	UC

金　物

番号	使用箇所	名　称

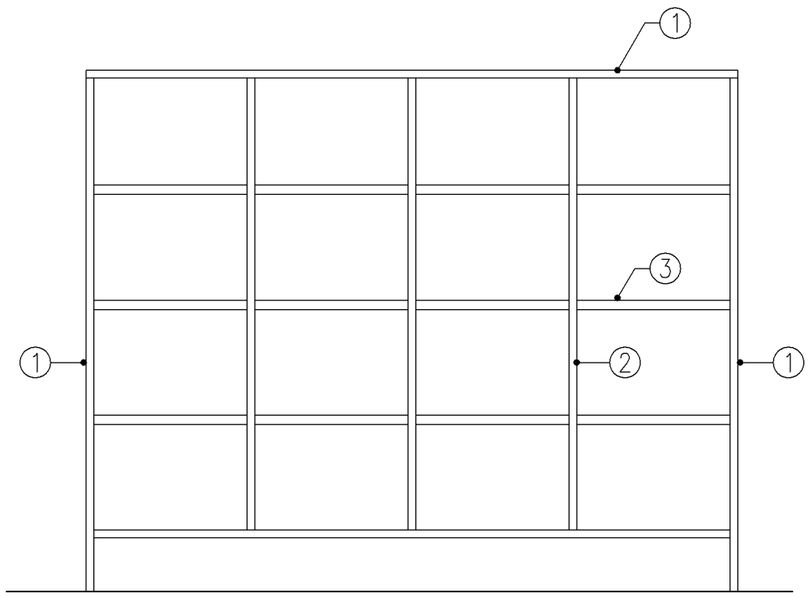
特記事項

- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はUC仕上とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

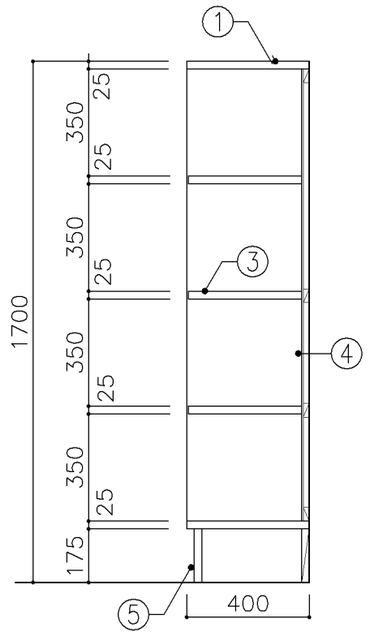
名称	児童用ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G−510C
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局

平面図



正面図



断面図

寸　法
W 2,125 x D 400 x H 1,700

使用箇所
普通教室（中学校）
個別支援教室（第三学習室）（中学校）
生徒更衣室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	B−1	しな合板	UC
②	仕切板	B−1	しな合板	UC
③	棚板	B−1	しな合板	UC
④	裏板	片A−1	しな合板	UC
⑤	巾木	B−1	しな合板	UC

金　物

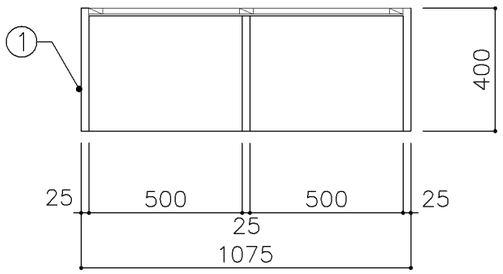
番号	使用箇所	名　称

特記事項

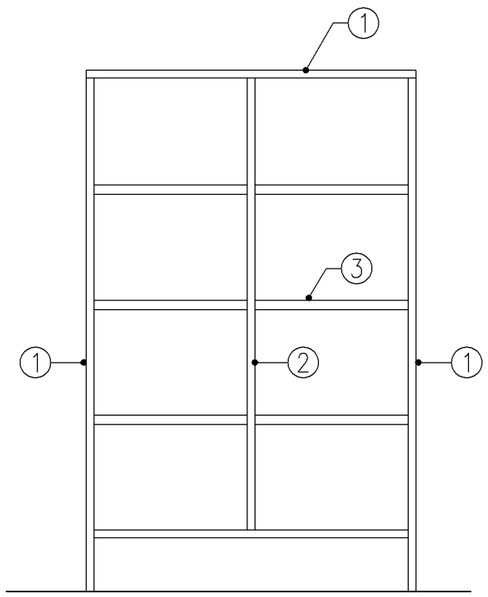
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はUC仕上とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	生徒用ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G−511A
設計年月		令和2年2月	

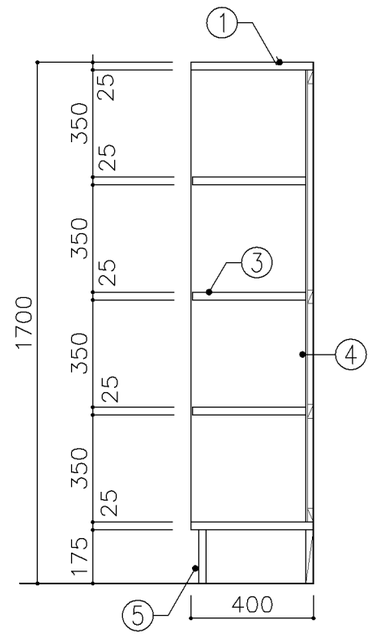
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,075 x D 400 x H 1,700

使用箇所
普通教室（中学校）
個別支援教室（第三学習室）（中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	B−1	しな合板	UC
②	仕切板	B−1	しな合板	UC
③	棚板	B−1	しな合板	UC
④	裏板	片A−1	しな合板	UC
⑤	巾木	B−1	しな合板	UC

金　物

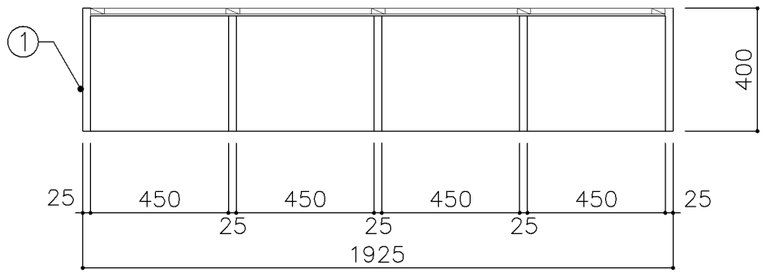
番号	使用箇所	名　称

特記事項

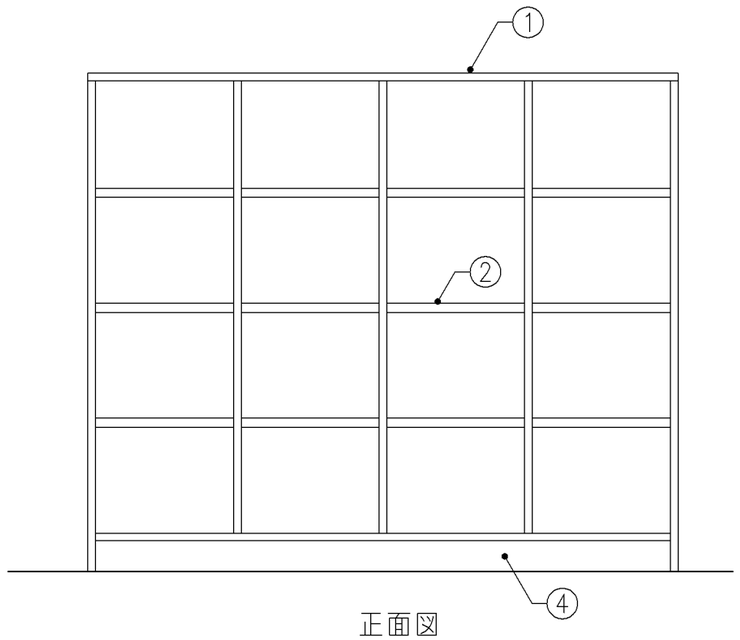
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はUC仕上とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	生徒用ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G−511B
設計年月		令和2年2月	

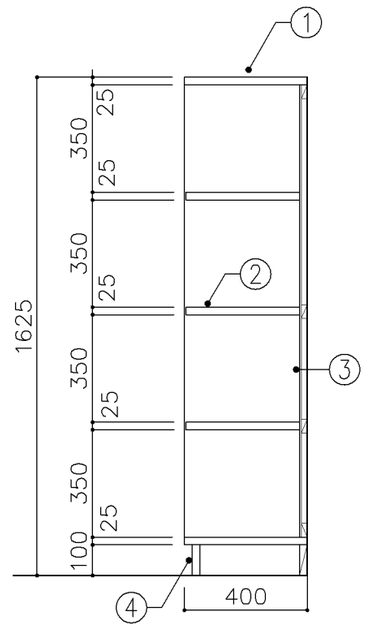
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,925 x D 400 x H 1,625

使用箇所
個別支援教室（第一学習室）（小・中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	しな合板	UC
②	棚板	A−1	しな合板	UC
③	裏板	片A−1	しな合板	UC
④	巾木	B−1	しな合板	UC

金　物

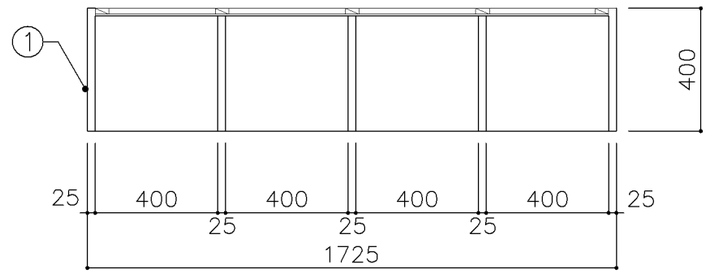
番号	使用箇所	名　称

特記事項

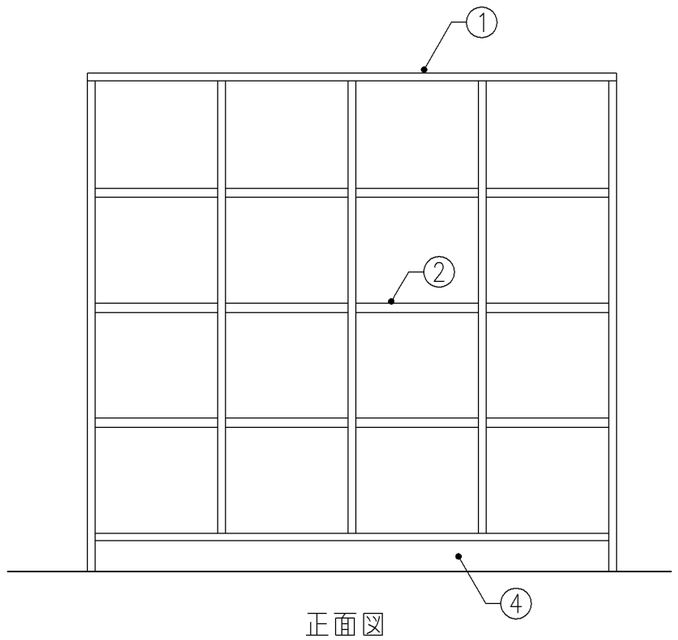
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はUC仕上とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	児童・生徒用ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G−512
設計年月			令和2年2月

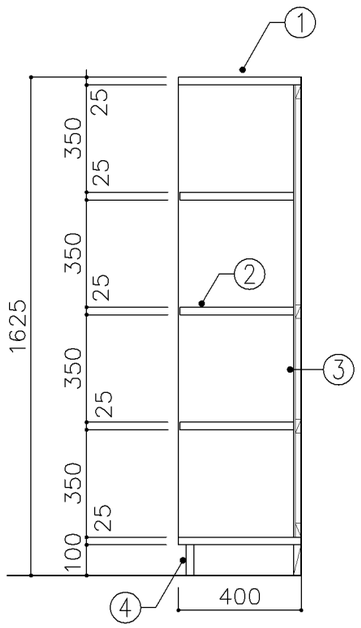
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,725 x D 400 x H 1,625

使用箇所
個別支援教室（第二学習室）（小・中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	しな合板	UC
②	棚板	A−1	しな合板	UC
③	裏板	片A−1	しな合板	UC
④	巾木	B−1	しな合板	UC

金　物

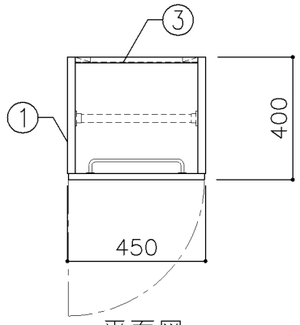
番号	使用箇所	名　称

特記事項

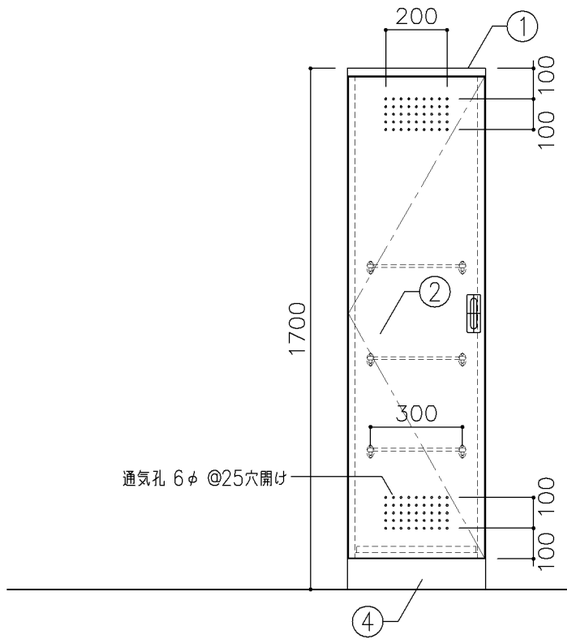
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はUC仕上とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	更衣ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G−513
設計年月		令和2年2月	

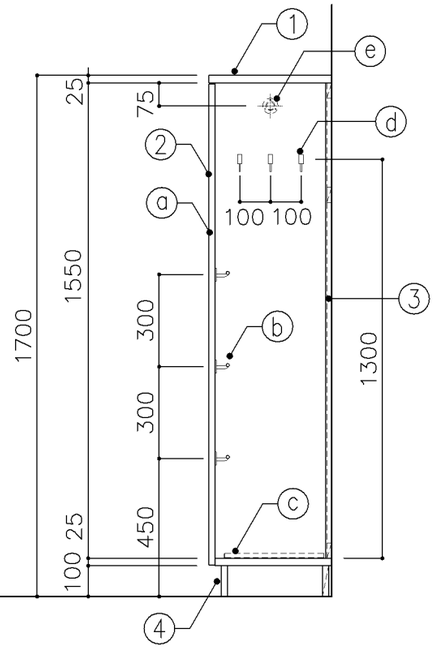
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 450 x D 400 x H 1,700

使用箇所
普通教室（小・中学校）
個別支援教室（第三学習室）（中学校）
多目的室（集会・発表等）（小・中学校）
多目的室（少人数）（小・中学校）
多目的室（小・中学校）
特別支援教室（小・中学校）
児童更衣室、生徒更衣室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	しな合板	UC
②	扉	A−1	しな合板	UC
③	裏板	片A−1	しな合板	UC
④	巾木	B−1	しな合板	UC

金　物

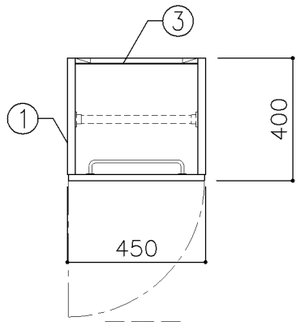
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	ステンレス丁番、国産掘込引手、戸当り
ⓑ	雑巾掛	ステンレス
ⓒ	水受皿	ステンレス
ⓓ	フック	ステンレス
ⓔ	パイプ	SUS304　25φ、S環付

特記事項

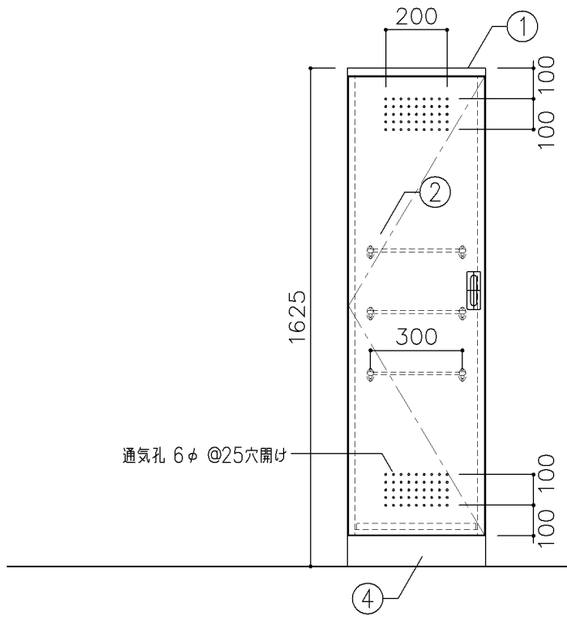
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	掃除用具入		
縮尺	1/20	記号	G−520
設計年月		令和2年2月	

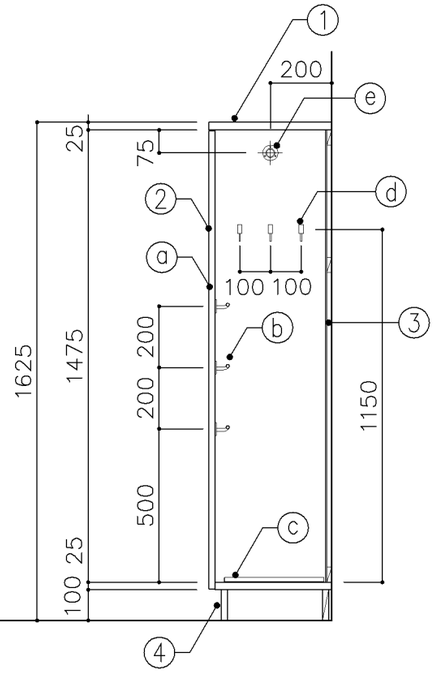
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 450 x D 400 x H 1,625

使用箇所
個別支援教室（第一・第二学習室）（小・中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	しな合板	UC
②	扉	A−1	しな合板	UC
③	裏板	片A−1	しな合板	UC
④	巾木	B−1	しな合板	UC

金　物

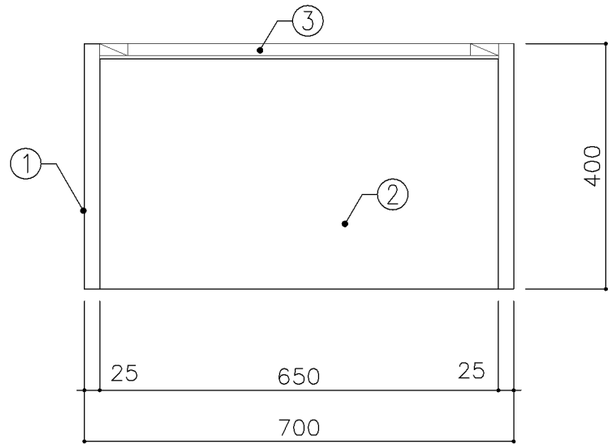
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	ステンレス丁番、国産掘込引手、戸当り
ⓑ	雑巾掛	ステンレス
ⓒ	水受皿	ステンレス
ⓓ	フック	ステンレス
ⓔ	パイプ	SUS304　25φ、S環付

特記事項

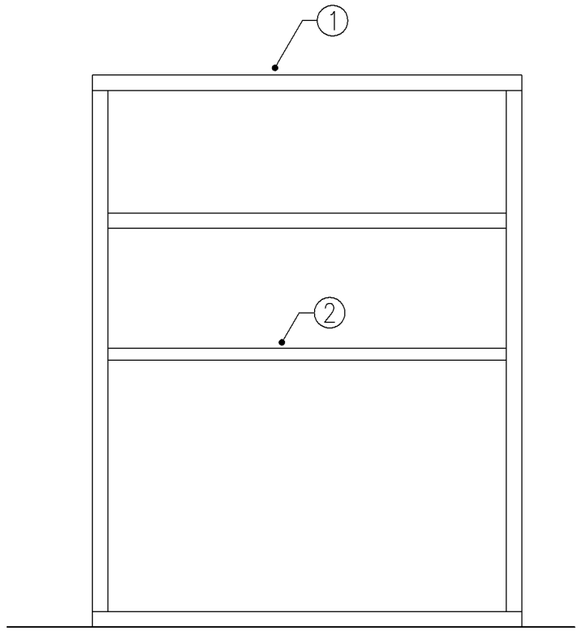
・木口の形状については、G−400より選定する。
・扉の厚みは、20mmを原則とする。
・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	掃除用具入		
縮尺	1/20	記号	G−521
設計年月		令和2年2月	

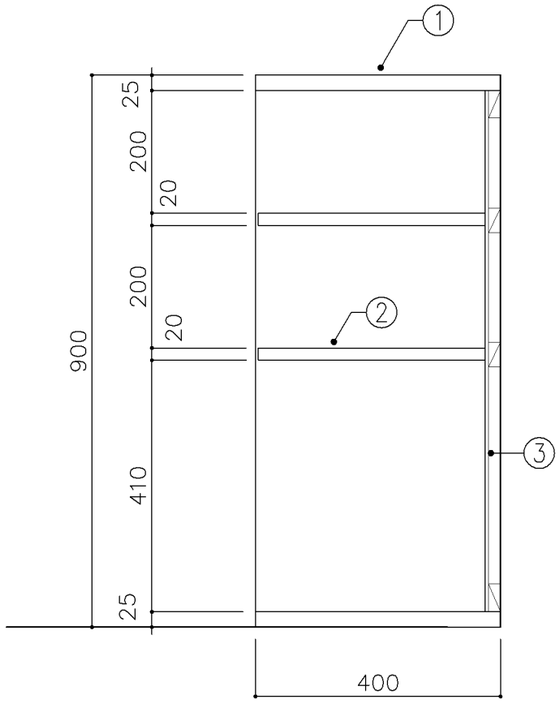
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 700 x D 400 x H 900

使用箇所
技術員室（小・中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

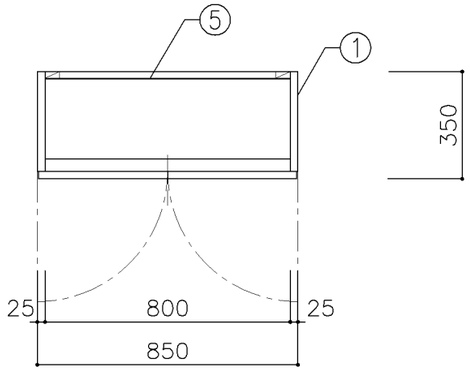
番号	使用箇所	名　称

特記事項

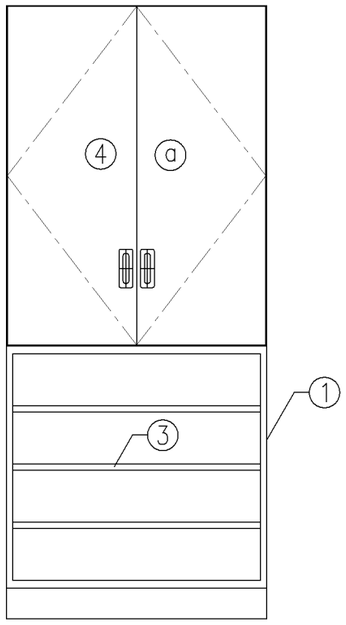
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛りは、ポリエステル化粧合板とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	靴入		
縮尺	1/10	記号	G−530
設 計 年 月			令和2年2月

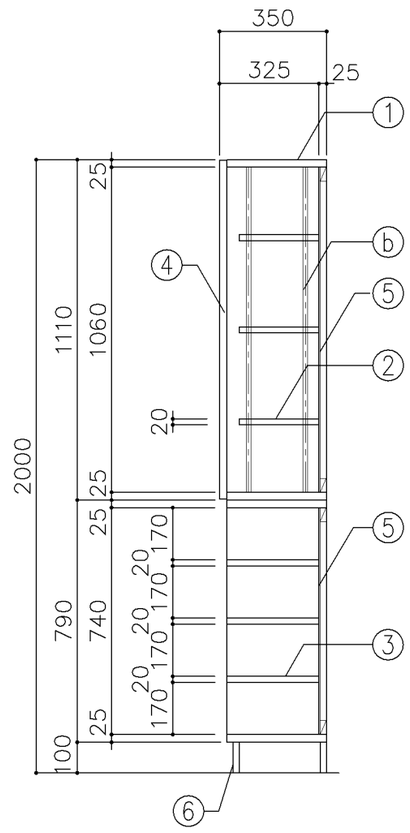
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W850 x D350 x H2,000

使用箇所
和室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	固定棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑥	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

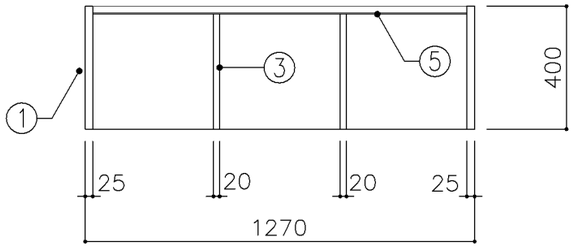
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	スライド丁番、国産掘込引手、セーフラッチ
ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）

特記事項

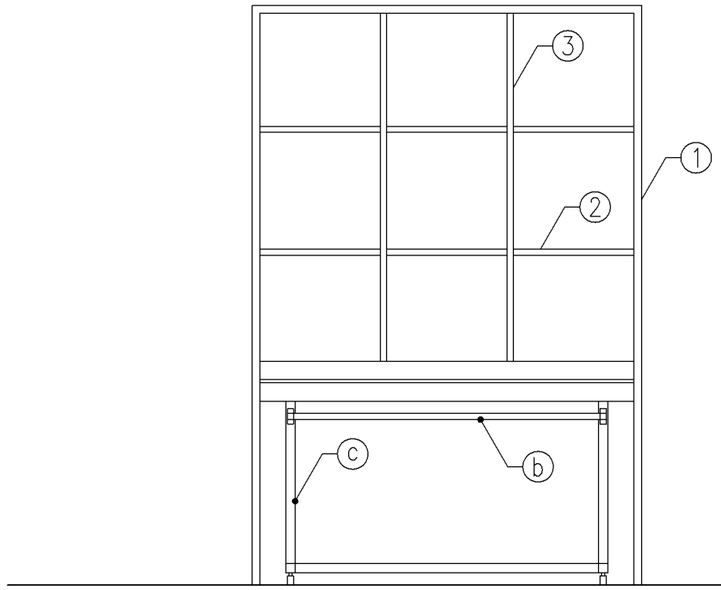
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛りは、ポリエステル化粧合板とする。
- 扉の厚みは、25mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。
- 耐震金物にて固定（床・壁）

名称	下足入		
縮尺	1/20	記号	G−531
設計年月		令和2年2月	

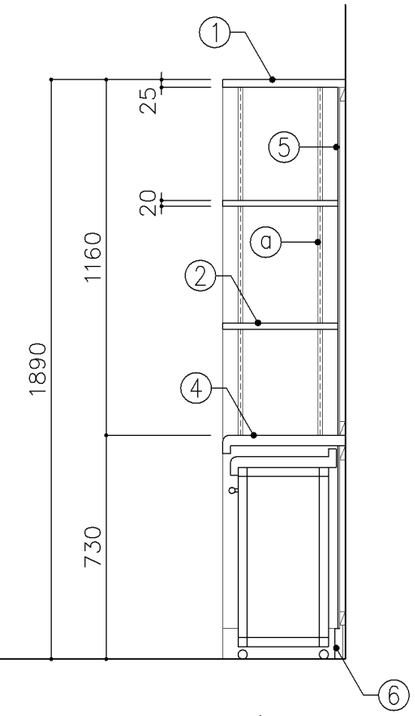
横浜市建築局



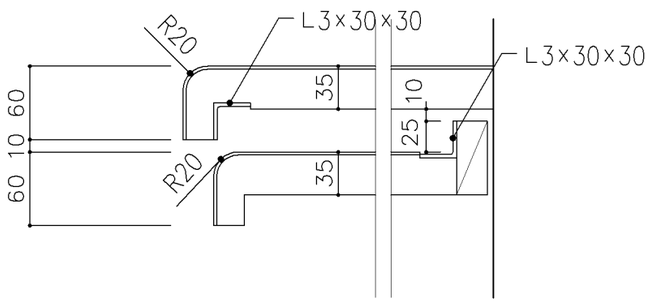
平面図

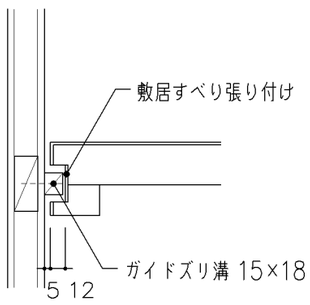


正面図



断面図





スライドテーブル詳細図　S＝1／5

寸　法
W1,270 x D 400 x H 1,890

使用箇所
理科準備室（小・中学校）
理科準備室（2室タイプ）（第2準備室）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	天板	B−1	メラミン化粧板	
			ポストフォーム加工	
⑤	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑥	巾木	A−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

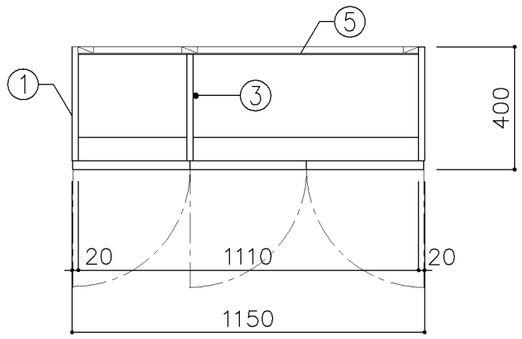
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）
ⓑ	手掛	ステンレスパイプ 25φ
ⓒ	脚	□−31×31×1.6
		トラックキャスター30φスットパー付

特記事項

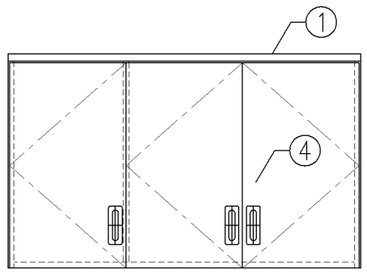
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛りは、ポリエステル化粧合板とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	収納棚		
縮尺	1／5 1／20	記号	G−540
設計年月		令和2年2月	

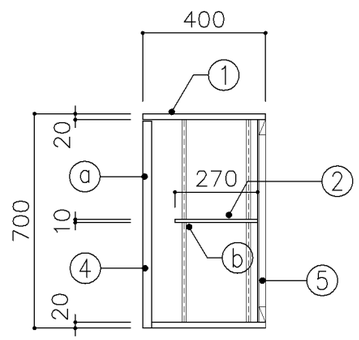
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,150 x D 400 x H 700

使用箇所
湯沸室（小・中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	裏板	片A−1	しな合板	

金　物

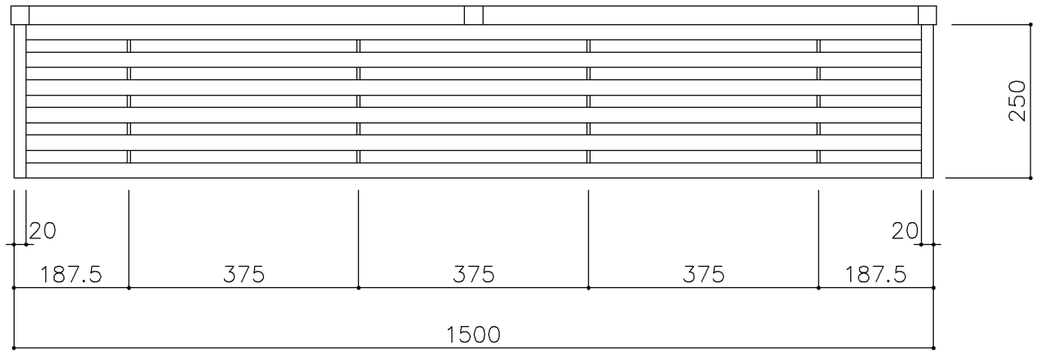
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	スライド丁番、国産掘込引手、セーフラッチ
ⓑ	可動棚	ステンレス製耐震棚受・棚柱（番号入り）

特記事項

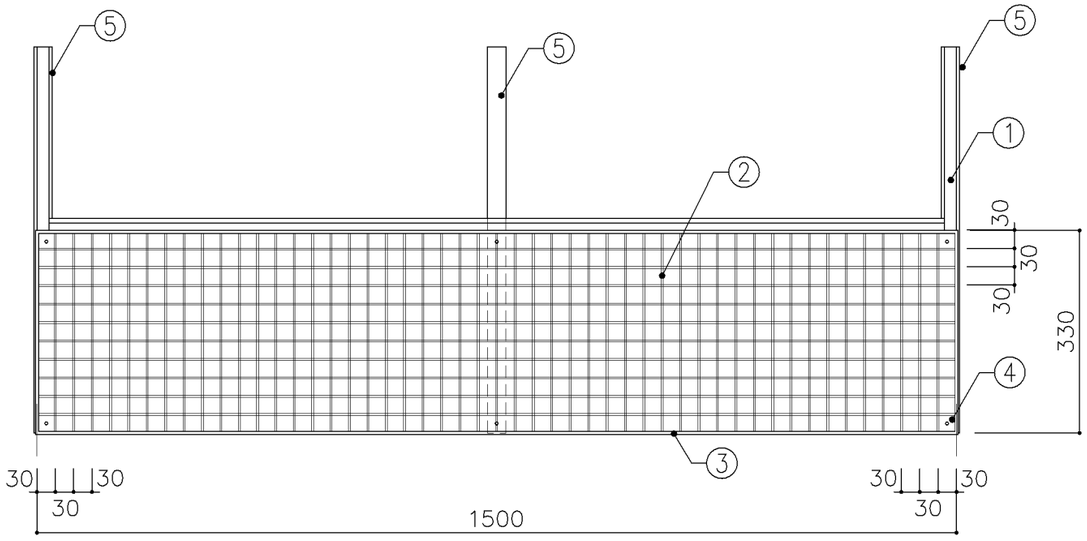
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はポリエステル化粧合板とする。
- フラッシュ戸（引違い、扉）内部は、しな合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

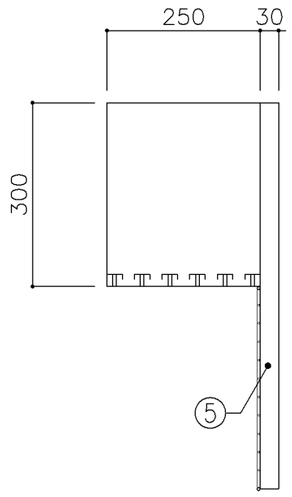
名称	吊戸棚		
縮尺	1／20	記号	G−541
設計年月			令和2年2月

横浜市建築局



平面図





断面図

寸　法
W1,500 x D 250 x H 300（水切棚）
W1,500 x D x H 330
（ハンガーネット）

使用箇所
湯沸室（小・中学校）

仕　様

番号	名称	材　質	仕上
①	水切棚	SUS304ｱ2.0	
②	芯線	SWRM3．0φ	PE樹脂加工
③	枠	SWRM5．0φ	PE樹脂加工
④	取付板	SPCC30X30X2．0	PE樹脂加工
⑤	取付縦桟	30X30ｱﾙﾐ	

金　物

番号	使用箇所	名　称

特記事項

・水切棚についての網目仕様は、各メーカー仕様とする。

名称	水切棚、ハンガーネット		
縮尺	1／10	記号	G－542
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局

1. 普通教室・特別教室の黒板類の取付芯は、各平面図表示の寸法又は、机のレイアウト芯と一致させる。

2. 黒板及びホワイトボードは、スチールほうろう仕様とする。

3. 黒板及びホワイトボードの枠は、メーカー仕様とする。（仕様については監督員の承認を得る事。）

4. 黒板の規格は、黒板通則（JIS S 6101）に基づく焼付け黒板（JIS S 6045）のほうろう仕様とする。

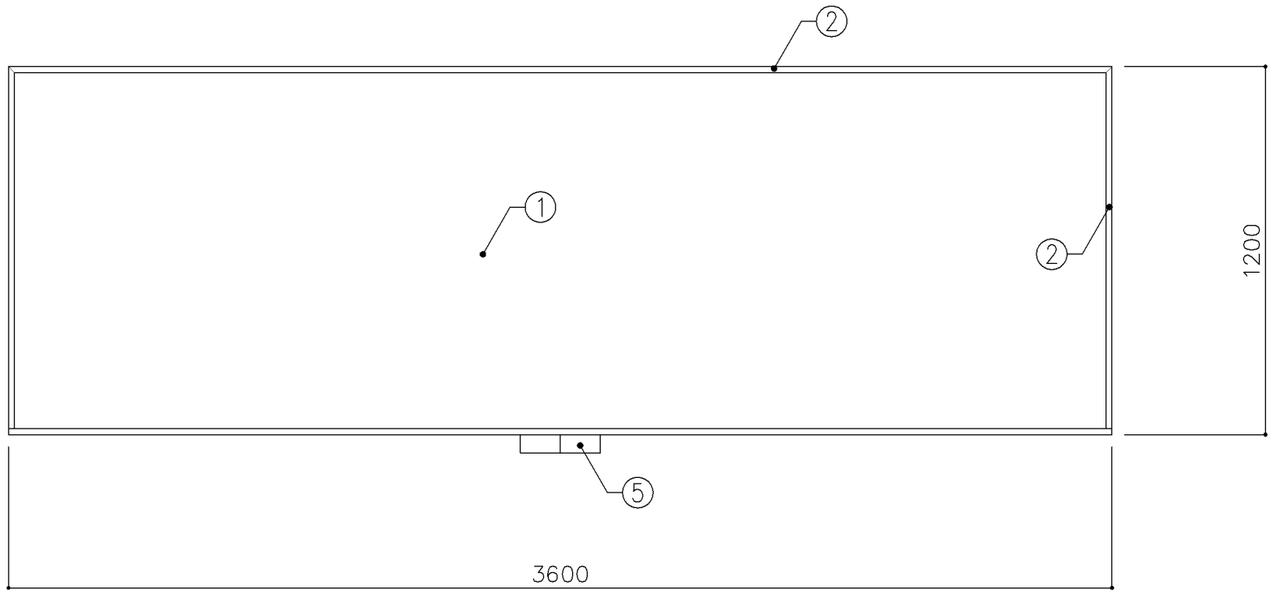
5. ホワイトボードの規格は、ほうろう製品の品質基準（JIS R 4301）に基づくほうろう白板（JIS S 6052）の規格品とする。

6. 上下黒板・引分け黒板等可動部分については、各メーカーの社内規格によるものとする。

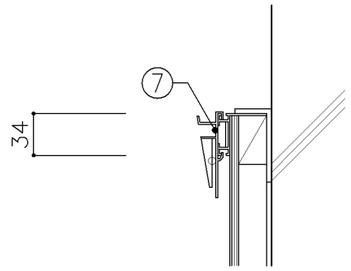
7. 掲示板は、アルミ枠掲示板のみを掲載するものとする。

8. 造り付け掲示板は、ディテールシートＩ－２０２に掲載するものとする。

名称	仕様		
縮尺		記号	G−600
設 計 年 月 日			令和2年2月
横浜市建築局			

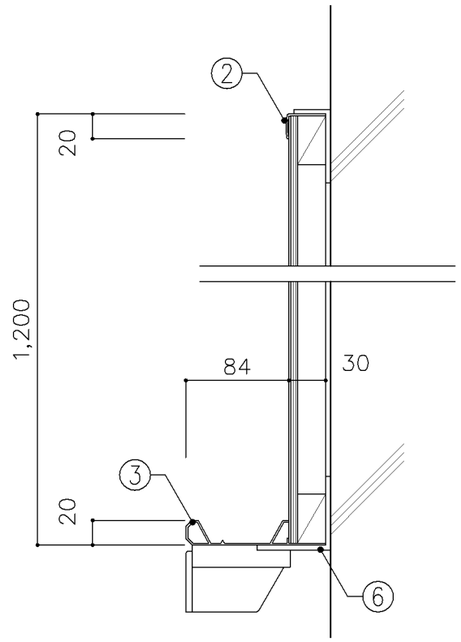


正面図 S:1/20



美術教室ピクチャーレール取付け部

断面図 S:1/5



断面図 S:1/5

寸　法
W3,600 x D　　x H1,200

使用箇所
美術教室、図画工作教室

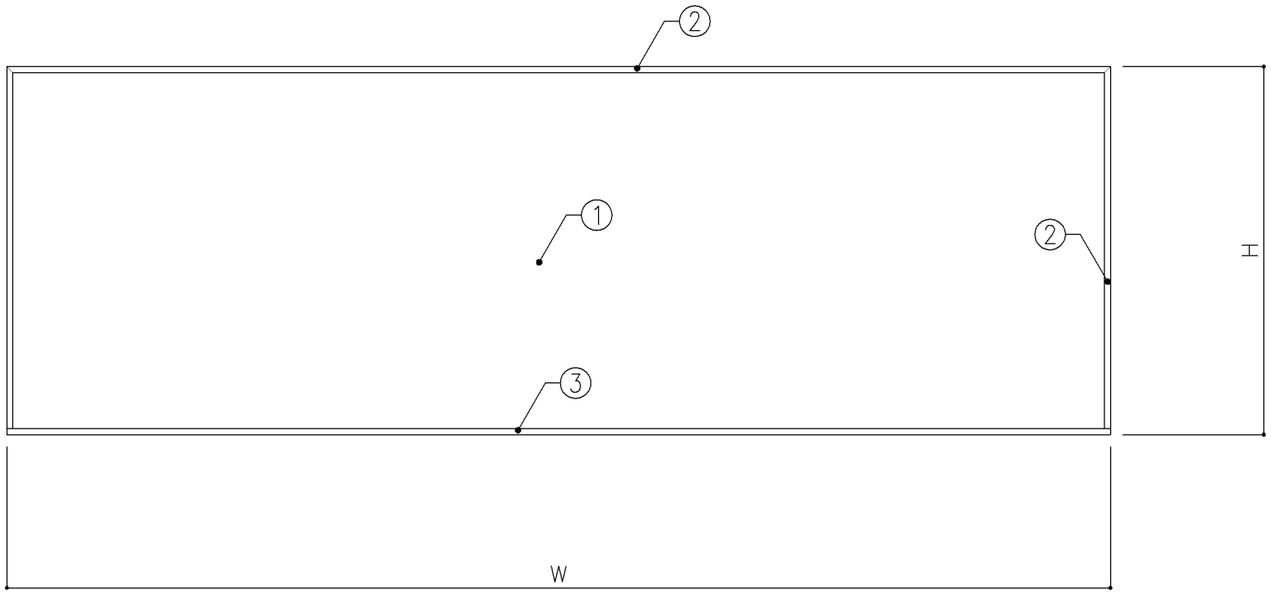
仕　様

番号	名称	材　質
①	黒板	スチールホーロー
		ｱ5.5ベニヤ（T－2）下地
②	枠	アルミ製
③	粉受け	アルミ製
④	サイドキャップ	樹脂製
⑤	チョークボックス	アルミ製（2連）
⑥	受け金物	ｱ4 スチールユニクロメッキ
		@900
⑦	ピクチャーレール	アルミ製　ハンガー部スチール

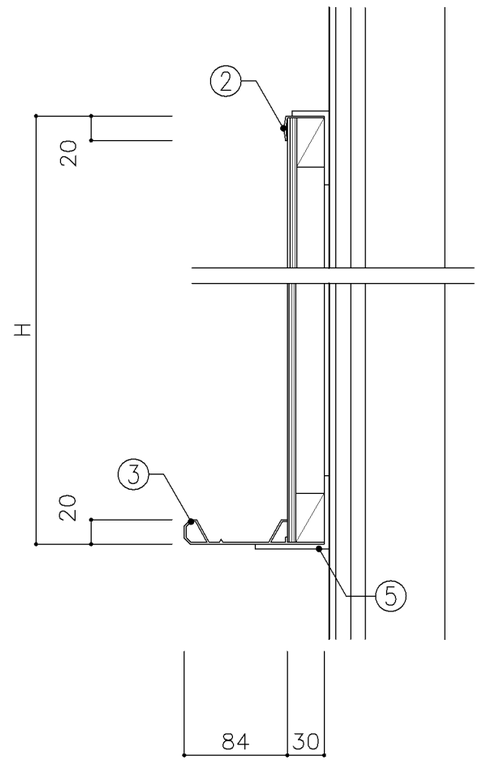
特記事項

名称	黒板		
縮尺	1/5 1/20	記号	G－610
設 計 年 月		令和2年2月	

横浜市建築局



正面図 S:1/20



断面図 S:1/5

寸　法					
A：W	900	x D		x H	900
B：W	3,600	x D		x H	1,200
C：W	3,600	x D		x H	1,200
D：W	2,700	x D		x H	900

使用箇所
A：技術員室（小・中学校）
普通教室（中学校）
B：家庭科教室、調理教室、特別活動室
コンピューター教室（小・中学校）
C：音楽教室（5線入り）
D：地域交流室、PTA室、会議室

仕　様

番号	名称	材　質
①	ホワイトボード	スチールホーロー
		ｱ5.5ベニヤ（T－2）下地
②	枠	アルミ製
③	粉受け	アルミ製
④	サイドキャップ	樹脂製
⑤	受け金物	ｱ4 スチールユニクロメッキ
		@900

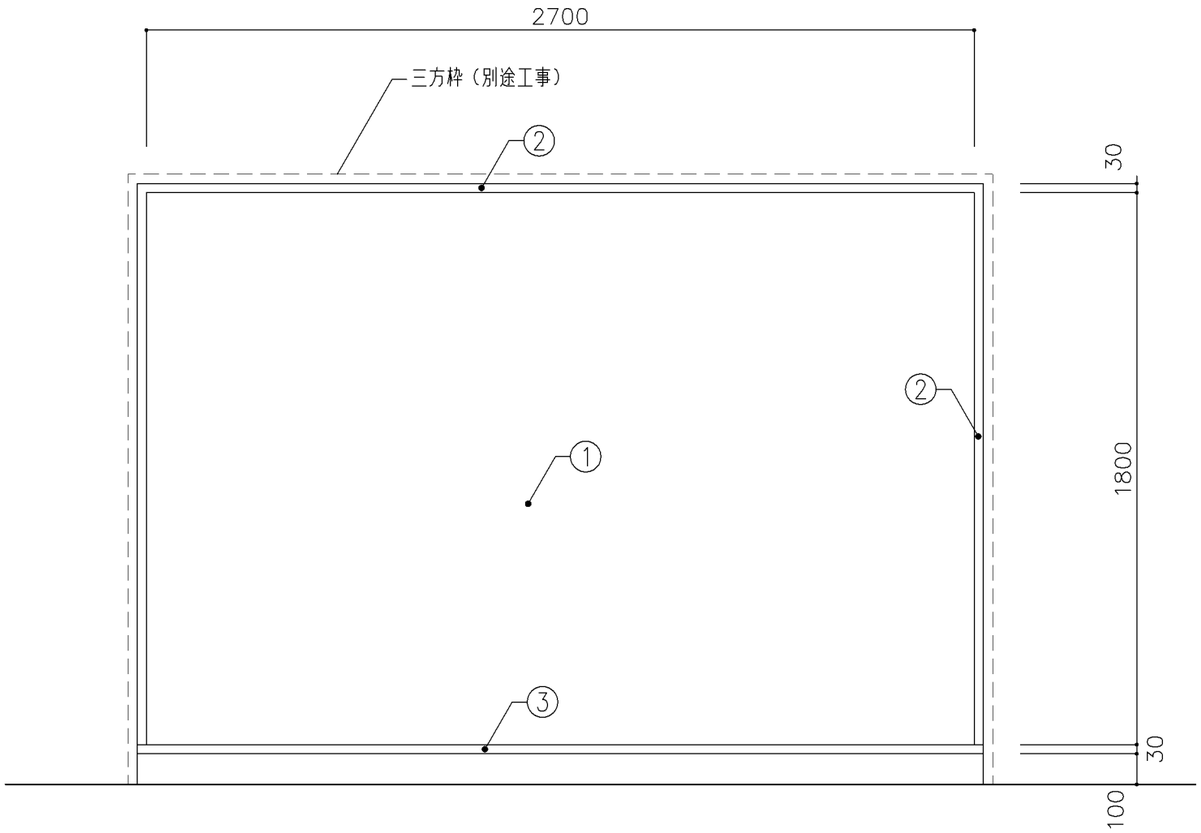
特記事項

C：音楽教室は半分を五線入りとする。

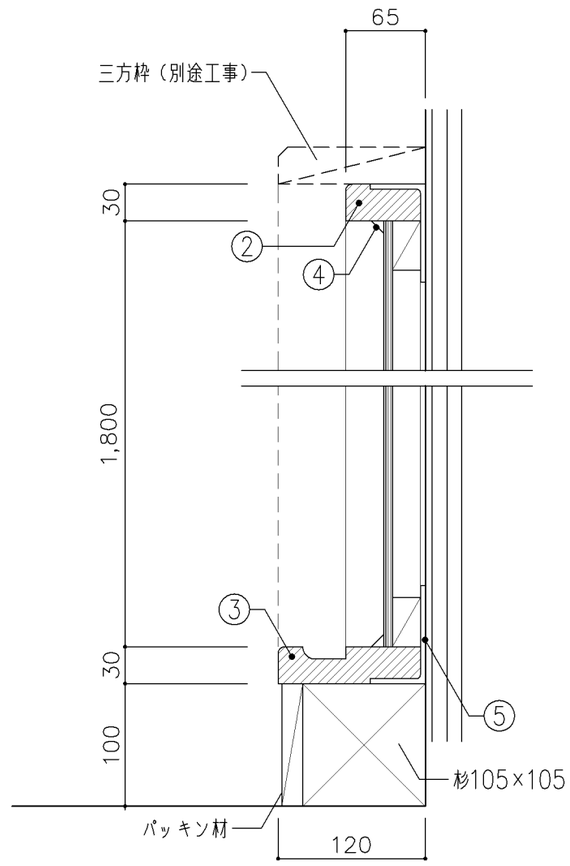
※普通教室（中学校）は、粉受不要とする。

名称	ホワイトボード		
縮尺	1/5 1/20	記号	G－611
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局



正面図 S:1/20



断面図 S:1/5

寸　法
W2,700 x D　　x H 1,800

使用箇所
個別支援教室（第一・第二学習室）（小学校）

仕　様

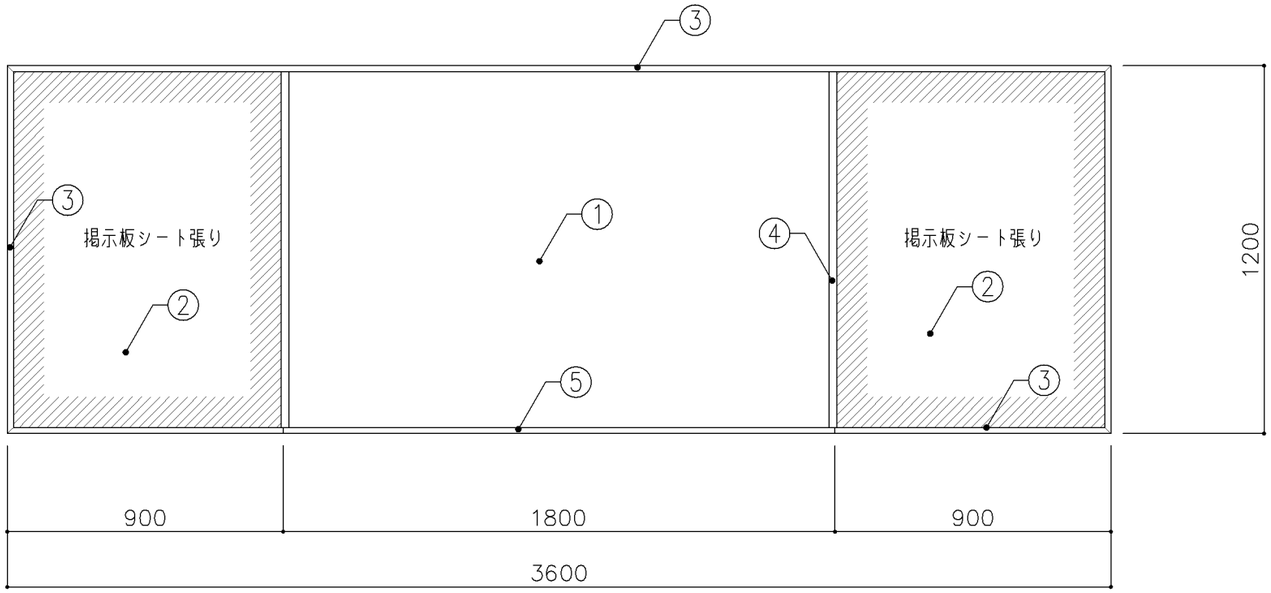
番号	名称	材　質
①	ホワイトボード	スチールホーロー
		ｱ5.5ベニヤ（T－2）下地
②	枠	ｱ30 ラワン
③	粉受け	ｱ30 ラワン
④	押縁	塩ビ製
⑤	受け金物	ｱ4 スチールユニクロメッキ
		@900

特記事項

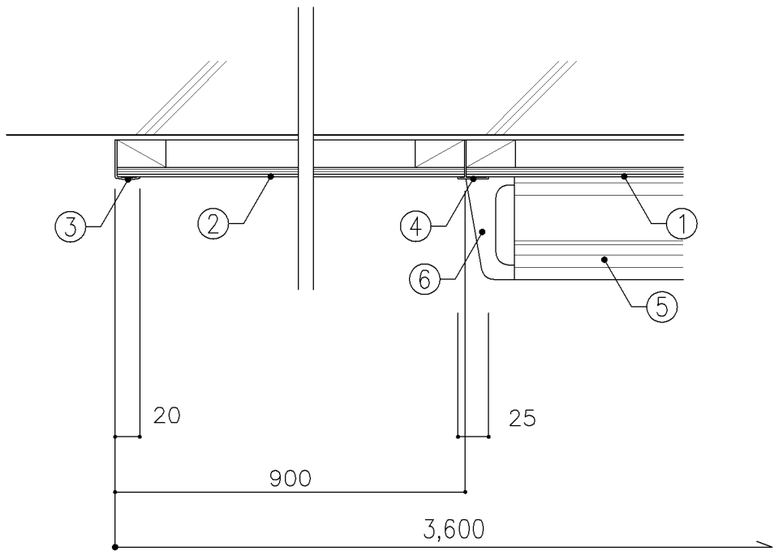
・巾木材　教室内の巾木材に合わせる。

名称	ホワイトボード		
縮尺	1/5 1/20	記号	G－612
設計年月		令和2年2月	

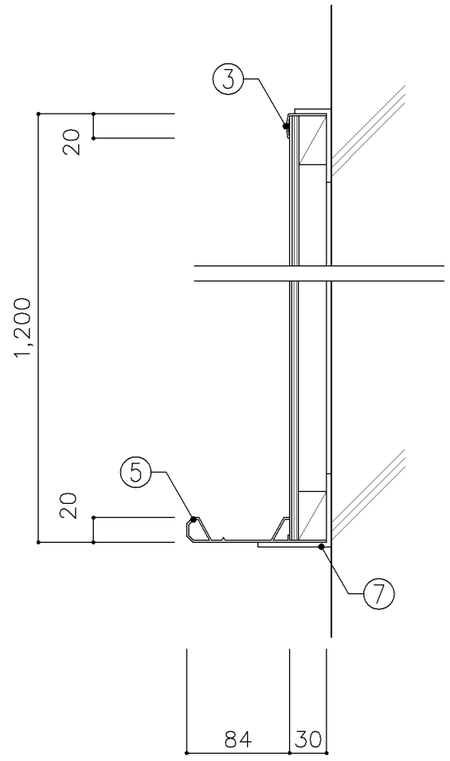
横浜市建築局



正面図 S:1/20



平面図 S:1/5



断面図 S:1/5

寸法
W3,600 x D x H 1,200

使用箇所
保健相談室

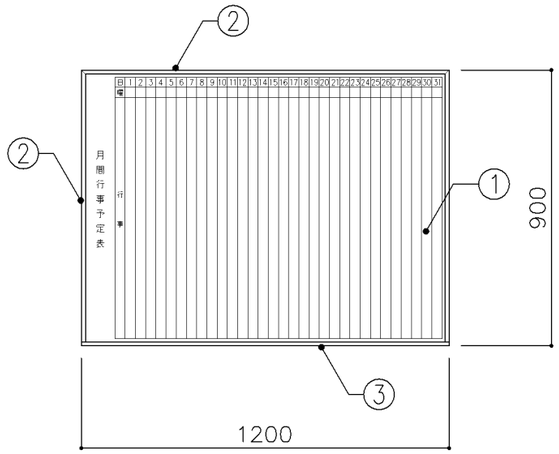
仕様

番号	名称	材質
①	ホワイトボード	スチールホーロー
		ｱ5.5ベニヤ（T－2）下地
②	掲示板	掲示板シート張り
		ｱ5.5ベニヤ（T－2）下地
③	枠	アルミ製
④	T型ジョイナー	アルミ製
⑤	粉受け	アルミ製
⑥	サイドキャップ	樹脂製
⑦	受け金物	ｱ4 スチールユニクロメッキ
		@900

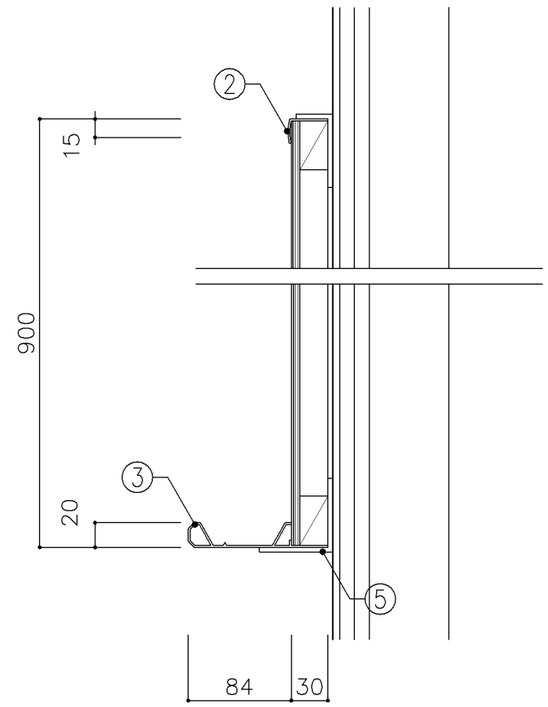
特記事項

名称	ホワイトボード・掲示板		
縮尺	1/5 1/20	記号	G－613
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局



正面図 S:1/20



断面図 S:1/5

寸　法
W1,200 x D　　x H 900

使用箇所
校長室、事務室

仕　様

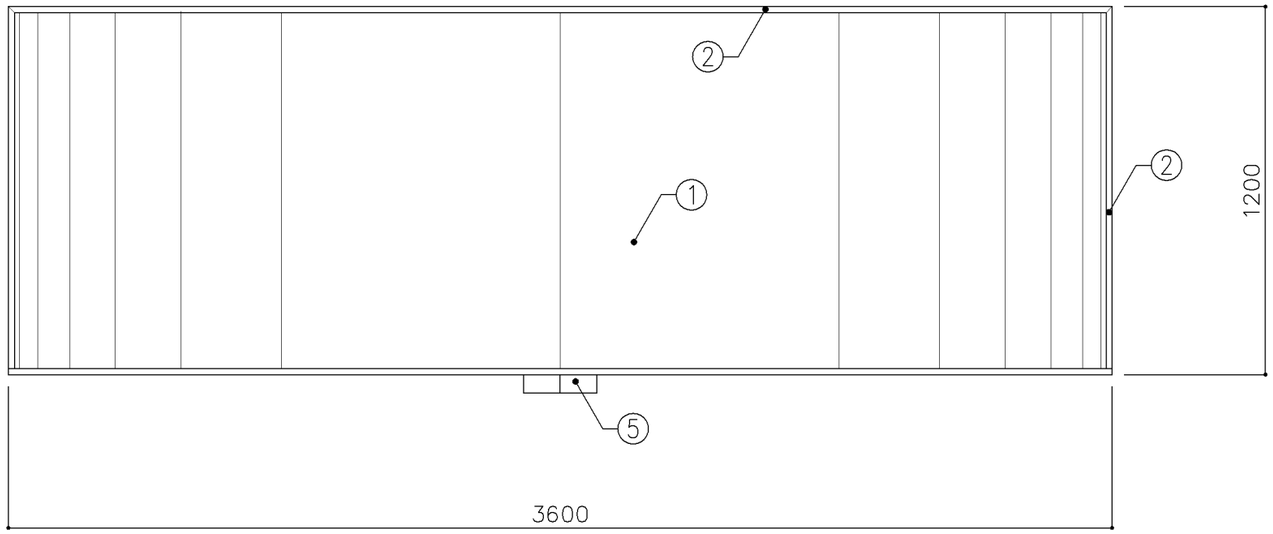
番号	名称	材　質
①	ホワイトボード	スチールホーロー仕上
		ｱ5.5ベニヤ（T－2）下地
②	枠	アルミ製
③	粉受け	アルミ製
④	サイドキャップ	樹脂製
⑤	受け金物	ｱ4 スチールユニクロメッキ
		@900

特記事項

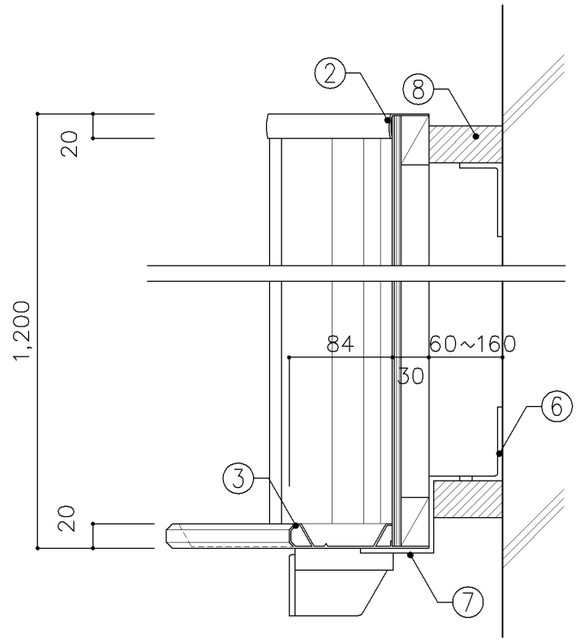
・行事用フォーマット（1ヶ月分）入り

名称	行事用ホワイトボード		
縮尺	1/5 1/20	記号	G－620
設 計 年 月		令和2年2月	

横浜市建築局



正面図 S:1/20



断面図 S:1/5

寸　法
W3,600 x D　　x H1,200

使用箇所
普通教室（小・中学校）、金工・木工教室
多目的室（集会・発表等）（小・中学校）
多目的室（少人数）（小・中学校）
多目的室（小・中学校）
個別支援教室（第三学習室）（中学校）

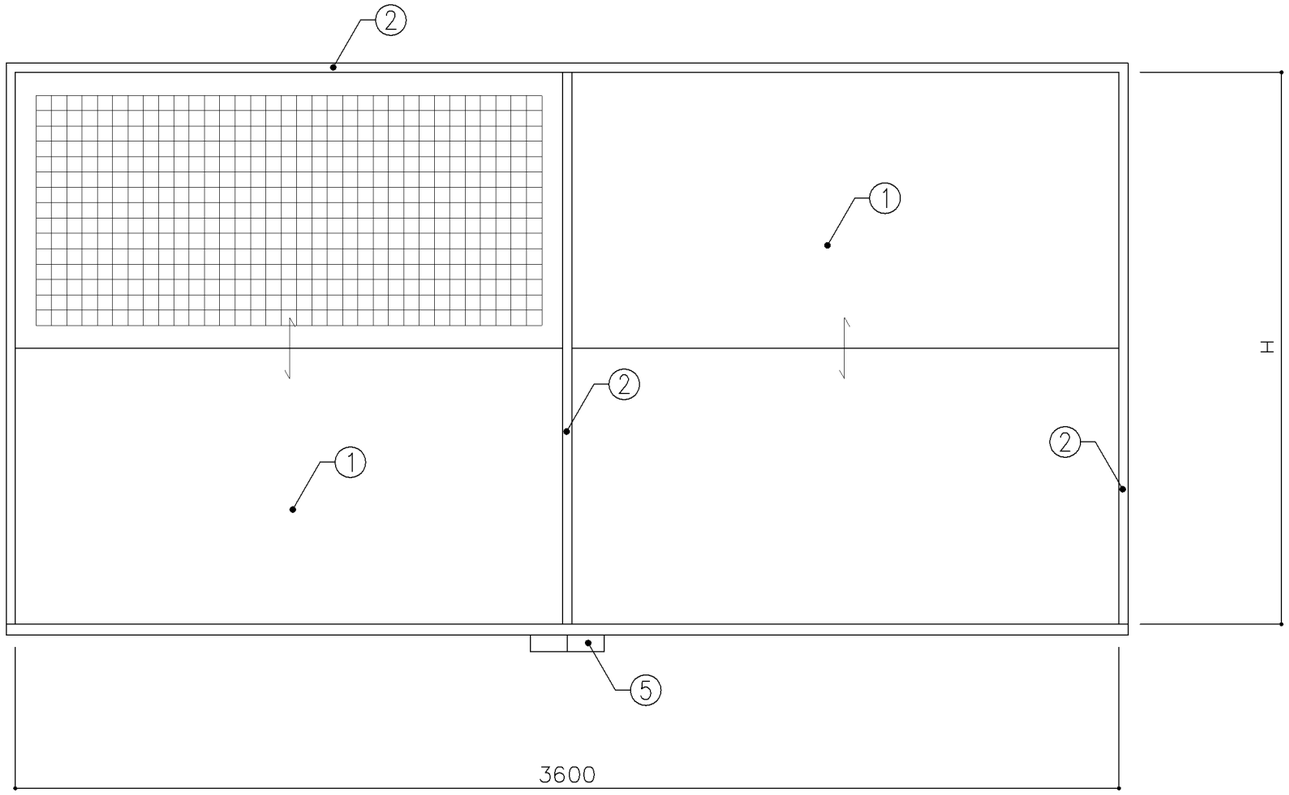
仕　様

番号	名称	材　質
①	曲面黒板	スチールホーロー
		ｱ5.5ベニヤ（T－2）下地
②	枠	アルミ製
③	粉受け	アルミ製
④	サイドキャップ	樹脂製
⑤	チョークボックス	アルミ製（2連）
⑥	受け金物	ｱ4 スチールユニクロメッキ
		@900
⑦	受け金物	ｱ4 スチールユニクロメッキ
		@900（クランク型）
⑧	捨て枠	ｱ30 ラワン

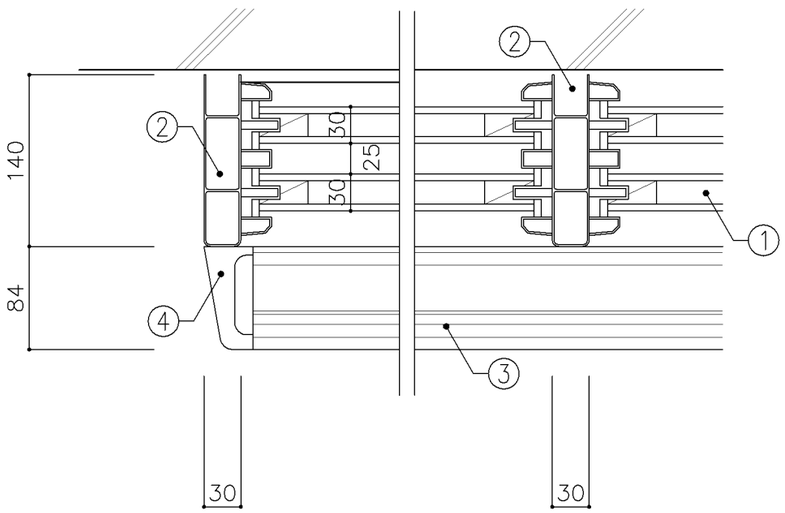
特記事項

名称	曲面黒板		
縮尺	1/5 1/20	記号	G－630
設 計 年 月		令和2年2月	

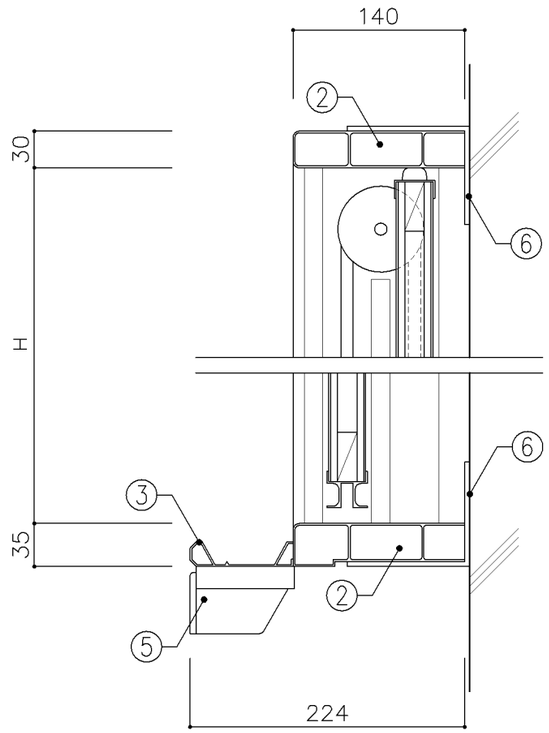
横浜市建築局



正面図 S:1/20



平面図 S:1/5



断面図 S:1/5

寸　法				
A：W3,600	x	D	x	H1,700
B：W3,600	x	D	x	H1,800

使用箇所

A：理科教室（小・中学校）
B：多目的室（水廻り学習等）方眼線なし

仕　様

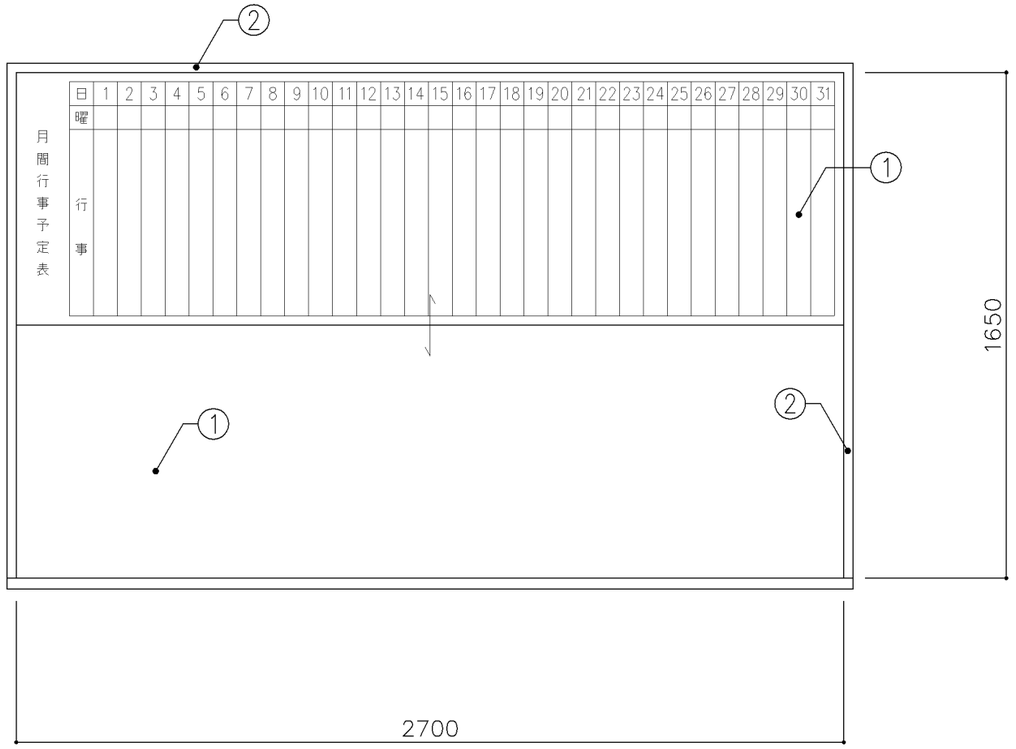
番号	名称	材　質
①	上下黒板	スチールホーロー
		ｱ5.5ベニヤ（T－2）下地
②	枠	アルミ製
③	粉受け	アルミ製
④	サイドキャップ	樹脂製
⑤	チョークボックス	アルミ製（2連）
⑥	受け金物	ｱ4 スチールユニクロメッキ
		@900

特記事項

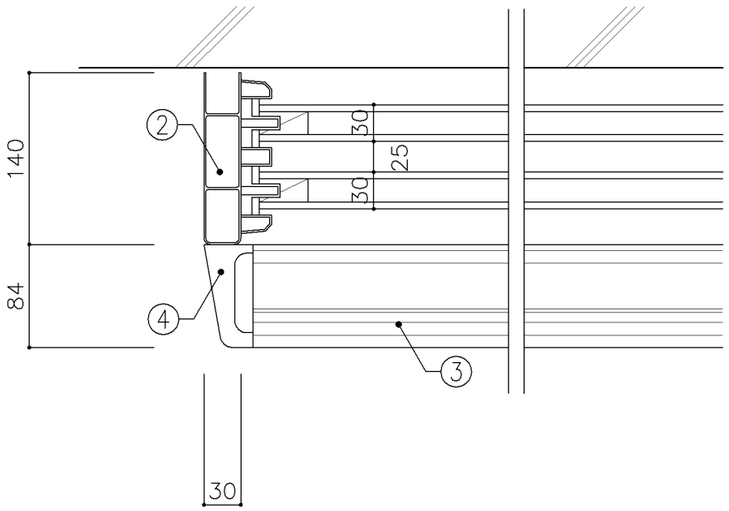
・一面地色同系色5cm角方眼線入りとする。

名称	上下黒板		
縮尺	1/5 1/20	記号	G－640
設 計 年 月		令和2年2月	

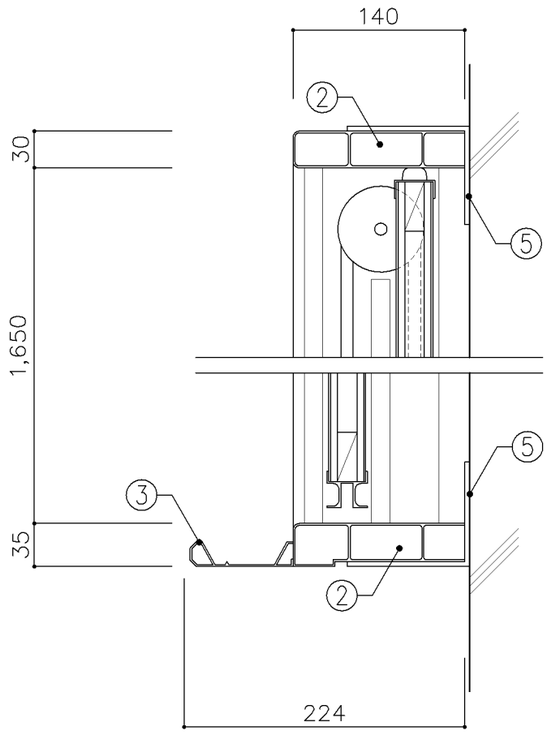
横浜市建築局



正面図 S:1/20



平面図 S:1/5



断面図 S:1/5

寸　法
W2,700 x D x H1,650

使用箇所
職員室（小・中学校）

仕　様

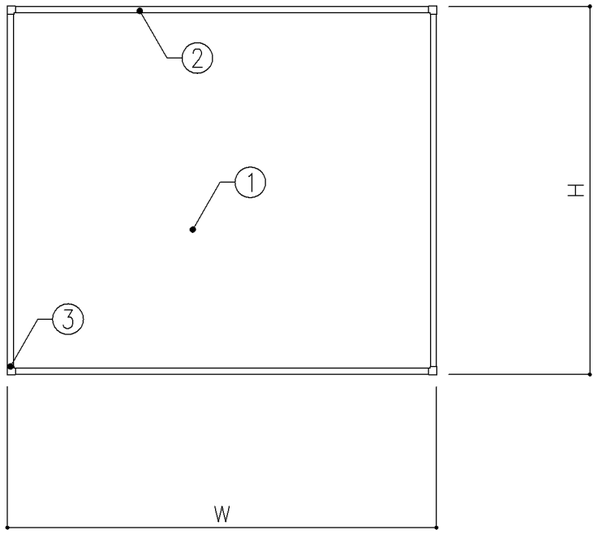
番号	名称	材　質
①	上下ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	スチールホーロー
		ｱ5.5ﾍﾞﾆﾔ（T－2）下地
②	枠	アルミ製
③	粉受け	アルミ製
④	サイドキャップ	樹脂製
⑤	受け金物	ｱ4 スチールユニクロメッキ
		@900

特記事項

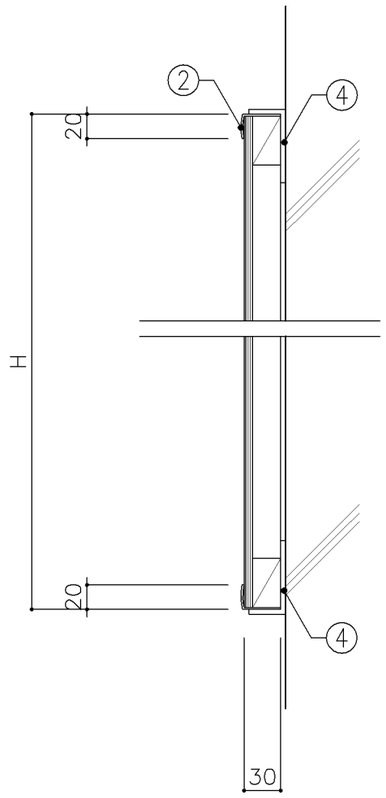
・行事用フォーマット（1ヶ月分）入り

名称	上下ホワイトボード		
縮尺	1/5 1/20	記号	G－641
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局



正面図 S:1/20



断面図 S:1/5

寸　法				
A：W 600	x	D	x	H 1,200
B：W 800	x	D	x	H 1,200
C：W1,900	x	D	x	H 1,000

使用箇所
A：職員室（小・中学校）
図書室（小・中学校）
B：家庭科教室、調理教室
被服教室（多目的）、金工・木工教室
多目的室（水廻り学習等）
C：職員・来校者用玄関

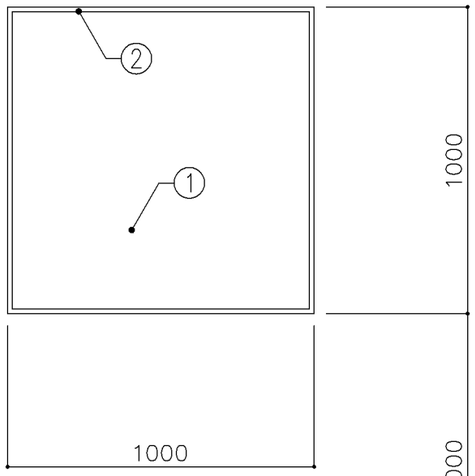
仕　様

番号	名称	材　質
①	掲示板	掲示用難燃クロス
		ｱ5.5ﾍﾞﾆﾔ（T－2）下地
②	枠	アルミ製
③	ｾｰﾌﾃｨｰｺｰﾅｰ	樹脂製
④	受け金物	ｱ4 スチールユニクロメッキ
		@900

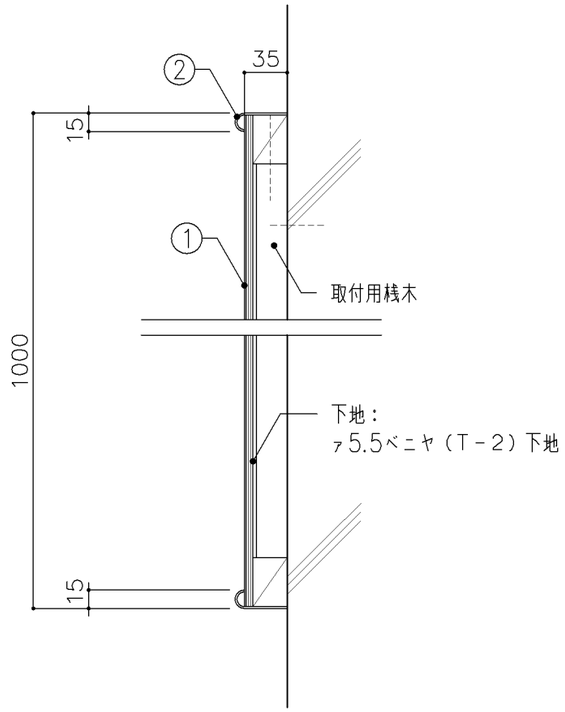
特記事項

名称	アルミ枠掲示板		
縮尺	1/5 1/20	記号	G－680
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局



正面図 S:1/20



断面図 S:1/5

寸　法
W 1,000 x D　　x H 1,000

使用箇所
職員・来校者用玄関

仕　様

番号	名称	材　質
①	案内板	ホワイトボード
		ｱ5.5ﾍﾞﾆﾔ（T－2）下地
②	枠	アルミ製

特記事項

・表示方法：黒ペンキ書き
・表示内容：
1/200程度の各階平面を単線で記入する。
室名は普通教室を除き、全て記入する。

名称	校内案内板		
縮尺	1/5 1/20	記号	G－681
設 計 年 月		令和2年2月	

横浜市建築局

G－700 実習用家具（仕様）

1．適用範囲	1）　本仕様は、横浜市学校建築工事備品の実習用家具に適用する。 2）　本仕様に明記していない事項については、各製作所の社内規格によるものとし、横浜市建築局建築部住宅・教育施設課の承認を得る。
2．材料及び規格	1）　実習用家具本体及び附属するステンレス流し、ならびにコンロ台等の材料及び規格は、G－100，G－701による。
3．仕上及び塗装	1）　ステンレス鋼板表面は、＃300以上のバフ研磨仕上とする。
4．製　作	1）　ステンレスの溶接は、直流アルゴンアーク溶接とする。 2）　構造は十分な強度を保ち、工作は確実でなければならない。 3）　接着や溶接は確実にし、見え掛りの接合面は滑らかに仕上げなければならない。また組立は緩みを生じないように確実に締め付けなければならない。 4）　部材には適当な面をとり、手ざわりよく仕上げなければならない。 5）　錠、取手、丁番は戸締された状態で、破壊以外の方法による取りはずしができない構造とする。
5．附属金物	1）　排水トラップはオーバーフロー付の場合は、T14AOC－50VP用、その他の場合はT14A－50VP用とし、ゴミ収納器付とする。 2）　小ネジ、ナット等は、日本工業規格（JIS）に適合したもの、合成樹脂はその用途に適合したものとする。
6．組立・取付	1）　組立は工場生産とする。 2）　取付は、別途G－702図による。

名称	仕様		
縮尺		記号	G－700
設 計 年 月 日			令和2年2月
横浜市建築局			

G－700 実習用家具　共通事項

1．収納家具等の木口材及び芯材は下記による。

1．部位別の表面材と木口材は、下記リスト表より選定するものとする。

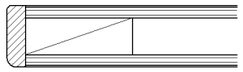
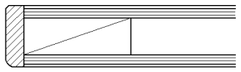
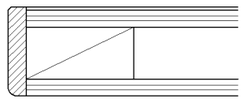
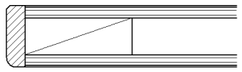
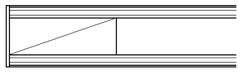
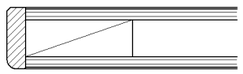
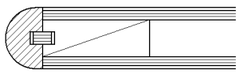
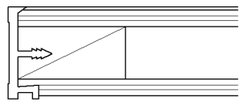
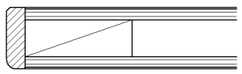
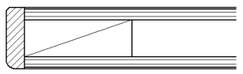
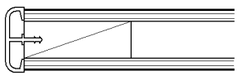
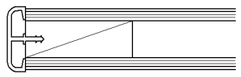
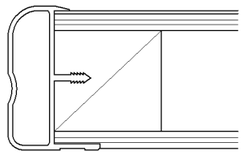
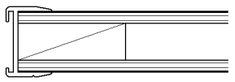
尚リスト表に記載されていないものに関しては、横浜市建築工事担当課の

承認を得るものとする。

1．芯材は原則として、リスト表によるものとする。

1．各部塗装は、国土交通省仕様を順守の事。

部位別による表面材と木口形状リスト

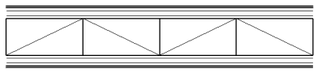
本体（枠板）	天板形状（甲板）		扉	棚板形状（可動棚）
Ⓐ ポリエステル化粧合板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓐ メラミン化粧板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓓ 耐薬品特殊アクリル系樹脂化粧板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓐ ポリエステル化粧合板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓐ ポリエステル化粧合板  木口：メラミン化粧板
Ⓑ しな合板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓑ メラミン化粧板  木口：タモ（アール加工）	Ⓔ 耐薬品特殊アクリル系樹脂化粧板  木口：樹脂成形品	Ⓑ しな合板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓑ しな合板 
Ⓒ ポリエステル化粧合板 Or しな合板  木口：塩ビエッジ	Ⓒ メラミン化粧板  木口：塩ビエッジ	Ⓕ 耐薬品特殊アクリル系樹脂化粧板  木口：アルミ成形品		Ⓒ ポリエステル化粧合板 Or しな合板  木口：アルミ成形レール

芯材リスト（凡例）

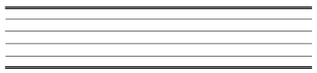
※各図面の芯材の蘭の表記は
下記による

A－1	フラッシュ

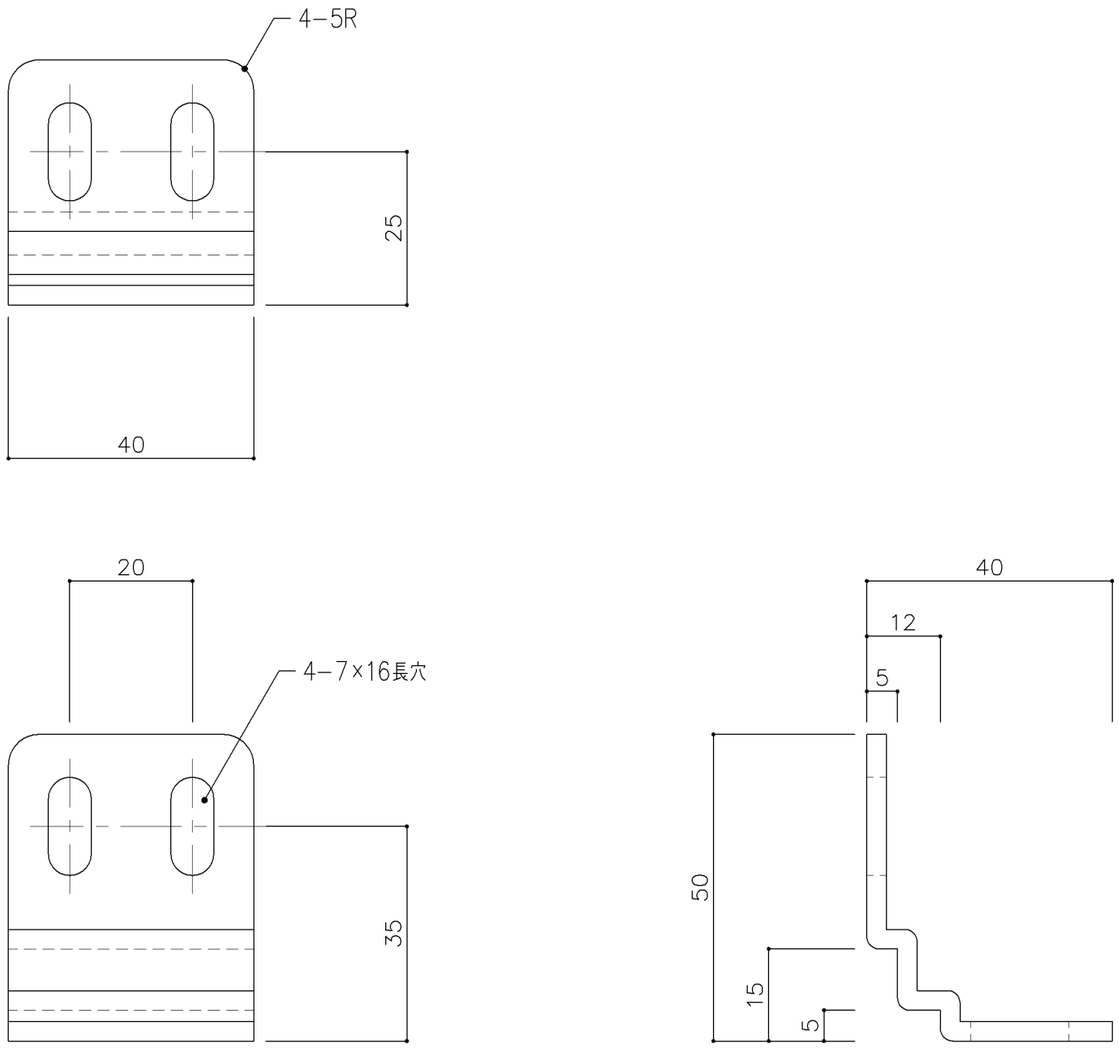
B－1	ブロックコア



C－1	ベタ芯

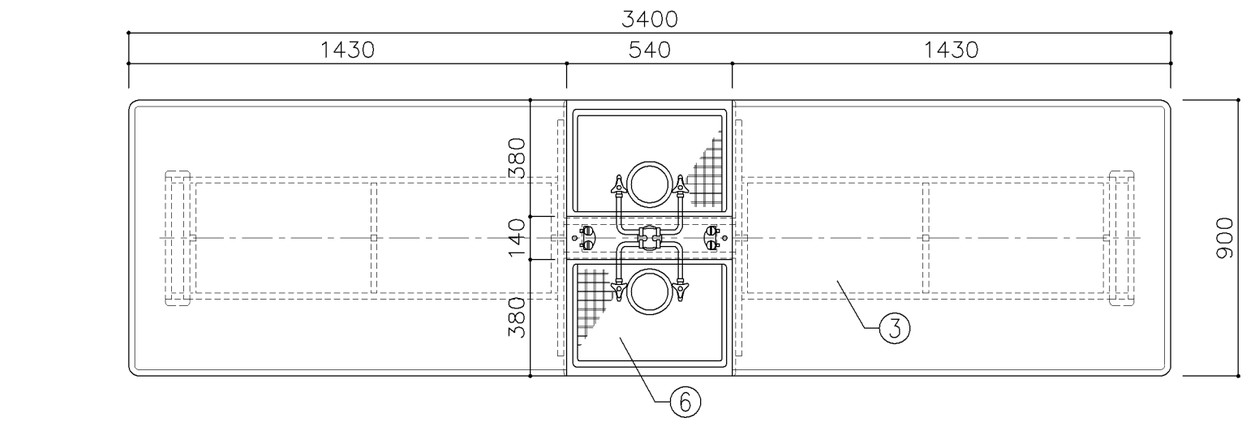


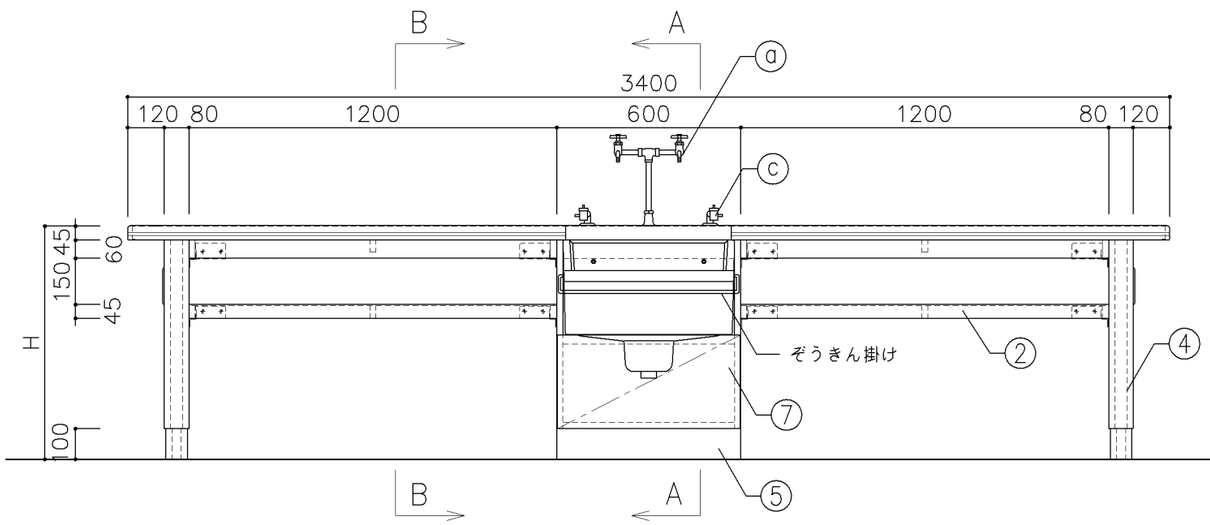
名称	共通事項		
縮尺		記号	G－701
設計年月日	令和2年2月		
横浜市建築局			



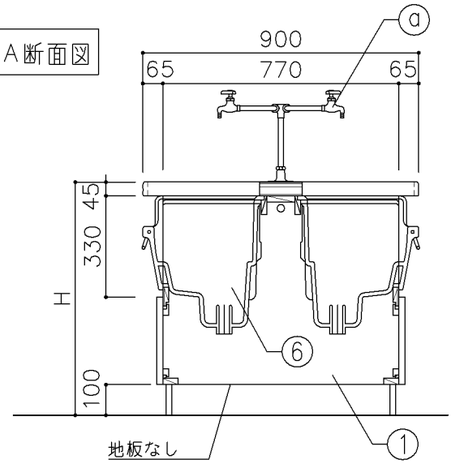
実験台　固定金具（参考図）

名称	取付仕様		
縮尺	1／1	記号	G－702
設 計 年 月 日			令和2年2月
横浜市建築局			

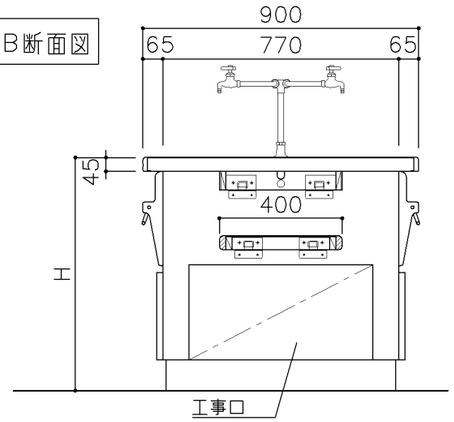


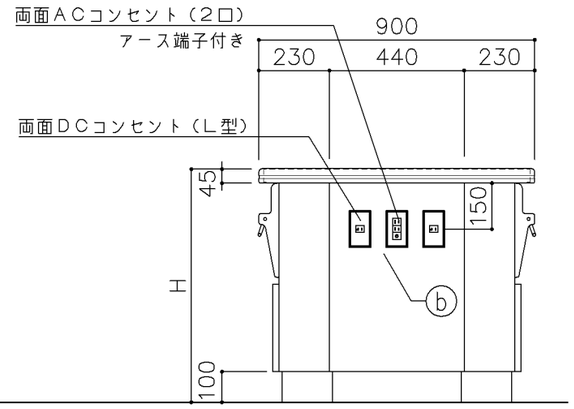


A－A断面図



B－B断面図





寸　法
A: W3,400 × D900 × H670
B: W3,400 × D900 × H760

使用箇所
A: 理科教室（小学校）
B: 理科教室（中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	天板	B−1	耐薬品特殊アクリル系樹脂化粧板	
④	脚	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	台輪		一般堅木材	着色UC
⑥	シンク		陶器流し（水切りアミ付）	
⑦	ケンドン扉	A−1	ポリエステル化粧合板	

付属器具

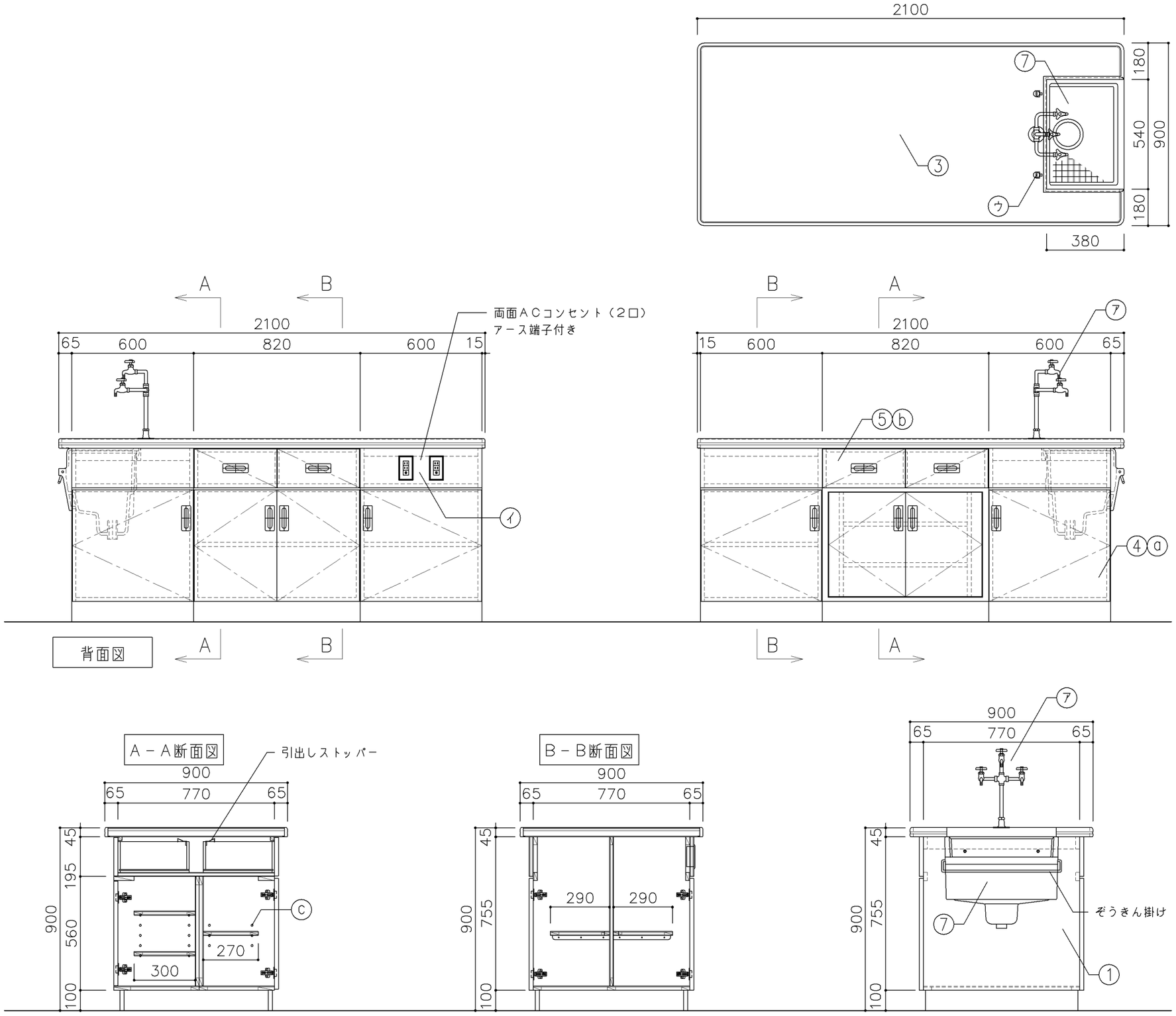
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	水栓	振分式4ツ口化学水栓 1ヵ所（設備工事）
ⓑ	コンセント	DC2P20A T型 4個（小学校廃止）
		AC100V15A 2ツ口 2個（小学校4個）
ⓒ	ガスコック	卓上型 2ツ口 2個（設備工事）
ⓓ	固定金具	

特記事項

- 木口の形状については、G−701より選定する。
- 見掛かりはポリエステル化粧合板とする。
- コンセントは、両妻設置とする。
- 設備用工事口は、パネルビス止めとする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	児童・生徒用実験台		
縮尺	1/20	記号	G−710
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局



寸　法
W2,100 × D900 × H900

使用箇所
理科教室（小学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
1	本体	A－1	ポリエステル化粧合板	
2	可動棚	A－1	ポリエステル化粧合板	
3	天板	B－1	耐薬品特殊アクリル系樹脂化粧板	
4	扉	A－1	ポリエステル化粧合板	
5	引出シ	A－1	ポリエステル化粧合板	
6	台輪		一般堅木材	着色UC
7	シンク		陶器流し（水切りアミ付）	

金　物

番号	使用箇所	名　称
a	扉	スライド丁番、国産材堀込引手
b	引出シ	引出しストッパー、国産材堀込引手
c	可動棚	棚ダボ

付属器具

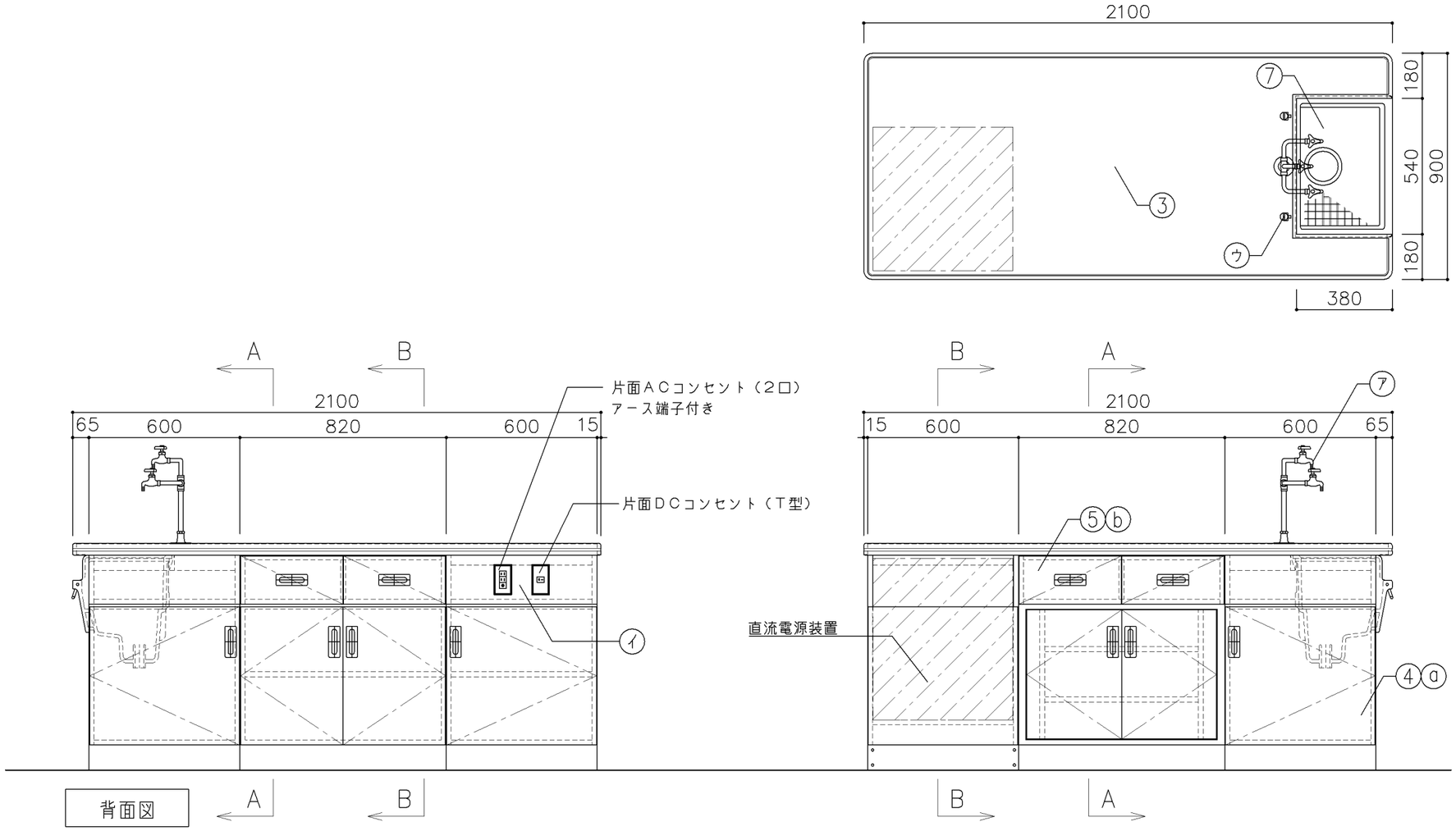
番号	使用箇所	名　称
ア	水栓	3ツ口化学水栓 1ヵ所（設備工事）
イ	ｺﾝｾﾝﾄ	AC100V15A 2ツ口 2個
ウ	ｶﾞｽｺｯｸ	卓上型 1ツ口 2個（設備工事）
エ	固定金具	

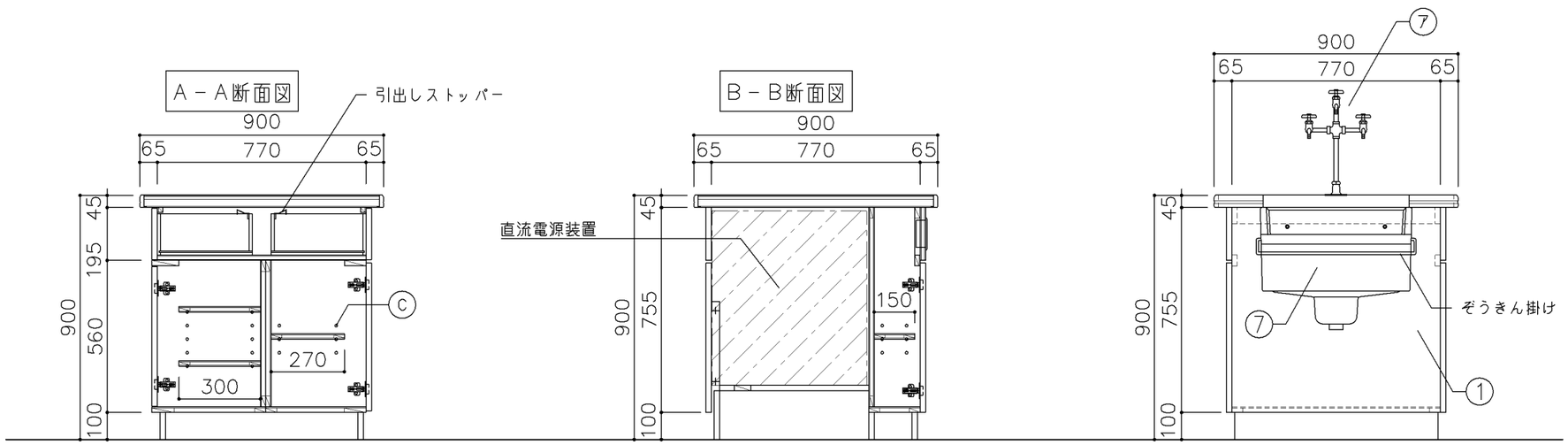
特記事項

- 木口の形状については、G－701より選定する。
- 見掛かりはポリエステル化粧合板とする。
- 設備用工事口は、パネルビス止めとする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	教師用操作卓		
縮尺	1/20	記号	G－711A
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局





寸　法
W2,100 × D900 × H900

使用箇所
理科教室（中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	可動棚	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	天板	B−1	耐薬品特殊アクリル系樹脂化粧板	
④	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	引出シ	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑥	台輪		一般堅木材	着色UC
⑦	シンク		陶器流し（水切りアミ付）	

金　物

番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	スライド丁番、国産材堀込引手
ⓑ	引出シ	引出しストッパー、国産材堀込引手
ⓒ	可動棚	棚ダボ

付属器具

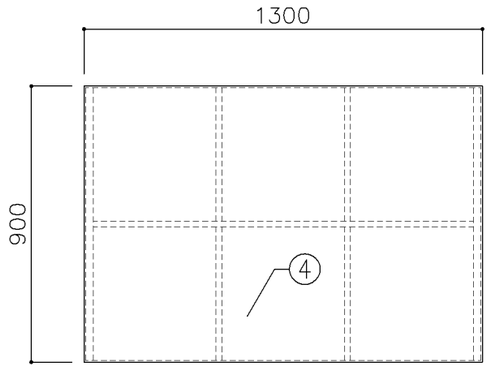
番号	使用箇所	名　称
ア	水栓	３ツ口化学水栓 1ヵ所（設備工事）
イ	ｺﾝｾﾝﾄ	ＤＣ２Ｐ２０Ａ Ｔ型 1個
		ＡＣ100Ｖ15Ａ ２ツ口 1個
ウ	ｶﾞｽｺｯｸ	卓上型 1ツ口 2個（設備工事）
エ	固定金具	

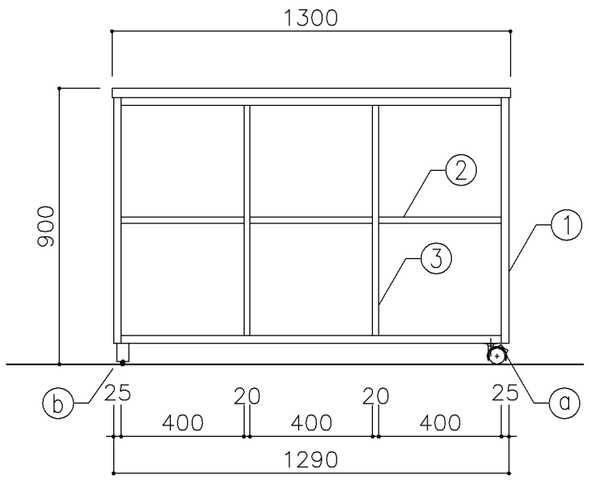
特記事項

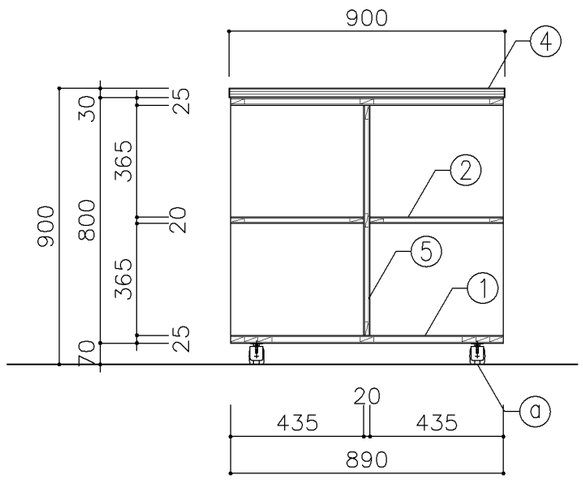
- 木口の形状については、G−701より選定する。
- 見掛かりはポリエステル化粧合板とする。
- 設備用工事口は、パネルビス止めとする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	教師用操作卓		
縮尺	1/20	記号	G−711B
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局







寸　法
W1,300 × D900 × H900

使用箇所
理科教室（小・中学校）
多目的室（水廻り学習等）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	中仕切	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	天板	B−1	耐薬品特殊アクリル系樹脂化粧板	
⑤	裏板	A−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

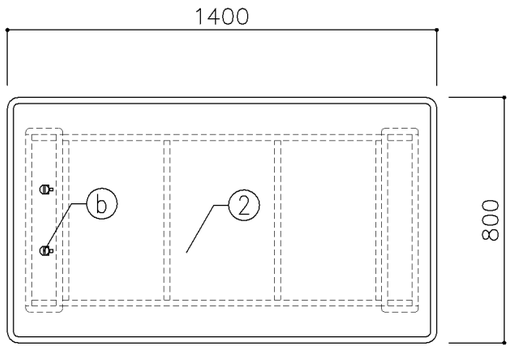
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	脚	キャスター（ストッパー付）
		50kg耐荷重
ⓑ	脚	ゴム脚

特記事項

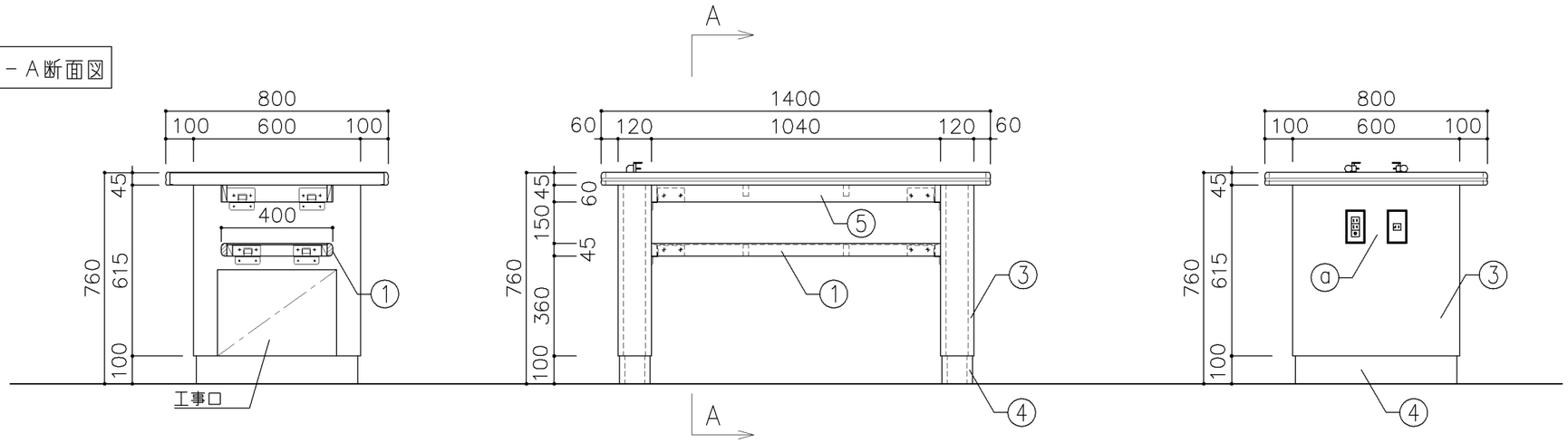
- 木口の形状については、G−701より選定する。
- 見掛かりはポリエステル化粧合板とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	移動式教師用机		
縮尺	1/20	記号	G−712
設 計 年 月		令和2年2月	

横浜市建築局



A－A断面図



寸　法
W1,400 × D800 × H760

使用箇所
理科準備室（小・中学校）
理科準備室（2室タイプ）（中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	棚板	A－1	ポリエステル化粧合板	
②	天板	B－1	耐薬品特殊アクリル系樹脂化粧板	
③	脚	A－1	ポリエステル化粧合板	
④	台輪		一般堅木材	着色UC
⑤	幕板	A－1	ポリエステル化粧合板	

付属器具

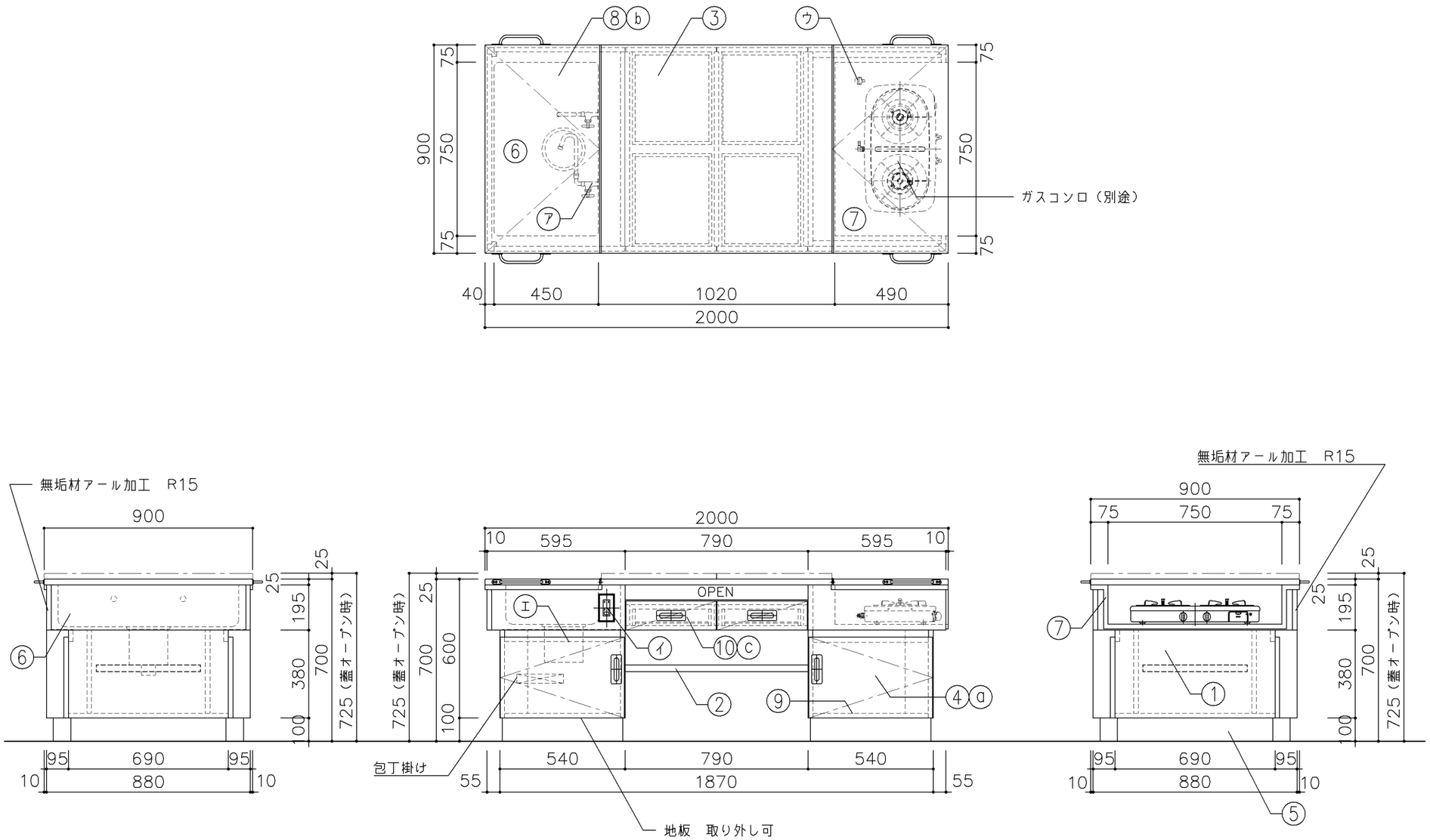
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	ｺﾝｾﾝﾄ	DC2P20A T型 1個
		AC100V15A 2ﾂﾛ 1個
ⓑ	ｶﾞｽｺｯｸ	卓上型 1ﾂﾛ 2個（設備工事）
ⓒ	固定金具	

特記事項

- 木口の形状については、G－701より選定する。
- 見掛かりはポリエステル化粧合板とする。
- コンセントは、両妻設置とする。
- 設備用工事口は、パネルビス止めとする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	実験台		
縮尺	1/20	記号	G－713
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局



寸　法
W2,000 × D900 × H725
※H寸法は蓋を開けた状態を示す

使用箇所
家庭科教室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	天板	B−1	メラミン化粧板	
④	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	台輪		一般堅木材	着色UC
⑥	シンク		SUS304−1.0t	
⑦	コンロ台		SUS304−1.0t	
⑧	蓋	B−1	メラミン化粧板	
			裏面：SUS304−1.0t	
			木口：挽板t4貼り	
⑨	底板	A−1	SUS304−0.8t	
⑩	引出シ		ポリエステル化粧合板	

金　物

番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	スライド丁番、国産材堀込引手
ⓑ	蓋	ステンレスピアノ丁番、ステンレス引手
ⓒ	引出シ	引出しストッパー、国産材堀込引手

付属器具

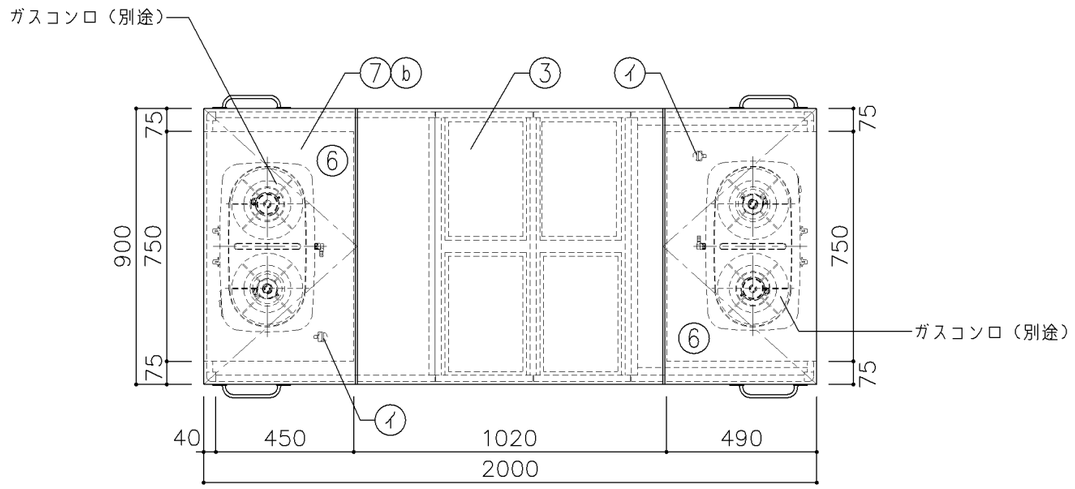
番号	使用箇所	名　称
㋐	水栓	折りタタミ自在水栓 2個（設備工事）
㋑	コンセント	AC100V15A 2ツロ 2個
㋒	ガスコック	卓上型 1ツロ 1個（設備工事）
㋓	トラップ	MK−P1(2724)　ゴミ収納器付
㋔	固定金具	

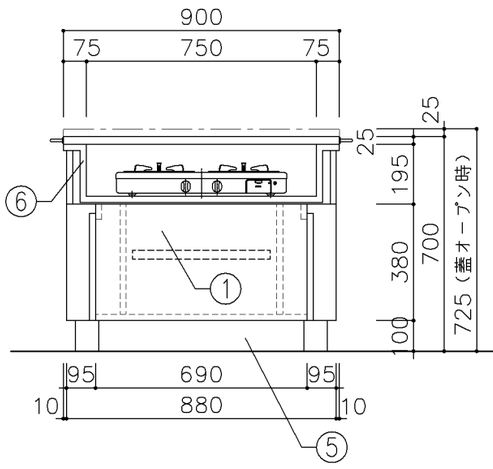
特記事項

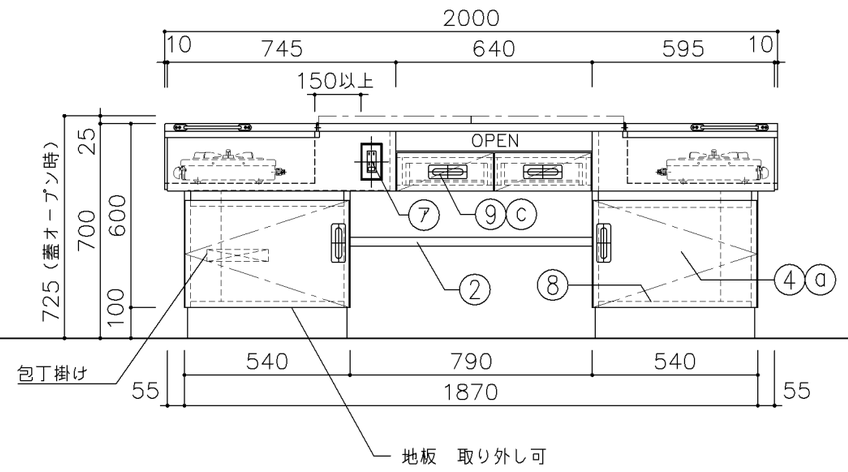
- 木口の形状については、G−701より選定する。
- 主材はポリエステル化粧合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

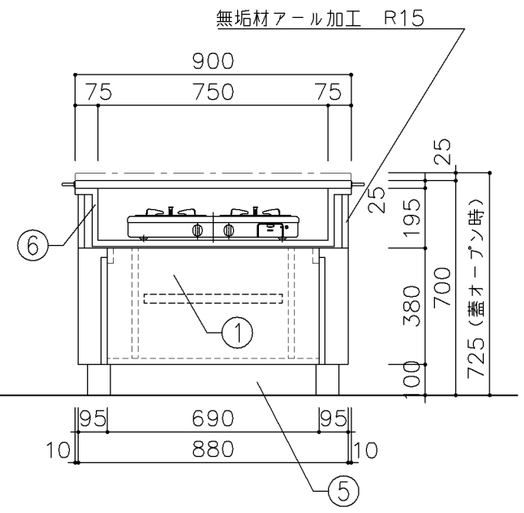
名称	児童用調理台（教師兼児童用調理台）		
縮尺	1/20	記号	G−720A
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局









寸　法
W2,000 × D900 × H725
※H寸法は蓋を開けた状態を示す

使用箇所
家庭科教室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	天板	B−1	メラミン化粧板	
④	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	台輪		一般堅木材	着色UC
⑥	コンロ台		SUS304−1.0ｔ	
⑦	蓋	B−1	メラミン化粧板	
			裏面：SUS304−1.0ｔ	
			木口：挽板ｔ4貼り	
⑧	底板	A−1	SUS304−0.8ｔ	
⑨	引出シ		ポリエステル化粧合板	

金　物

番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	スライド丁番、国産材堀込引手
ⓑ	蓋	ステンレスピアノ丁番、ステンレス引手
ⓒ	引出シ	引出しストッパー、国産材堀込引手

付属器具

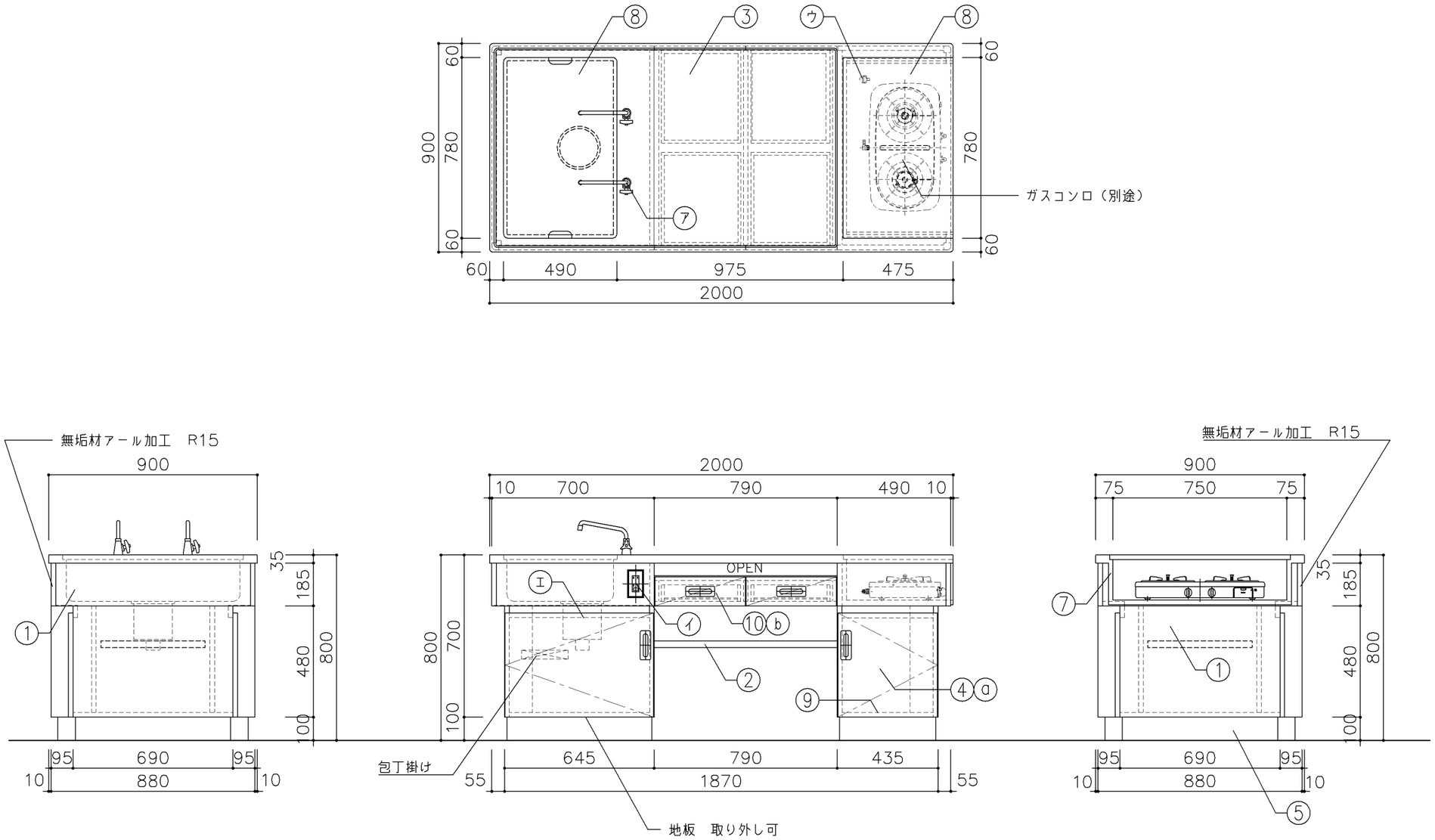
番号	使用箇所	名　称
㋐	ｺﾝｾﾝﾄ	AC100V15A 2ツ口 2個
㋑	ｶﾞｽｺｯｸ	卓上型 1ツ口 2個（設備工事）
㋒	固定金具	

特記事項

- 木口の形状については、G−701より選定する。
- 主材はポリエステル化粧合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	児童用調理台（教師兼児童用調理台）		
縮尺	1/20	記号	G−720B
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局



寸　法
W2,000 × D900 × H800

使用箇所
調理教室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	天板	A−1	SUS304−1.0t リブ付	
④	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	台輪		一般堅木材	着色UC
⑥	シンク		SUS304−1.0t	
⑦	コンロ台		SUS304−1.0t	
⑧	蓋		SUS304−1.0t	
⑨	底板	A−1	SUS304−0.8t	
⑩	引出シ		ポリエステル化粧合板	

金　物

番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	スライド丁番、国産材堀込引手
ⓑ	引出シ	引出しストッパー、国産材堀込引手

付属器具

番号	使用箇所	名　称
㋐	水栓	（設備工事）
㋑	コンセント	AC100V15A 2ツ口 2個
㋒	ガスコック	卓上型 1ツ口 1個（設備工事）
㋓	トラップ	MK−P1(2724) ゴミ収納器付
㋔	固定金具	

特記事項

- 木口の形状については、G−701より選定する。
- 主材はポリエステル化粧合板とする。
- 扉の厚みは、20mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	生徒用調理台（教師兼生徒用調理台）		
縮尺	1/20	記号	G−730
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局

G−800 雑家具 共通事項

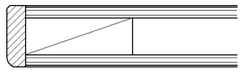
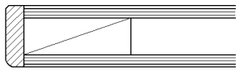
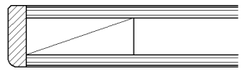
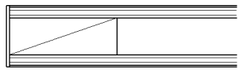
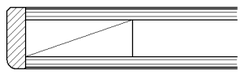
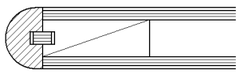
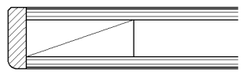
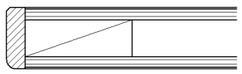
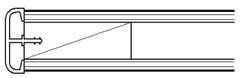
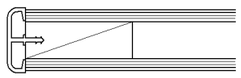
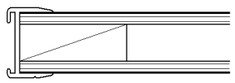
1．収納家具等の木口材及び芯材は下記による。

1．部位別の表面材と木口材は、下記リスト表より選定するものとする。
尚リスト表に記載されていないものに関しては、横浜市建築工事担当課の承認を得るものとする。

1．芯材は原則として、リスト表によるものとする。

1．各部塗装は、国土交通省仕様を順守の事。

部位別による表面材と木口形状リスト

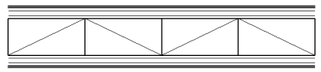
本体（枠板）	天板形状（甲板）	扉	棚板形状（可動棚）	
Ⓐ ポリエステル化粧合板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓐ メラミン化粧板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓐ ポリエステル化粧合板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓐ ポリエステル化粧合板  木口：メラミン化粧板	
Ⓑ しな合板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓑ メラミン化粧板  木口：タモ（アール加工）	Ⓑ しな合板  木口：タモ ァ6（面取加工）	Ⓑ しな合板 	
Ⓒ ポリエステル化粧合板 Or しな合板  木口：塩ビエッジ	Ⓒ メラミン化粧板  木口：塩ビエッジ		Ⓒ ポリエステル化粧合板 Or しな合板  木口：アルミ成形レール	

芯材リスト（凡例）

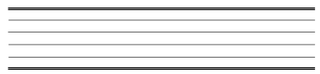
※各図面の芯材の蘭の表記は下記による

A－1	フラッシュ

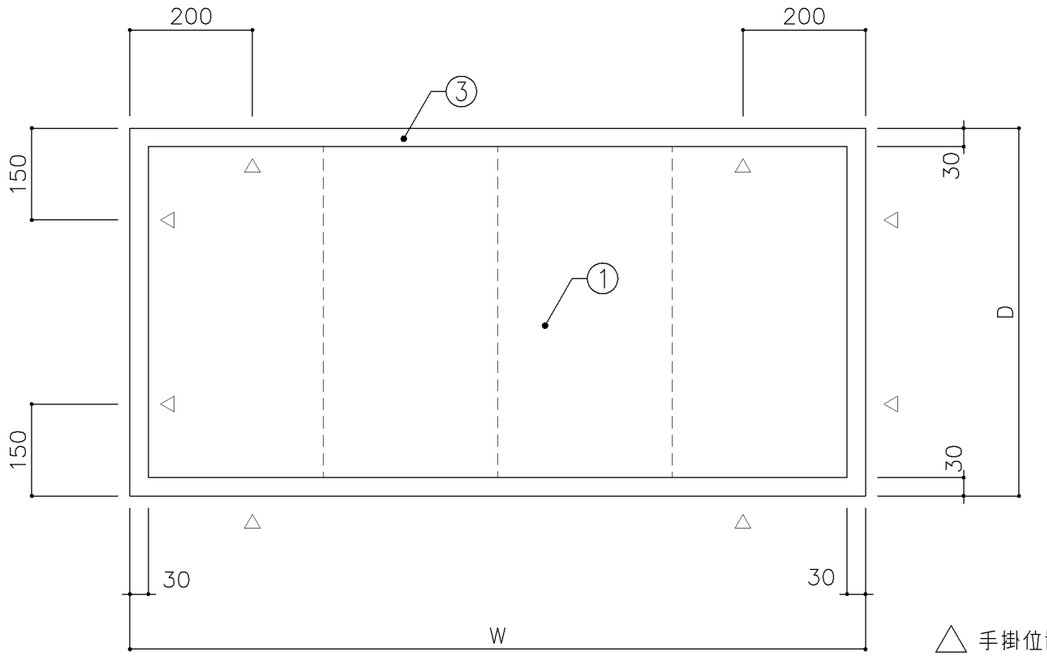
B－1	ブロックコア



C－1	ベタ芯

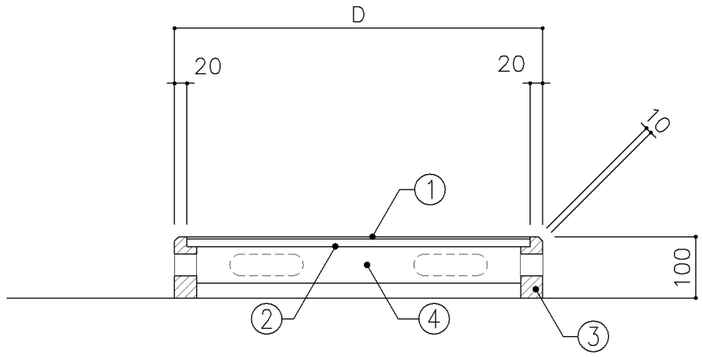


名称	共通事項		
縮尺		記号	G−800
設計年月日	令和2年2月		
横浜市建築局			

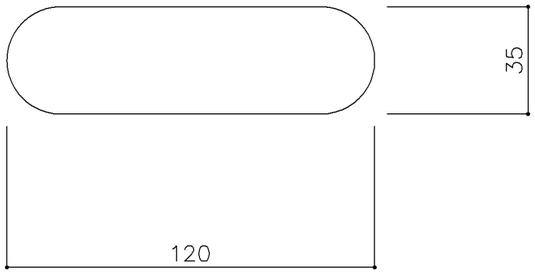


△ 手掛位置を示す

平面図



断面図



手掛詳細図 S:1／2

寸　法
A：W1,200 x D 600 x H 100
B：W1,200 x D1,000 x H 100

使用箇所
A：音楽教室
B：理科教室（小・中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	床板		A：ﾌｧ8 ﾓｻﾞｲｸﾊﾟｰｹｯﾄ張り	
			B：ﾌｧ2 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り	
②	下地材		ﾌｧ12 ﾗﾜﾝ合板（T−2）	
③	框材		ナラ集成材	UC
④	根太		60×40 @300	

金　物

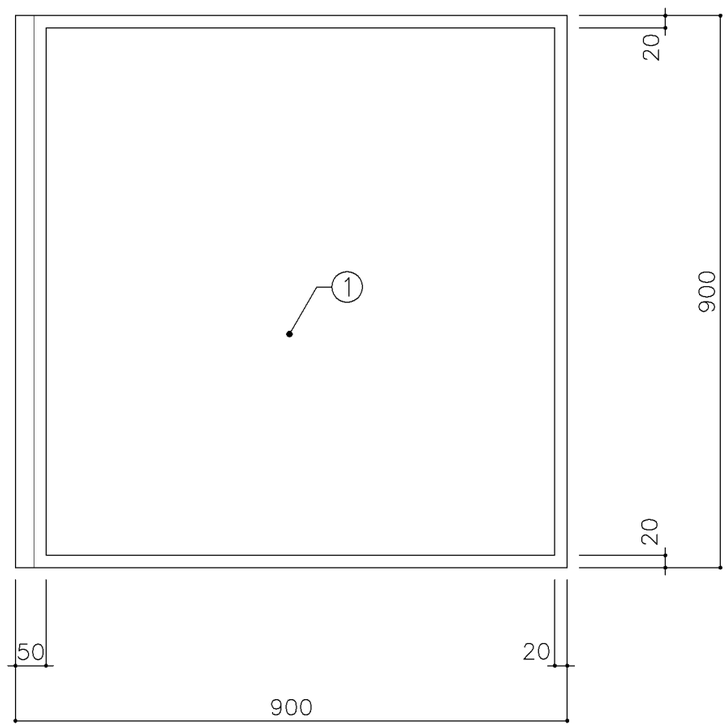
番号	使用箇所	名　称

特記事項

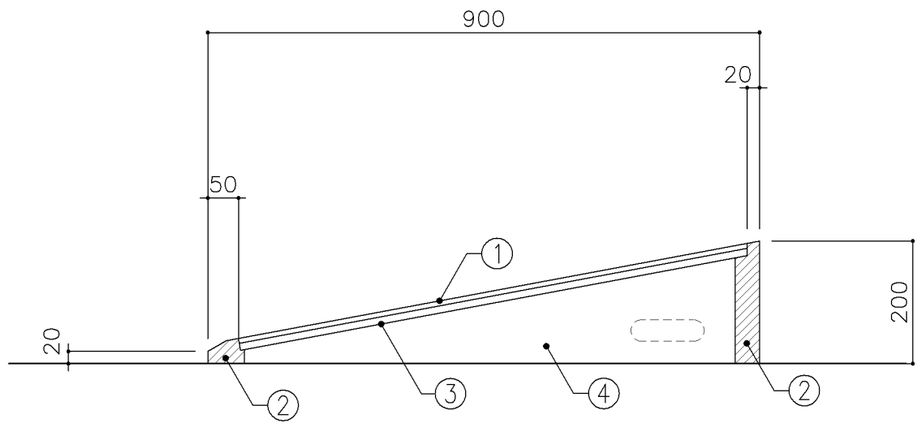
・床板は教室仕上に準ずる

名称	教壇		
縮尺	1/10	記号	G−810
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局



平面図



断面図

寸　法
W 900 x D 900 x H 200

使用箇所
多目的室（集会・発表等）小学校

仕　様

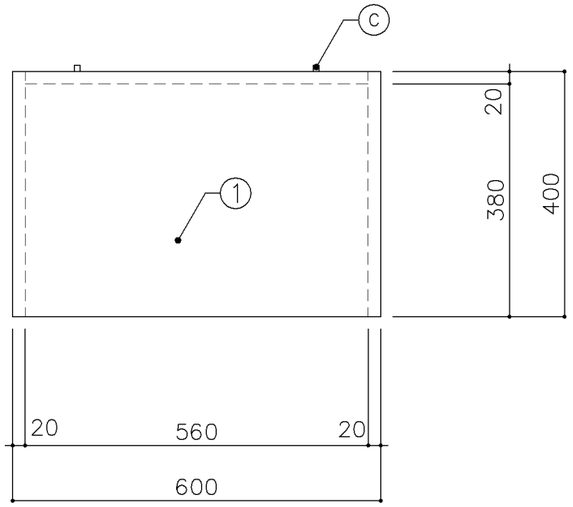
番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	床板		ﾌｧ8 ﾓｻﾞｲｸﾊﾞｰｸｯﾄ張り	
②			ﾗﾜﾝ積層材	UC
③	下地板		ﾌｧ9 ﾗﾜﾝ合板（T−2）	
④			ﾌｧ9 ﾗﾜﾝ合板（T−2）	
⑤			ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｽｺｯﾁﾃｰﾌﾟ張り	
			W=30 @≒100	

金　物

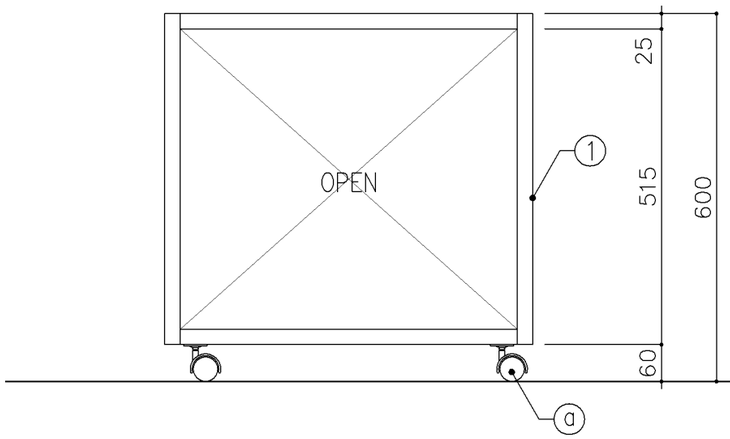
番号	使用箇所	名　称

特記事項

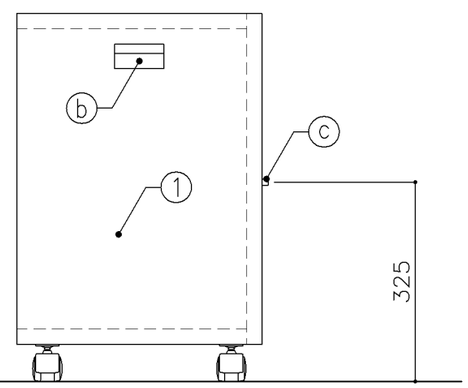
名称	可動式スロープ		
縮尺	1/10	記号	G−811
設計年月		令和2年2月	
横浜市建築局			



平面図



正面図



側面図

寸　法
W 400 x D 600 x H 600

使用箇所
家庭科教室、被服教室（多目的）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	耐磨耗シート消臭化粧板	

金　物

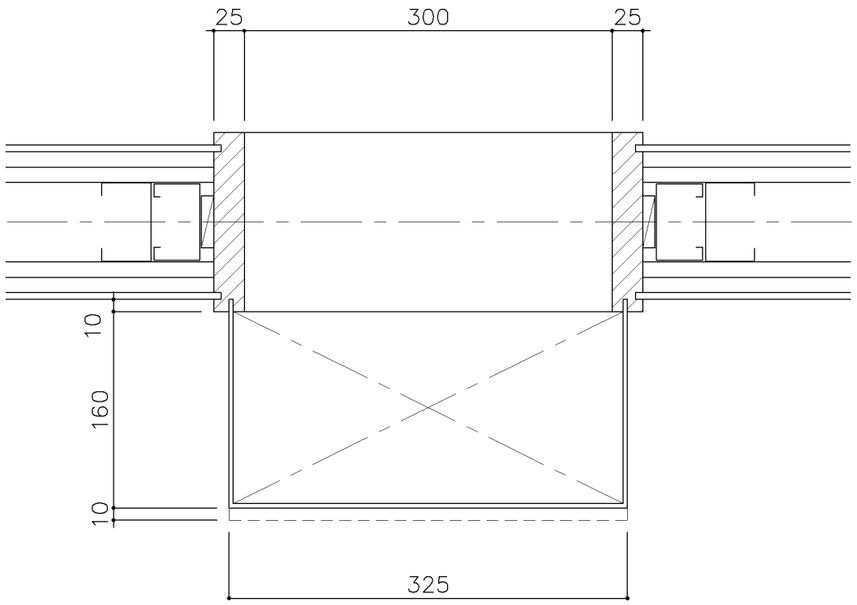
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	本体	ナイロン樹脂キャスター 30Kg用（ストッパー付）
ⓑ	本体	手掛（埋込型）
ⓒ	本体	戸当りゴム 10φ 2個

特記事項

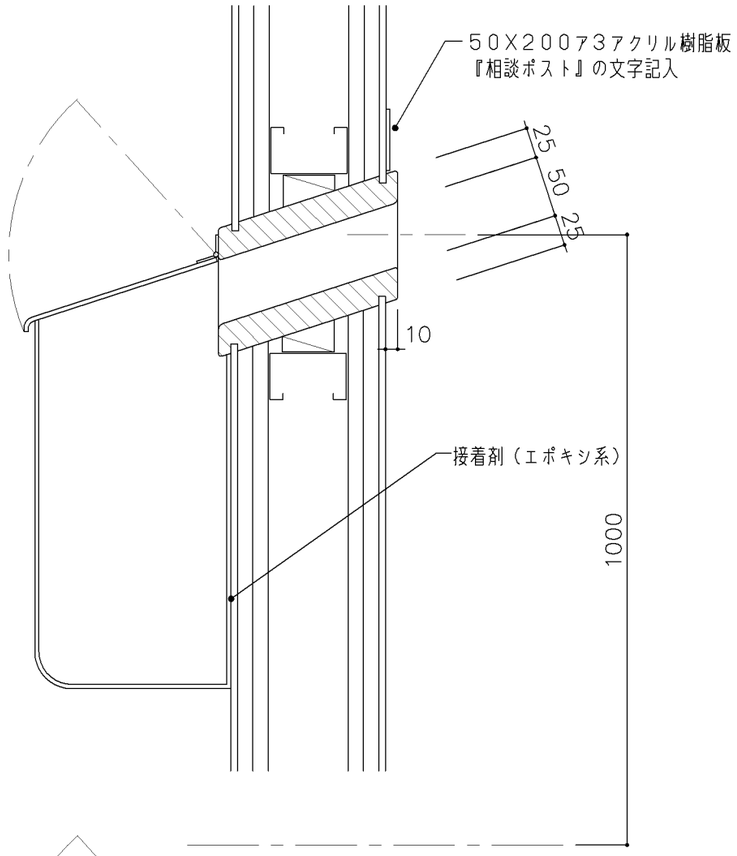
・木口の形状については、G−800より選定する。

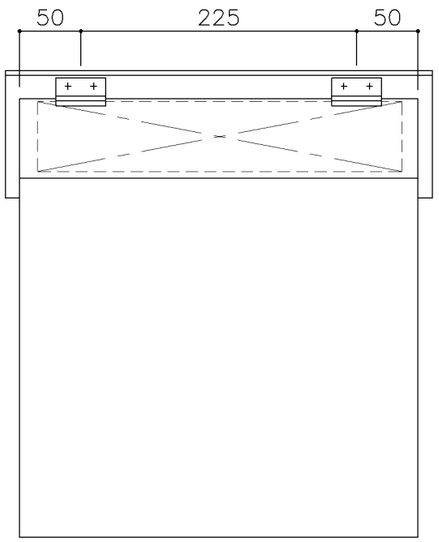
名称	ミシン収納ケース		
縮尺	1/10	記号	G−812
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局

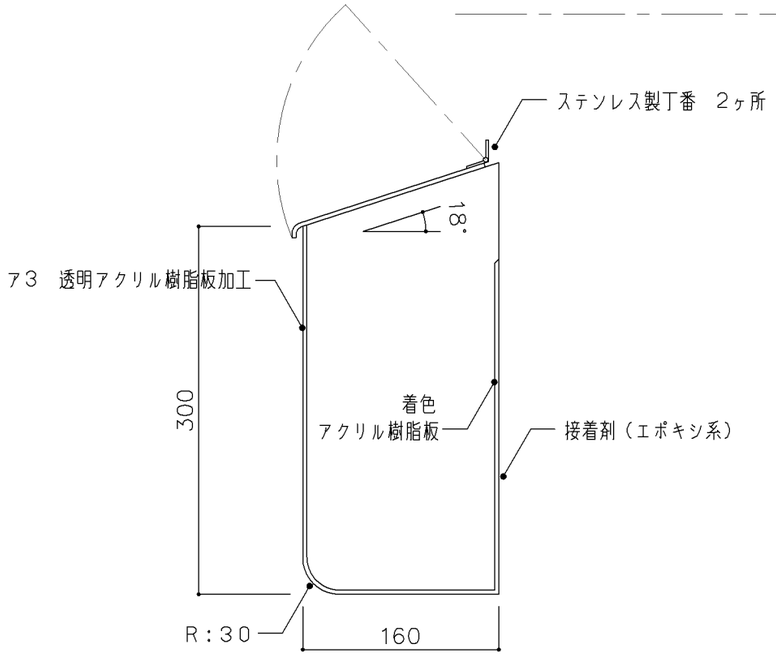


平面図





立面図



断面図

寸　法
W 325 x D 160 x H 300

使用箇所
教育相談室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
			図示による	

金　物

番号	使用箇所	名　称
		図示による

特記事項

名称	相談ポスト		
縮尺	1/5	記号	G−813
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局

日本十進分類表（NDC）

000	総　記	400	自然科学	800	語　学
010	図書館	410	数　学	810	日本語
020	図書・書誌学	420	物理学	820	中国語・東洋諸語
030	百科事典	430	化　学	830	英　語
040	一般論文集・講演集	440	天文学・宇宙化学	840	ドイツ語
050	逐次刊行物・年鑑	450	地球科学・地学	850	フランス語
060	学会・博物館	460	生物化学・生物学	860	スペイン語
070	新聞・ジャーナリズム	470	植物学	870	イタリア語
080	叢書・全集	480	動物学	880	ロシア語
090	貴重書、郷土資料	490	医学・薬学	890	その他諸語
100	哲　学	500	工学・技術・工業	900	文　学
110	哲学各論	510	土木工学	910	日本文学
120	東洋思想	520	建築学	920	中国文学・東洋文学
130	西洋哲学	530	機械工学・原子力工業	930	英米文学
140	心理学	540	電気工学・電子工学	940	ドイツ文学
150	倫理学	550	海事工学	950	フランス文学
160	宗　教	560	採鉱冶金学	960	スペイン文学
170	神　道	570	化学工業	970	イタリア文学
180	仏　教	580	製造工業	980	ロシア文学
190	キリスト教	590	家事・家政学・生活科学	990	その他諸国文学
200	歴　史	600	産　業		
210	日　本	610	農業・農学		
220	アジア	620	園芸・造園		
230	ヨーロッパ	630	蚕糸業		
240	アフリカ	640	畜産業・獣医学		
250	北アメリカ	650	林　業		
260	南アメリカ	660	水産業		
270	オセアニア	670	商業・広告		
280	伝　記	680	交通・交通		
290	地理・地誌・紀行	690	通信		
300	社会科学	700	芸　術		
310	政　治	710	彫　刻		
320	法　律	720	絵画、書道		
330	経　済	730	版　画		
340	財　政	740	写真・印刷		
350	統　計	750	工　芸		
360	社会学・社会問題	760	音楽・舞踊		
370	教　育	770	演劇・映画		
380	風俗習慣・民俗学	780	体育・スポーツ		
390	国防・軍事	790	諸芸・娯楽		

②

①

③

正面図

寸　法

W600　×　H900

使用箇所

図書室（中学校）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	アルミ	
②	枠	A−1	アルミ	
③	表面	A−1	アクリル焼付	

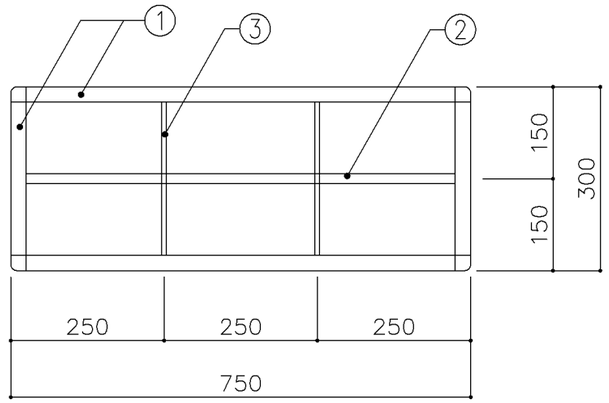
金　物

番号	使用箇所	名　称

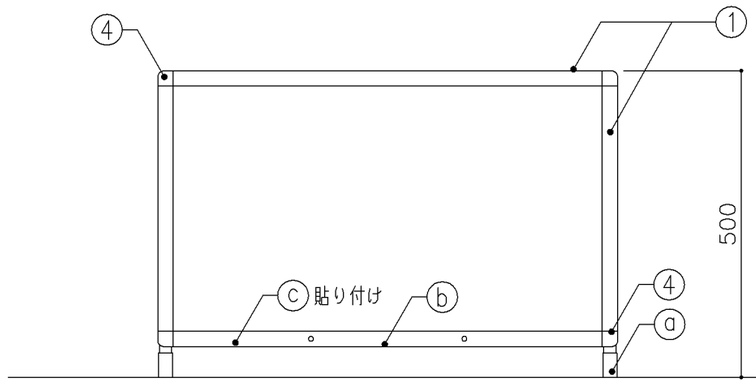
特記事項

名称	日本十進分類表示板		
縮尺	1/5	記号	G−814
設計年月	令和2年2月		

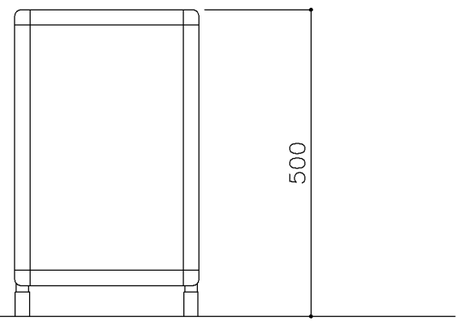
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W750 × D300 × H500

使用箇所
職員玄関

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	パイプ		SUS304 ø25	
②	パイプ		SUS304 ø16	
③	パイプ		SUS304 ø8	
④	コーナージョイント		ポリカボネード	

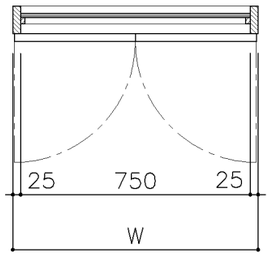
金　物

番号	使用箇所	名　称
ⓐ	ｱｼﾞｬｽﾀｰ	ポリカボネード ø23
ⓑ	水受皿	SUS430 0.8t
ⓒ	マット	塩化ビニール ア1．8

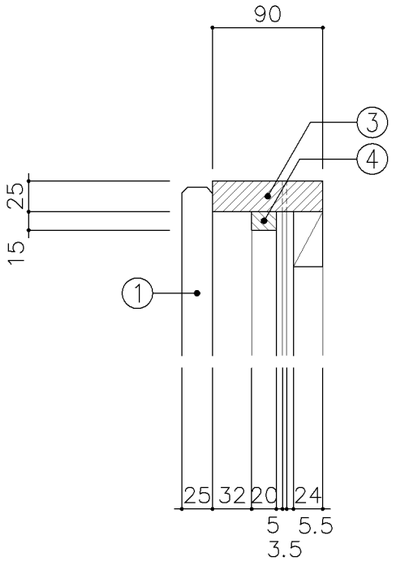
特記事項

名称	傘　立		
縮尺	1/10	記号	G−815
設 計 年 月		令和2年2月	

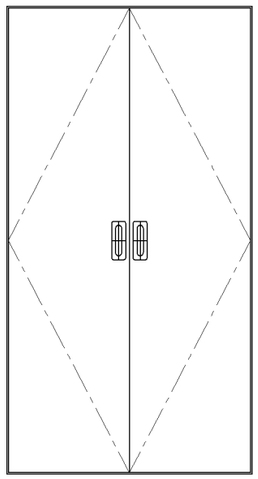
横浜市建築局



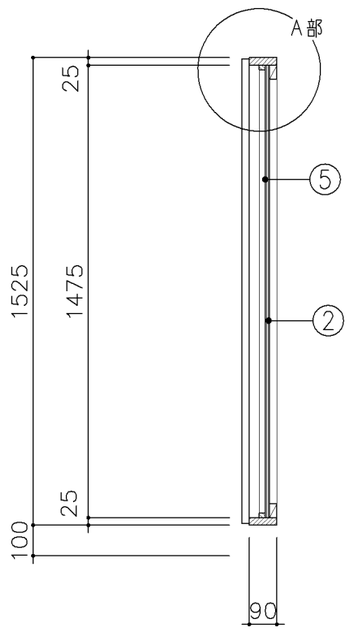
平面図 S:1/20



A部　詳細図 S:1/5



正面図 S:1/20



断面図 S:1/20

寸　法				
A：W	800	x D		x H1,525
B：W	900	x D		x H1,525

使用箇所
A：図画工作教室
B：個別支援教室（第二学習室）小・中学校

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
A				
①	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	枠		25×90　スプルス	OP
③	押縁		15×20　スプルス	OP
B				
①	扉	A−1	しな合板	
②	枠		25×90　スプルス	UC
③	押縁		15×20　スプルス	UC
共通				
④	裏板	片A−1	ラワン合板（T−1）	
⑤	鏡		ｱ5 鏡　接着併用	
⑥	胴縁		25×45 @450	
			タテ・ヨコ共　杉	

金　物

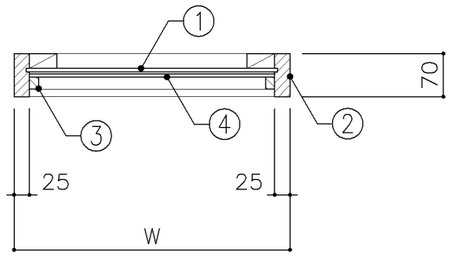
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	隠し丁番、国産材掘込取手、マグネットキャッチ

特記事項

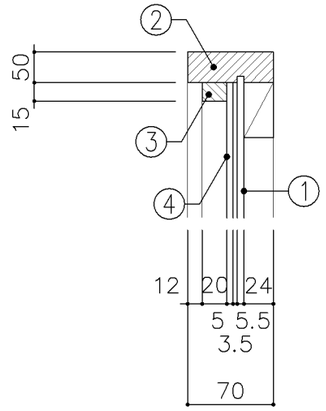
・扉の木口の形状については、G−800より選定する。

名称	姿見		
縮尺	1/5 1/20	記号	G−830
設計年月		令和2年2月	

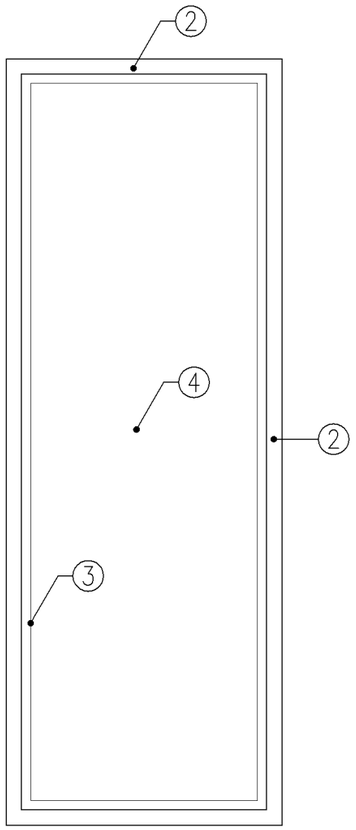
横浜市建築局



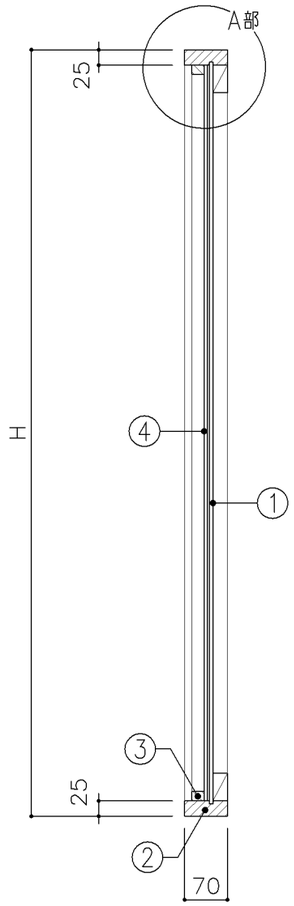
平面図



A部詳細図 S:1/5



正面図



断面図

寸　法					
A：W	400	x D		x	H 1,250
B：W	500	x D		x	H 1,500

使用箇所
A：被服教室（多目的）
B：保健室

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	裏板	片A−1	ラワン合板（T−2）	OP
②	枠		25×70 スプルス	OP
③	押縁		15×20 スプルス	
④	鏡		ｱ5 化粧鏡	

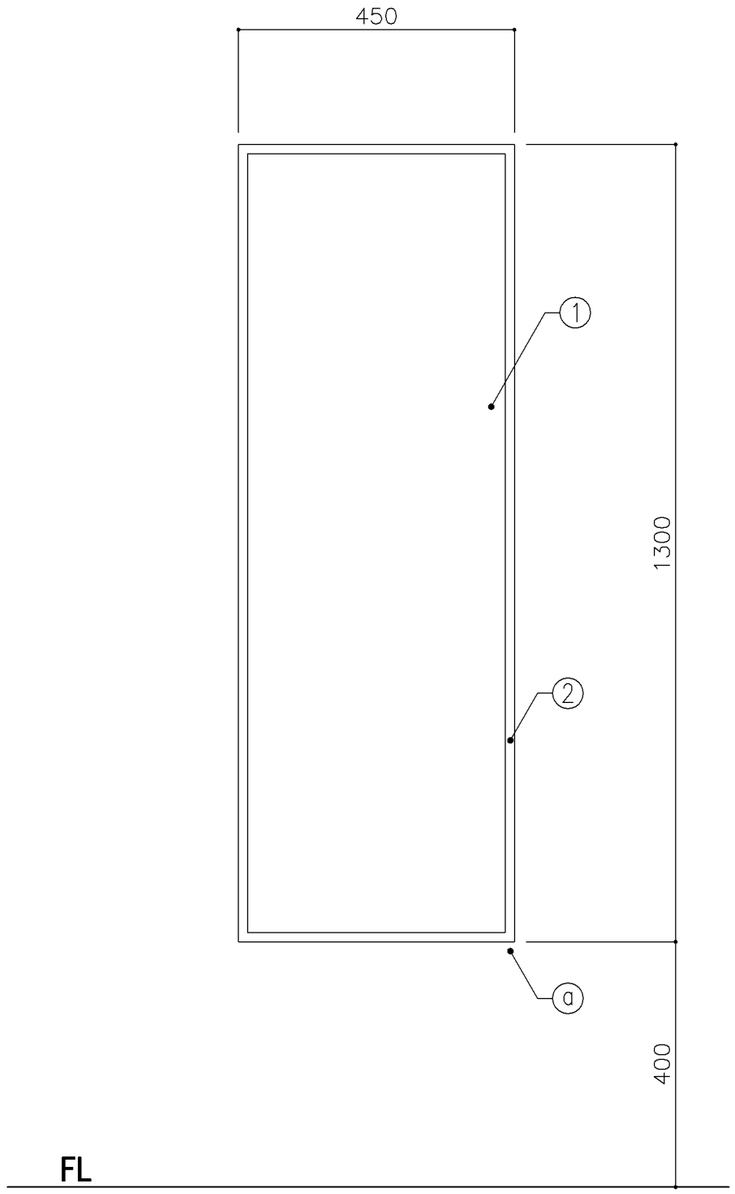
金　物

番号	使用箇所	名　称

特記事項

名称	姿見		
縮尺	1/5 1/10	記号	G−831
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局



正面図

寸　法
W 450 × D　　× H 1,300

使用箇所
生徒用便所、職員便所

仕　様

番号	名称	材　質	仕上
①	本　体	鏡 t 5.0	
②	四方枠	SUS304 t0.8HL曲加工品	

金　物

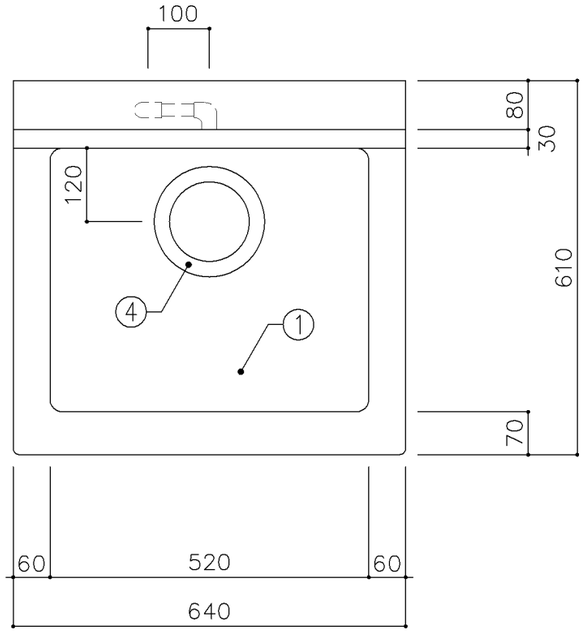
番号	名称	仕　様
ⓐ	コーナーガード	SUS304 t0.8HL曲加工品

特記事項

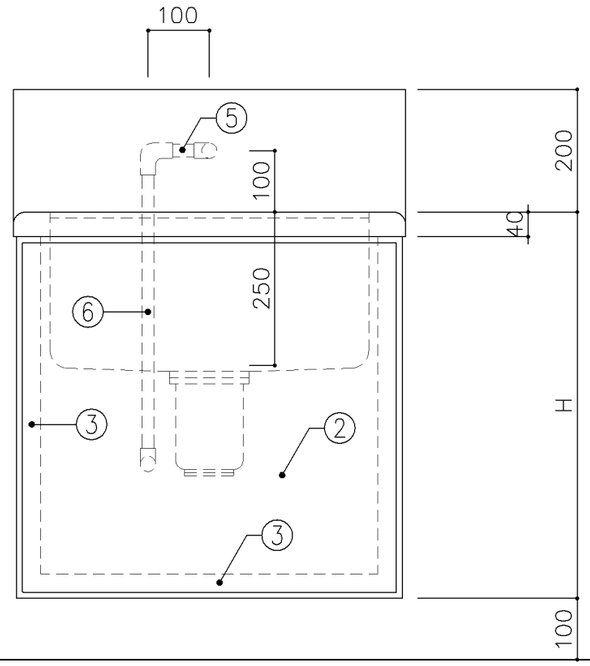
- 同程度既製品とする。
- 枠およびコーナーカバーは、R1.5程度糸面とする。
- 下枠には水抜き孔を設ける。（φ5程度×1箇所）

名称	姿見		
縮尺	1/10	記号	G−832
設 計 年 月		令和2年2月	

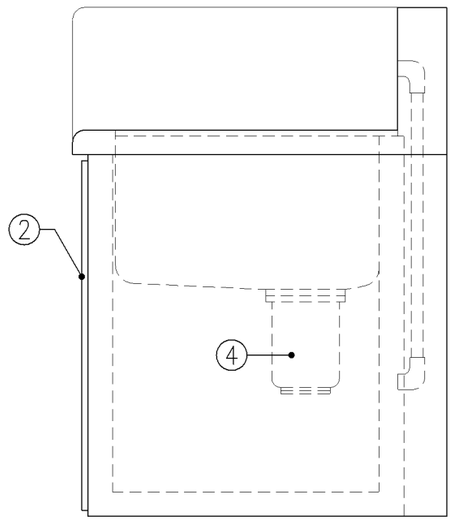
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
A：　W640　x　D610　x　H480
B：　W640　x　D610　x　H630

使用箇所
A：　プール（更衣室）（小学校）
B：　プール（更衣室）（中学校）

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304−1.0t
②	幕板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AVP用　ゴミ収納付
⑤	給水横引管	20A VA
⑥	給水竪引管	20A VA

金　物

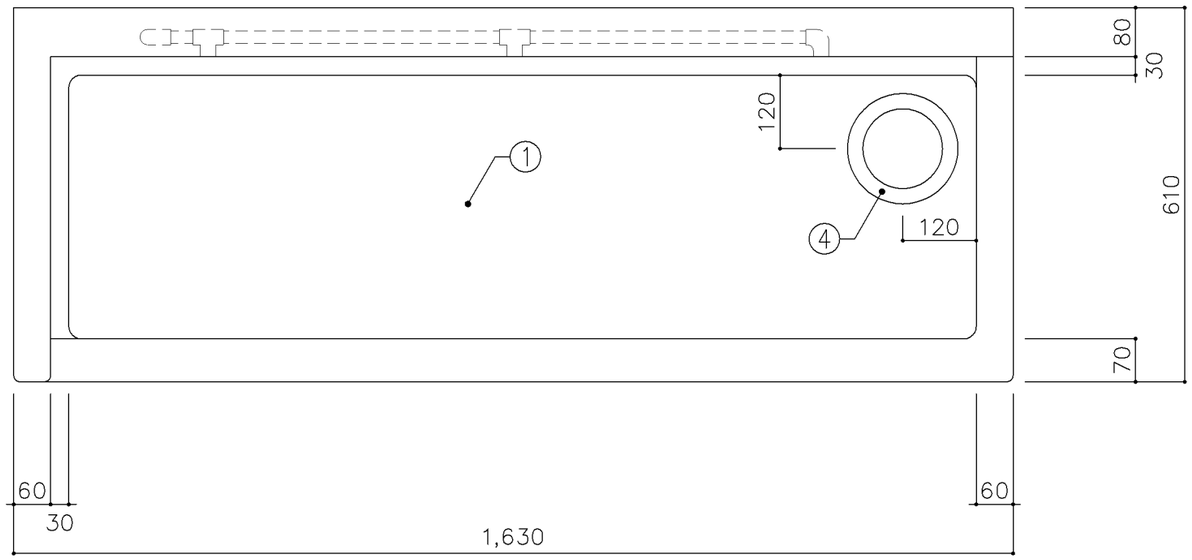
番号	使用箇所	名称

特記事項

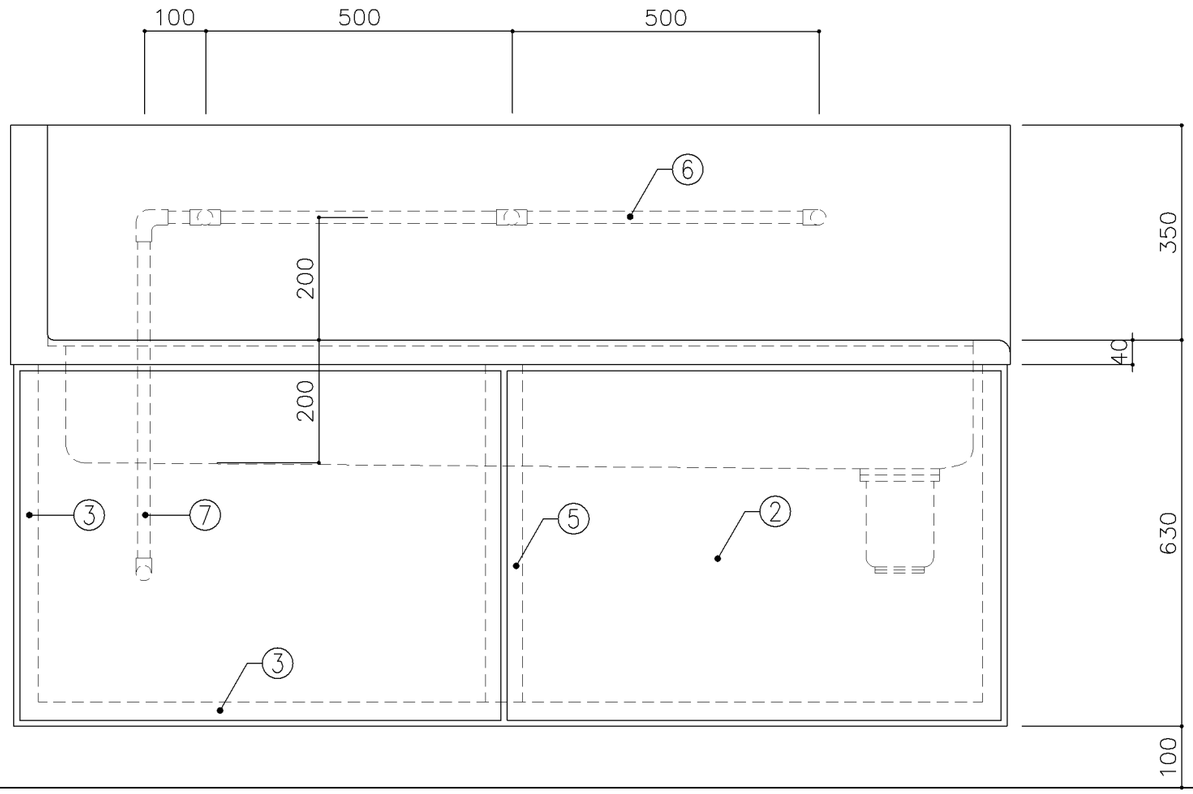
給水×1

名称	一槽手洗い流し		
縮尺	1／10	記号	G−1120
設計年月日		令和2年2月	

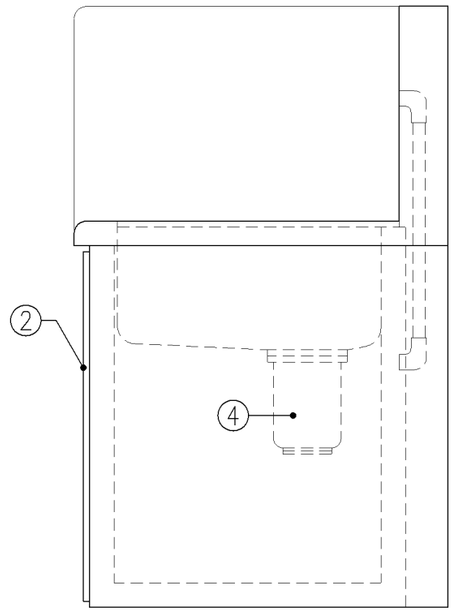
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
W1,630 x D610 x H630

使用箇所
武道場（ホール）

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304−1.0t
②	幕板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AVP用　ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430−1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水竪引管	20A VA

金　物

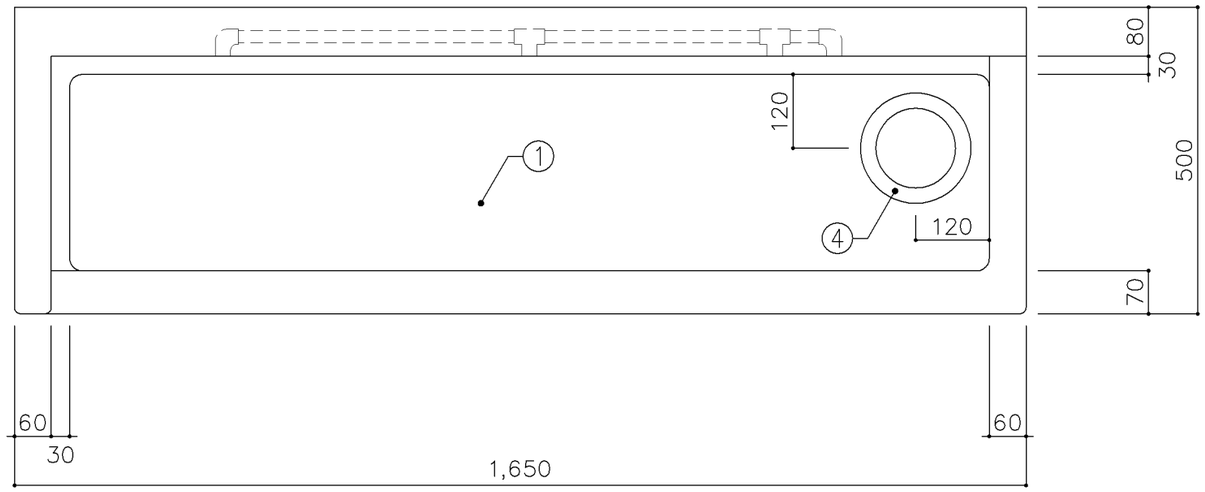
番号	使用箇所	名称

特記事項

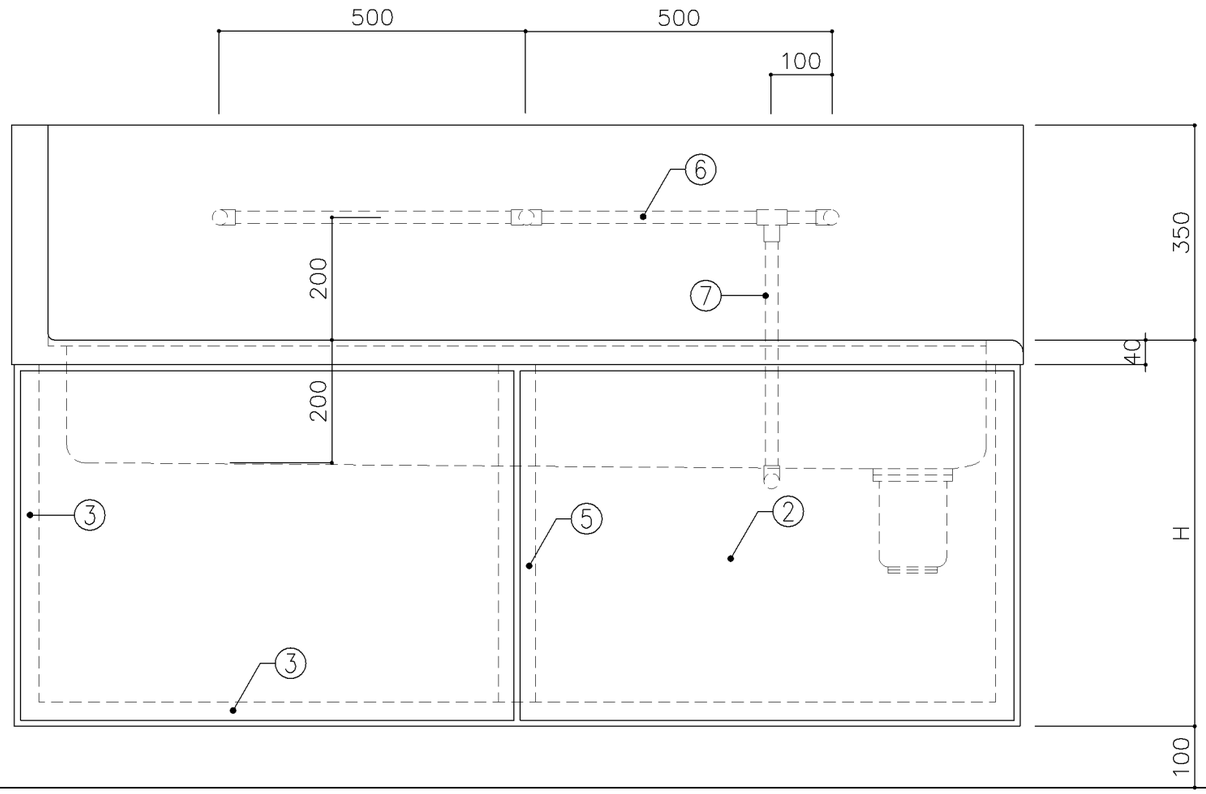
給水×3

名称	一槽手洗い流し		
縮尺	1/10	記号	G−1121
設計年月日		令和2年2月	

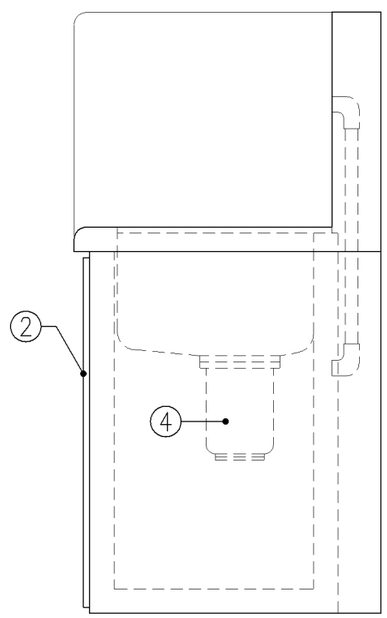
横浜市建築局



平面図



正面図



側面図

寸　法
A：　W1,650　x　D500　x　H480
B：　W1,650　x　D500　x　H630

使用箇所
A：　屋内運動場改修
B：　部室

仕　様

番号	名称	材質
①	甲板・水槽	SUS 304−1.0t
②	幕板	SUS 304−1.0t
③	骨組	SUS 430−L3×40×40
④	排水トラップ	50T14AVP用　ゴミ収納付
⑤	補強材	SUS 430−1.5t×60
⑥	給水横引管	20A VA
⑦	給水竪引管	20A VA

金　物

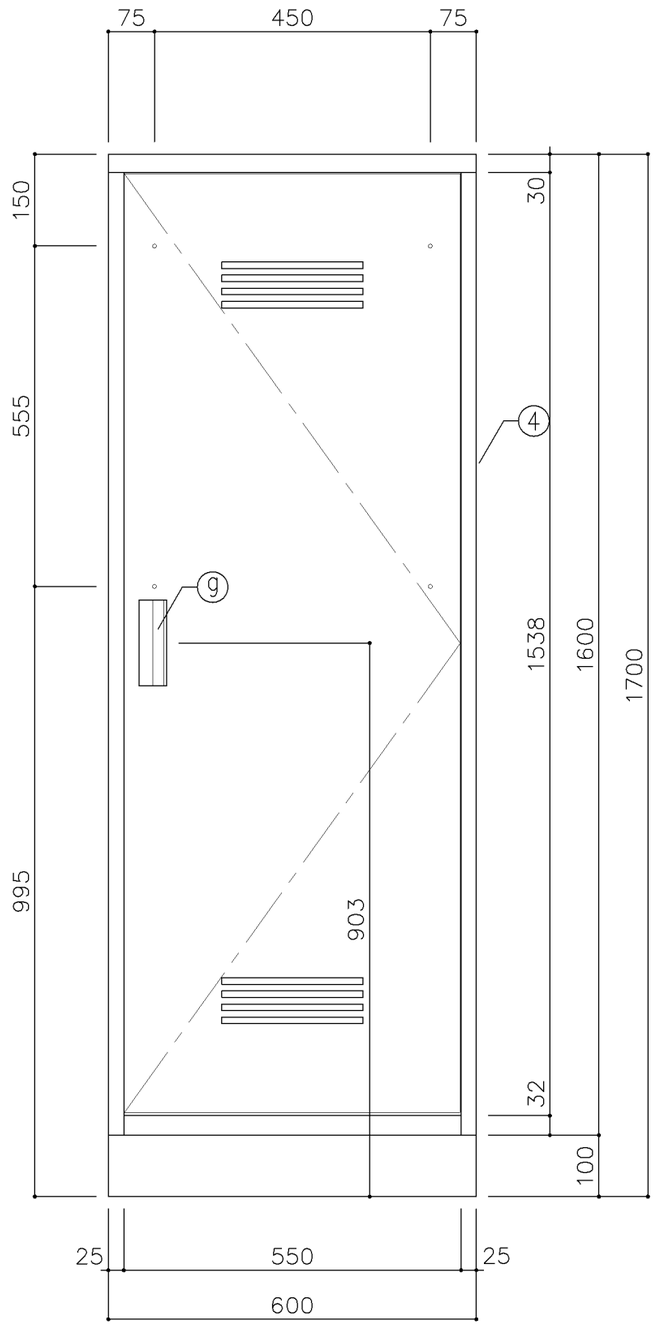
番号	使用箇所	名称

特記事項

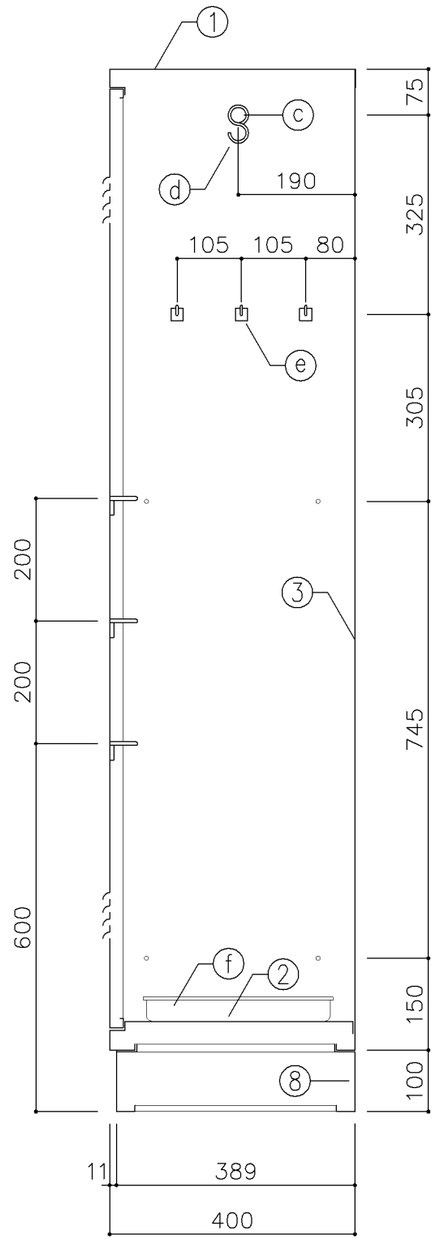
給水×3

名称	一槽手洗い流し		
縮尺	1/10	記号	G−1122
設計年月日		令和2年2月	

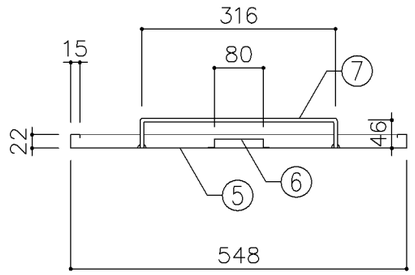
横浜市建築局



正面図



断面図



扉断面図

寸　法
W 600 x D 400 x H 1,700

使用箇所
武道場、部室

仕　様

番号	名称	材質	仕上
①	天　板	SPCC 0.8	焼付塗装
②	地　板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	裏　板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	側　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	扉　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑥	扉補強	SPCC 0.8	焼付塗装
⑦	雑巾掛	SWRM 6φ	
⑧	ベース	SPCC 1.0	
⑨	隅金具	SPCC 2.3	
⑩	ｱｼﾞｬｽﾀｰ	SWRM PE	

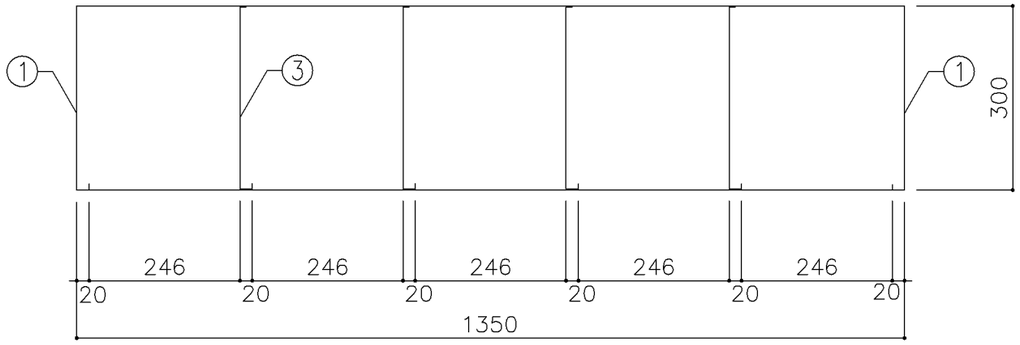
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上
ⓐ	T　番	SPCC 1.2	
ⓑ	ﾏｸﾞﾈｯﾄ		
ⓒ	ﾊﾝｶﾞｰﾊﾟｲﾌﾟ	ﾌﾗｯﾄﾊﾟｲﾌﾟ（SUS）25φ	
ⓓ	S カン	SWRM 3φ	
ⓔ	フック	ABS	
ⓕ	トレー	SUS304	
ⓖ	把　手	A6063S	

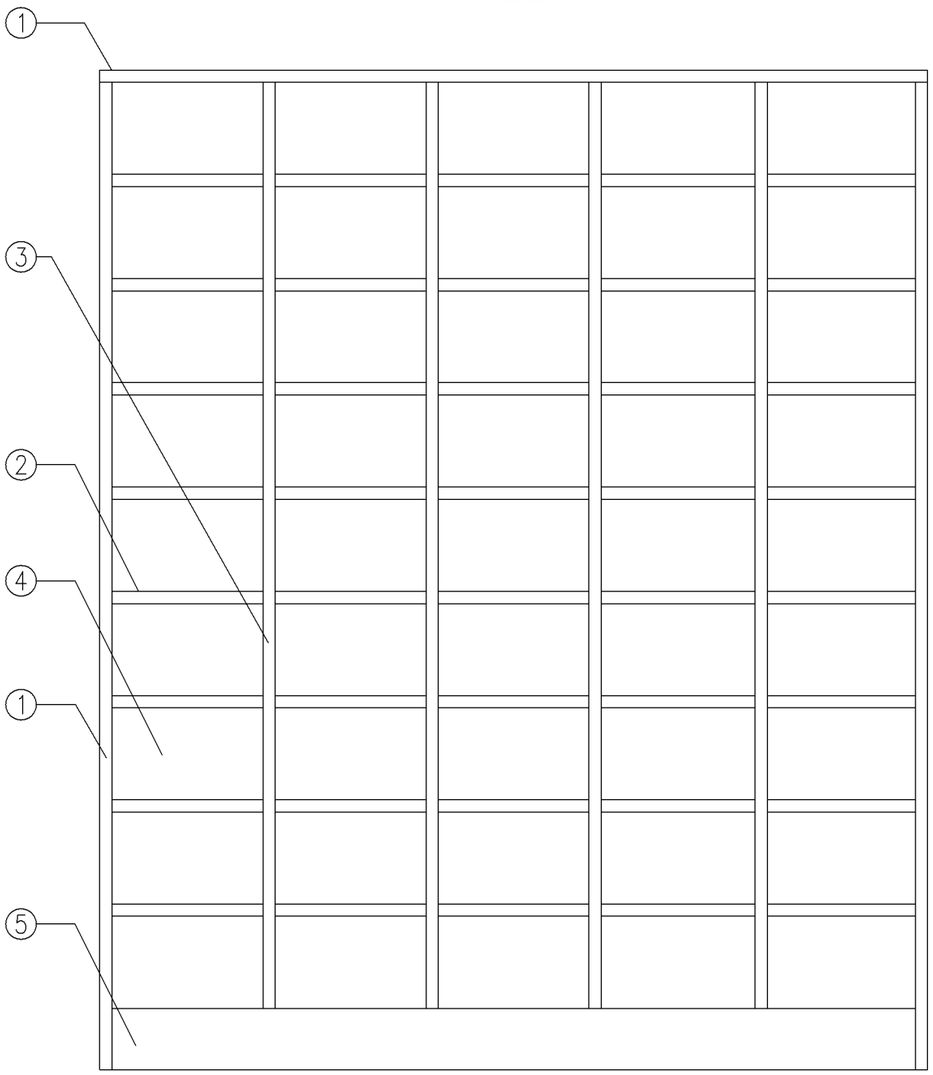
特記事項

名称	掃除用具入		
縮尺	1／10	記号	G−1280
設計年月日		令和2年2月	

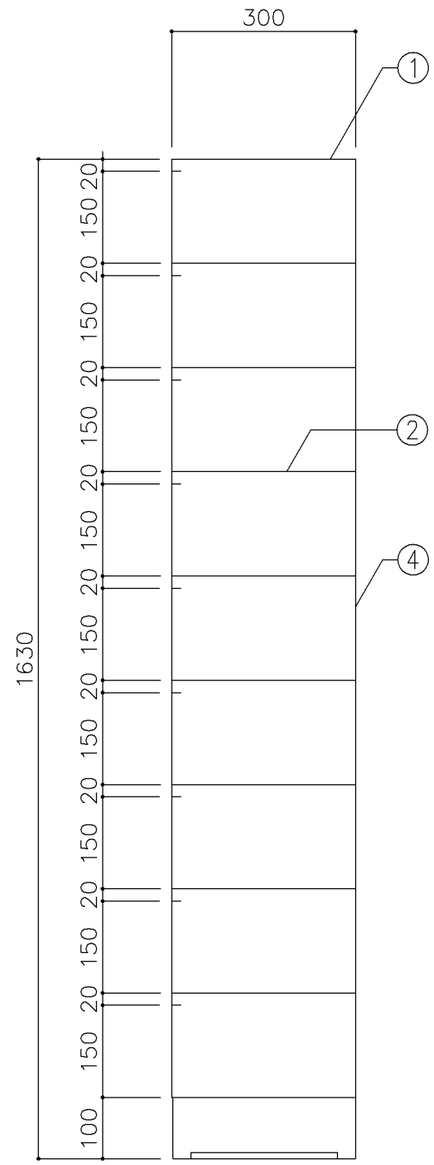
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W1,350 x D 300 x H 1,630

使用箇所
武道場（玄関）、部室（玄関）
屋内運動場（改修）

仕　様

番号	名称	材質	仕上
①	本　体	SPCC 0.8	焼付塗装
②	棚　板	SPCC 0.8	焼付塗装
③	仕切板	SPCC 0.8	焼付塗装
④	裏　板	SPCC 0.8	焼付塗装
⑤	ベース	SPCC 1.0	焼付塗装

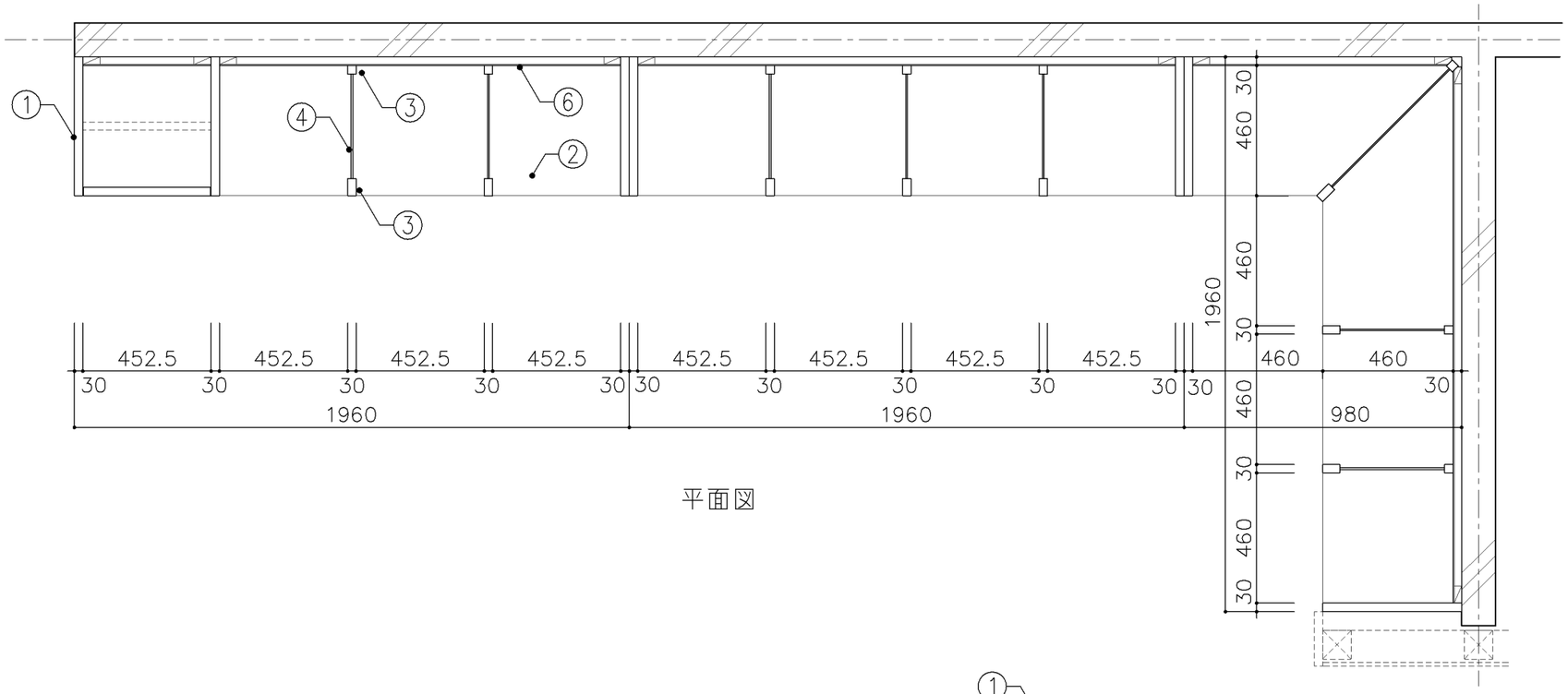
金物及びその他

番号	名称	材質	仕上

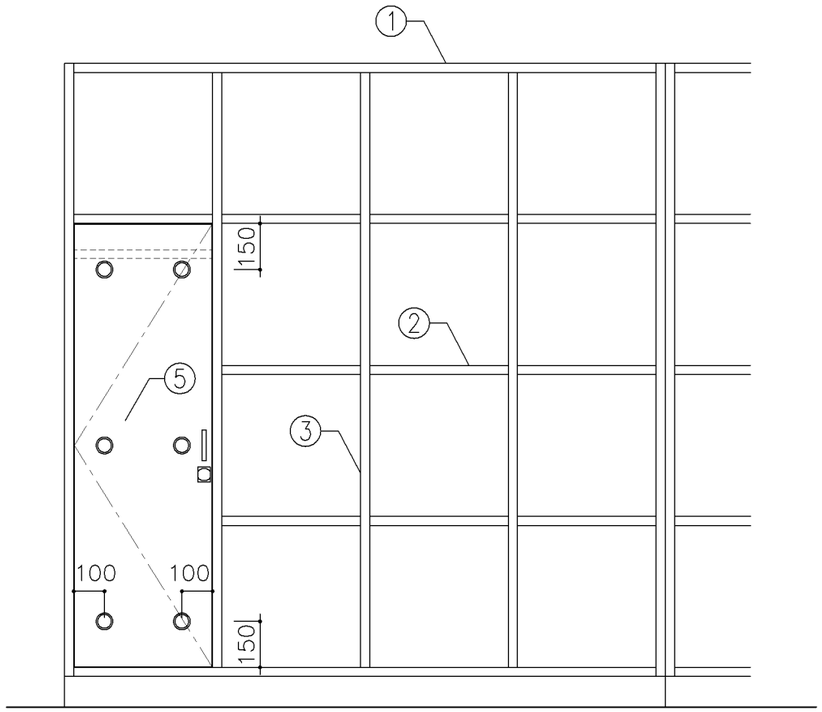
特記事項

名称	靴　入		
縮尺	1/10	記号	G−1291
設計年月日		令和2年2月	

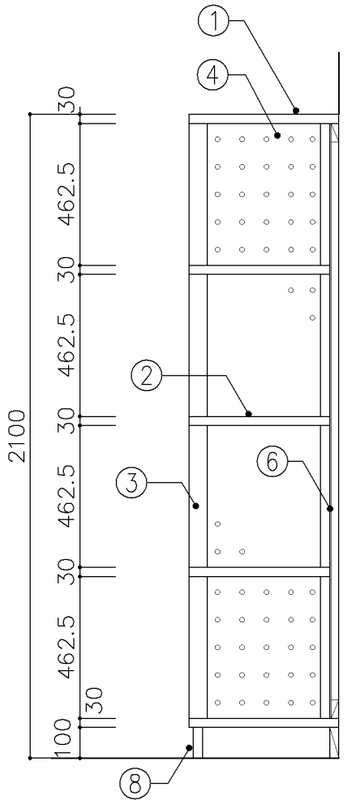
横浜市建築局



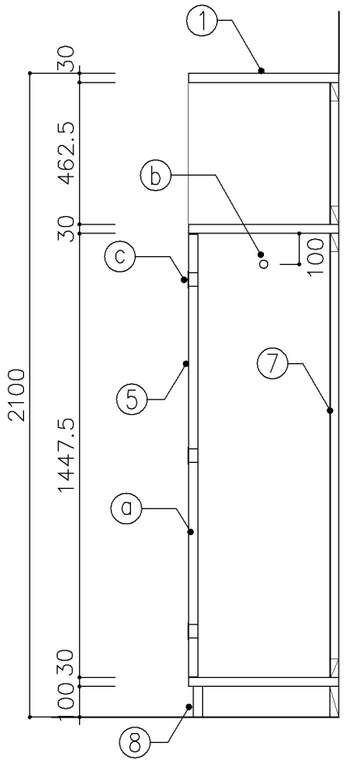
平面図



正面図



断面図



断面図

寸　法
W 4,900 x D 490 x H 2,100

使用箇所
武道場（剣道器具庫）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	B−1	しな合板	OP
②	棚板	B−1	しな合板	OP
③	仕切	B−1	しな合板	OP
④	隔板		ア5．5有孔しな合板	OP
⑤	扉	A−1	しな合板	OP
⑥	裏板	片A−1	しな合板	OP
⑦	裏板	片A−1	しな合板	OP
⑧	巾木	B−1	しな合板	OP

金　物

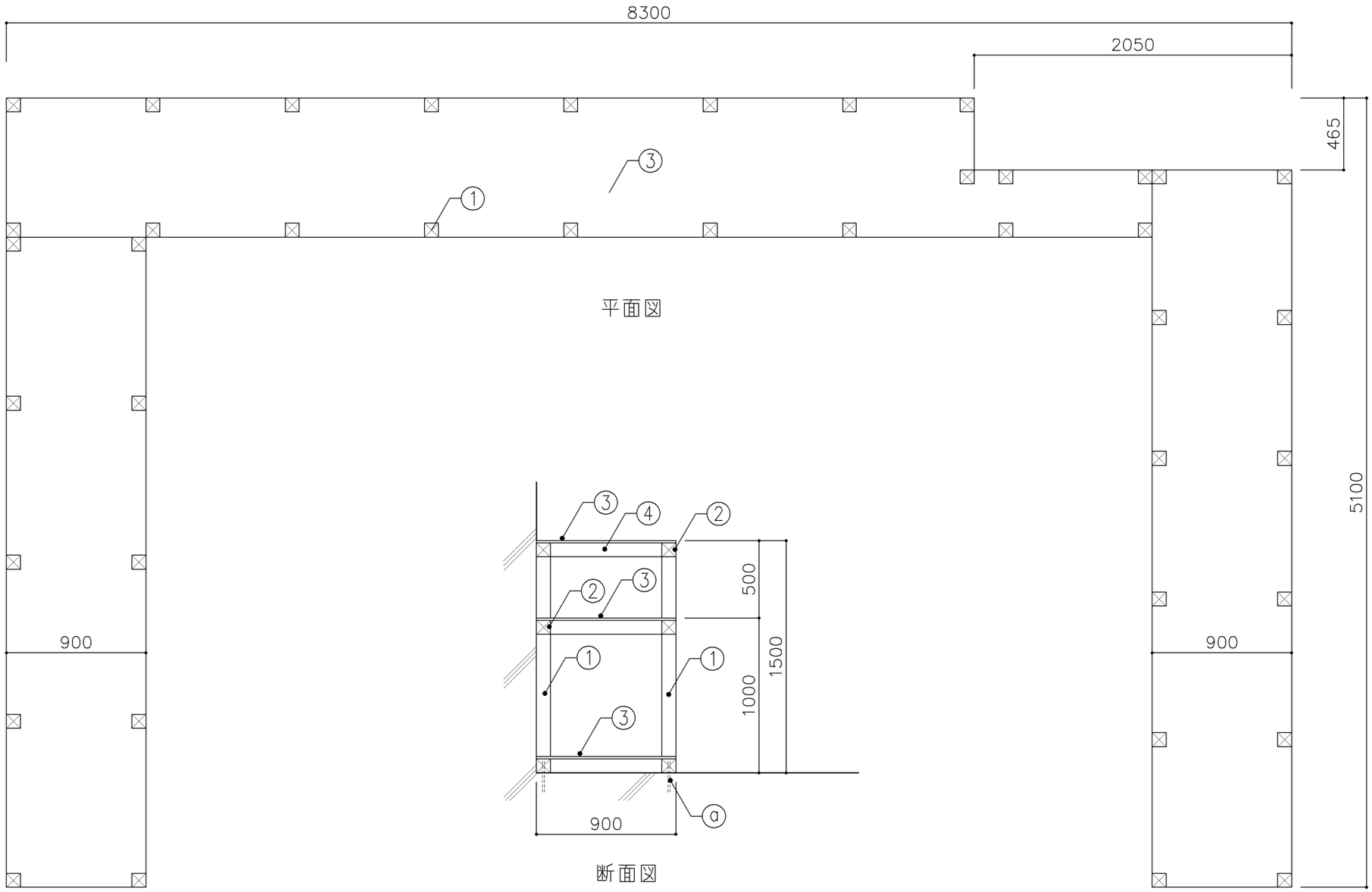
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	スライド丁番　掘込引手
		マグネットキャッチ　シリンダー錠
ⓑ		ステンレスパイプφ27．2　S環5ヶ
ⓒ		塩ビ製　換気孔φ45

特記事項

- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛かり部はOP仕上とする。
- 扉の厚みは、30mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	剣道具収納棚		
縮尺	1/20	記号	G−1450
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局



平面図

断面図

寸　法
W　x　D 900　x　H 1,500

使用箇所
部室（倉庫）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	支柱		杉　90角　@900	
②	枠		杉　90角	
③	棚板		ｱ15　ﾗﾜﾝ合板	

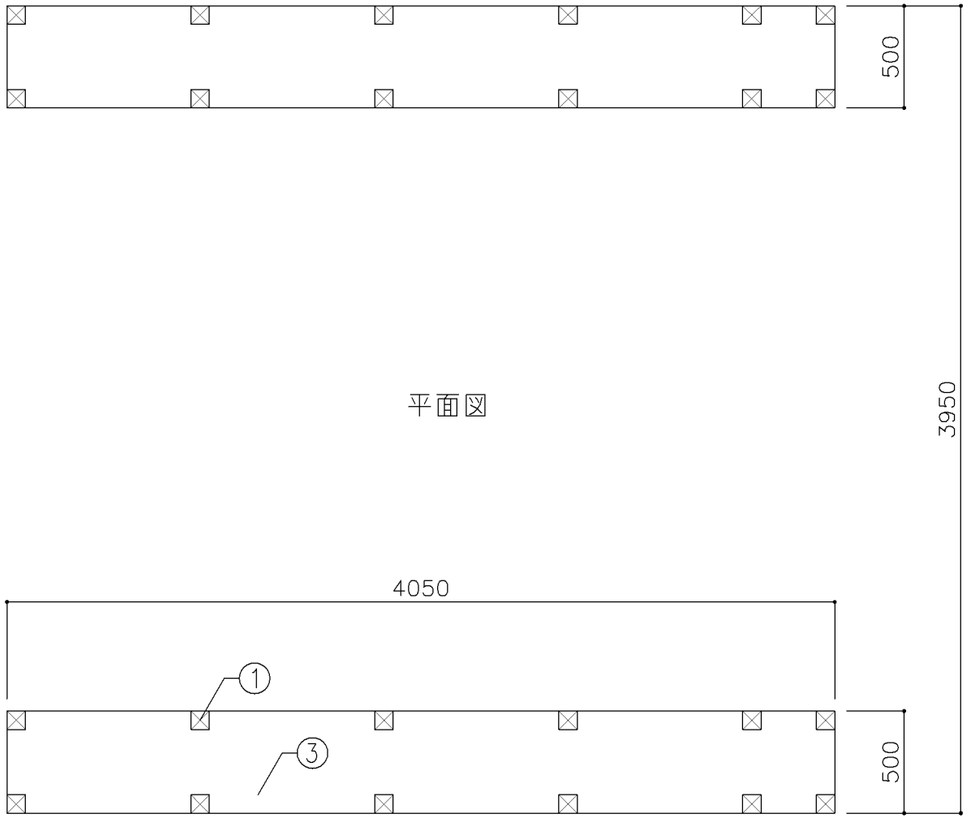
金　物

番号	使用箇所	名　称
ⓐ		ø13ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ　@1800

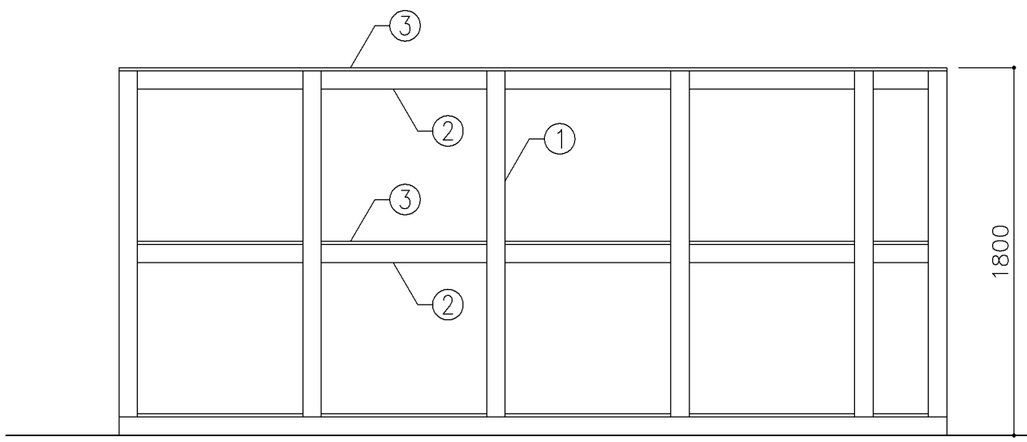
特記事項

名称	収納棚		
縮尺	1/30	記号	G−1451
設 計 年 月		令和2年2月	

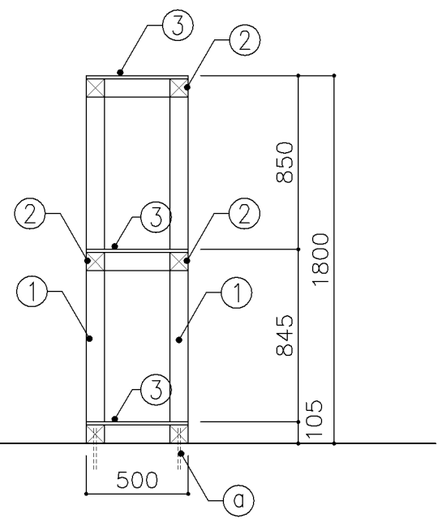
横浜市建築局



平面図



立面図



断面図

寸　法
W 3,950 x D 4,050 xH 1,800

使用箇所
ブール（倉庫）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	支柱		杉　90角　@900	
②	枠		杉　90角	
③	棚板		ｱ15　ﾗﾜﾝ合板	

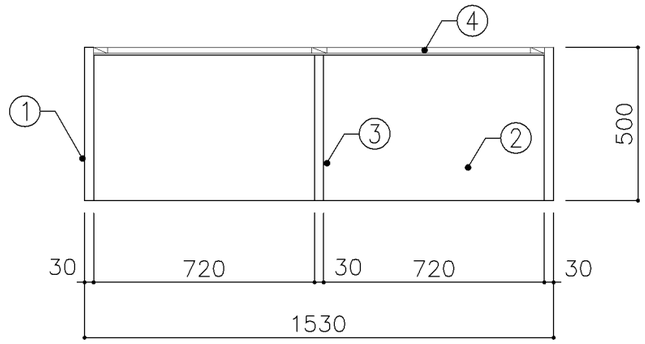
金　物

番号	使用箇所	名　称
ⓐ		φ13ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ　@1800

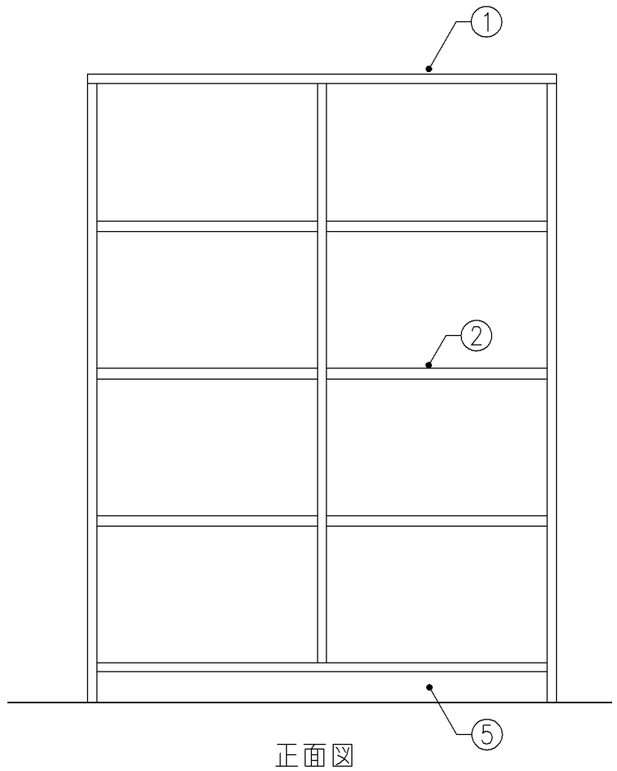
特記事項

名称	収納棚		
縮尺	1/30	記号	G−1460
設計年月		令和2年2月	

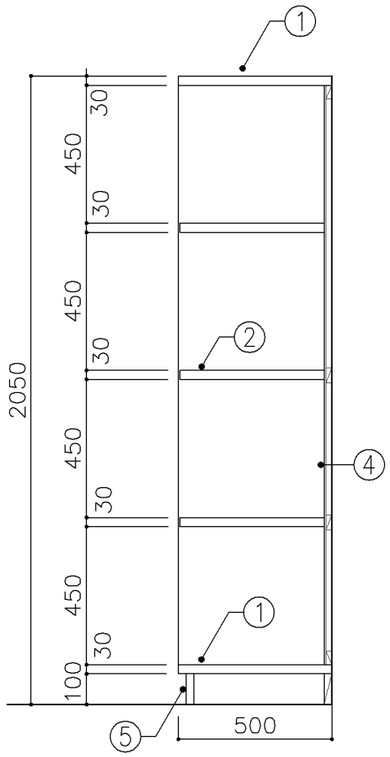
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,530 x D 500 x H 2,050

使用箇所
武道場（更衣室）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	B−1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	B−1	ポリエステル化粧合板	
③	仕切板	B−1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

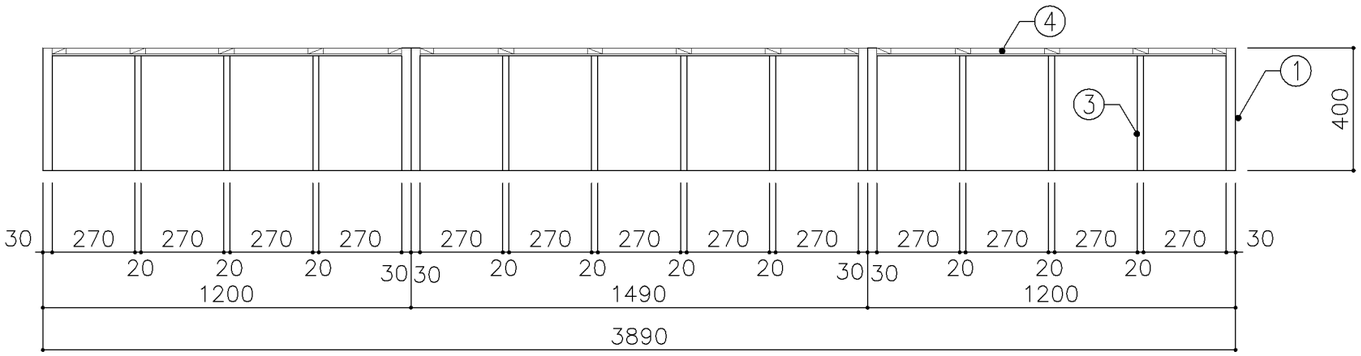
番号	使用箇所	名　称

特記事項

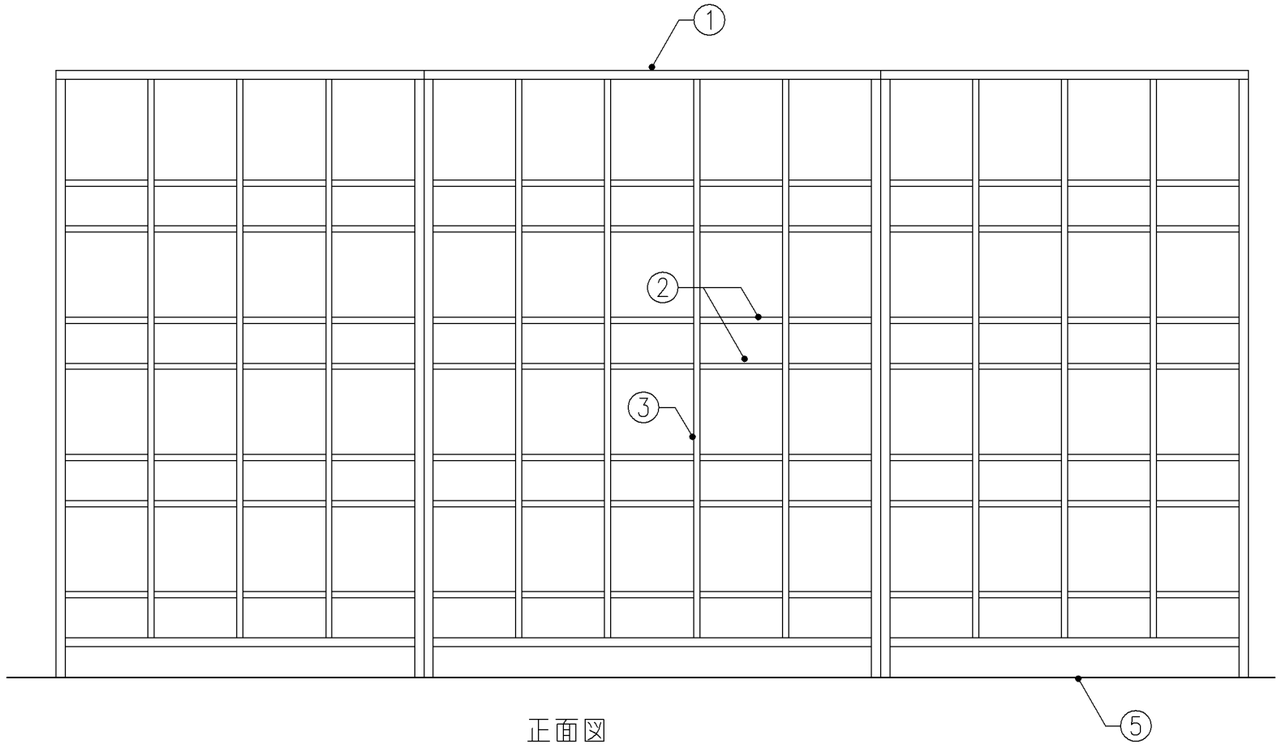
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	更衣ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G−1510
設計年月		令和2年2月	

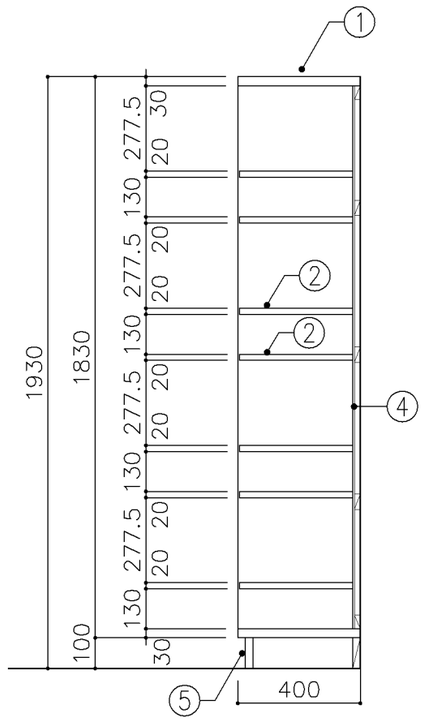
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 3,890 x D 400 x H 1,930

使用箇所
プール（更衣室）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	B−1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	B−1	ポリエステル化粧合板	
③	仕切板	B−1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

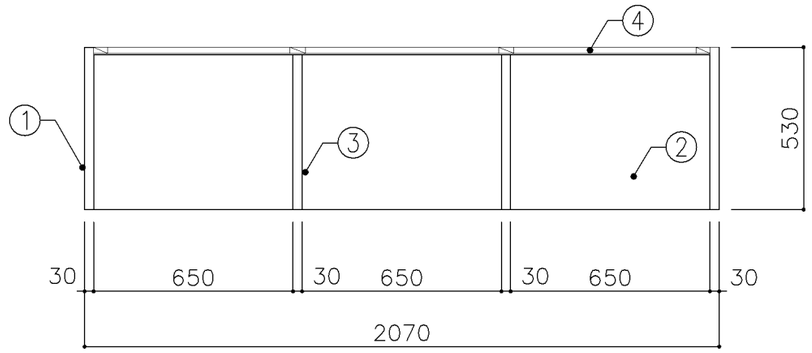
番号	使用箇所	名　称

特記事項

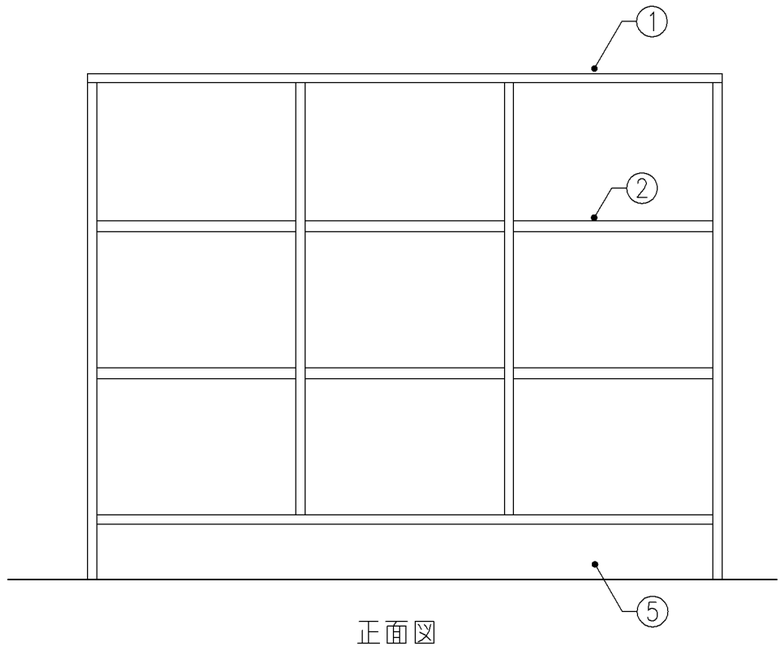
・木口の形状については、G−400より選定する。
・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	更衣ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G−1511
設計年月		令和2年2月	

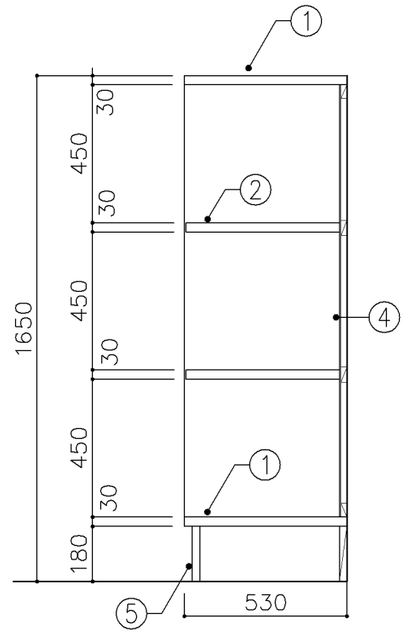
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 2,070 x D 530 x H 1,650

使用箇所
部室（更衣室）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	B−1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	B−1	ポリエステル化粧合板	
③	仕切板	B−1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

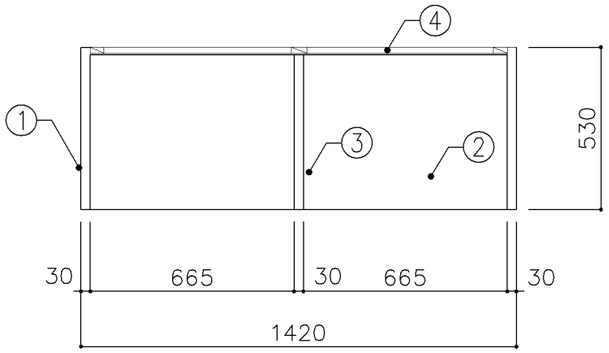
番号	使用箇所	名　称

特記事項

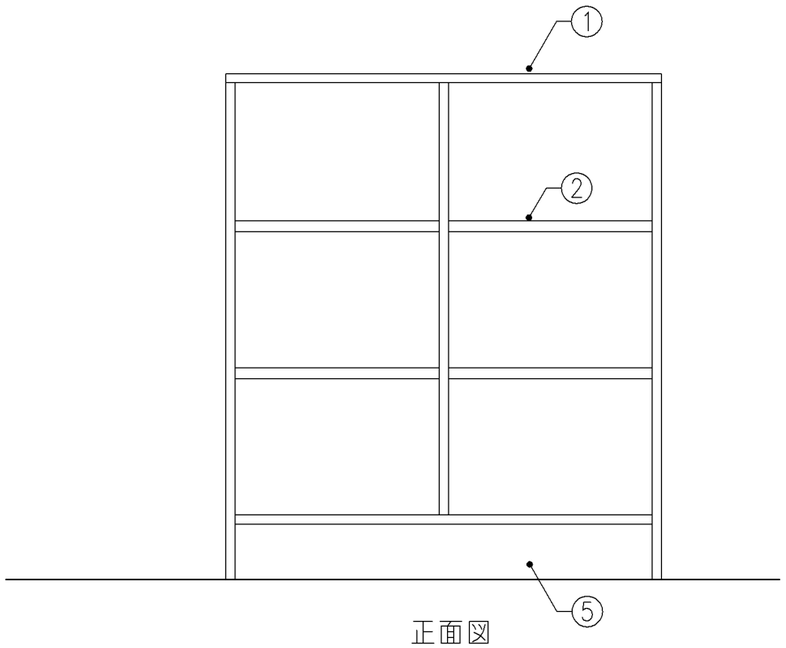
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	更衣ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G−1512A
設計年月		令和2年2月	

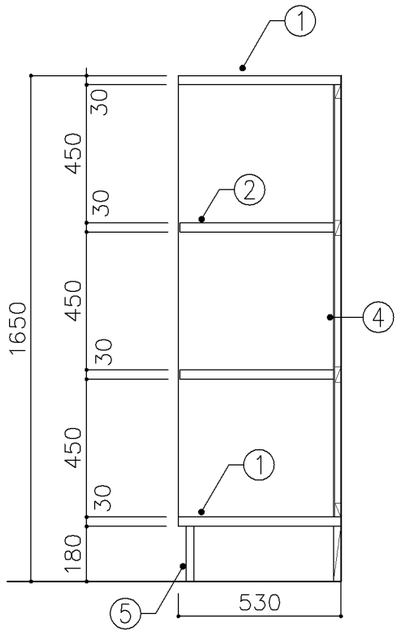
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,420 x D 530 x H 1,650

使用箇所
部室（更衣室）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	B−1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	B−1	ポリエステル化粧合板	
③	仕切板	B−1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

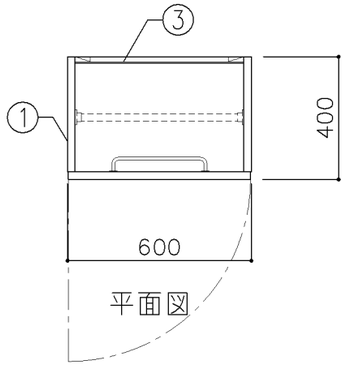
番号	使用箇所	名　称

特記事項

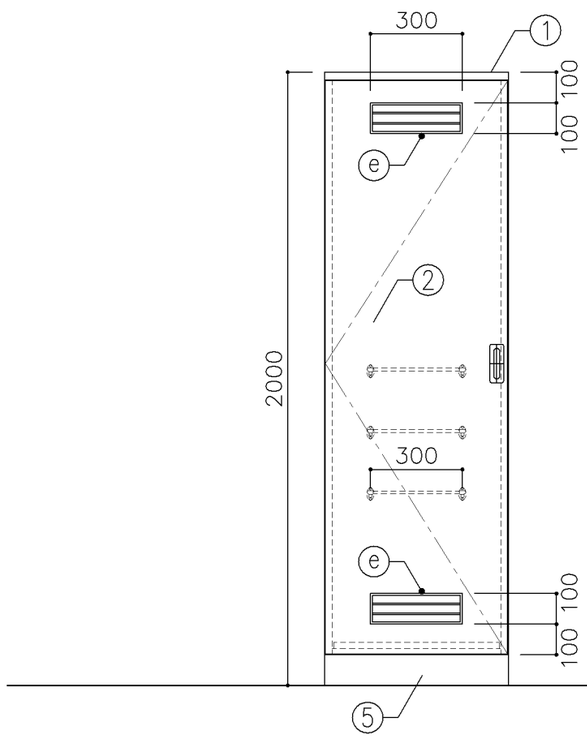
・木口の形状については、G−400より選定する。
・芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	更衣ロッカー		
縮尺	1/20	記号	G−1512B
設計年月		令和2年2月	

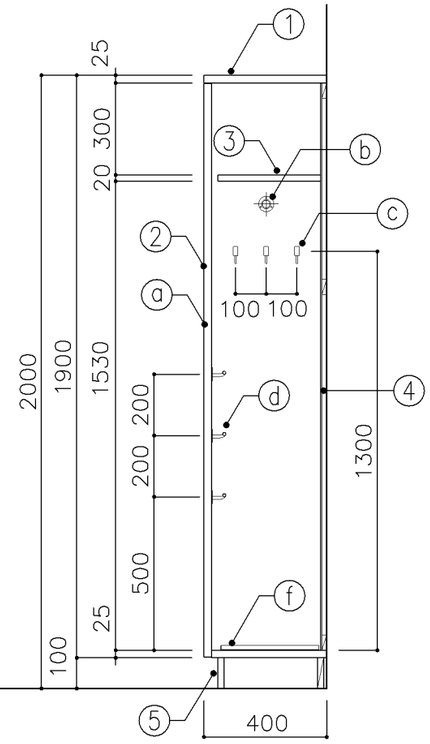
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 600 x D 400 x H 2,000

使用箇所
プール（更衣室）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	扉	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	棚板	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

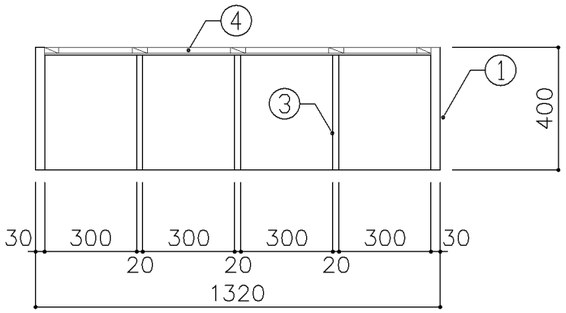
番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	ステンレス丁番、国産掘込引手、戸当り
ⓑ	パイプ	ステンレスパイプ27．2ø、S環付
ⓒ	フック	ステンレス
ⓓ	雑巾掛	ステンレス製　W＝300
ⓔ	換気孔	塩ビ製
ⓕ	水受皿	ステンレス製 250X450X40

特記事項

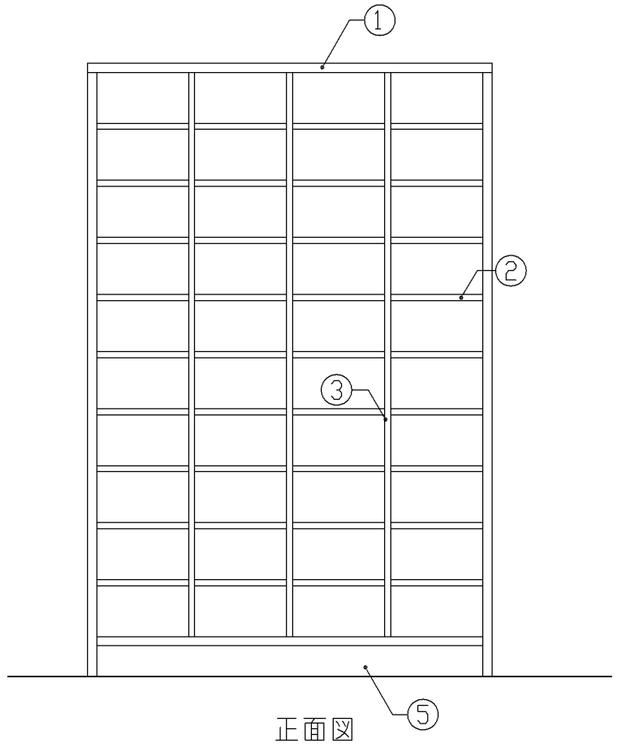
- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 扉の厚みは、25mmを原則とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	清掃用具入		
縮尺	1/20	記号	G−1520
設計年月		令和2年2月	

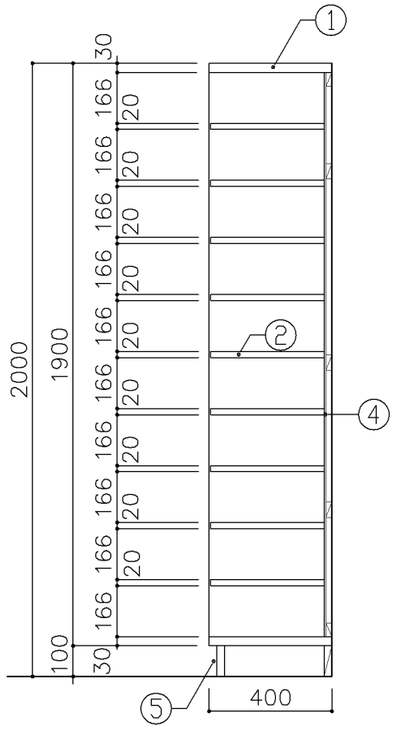
横浜市建築局



平面図



正面図



断面図

寸　法
W 1,320 x D 400 x H 2,000

使用箇所
プール（更衣室）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	本体	A−1	ポリエステル化粧合板	
②	棚板	A−1	ポリエステル化粧合板	
③	仕切板	A−1	ポリエステル化粧合板	
④	裏板	片A−1	ポリエステル化粧合板	
⑤	巾木	B−1	ポリエステル化粧合板	

金　物

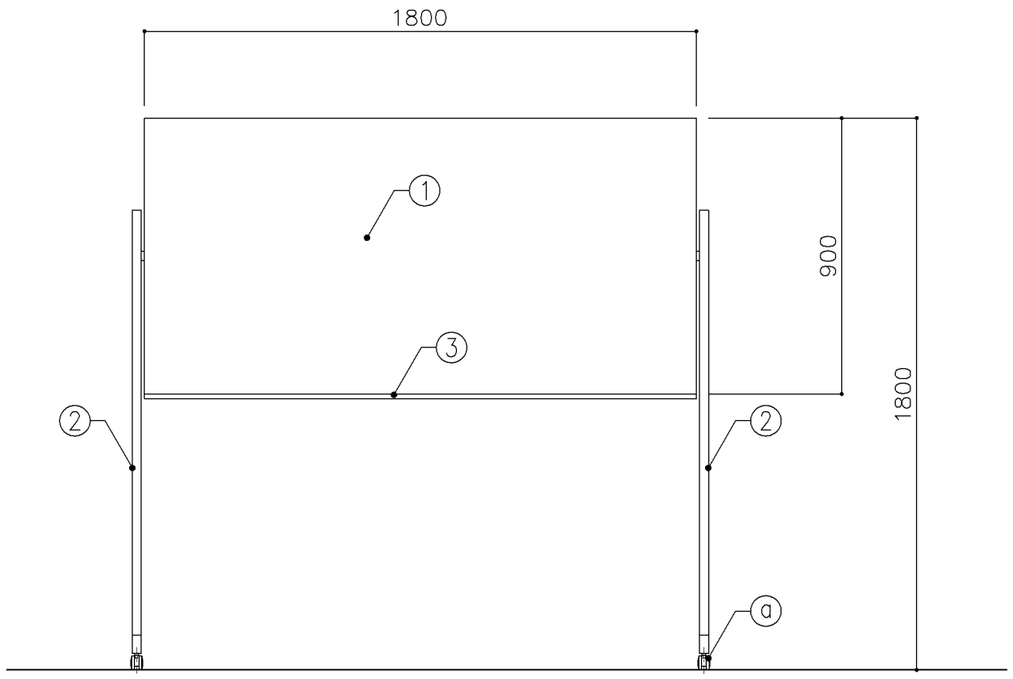
番号	使用箇所	名　称

特記事項

- 木口の形状については、G−400より選定する。
- 見掛りは、ポリエステル化粧合板とする。
- 芯材は、国産杉芯合板とする。

名称	靴　入		
縮尺	1/20	記号	G−1530
設 計 年 月		令和2年2月	

横浜市建築局



正面図

寸　法
W1,800 x H 1,800 (900)

使用箇所
部室（ミーティングルーム）

仕　様

番号	名称	材　質	仕上
①	可動ホワイトボード	スチールホーロー	
②	脚部	スチール製	焼付塗装
③	粉受け	アルミ製	

金　物

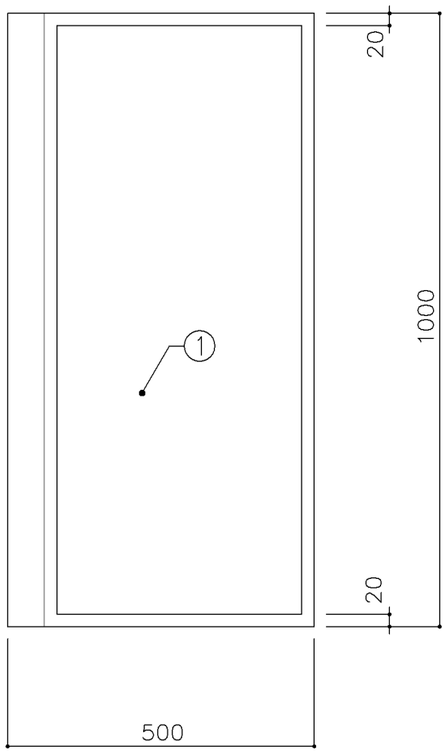
番号	使用箇所	名　称
ⓐ		キャスター（ストッパー付き）

特記事項

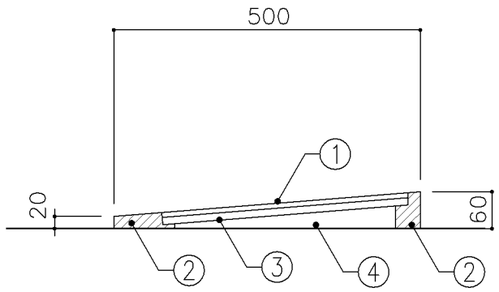
- レバー式ワンタッチ回転式
- マーカー、マグネット付き
- その他の仕様は、メーカー仕様による。

名称	脚付きホワイトボード		
縮尺	1/20	記号	G−1610
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局



平面図



断面図

寸　法
W1,000 x D500 x H60

使用箇所
武道場（道場）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
1	床板		ﾌｧ8 ﾓｻﾞｲｸﾊﾞｰｹｯﾄ張り	
2			ﾗﾜﾝ積層材	UC
3	下地板		ﾌｧ9 ﾗﾜﾝ合板（T−2）	
4			ﾌｧ9 ﾗﾜﾝ合板（T−2）	
5			ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｽｺｯﾁﾃｰﾌﾟ張り	
			W=30 @≒100	

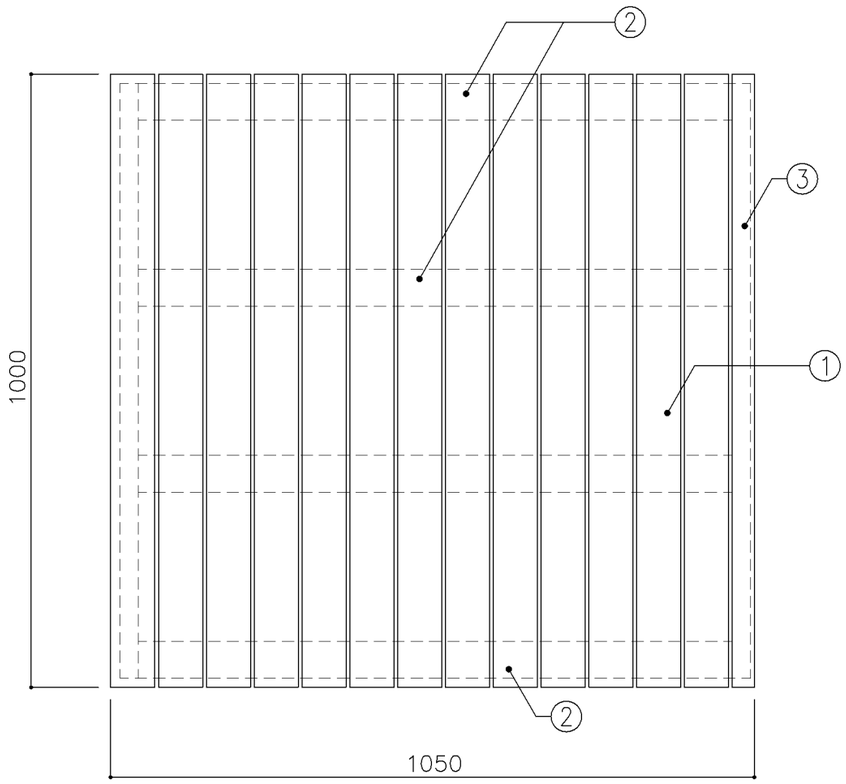
金　物

番号	使用箇所	名　称

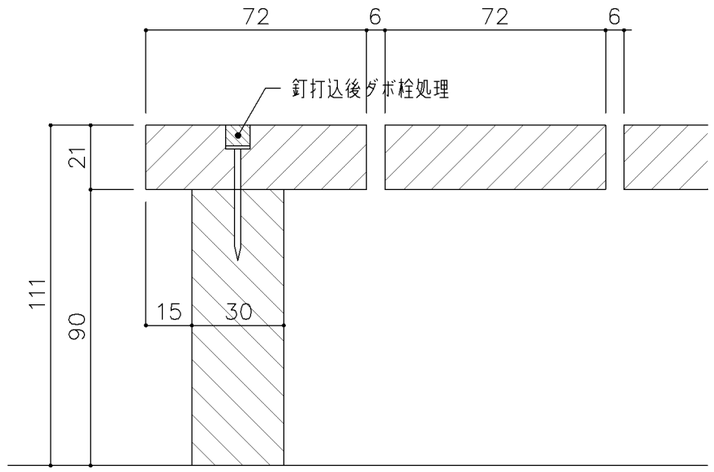
特記事項

名称	可動式スロープ		
縮尺	1/10	記号	G−1810
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局



平面図



詳細図　１／２

寸　法
W1,050 × D1,000 × H111

使用箇所
武道場　（畳収納庫）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	スノコ板		檜（一等材）　ア15	UC
②	根太		同上　60X90	UC
③	根太		同上　30X90	UC

金　物

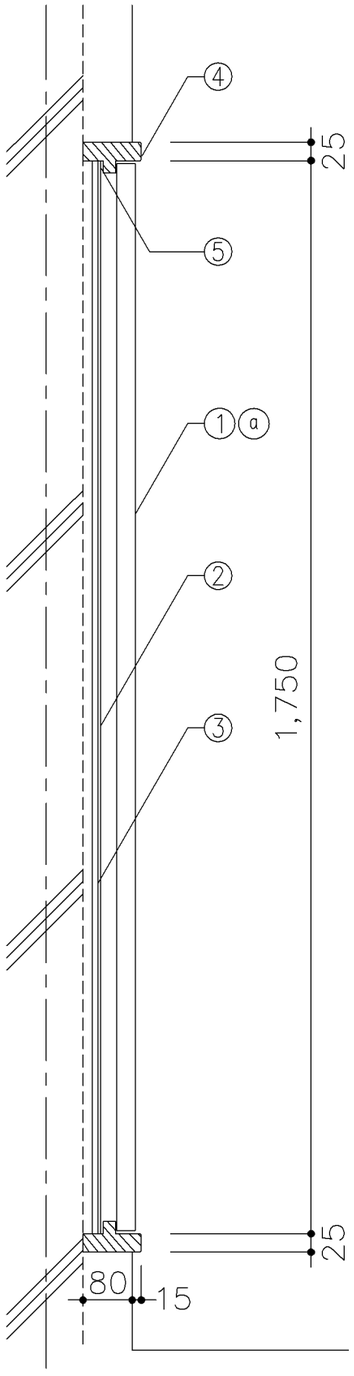
番号	使用箇所	名　称

特記事項

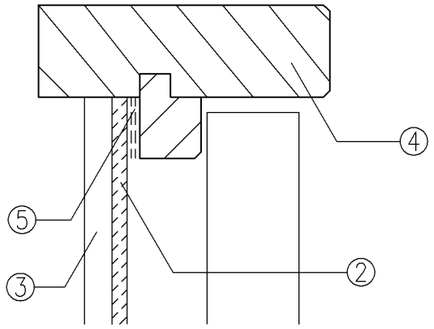
- サイズは基本的な大きさを示す。
- Hは床仕上げ等との関連があると思われるので検討の事。
- 重量300Kg／m²（長期荷重）を考慮の上耐えられるものとする。

名称	スノコ		
縮尺	1/2 1/10	記号	G−1812
設計年月		令和2年2月	

横浜市建築局

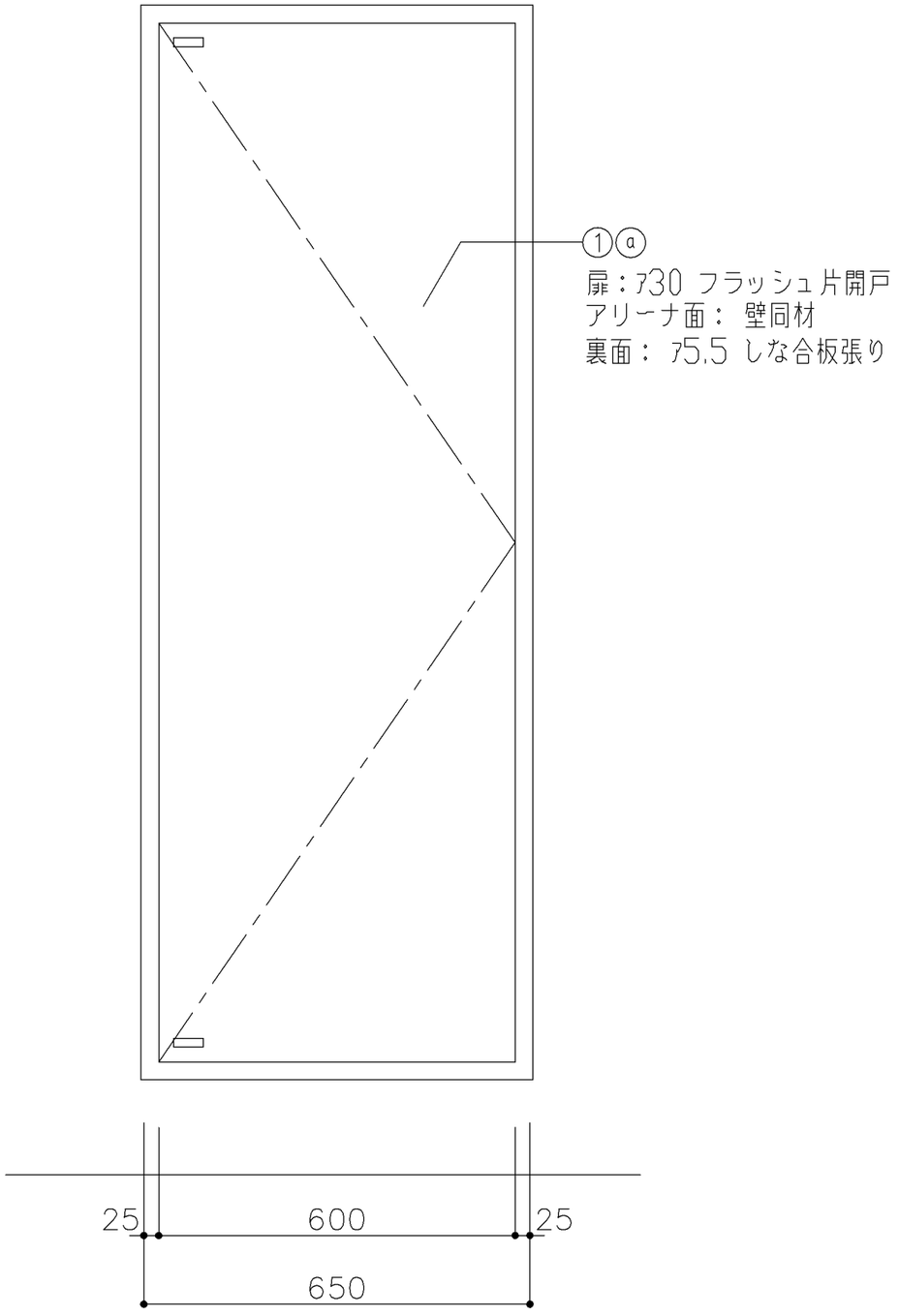


断面図　1／10



②
③
④
⑤

枠廻り拡大図　1／2



正面図

寸　法
W650 x H1,800

使用箇所
武道場（道場）

仕　様

番号	名称	芯材	材　質	仕上
①	扉	A−1	道場 壁同材	
			裏面 7.5.5 しな合板	
②	鏡		7.5	
③	鏡裏板		7.9 針葉樹合板	
④	枠		米ひば（糸面取）	UC
⑤	枠縁		フェルト張り	

金　物

番号	使用箇所	名　称
ⓐ	扉	隠し丁番、マグネットキャッチ
		ステンレス彫込引手
		アオリ止めマグネット

特記事項

・実施設計対応とする。

名称	姿見		
縮尺	1/2.10	記号	G−1831
設 計 年 月		令和2年2月	

横浜市建築局